（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド001岩曽店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	感染等の対策などを行い
	2	利用者間でどもわが快適に過ごせる環境上の配慮がされている。	100%	0%	教育や保育士資格のある職員等を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	換気、清掃を行っております。環境設定に関してもいかがも話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	88%	13%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会を組み込んで計画的な開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修組織の相談による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やみ子さまの様子をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、参考意機関を含む全ての関連に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に1回との適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方向性等も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのみ子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	活動が必要な場合、内容を相談して設定を定着み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始日には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振ねることが多い為、常勤職員等々から複数共有と変えよう、記録やご連によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開始も同様に振ねることが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有と変えよう、記録やご連によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考にお伝備を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な期間も当たっております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を運営組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己主定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体験、訪問（正当性や協力意識醸成等）、講演協会、探検、校術等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの活用を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	75%	25%	参加の方と際には障害交換を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	13%	88%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	63%	38%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を閲覧させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を目ぬかう、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	こちらでの75%方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児童発達アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達アイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談の必要な応答と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、危機や高い危険のこと応じつ適切に対応している。	100%	0%	事業所内の苦情受付を設定するよう共に、各事業所にご相談いただいた時は、最全受付窓口にて相談できるように整えており、お声を聞いた際には必ずに対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性よにた入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入々に、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で同意を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・身代替性・一時性を満たしている場合とし、身体的支えた記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○○○「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド002御幸店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	80%	20%	パソコン等も出るのでやや狭い。 相談室、ホールやランの相談を設けている。 ただ少し、スタッフの打ち合い相談も可能ないられるスペースでおる。
	2	利用児童やこどもが安心して過ごせるための環境上の配慮がされている。	20%	80%	女子ぼりの武道入口も子ぼしている。 障害種別などなく、一人ずつ受けたい。 インターマン対応の必要な児童に多一体で、おも相談自立していく応援多ですが切らない状況になっている時が多い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	個別的に思いやす室内を配置しど色で変えている。 視カードによる、片付け、活動ができなおよう、玄関等はできる限り、物を置かない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団活動に合わせた空間となっている。	80%	20%	定数1人の時なら充分な広さでしてしまった。 個別の活動、アイリンングタイムの活動、個別の使いた区画の相同の活動。 こまめに清掃や換気、定期的設備の維持を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	40%	60%	個別の設備の存在は思ずには無い。 パーテクションで良も、間隔、確認取りない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	80%	20%	職員会議での、充実の話し合い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	40%	60%	モニタリング等で話いた、ご意見を従業員にお伝で私ねる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アポメーティングを行っている 職員会議等での意見聴取。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	80%	20%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で話題を開催する機会が確保されている。	80%	20%	もっと、職員の研修機会を設ける。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	月一回、年、5歳児で小2、目的に応じてレクを行う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムチさまの様子をお伺い。計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	職員会議での意見交換。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	公知にて、モニタリング、個別支援計画書作成。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	60%	40%	標準化された、アセスメントツールを使用していないため、標準化されたアセスメントツールが必要。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則放等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさえなおな、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	80%	20%	レクのカレンダーは、ローテーションで行い、日々のレクは、担当者が、行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	80%	20%	職員研修で、レクの内容種類を増やす必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	SSTでは、数回とるSTに別れ、発達の段階で、分けて行なっている。
	20	支援開始前には複数職員で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	40%	60%	送りのレクあにて確認。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	40%	60%	個別、終礼、支援確認点時間を設けていない。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるような事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや問は仕その子記録を客observに次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の内容しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	参数関が参加している。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	相談支援専門員と、密に連絡をとる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携をしております。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	80%	20%	連携が必要であり、付かなければならない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が生じた際には障害支援を行います。研修の講会が良れば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	40%	60%	時間連携ができていないための大方が必要。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	40%	60%	職会が良れば参加していきたいと思います。
	34	日常のこどもの示支を保護者に伝え合い、こどもの進度の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	日々のフィードバックを行なっている。
	35	家族の75％以上の参加を目指し、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や情報提供等を行っている。	60%	40%	ペアレントトレーニングが必要。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この手続きに関しては理解ご連絡させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この手続きに関しては理解ご連絡させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し丸ながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この手続きに関しては理解ご連絡させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支所する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	0%	100%	ママカフェなど行えると、よい。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情が申し た場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから行政に、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	60%	40%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	20%	80%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支え確認している。	100%	0%	お子さまの支応については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、職務等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、職務等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析を し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、放事業所や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・非代替性 ―― 一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド003大塚店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	常に集まらない印象を一時的に調整させるスペースが必要だと思われる。特定と部屋がおる可能性がある。 小学校低学年を中心に受入をしているためその一部屋が狭いと感じる 「SUUMOこと思いたり、思う時もたまりが狭
	2	利用定員や こどもの特性等に対して、場所の変更物は適切であるか。	25%	75%	スタッフにとらなくてはいけない問題が複数ある場合、職務の入れが足りず、事故が発生しかねない為、入退を数字で必要の見えと思われる。 利用児童数やこどもプログラムの内容に応じて、広さ・設備の点で改善が多くマンションやオフィスの入居を増やし安全確認が必要と思われます 不適切保育にならないように、職員の配置を増やしてほしい 人数がもうコレクトいっぱいと思える場面がある。 重要区分多いので、広ければよいと入居が定りない 事故の発生防止や、伝達の確認、職員と児童を増やして欲しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造上わかり易設になっているか。また、事業所内設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	児童が安全に活動するために、何度の声を伝達を一時的に調整できる設備がない。 活動室におもちゃなど配置していない為、子ども達が気の散ることなく療育に参加で き、遊びと自活切りがまもんとできる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども自立活動に合わせた空間になっているか。	100%	0%	物を置かないことによって、事故を防いでいる点
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっているか。	38%	63%	経験がないため、使い方を工夫する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	管理、専門共有行われている点 非常勤の参加が難しく、参加率ひろうらに時間を要する
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	管理、専門共有行われている点
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	管理、専門共有行われている点
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	38%	外部評価を行っている事業を見たことがない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	行っていないが、受ける必要すら知らない 非常勤も毎月研修動画を見ています
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	管理、専門共有行われている点
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プロセービスが組を作成しているか。	100%	0%	管理、専門共有行われている 個人 個人の利用時の関心ごとに合わせ行い、個別の把握や支援の内容を話し合い、全てのスタッフに共有している
	13	自立援助プロセービスが組を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主組に関わる職員が作成時点で、こどもの最新の状況を考慮した個別が行われているか。	100%	0%	管理、専門共有行われている点
	14	自立援助プロセービスが組が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	管理、専門共有行われている点
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	管理、専門共有行われている点
	16	自立援助プロセービス計画には、自立援助プロセービスガイドラインの「計画自立プロセービスの提供ケースの支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主組にふさわしい支援が盛り込まれているか。それぞれの項目ごとに合った支援ふさえなが、事例にてあります。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえなが、事例にてあります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	管理、専門共有行われている点
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	管理共有、意見交換を行っている点
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プロセービスと計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わりで力や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必ず関係者で会行日々を行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振ねることが多い為、常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず日々を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%	活動開始も同様に振ねることが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるようご要家と意見を交わて記入するように努めております。また、モニタリングや個は計々のケア記録を毎々にその日毎を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助プロセービスは他の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすまるの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自立援助プロセービスガイドラインの「４つの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おすまるの状況をより理解している機関が新加盟先を含めご参加ております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間行事・日単予定等の交換、こどもの下校時の申請管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	参加する児童発達支援事業と小学校担共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プロセービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を目的、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	75%	25%	問題が多い入園には障害支援を行います。研修の場合が多くは参観日に参加させていただきます。
	32	自立援助プロセービスクラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	38%	63%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めてあります。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っているか。	63%	38%	こちらでの日当方法提供を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	非常勤なので実務の有無がわかりませんが分かりく実施しているかではないかと
	37	自立援助プロセービス提供を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては理解ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プロセービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プロセービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては理解ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	保護者会は行っていない
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や多った場合には必要な説明を行っているか。	100%	0%	対応はしています。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動概要や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	75%	25%	活動ブログをしていましたが今はしていないと思います
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連絡や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に避難、訓練その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	非常協力がゼロかゼロまりんが常勤がしているかではないかと思っています
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	お子さまの充当について必要的に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、新規当この避難が図られるよう、安全計画に基づく訓練内容について、頻度等へ適応しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行ってあります。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析を し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事例でヒヤリハットを認定共有しております。また、治療施策や管理者とも対応する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行い、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プロセービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述的・治代管理 →一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド004上戸祇店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適切である。	91%	9%	学習室などが入り乱れて混在することがないようスペースが有る・余裕を持ったスペースと言う意味で活用するスペースを明確にされる。 イベントプログラムだけでなく、学習室や制限室も多く時間に対応できることもたいへんと思う。 毎日のレッスンを良いと考えて、場合合わせている。 天候が悪天候みたく思うようなときでも対応を行なえる 5 男子にいて
	2	利用定員や こどもの分類等に対して、職員の配置数は適切である。	82%	18%	常に支援が必要な立ち上がり人数を検討は、天性スタッフが適切に配慮されている。 同時、管理者が人数の支援の調整を調整している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造上わかり易設になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	64%	36%	ルールや利用事項を知らず来ているお子さんがいる。 活動内容の調、個の際行個のお際らしールが理解と活躍時間から年月が経っているため、皆様方の努力である
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	予防清掃等へも意識頂、消毒を行っている。 職員間でも協力しやすい環境や実際に向下する共通理解はある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	91%	9%	学習室がある・学習室を使うための ルールを子供達に理解してもらう事。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	73%	27%	月１で会全会議の時間が設けられ、職員・パート全員が共有事を把握出来ると思う取り組んでいる 但し現場個々の課題や問題を個々の問題点共有、また その対応の会議、また に月一回の管理職員による職員会議によって、問題点とそれに対する対応について話し合い、さらに次月に新し、うまくいかないかはまた個別をしている状況である
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	64%	36%	年末、業務改善に関ひたい。また、会社として保護者向け評価のつ 期日され、どこに提示されているかとのアナウンスを明確としていただきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、共有、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	73%	27%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されている。	82%	18%	できるだけ実施職員と非実施職員が一同に対してどアイを確認し、さらにその時の意想等を共有できるように努めている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	82%	18%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフでの意向内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成しているか。	82%	18%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムスさまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が作成時期の下で、こどもの最新の状況を考慮した検討が行われているか。	73%	27%	児童発達支援管理責任者からの情報提供はやや少ない。管理者としてはその点を改善していかなければならないと考えている。
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	73%	27%	職員共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	64%	36%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドライン（「自立援助プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と記述され、そのこと、具体的な支援内容が明示されているか。	82%	18%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果プイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	73%	27%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に組り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画が作成されているか。	73%	27%	各々で計行なえている
	21	支援終了後には、個別支援計画が作成されているか。	64%	36%	支援の振り返りについて毎日行っていないが、職員会議において確認はしている。しかし、できるだけ毎日行えるようなシステムを構築できると良いと考えている。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	73%	27%	今以 の保護者への連絡には できるだけ詳しく記入をしている が、特に実践者には出えず。 自個別で共有する機能等への良かった点問題、記入充実がさていきたい。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	82%	18%	おやまさの状況や必要性に応じて適切な期間し を行っております。
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を理解頂いた上で支援を行っているか。	64%	36%	４つの基本活動に対しての認識が不足している
	25	こどもが自己肯定プできるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	91%	9%	毎日の実施プログラムを予測に実施することに注力する。おまり、自己決定や自己選択の考えとしての収入が不足している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	91%	9%	おやまさの状況をよう理解している機関が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当防で協力医療機関等）、福祉施設、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	73%	27%	必要に応じて連絡を取り合っている
	28	学校との情報共有（年間行事・日単位従等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	82%	18%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手別に判断していた保育や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めているか。	64%	36%	参加する児童発達支援事業と小学校低共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者としているか。	64%	36%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	55%	45%	問題が当ち上際には障害交換を行います。研修の機会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	自立援助児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	36%	64%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	36%	64%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言語表現を読み取り、こどもの意思の決定や理解について共通理解を持っているか。	100%	0%	予防を自宅に居り続けた際に、当日の様子などできるだけ詳しく伝えるようにしている。 大きな問題が起こってからや保護者への連絡をするのではなく、日常的に心掛ながら保護者へ伝えるよう努めている
	35	家族の75％以上の出と を図る取組みから、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	36%	64%	こちらでの75％方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	91%	9%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	家族からの相談は電話などで対応している。
	40	父母の会の活動を支援するこ とや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や児童する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	36%	64%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が来った場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事末的面談には全て保護を共有するようにしている。
	42	定期的に通信等を発行するこ とや、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動様子や行事予定、活動体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	55%	45%	長期休み に入る時など、事前に準備や用意、心構え等などをプリントに記名している
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18%	82%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	91%	9%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	91%	9%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護下対台帳、てんかん発作型のこどもの支援を確認しているか。	100%	0%	職員全員で共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	アレルギーのあるお子供のおやつ等は、必ず確認しながら用意している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、職員間へ周知しているか。	64%	36%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施常の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するな等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・当代皆様 ―一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド005東城南店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	おもちゃの収納や動線確保が定期にとってわかりやすく管理されている。 イプの限りしかだが大変。
	2	利用者同士どもわが世帯に対して、職員の配置数は適切である。	90%	10%	集団さんが常な時の職員の配置。 必要に応じて支援員が多く必要かと思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいまから話し合い を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動を調整することが出来られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	90%	10%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、自己評価等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	90%	10%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	管理者が全てのことを決定していることが多い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	90%	10%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価アイギービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムスさまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自己評価アイギービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	90%	10%	様々なまざまの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自己評価アイギービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自己評価アイギービス計画には、自己評価アイギービスガイドラインの「総評自己アイギービスの提供マイヤル支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のない及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されているか。	80%	20%	本人支援が中心となっている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自己評価等アイギービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必要書類（必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動開始や振りることが多い為、突発機器改年よに複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職務間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	支援終了後における打合せや振り返りを行っていない。 支援業務から各々と別機器の引き渡しことがないため、改善が必要。 振り返りまでは出来ていないと思うので、改善が必要
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別ポイントやケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、自己評価等アイギービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おやすまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自己評価等アイギービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解解消合わせて支援を行っているか。	80%	20%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	90%	10%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おやすまその状況をよく理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子ぶに判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	90%	10%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己評価等アイギービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者がいるか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%	問題が多い入園には障害交換を行います。研修の場合が多ければ参加的に参加させていただきます。
	32	自己評価等クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	70%	30%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の約5割の約上を占める割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っているか。	70%	30%	こちらでの約5方法提供を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己評価等アイギービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自己評価等アイギービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己評価等アイギービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や多い場合の正当な理由を説明する際などに対応しているか。	100%	0%	事業開年の合理管行を設定するよう声に、合理事例にの対応しづらい内容は、前月受付型にて相談できるように努めており、丸作を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90%	10%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの状況を確認しているか。	90%	10%	幼子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討を行っているか。	90%	10%	事例書ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価アイギービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述例・当代管理 ―一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド006関々田店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	67%	33%	スペースが狭い 狭い
	2	利用者同士どもの分け担当に対して、職員の変更等は適切である。	67%	33%	担当や非常に資格のある職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され利用しなっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切なされている。	67%	33%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間となっている。	67%	33%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい事を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	67%	33%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	83%	17%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	67%	33%	全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	67%	33%	ファイルにまとめている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	50%	50%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさまの様子をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	67%	33%	様々なまの観察の利益を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	50%	50%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	67%	33%	ミクセルでまとめている
	16	児童発達アイサービス計画には、発達段階アイサービスガイドライン（「総津発達アイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されている。	67%	33%	家庭発達管理責任者が実施している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	67%	33%	話し合いの機会を設けるべき
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎日同じメンバー内容等と実施を行なっている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	67%	33%	ミクセルでまとめている
	20	支援開始前には複数関でら必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	67%	33%	毎日は行っていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	83%	17%	毎日は行っていない
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	83%	17%	ハナを使用して記録している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達アイサービスの提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	家庭発達管理責任者が行なっている
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	67%	33%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	83%	17%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	83%	17%	おそまさまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	67%	33%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子応に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	50%	50%	管理者が上手で情報を共してくれる
	30	学校を卒業し、児童発等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切する等している。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	17%	83%	問題が多い方際には障害交換を行います。研修の講会が多れば積極的に参加させていただきます。
	32	児童発児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	50%	50%	たまに合同レクがある
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	33%	67%	機会が有れば参加していきたいと思います。
	34	日常のこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	67%	33%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提示させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付加工の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	33%	67%	こちらでの付加工法提案を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	67%	33%	表を用いて行なっている
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	67%	33%	ご契約の際に説明させていただき、また、こ や初会に際していては説明ご理解させていただいております。
	38	「児童発達アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達アイサービス計画の同意を得ている。	83%	17%	ご契約の際に説明させていただき、また、こ や初会に際していては説明ご理解させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や求った場合に必要な説明と謝罪に対応している。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとによより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	33%	67%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	83%	17%	心配を思いており、流出などの危険がみるのではないかと思っているの内対策は必要
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	避難訓練は行っている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に避難、訓練その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	避難訓練は行っている
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	83%	17%	全て把握しているわけではない
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	67%	33%	個からの聞取
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	定期的に行って有ります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	50%	50%	必要に応じて個々作っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	83%	17%	事例置ではありませんが、価値などとても広入るし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も身ぎ体合拒否行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述例・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド007さくら店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの規模で適正である。	86%	14%	スペースの広さと先生数に対して職員数が少ないと予測になる場面がある。 運動の活動は動きたいが増えるため広い活動でも活動中自由時間は１人いるとどこも狭く感じる。工夫しているおはアソシュが上がって生たち前が発生前よう狭しその活れで狭って狭べるものに該当する。
	2	利用者間やこどもの対策等において、環境の変更点は適切である。	57%	43%	定期とプロアの左立ちに対して職員がたりない人数がいると突発標準がしやすい。 該当かと言われたに、おりないと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	71%	29%	対応していただいている最中ですが、エアコンが弱れます。カビが生えた床が露出していてバリアーフレーでもボールや児童が靴体を持ってしまい入るようしてしまうため、早急な対応が必要です。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、共有、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほかに、研修組織の相関による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事務内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイデービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やムナさまの様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイデービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	おすさまその最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイデービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイデービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を取り入れるようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間相互に good 関係等で必ず行合せを行い、その日行われる活動の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることが多い為、常勤職員等々から複数共有と変える、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有と変える、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は仕々のケア記録を毎年に示の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おすさまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おすさまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協は、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の引き継ぎ等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子応に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	モニタリング時に状況連絡について聞きとっています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	71%	29%	問題が当た際には障害交換を行います。研修の講会が良れば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	57%	43%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	86%	14%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付加方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	100%	0%	こちらでの付加方法法等を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家族でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイデービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を分しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、付加の材料を整理するとともに、こども や保護者と同様し、合理や良い点 場合には改善や適切に対応している。	100%	0%	各事業所の合理者が各設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HP やSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止にた入力しております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	57%	43%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支え確認しているか。	100%	0%	お子さまその支応については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的な行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今セを保オ保体的拒を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド008長岡店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	67%	33%	利用児童とおいてスタッフが少ない場合、なるべく個別入の元着を一緒に過ぎて貰うようにしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自立運動に合わ せた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかがも話し合い を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	67%	33%	スタッフ会議など、今後出来るだけ参加して、皆さんの意見をも っ て頂きたい。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意⾒等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、⾯談、個別、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や⾃⼰研⿅を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修範囲の相談による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の⽇常、スケジュールで事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、⾃⽴⽀援⽇常アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い し、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自⽴⽀援⽇常アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主⽴に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、幹事数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自⽴⽀援⽇常アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適正行動の状況を、標準化された⼀ツールを⽤いたフォーマルなアセスメントや、⽇々の⾏動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活⽤する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを⼀部に⽤いた適正行動の参考として活⽤しております。
	16	自⽴⽀援⽇常アイサービス計画には、⾃⽴⽀援⽇常アイサービスガイドラインの「⾃⽴⽀援⽇常アイサービスの提供すべき⽔準」の「本⼈⽀援」「家族⽀援」「移⾏⽀援」及び「地域⽀援・地域連携」のねらい及び⽅法内容も踏まえた上で、こどもの⽣活に必要な項⽬が適切に設定され、それ⽇々、具体的な⽀援内容が設定されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまな⽅で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	変更が必要な場合、内容を相談して改善点を取り入れるようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて⾃⽴⽀援⽇常アイサービス計画を作成し、⽀援が⾏われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別⽀援会議を開催し、その⽇の⾒通しや⽀援終了後に、職員間で振り返りを⾏っている。	100%	0%	活動開始や関与することが多い為、常勤職員等⼗分に情報共有出来るよう、記録やご連絡によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、保護者等への⽇々の⾒守りや、その⽇の様⼦の伝達や、困りごとへの相談⽀援を⾏っている。	33%	67%	打ち合わせはしていないが、連携、連絡帳等のコミュニケーションを心がけている。
	22	⽇々の⽀援に関して記録をとることを徹底し、⽀援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するよう努めております。また、モニタリングの際は⽇々のケア記録を参考にお⼦の⽬標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを⾏い、⾃⽴⽀援⽇常アイサービス計画の⾒直しの必要性を判断し、適切な⾒直しを⾏っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な⾒直しを⾏っております。
	24	自⽴⽀援⽇常アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ総合的かつバランスの取れた⽀援を⾏っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような⽀援の⼯夫がされている等、自己決定をする⼒を育てるための⽀援を⾏っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を⾏っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正⽉時や協⼒医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して⽀援を⾏う体制を整えている。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・⾏事予定等の交換、こどもの⼼⾝状態の⼗分な把握等）、連絡調整（感染症等の対応、トラブル発⽣時の連絡）を適切に⾏っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相⼿先に判断していた保育⼠や幼稚園、認定こども園、児童発達⽀援事業所等との間で情報共有と⼀貫性確保に努めている。	100%	0%	参加する児童発達⽀援事業との情報共有を積極的に⾏なっております。
	30	学校を卒業し、⾃⽴⽀援等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移⾏する場合、それまでの⽀援内容や情報を⼗分に活⽤する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達⽀援センターの⾃⽴⽀援協議会、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	67%	33%	問題が⽣じた際には障害児相談⽀援を⾏います。研修の講座が多くは参加者に参加させていただきます。
	32	自⽴⽀援⽇常クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	33%	67%	放⽇課後との合同レクなど、もっと多った⽀援がよいと思う。
	33	「⾃⽴⽀援」協議会等へ積極的に参加している。	33%	67%	機会が⽣じれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの⽰⽣を⾒逃さず、こどもの⾏動の変化や課題について⼗分理解を⽰っている。	67%	33%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電⼦連絡を頻繁させていただく等して⼗分理解の⽰できるように努めております。
	35	家族の⽀援⽅の向上を図る観点から、家族に対して家族⽀援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を⾏っている。	67%	33%	こちらでの⽀援⽅法提供を「⽰すの様な」として⽰す⽅法提供し、ご家庭での⽀援にご活⽤いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、⽀援プログラム、利⽤者負担等について丁寧な説明を⾏っている。	67%	33%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自⽴⽀援⽇常アイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「⾃⽴⽀援⽇常アイサービス計画」を⽰し、なぜ⽀援内容の説明を⾏い、保護者から⾃⽴⽀援⽇常アイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの⽇々寄せる悩み等に対する相談に適切に応じ、⽀援の必要な助⾔と⽀援を⾏っているか。	67%	33%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を⽀援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同⼠や⽀援する機会を設けるなどの⽀援をしているか。また、きょうだい児に⼗分な配慮をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども⼀⼈⼀⼈の⽀援⽬⽅の⽅針について、⽇頃の様⼦を整理するとともに、こども⼀⼈保護者と同様に、⽅針や⽬⽅した場合の⾒直しを⾏っている。	100%	0%	事業開⽰の⽅針管理⽅を設定するよう⽰に、各事業所にご相談して⾏い⽅針は、新⽰受付窓⼝にて相談できるように努めており、⽂書を頂いた際には⽇程までに対応しております。
	42	定期的に通信等を発⾏するとともに、HPやSNS等を活⽤するとともより、活動様⼦や⾏事予定、連絡事制等の情報をこども⼀⼈保護者に対して⾏っている。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎⽇ブログを作成し、活動の様⼦をご確認いただける取り組みを⾏なっております。
	43	個人情報の取り扱いを⾏っているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に⼒を⼊れております。
	44	障害のあるこども⼀⼈保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の⾏事に地域住⺠を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	事業所の⾏事に地域住⺠の参加することは難しいので、これから地域の方を参加できる取り⽅ができるか⼯夫いと思う。
非常時等の対応	46	事故防⽌マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発⽣を想定した訓練を実施しているか。	33%	67%	訓練は⾏っていないが、事故防止マニュアルは定期的に⾒て、確認している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発⽣と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を⾏っているか。	67%	33%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護⼠予防接種、てんかん発作⽌のどこもの⽂⽒を確認しているか。	100%	0%	お子さまその⽂⽒については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指⽰書に基づく対応が⾏われているか。	100%	0%	⼀覧表を作成し職員が⼀⽬で分かるような⼯夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が⼗分された中で⽀援が⾏われているか。	100%	0%	定期的に⾏ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、事故等との遭遇が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、職員間へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて掲⽰物を⾏ってあります。
	52	ヒヤリハットや事故報告書を作成し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記⼊をし、事業所でヒヤリハットを⾒直⽅法としております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な全体研修を⾏ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今⽒を得ず身体的拘束を⾏うかについて、組織的に決定し、こども⼀⼈保護者に事前に⼗分に説明し了解を得た上で、⾃⽴⽀援アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・⾮代替性・⼀時性を満たしている場合とし、身体拘束を⾏った場合は⽴⽀援会⾏っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド009桜通り店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	手狭に感じている部屋がありますが、特色が強い児童と分けて支援ができる。改善は、学習机の数が多く確認がしづらい、個別ができない、児童の声やクレームがあるので、防音設備があるとよい。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	88%	13%	職員が出来るステップがいると思い。 休日の派遣人員不足がある、個別設置している スタッフがいます。派遣人員を増やすか臨時時間を有効に使かめる仕組みが必要だと思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	75%	25%	余りだせていると言われますが、トイレは段差あり、車椅子が完全に無ないのでスロープの様子がわかりづらい。 今の状態で良いと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団や活動に合わせた空間となっている。	88%	13%	プロップが多い、アロニールを置いたり、定形室外機を置いたりして感染症予防もしていたい。置いてあるものを自ずと児童がいる為、環境を整えられない現状。 おもちゃ収納、定期的されている。 安間的に清掃が行われており、子どもたちが過ごしやすい環境づくりができていると思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	各パーテの前提サイの違こある程度お話しるので、そこはサポに活用出来る。 別の部屋もありもと整えた。 子どもの状況にあって、気分悪くて休ひる場所を利用できるよう配慮していると思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議も開催して頂いたり行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	アンケート結果や、面接やコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、特定、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	88%	13%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内における研修の確保が適切に行われている。	100%	0%	今のままで良いと思う
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	頑張ってやってると思う
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	皆、楽しく良い雰囲気でやっている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	そのまま下良い 個人アイドルに興味があるものの担当いスタッフがいたため、新しいセニクリングで合理書ができたら適切のデータで活用する事の必要だと思う
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平最に辺りた適応行動の参考として活用してあります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもの主組に必要な項目が選択と設定され、そのこと、具体的な支援内容の提供を行っている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまな中で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	レクレーション案もみんなで出し合って工夫している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	みんなでレクレーション案を出し合っている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	他のスタッフに心たがってやっている
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	子ちんと話し合いができている。 打ち合わせはしていないが、予定は送迎前に記載し、職員間で声をかけ合っている
	21	支援終了後には、複数関で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	63%	38%	打ち合わせはしていないが、職員間で声をかけ合っている
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	88%	13%	トラブルは都度グループLINEで共有している
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまさの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドライン の「５つの基本活動」を踏まえ活動内容を工夫して支援を行っている。	88%	13%	五体活な活動が少ない、発達段階が様々な児童を安全に携をとるので、できる事が多い児童も当園できると工夫が必要だと思う
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	予防自身の特性を理解してやっている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやまさの状況をより理解している機員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	問題いかないように、やっている。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	75%	25%	引継ぎができている。 グローバル内の管理所有ができている。但事業所少ない印象い
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	75%	25%	やっていると思う 利用児童事業所や新体へ情報共有している
	31	地域の児童発達支援センターの due機能を活かし、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	63%	38%	問題が当った際には障害交換を行います。研修の機会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	13%	88%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を捉え合い、こどもの最善の支援や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	1日の各々た事を連絡や際に伝えている。
	35	家族の75%以上の参加を割当合う、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	63%	38%	こちらでの75%方法提案を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこども や、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	63%	38%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者と周知し、合意や決った場合には必要な一連の対応行っている。	100%	0%	管理者の方しっかりやってくれてます。
	42	定期的に通信等を発行するこども や、HP やSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	63%	38%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	きちんと管理されてると思う
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連絡や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	手洗い消毒徹底など注意してやっている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	レクレーションでも避難訓練ゲームを実施する
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	皆に伝達されている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	おやつの際にも書かれた紙が貼付されている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	88%	13%	必要に応じて個々作っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた取組について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、放事業所や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	感染防止委員会を設置するとともに、定期的な安全研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今も多様な体制を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述的・自代管理・一時預を満たしている場合とし、保持再生のと比記述を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド010異質西店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	資格や経験のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	トイレの便記等を貼にしてもらえるなど、子どもの立場を向けてことが多くなると思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	掃除、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが困められる環境になっている。	67%	33%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組入内容や訪問を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿じた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容が踏まえられており、こどもの多様に必要な項目が網羅と設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえなやなど、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で会行立合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることが多い為、常勤職員等々よに複数共有と変えよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に常勤職員等々よに複数共有と変えよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は仕々のケア記録を毎年に示の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を偏在配おらせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当院や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する者としている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を目的、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が当ち上際には障害交換を行います。研修の講会が多れば参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	67%	33%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただくに等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等への参加できる時間の場合や情報提供等を行っている。	100%	0%	こちらでの日当方法提を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や難しい場合には代替や提案を行っている。	100%	0%	事業案等の合理的な配慮を決定するよう声に、合理案例にの相談してやいた合は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、丸や を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内容等、再発防止に向けた取組について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事例でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド011小山駅東店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	80%	20%	パソコン室と個別対応する部屋の区切りが狭い 距離がソールタウンを行うスペースが必要
	2	利用児童やこどもが他児に対して、挨拶の変更物は適切である。	80%	20%	お箸作業と成長の機微が無理のない配置になっている点
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	80%	20%	絵やイラストでの視覚情報の記載
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	活動の前後で部屋を行い、清掃も毎日行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や刺激を調整することが図られる環境になっている。	60%	40%	距離が１人となれるスペースの必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	60%	40%	朝礼、退礼、個別の課題ごと見う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面談やコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	職員の意見聴取と差がある 問題発生した時点で聴取、管理者に話をし、即時に改善につなげている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	20%	80%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相談による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	80%	20%	シミュレーションカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさまの様子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	80%	20%	職員同士少しは共有しているが全てではないため分からないことも多い
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	毎朝共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半劇に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等アイサービスガイドライン の「放課後等アイサービスの提供すべき本質」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容が盛り込まれたなか、こどもの本質に必要な項目が選択と設定され、そのこと、具体的な支援内容が明示されている。	80%	20%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	80%	20%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わりクセや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関 係者 間で会 計 行 合 せを行い、その 日 行 われる支援の内容や 役 割 分 担 等 について確認し、チームで連携して支援を行っている。	40%	60%	全て連携はしていない。
	21	支援終了後には、複数関 係者 間で会 計 を行い、その 日 行 われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	60%	40%	運動時間も同様に関与することが多い為、同様に学校職員等々とも情報共有出来るよう、記録やご連絡などコミュニケーション等で関連に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	80%	20%	客観的に分析できるようご家族と意見を交わて記入するよう努めております。また、モニタリングや個々計画の作成等については、モニタリングの期日に合わせて記入するように努めております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまさまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドライン の「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	80%	20%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	80%	20%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやまさまの状況をよく理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	60%	40%	参加する児童発達支援事業と小学校両方を情報交換に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	60%	40%	問題が当た際には障害交換を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	40%	60%	機会があればぜひしていきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	40%	60%	今のところ予定はないが、自立支援が必要な児童がいた場合には参加する
	34	日常からこどもの非言語表現を読み取り、こどもの意思の表示や理解について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付加 力 の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っている。	100%	0%	こちらでの付加方法法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士や交流する機会を設ける等の支援をしている。	20%	80%	きょうだい同士の関与の際について、同時の利用にするとこで、安心感を持ちてる場合と、別々の日に利用するとこで、自立心を育てたり、環境によって支援を行っている。
	41	こども や保護者からの意 向 について、対応の経 緯 を整 理 するとともに、こども や保護者に 周 知 し、合理や 難 点 等 がある場合には、 改 善 策 を講じた上で適切に対応している。	100%	0%	事業開年の合理者日を設定するよう声に、合理事例にて相談してやいた際は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこ と や、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動様 子 や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り 扱 いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適 切 な情報や助言のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	20%	80%	地域に開かれた事業はけっている。地域の方を招いたことはまだない。
非常時等の対応	46	緊急計 画 マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開催に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支援を確認している。	80%	20%	お子さまの状況について必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか 。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析を し、再発防止に向けた方策について検討を 行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今 日 も帰ず保 護 者 会 参 加 等 を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	80%	20%	記述例・当代管理 ・一時性を満たしている場合とし、保持用支援センターと協力し合法的行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド012若松原店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	75%	25%	市街も近接する場所、水場が必要 教室設備の充実 スペースを含めて区切っていない点
	2	利用者間やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	75%	25%	新園の人が増いわけではないが、すぐに集力になる方ならよいが、なかなか難しい市で、まちんとした職員をいれた方が良いと思う 人数不足のために集中の必要に欠いています。 利用者に対して、あおまり余裕を持たせておくと良いのではないか？
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	75%	25%	スペースが広くて良い印象。落ち着く場所が良い。 必要な切りプラットも定期になっている。 アプローチ等の、学習室内を増しくするなどの物理機能を持てほしい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間になっている。	88%	13%	利用定数により、異なる。 新園間での工夫、場合が連絡
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調整することが図られる環境になっている。	88%	13%	個別の確認が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	63%	38%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	63%	38%	子供の様子や改善のを話し合う機会が少ないように思うため、改善が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	50%	50%	外部評価を、行っているの把握していないため、確認などもの要
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほかと、研修組織の把握による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	88%	13%	レクレーションカレンダー作成の活用、スタッフで事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助アイザービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムードさポカ等々をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	自立援助アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	13%	様子ままの観察の利益を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	88%	13%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	88%	13%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助アイザービス計画には、自立援助アイザービスガイドライン の「計画相当アイザービスの提供すべき水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されているか。	88%	13%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまな中で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイザービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	活動開間が異なることが多い為、常勤職員等中心に複数共有と変える、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、複数関 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	63%	38%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に常勤職員等中心に情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は計々のケア記録を毎々に日の出勤を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、自立援助アイザービスは他の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おやすまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	自立援助アイザービスガイドライン の「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	88%	13%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	13%	おやすまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子ぶに判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助アイザービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	問題が当た際には障害支援を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）関係自等へ積極的に参加しているか。	38%	63%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言を体得者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	88%	13%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を勧めおり、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や情報提供等を行っているか。	63%	38%	こちらでの行なう方法等を「本日の様子」として日々発信致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助アイザービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助アイザービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助アイザービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	90%	90%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの公表等の適切に対応しているか。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策等訓練を行っているか。	75%	25%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	幼子ままの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく具体内容について、関係等へ通知しているか 。	88%	13%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故原因や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も多く保育所等行かについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助アイザービス計画に記載しているか。	88%	13%	記述例・当代管理 ―一時性を満たしている場合と、保持性等を行った場合は記述例を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド013異河東店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	物理物権が出来ている
	2	利用児童やこどもが活用日に対して、職員の変置数は適切である。	100%	0%	対応人数が守られている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しあいを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を活用することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	83%	17%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月次、半期、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムネさまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様々さまざまの観察の利益を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を作成し、その目的や内容、役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等やムに複数共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、個別支援計画の目的を行い、その目的われた支援の振り返りを行い、見かいた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に振り返ることが多い為、同様に常勤職員等やムに複数共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個々計画やの子ども記録を参考に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を偏在無いよう全体で支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	83%	17%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を円滑する等、	83%	17%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	83%	17%	問題が多い方際には障害支援を行います。研修の講会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	83%	17%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付加工の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	100%	0%	こちらでの付加方法提供を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を分しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児と で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や求った場合には、その理由を説明を行っている。	100%	0%	事業開始の合理者打ち設定するメ月に、合理事例にの相談してやい内容は、前月受付間ごとで相談できるように努めており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの支況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	対象児童のアレルギーをお園子様に知っておく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた取組について検討を行っているか。	100%	0%	対象事例が発生した場合は部ラインにて共有
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・自代管理 ・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド014西原店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	利用定員の人数の登録をしっかりもつ
	2	利用児童やこどもが活用日ごとに、職員の変更等は適切である。	100%	0%	利用定員の人数の登録をしっかりもつ
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造上わかり易間になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切なされている。	100%	0%	生内においてトイレを含め特性をなくしている。出入口にはスロープを完備している。 生内空間の整備・整備とながけている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	生活空間の整備・整備とながけている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	個別に使用できる環境を意識している 感覚支援において、ヘッド類、大型積木等いやがっている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	スタッフミーティング時に話し合っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	当社の保護者コメント欄もしっかり見ている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	生内における会議は二種類設けている。 スタッフミーティング時に問題・改善
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	88%	13%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で話題を開催する機会が確保されている。	100%	0%	毎月の研修をしっかり行っている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイザービス計画を作成しているか。	88%	13%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やムリさまの様子をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主組に関わる職員が内容説明会で、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	各子さまの最善の方法を考慮し検討の上、参与職員を含む全ての職員に内容説明ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	スモールステップ表を活用スケジュールを組み込んだ。個別支援計画書の内容を月に１ぞさる作成いた結果にある。 個人のアイルドレベルでもれることができるように管理されている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	独自のスケールを開発中にもある。
	16	児童発達アイザービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの本質に必要な項目が選択と設定され、そのこと、具体的な支援内容が明示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職種スタッフ仕の会議も設けている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	個の重点活動は無し（設定である。 パソコンの都合のため、製造会議の文書がないの、子どもの状況に合わせて個別支援は行われている。
	20	支援開始前には複数関で会打合せを行い、その日の子どもの支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	職員全員の出勤時間がそろわないため、打ち合わせができていることもあるが、必要なことは就業で共有できるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の適切な振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	75%	25%	職員の帰る時間が異なるため打ち合いことあるが、就業で共有できるようになっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	支援のリアルタイムにおいて業務メモ（専用用紙）を用いている
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイザービスは他の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	各子さまの状況や必要性に応じて適切な指導し生行っております。
	24	児童発達アイザービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解都内合わせて支援を行っているか。	88%	13%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするを育てるための支援を行っているか。	100%	0%	第一part うくんでいるが、なかなか難しいです。段階や組織が必要と感じています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	各子さまの状況をより理解している機員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と発達標に努めているか。	75%	25%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	88%	13%	課のみる相談である。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	個会的にはレアではある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	25%	75%	個体の課題の一つである 現状、活動の調整になってる。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	63%	38%	こちらも個体の課題の一つである。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	88%	13%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイザービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し丸ながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	課のみる相談である。また療育的見地から下はである。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	グループ全体で行なうケースがある。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの点検等つ適切に対応しているか。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように整えており、女声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	必要でというよりかグループ全体ではその様子にある。 安易にこんな事をすべきでない、地域性も考えて、こんな協同も実施すべきでない、協同の不適切、協同継続する設置が必要です。
非常時等の対応	46	緊急計はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の会要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	各子さまの状況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか 。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外発し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを確認目的としております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も有ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイザービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド015宮の内店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	スケジュールを把握してその日ごとの事を機能にしている点や良い パソコン室、工作室、ホールと利用者のペースで利用している点
	2	利用者間やこどもが危惧等において、職員の変置転は適切であるか。	67%	33%	外部へもアサービスを活用している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され、見通しなっているか。また、事業所の設備等は、障害や特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	小学生の着替えを他の子と間違えにならないよう工夫出来ている また掲示物を分けている利用者はテープ化にと工夫している点
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども集団に合わせた空間になっているか。	89%	11%	整頓をオヤンと行っている テーブルを利用後、子ども達がアルコールで拭いている点 個別ができてきる部分あるとよい
	5	必要に応じて、こどもが個別の環境や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	緊急に落ち着ける必要な子供に場所を提供出来ている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	78%	22%	スケジュール帳等を利用していたたコメントを記入している点 しっかりしたスーティングがみるとよい できるだけ参加できるようにしたり議事録などで共有しろうするとよいと思います
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	グループ内会にてスタッフ間共有している点
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	スタッフ会議が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	56%	44%	外部へもアサービスの力、研習生の力の意見を聞いている点
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全社研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	遊びに支援プログラムが作成、公表されているか。	89%	11%	予約時に合わせてプリントなどをやっている 記念のスーティングなどで共有できるとよい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立課題等アイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムラさまの様子をお聞い、計画を作成出来るように努めております。
	13	自立課題等アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	89%	11%	様子ささまの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立課等アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	67%	33%	アセスメントツールを平均に近りた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立課等アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ支援内容の明記されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	78%	22%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	ラインがあいてすが対応でも考えるとよいと思います
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	78%	22%	ラインがあいてすが対応でも考えるとよいと思います
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	78%	22%	ラインがあいてすが対応でも考えるとよいと思います
	23	活動内にモニタリングを行い、自課等アイサービス計画の妥当性の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすささまの状況や必要性に応じて適切な期間も当たっております。
	24	自課等アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	78%	22%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おすささまの状況をより理解している機関が新加盟先を含めて参加しております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	56%	44%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	89%	11%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	33%	67%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自課等やデイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相当する等、っているか。	44%	56%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	33%	67%	問題が当ち上際には障害支援を行います。研修の募金が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自課等児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	22%	78%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生体調者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強てまように努めております。
	35	家族の付ひろの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	56%	44%	こちらでの付ひろ方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	89%	11%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自課等やデイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22%	78%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの公表を行っているか。	78%	22%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にの相談しつかい方法は、紙の受付型ではで相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	78%	22%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	22%	78%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	89%	11%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	78%	22%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析も、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を疾ぎ身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自課等アイサービス計画に記載しているか。	89%	11%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド016新小山駅東店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0%	100%	なるべく児童が遊べるスペースは確保しているが、事業所自体が狭すぎる。個別療育の部屋はない。 (工夫)個別の学習机があり、落ち着いて学習できる。(改善)室内が狭く、落ち着かない児童等のパーソナルスペース(小部屋)が確保されていない 学習時間は30分程度で、それ以外は基本的にフロアでの活動になります。そのため、利用児童が15名程度になると、どうしてもフロアが手狭になり、児童同士の距離も近くなってしまいます。活動内容によっては、ぶつかったりトラブルにつながったりするなど、安全面で不安を感じることがあります。 座席や物品の配置を変えたり、活動内容を工夫したりしながら対応していますが、現在のスペースでは、利用人数が多い時に十分な活動スペースを確保することが難しいと感じています。安全に、また一人ひとりが落ち着いて活動できる環境を考えると、利用人数についてはスペースとのバランスを考えていく必要があると思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	有資格者の数が足りず、加算に影響が出やすい。高齢の方が多く、対応が難しい児童に対しては、対応するスタッフが限られてしまう。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0%	100%	特性に応じた設備は全く整っていない。『療育』をする環境とは思えないほどである。 バリアフリーの観点からトイレ、手洗い場が整備されていない 物品の配置や活動場所を工夫事業所内はバリアフリー化されておらず、段差等への配慮が必要です。また、子どもによってはフロアの老化による軋む音で、落ち着いて過ごしにくい場合もあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	清潔ではあるが、事業所の設備が不十分かつスペースもかなり限られる為、活動内容も限定されやすい。 児童同士のトラブルを回避するべく、スペースを広くして欲しい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0%	100%	個別の部屋や静養室がないため、個別対応が必要な場合は、車内や隣のパークを使用して対応しています。ただし、車内やパークでは十分な環境とは言えず、子どもが落ち着いて過ごせる個別のスペースを確保することが難しい状況です。子どもの状態に応じて安心して過ごせるよう、個別対応や静養に使用できるスペースの確保が必要だと感じています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	常勤は参画できているが、非常勤への落とし込みは出来ていない。人員不足の影響も大きい。 毎日のミーティングで確認 朝礼等で前日の子どもの様子や対応について職員間で共有し、気になったことや今後の対応について意見を出し合っています。日々の情報共有を通して、職員全体で振り返りや改善につなげるよう取り組んでいます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	モニタリングだけでなく、日々の送迎の際に細かく児童の状態確認や保護者の意思確認は行われている。当事業所では、保護者児童間の意思の擦り合わせが出来てないことが多く、事業所としてはそこまで踏み込むことはできていない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	常勤は職員会議の場を設けて意見交換をする機会があるのに対し、非常勤に対してはその機会がほとんどない。事業所全体として意見を拾い上げることは出来ていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	会社で行われている動画での研修はあるが、現場で実際に役に立つような内容はほとんどない。研修自体は教科書を読めば分かるレベルで、新しい知見や発見をしたことがない。現場で必要な情報の吸い上げが本部で出来ていないと思われる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	67%	33%	個別療育は事業者の設備など環境的な要因で児童個人個人に適切な療育はなされていない。集団療育として出来ることをなんとかやっている状況。設備も人員も圧倒的に足りていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリングにて細かいアセスメントは出来ているが、個別支援計画書や専門的支援計画・評価に沿った児童一人一人にとって適切な介入は出来ていない。あくまでも、事業所全体での集団活動に限られてしまう。 個々の子どもの様子や特性、日々の支援での変化などを確認し、本人や保護者のニーズを踏まえて放課後等デイサービス計画を作成しています。朝礼等で職員間でも情報共有や意見交換を行い、日々の様子を計画や支援内容に反映するようにしています。 今後も、職員間での情報共有を大切にしながら、より客観的なアセスメントにつなげていきたいと思います。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	個別支援計画書を作成する前に、半年間でどの程度成長したのかを職員間で評価して擦り合わせをしている。しかし、擦り合わせは常勤に限られ、非常勤からは意見の吸上げができていない。 その都度気になる際には、職員に声かけをおこな和、状況を確認して、今後の対応を考えるようにしています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	67%	33%	集団療育はできているが個別療育は全くできていない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%	HUGにその日の状況を細かく記録してはいるが、評価として残されているという感覚はない。評価のためのツールは使っていないし、そもそもない。 HUGの職員共有欄を活用し、その日の子どもの気になる行動や問題行動だけでなく、できたことや良かった出来事についても、職員が日々記録するようにしています。日々の行動や変化を職員間で共有し、継続的に子どもの様子を確認できるよう取り組んでいます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	67%	33%	設定は適切にされている。が、実行はできていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	プログラム立案から実行まで行えるスタッフは限られる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	67%	33%	毎日同じ行動にならないように、やること自体は変えているが、レパートリーが少なく新しい刺激が足りていない。やりたい事をやりたくても設備や事業所の狭さの影響で満足にプログラムを遂行することはできない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	67%	33%	計画としては出来ているが、人員配置と事業所の設備環境のせいで、個別療育は全く出来ていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝のミーティングにて、1日の流れを確認。さらにどのスタッフがどの児童を対応するかまで情報のすり合わせができている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	次の日の朝のミーティングにて、前日の反省や職員間での意見交換の場を設けている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	67%	33%	HUGに記録は残しているが、支援の検証には利用していない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	目標設定については自動に合わせたレベルに合わせている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	児童一人一人に対しての療育としては人員不足や環境の影響で満足に出来ていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	児童間で話し合いの場を設けて自己決定をさせている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	33%	67%	チーム全体として情報共有をする場面がない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校によっては情報交換が十分に出来ていないことが多い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	33%	67%	やっているのを見たことや聞いたこともない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	33%	67%	経験していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	グローバルの他店舗とは機会を設けることもあるが、他事業所との交流は皆無。 現時点では、放課後児童クラブや児童館等との継続的な交流はできていません。今後は地域とのつながりを大切にし、自治会のイベントなど、地域の子どもたちと一緒に活動できる機会を設け、参加につなげていきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者児童間での意見交換が十分にされていないケースがほとんど。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	保護者自身に特性があることが多く、ペアレントトレーニングの重要性を理解してもらえていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	児童と保護者の意見が食い違っていることが多い。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	保護者と児童のコミュニケーションを増やすように働きかけをしているが、実際には増えていない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	電話やモニタリング、必要であれば時間を取り保護者とお話をしている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情に対しては迅速かつ適切な対応が取れている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	HUGのみ。新規の集客に向けたSNSやHPの活動は出来ていない。 自店舗からの発信はなくなった。若い保護者への宣伝としては、インスタなどの新しいSNSでの発信が必要だと思う
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	事業所内で保護者に対する情報の共有を行なっている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	グローバルが主体となった地域の交流会は行われていない。おそらく営業もかけていないだろう。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	常勤だけでなく、非常勤にも訓練させる必要があるが、その時間は作れていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に訓練している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド017中戸祭店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	創造の変更 利用定員が定まっていないようにご予定を組んでいる。 常勤の女性スタッフが少ない。中学生による土日のみの勤務なので内容的スタッフは対応困難です。配置人数を増員願いします。スタッフも配置するお仕事の活動が増えてきたので、ご予定外の勤務にもかかわらずいつもお休みされない。家庭生活時など無理なお願いをしてくださる方がいらっしゃるからこそ、安心して利用できていることに感謝しております。ただ、スタッフ配置が増加しつつあり、定員の見直しなどについて検討する必要があるように思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、場所の変更検討は適切であるか。	88%	13%	安心と信頼時間 人数調整を常に意識した配置をしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	個別的にわかりやすくて良。 リラクロアで段差もなく、スペース的広々としている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども集団の活動に合わせた空間になっているか。	100%	0%	清掃整理整頓の徹底 個別を常に頭る様心掛けている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動を調整することが図られる環境になっているか。	100%	0%	スタッフが好むと入室できない 個別集中学習室がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	月例会議 スタッフ会議で振り返りを行っている。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	毎月スタッフ会議を行い、各スタッフの意見やまとめを行い、課題となるお客様様や業務改善につなげている 月例会議 スタッフ会議で職員の意見を聞いている。 今月に話ていた事業計画や事業所を新たに入れる必要があるのでは！
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で話題を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	オミか型プZoomでの研修がある 事業所で研修の場合が設けられている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	トラクレンダーや面接にとは活用している 会議回数を行ほど周知している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	子様に合わせた個別支援計画書である スケア表でより良い合わせ内容を行なっている。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が作成時点で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	サービス担当者会議を行っている 計画作成に先もクラスケア会議での意見を参考にしている。
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画書を作成した後に保護者様のニーズも視覚している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	毎日の記録により確認している。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドライン（「就労支援プイサービスの提供マイヤル支援」の「本人支援」「関係支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主組に必要な項目が選択と設定され、そのこと、具体的な支援内容が明示されているか。	88%	13%	適切な物ともるよう温も良い合いをして決定している。
	17	活動プログラムの立案をチーム で行っているか。	100%	0%	活動目標各を事前に作成し、自額スタッフで会立している 計画書の作成 外部講師とは月ほどんな形にやっていたのかを聞き、立案し活動点がまみは意識していもっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	マンネリ化を防ぐため、以り新しい活動や活動内容を考えている。なたようなしの内容でも支援を変えるなどして積極的な姿勢をつけている。 個別とは違う視点をさまようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果プイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	特性に合った支援を行っている。
	20	支援開始前には複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	必ず朝礼あり、その日の動きや支援内容を共有している 1週間前には計画を実況し、当日再確認している。
	21	支援終了後には、複数関 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	良かった点や改善点を振りている 月間職員ケンの振返りとで問題点もっている。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	変化が見る際は記録を残している 抜けているところがないかダブルチェックをしている。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の妥当性の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	個別毛守りモニタリングをしている。
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	学校者や児童相談支援事業所の参加をしている。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	主治医先との情報を共有している。 担当生活者は把握してません
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	ご家のご連絡を取り合っている。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	88%	13%	学校の連絡が有れば、共有している。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等、	88%	13%	相談支援事業所を経由、月頃を共有している 相談支援事業所と連携している。
	31	地域の児童発達支援センターの due to 訪問、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	63%	38%	問題が多い為ご家には障害支援を行います。研修の場合が良ければ参加的にお伝えさせていただきます。
	32	自立援助児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言語表現を読み取り、こどもの意思の決定や理解について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々成長や変化が多る場合はすぐに共有している 会話時や毎日の交換や連絡を共有し、共通理解に努めている。
	35	家族の75％以上の参加ゆとう、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等への参加できる時間の場合や情報提供等を行っているか。	75%	25%	家族支援を行い、時間共有している
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に丁寧に行っている。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングなどの機会を設けている。
	38	「自立援助プイサービス計画」をわしなりな支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	自額に必ずサインをいただいている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者から相談事が有る場合、都度面会をしている モニタリングなどで行っている。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や良い場合には改善や適切に対応しているか。	100%	0%	苦情があれば都度その内容、上司に伝えて指示を仰ぐようにしている。
	42	定期的に通信等を発行するこよう や HP やSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して周知しているか。	88%	13%	レクリエーションカレンダーを保護者に送っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	スタッフ会議の時などに認識するように努力する。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	下部な対応も心がけている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的な訓練で行い、訓練実施結果も表げている 新たに追い周知している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の必要な訓練を行っているか。	100%	0%	訓練訓練等実施している 新たに追い周知している。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	ご家のご状態を聞き行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	おやつ提供時は配慮している アレルギー対応表を作成している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ周知しているか。	88%	13%	必要に応じて掲示作っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	都度報告書に残してある スタッフ会議で事例を共有している。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止研修がある 毎日チェックしている。
	54	どのような場合に今にも保才保険者関与行かないで、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に反映しているか。	100%	0%	記述時・治代管理 →特性を深化していく場合とし、保持性重視のため慎重に対応しております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド18今泉新町店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に対応している。	100%	0%	少し狭いと思うが、現状子ども達が使うには問題ないだろうと判断されており、無駄なく空間を利用している点は良いと思います
	2	利用児童やこどもの状態等に応じて、職員の配置数は適切である。	100%	0%	資格や経験のある職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいつまでも話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やスケジュール方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月次、半期、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	89%	11%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修の以外に、研修範囲の相談による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やムナさまの様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、幹事数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域連携」のねらい及び方法内容が踏まえられており、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やスケジュール方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間相互による観点等で必ず行なを行い、その日行われる支援の内容や活動分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることが多い為、幹事職員等やムに情報共有と変化よう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打なを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	78%	22%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に幹事職員等やムに情報共有と変化よう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は計々のケア記録を毎月に次の目標等を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協は、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申請管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	89%	11%	問題が当ち上際には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	67%	33%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	78%	22%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非支生保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強てるように努めております。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	100%	0%	こちらでの日当方法等を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家族での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を分しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で充実する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	78%	22%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理が多い場合には代替方へ提供に対応している。	100%	0%	事業開年の合理的配慮を決定するタイ声に、合理事例にの相談しづらい内容は、新央受付窓口にて相談できるように整えており、女声を張り上げにお応じ対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HP やSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	78%	22%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支え確認している。	100%	0%	お子さまその支えについて従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述例・当代管理 ―一時性を満たしている場合とし、身体性束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド019新開々田店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適切である。	88%	13%	運動することは子どもたちの成長に欠かせないものだが、人数に対してもう少しはいスペースが必要だと思う。
	2	利用者同士どもの分け担当に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	子どもの特性に応じて、職員間で連携し、協力しながら支援している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	75%	25%	トイレはバリアフリー化されているが、入り口にスロープなどはなく、フロアも緩やかが狭い場所がある。 玄関の階段にスロープが欲しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	運動活動ルームの時は、テーブルをたたせたり、 置いている時間を短い様に清潔にするように工夫している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	75%	25%	時間帯によって個別に設置が難しい。 基本的にリラックスのみですが、空室が複数を起こしてしまった場合には事務所や、ワークスペースなど共用の部屋へ誘導したりしています。 不定期なスペースや時間帯によっては使用できない場合がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	75%	25%	定期時間に差が多くあるため、その時にいる職員同士で行うことが多い。 日々の支援について振り返りや反省点を共有は行われていますが、さらに参画できる機会が充実するとよいと感じる。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	63%	38%	アンケート結果や、面談やコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	職員間で話し合い、またはLINEやワークスを用いた意見交換をよくしている。 非常勤も一緒に打ち合わせに参加している事。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	各部署研修を受けている オンラインでの研修が毎月行われている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	こどもの発達に合わせたプログラムを作成している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさまの様子をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主担に関わる職員が作成段階から参画した体制が行われている。	88%	13%	日々の主担を通してこどもの様子や変化について職員間で共有する機会があり、計画の作成にあたり共通理解を図りながら検討する機会はさらに充実するとよいと感じる。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員間読みが足りられるようになっていますが、作成が完了したことは共有されることがないため、自発的な確認が必要。把握している職員からの定期に関する共有があり、半年かれる等を取っている。 計画の内容や職務数で日常と日々の支援に活かしていくための機会が、今後さらに充実するとよいと感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	日々の記録をとっているため、確認はできていると思う。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	活動プログラムを職員入て担当するようにしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	同じ内容が飽きないように、職種の視点を変えながら計画している。 自由遊具をパプリオをることでバリエーションが広がるようにしている。 プログラムの型にの活動に、行けになるないようエえしている。
関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、保育所等と連携した支援や、他の児童発達支援事業所や医療機関との協議の場を設けている。	100%	0%	基本的に集団療育を行っており、個別療育は行っていないため難しいが、場合によっては施設での支援も行っている。
	20	支援開始前には個別支援計画を作成し、その内容について児童や保護者に対して説明し、文書による交付について同意を得ている。	75%	25%	面談時間がバラバラなこともあり、必ず行えているわけではないが、できる時にはかしの時間でも行うべきだと思う。 定期時間に差があるため、その場にいる職員同士で検討を行い、いない職員に関しては上司やワークスで情報を確認するようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず行なを行い、その行われた支援の内容や成果が適切であったかを検証している。	50%	50%	業務時間にバラツキがあるため、同職職員と情報共有を行い、その情報職員が他の職員と情報共有を行う形をとっている。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	情報的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケアに関する考えに立ての目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすまその状況や必要性に応じて適切な期間し生行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	88%	13%	毎経定法とやどもの主体的に参画できる活動は、あまり実施できていないと思う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	多数が多くいる時には職員が選択肢を提示して自己選択できるように努めている。 活動プログラムの段ちこどもが自己選択出来るような声掛けを心がけている。
保護者への説明等	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	担当者ができ多く参画している。
	27	相談の体制、苦情（正当性や協力依頼趣旨等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申請管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判断していた保育等や給食園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めているか。	63%	38%	新園者等や相談支援体制の方から情報提供が与くても、こちらから求めることはない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談支援事業所等へ提供している。	100%	0%	こちらから積極的に連絡を取ることはないが、学の子れば連絡するような形を取っている。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	63%	38%	問題が当った際には障害交換を行います。研修の場合が多ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	50%	50%	募集参加したことはないが、子育て支援などが積極を活用している。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	63%	38%	職会が当れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示支を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時にこどもの様子を伝えるようにしており、保護者が悩しやすいよう工夫している。
	35	家族の75%以上の参加を目ぬから、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	75%	25%	こちらから積極的に情報を提供することはクないが、学の子れば日当たりを形を取っている。
非常時等の対応	36	虐待防止、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	管理者等が説明している。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	63%	38%	必要保護者同士でトラブルが多ったり、開催は控えている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情や申し入れ等のご意見や助言に対応しているか。	100%	0%	事業案等の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ずに対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染条制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策な訓練を行っているか。	88%	13%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、職務等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、職務等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットに記録して共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今にも身が身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	知識的・身代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド020新百合ヶ丘西店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	パソコン室とプログラム室あり、パーテーションで仕切ることもできる パソコン室とプログラム室もパーテーションで仕切ることもできる 活動内容によっては、音楽する部屋を使いわけている 利用者にも配慮できるような配置ができればよい
	2	利用者間やこどもの対態等において、職員の変置転は適切である。	89%	11%	スタッフがかならずひとり配りできる 児童の特性を把握し、必要であればマンツーマン対応ができるような人数配置としている 児童の特性を理解し、時にはマンツーマン対応ができる人員配置としている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	個別型はイラストでかなりやすくしている 言うみてわかるようにイラストを用いた視覚特性はっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日アルコール消毒を欠かさず行っている 毎日アルコール消毒をしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	89%	11%	パーテーションや衝衝物がある パーテーションがある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	ハグを定例し問題を共有している。スタッフ会議や改善の会話し合っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	面談時に保護者と話す機会を設けており意向を把握し共有している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	スタッフ会議で話し合っている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で話題を開催する機会が確保されている。	100%	0%	毎月研修を行っている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	特性を把握し年度計画書を作成している。 活動や児童同士よってマイクラなど違う
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	特性を把握し支援計画書を作成している
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども担当制に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	スタッフ会議で話し合っている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	公私を問わず共有を行っている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	ハグで確認している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が網羅的に設定され、それぞれの支援内容の提供が行われている。	100%	0%	特性を把握し支援内容を決定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	スタッフ会議で話し合っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	スタッフ会議で話し合っている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	個別活動はパソコン室用いた自由活動、集団活動はレクリエーション
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	個別を分割し支援を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	公私やりズで共有。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎日ノアで記録をとっている。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の作成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	４つか基本を組み合わせて支援している 特この基本活動を組み合わせて支援している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	自己決定できるように支援している。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	スタッフ会議児童を理解している。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等様）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	連携している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校との連絡帳を大事にしている。
	29	相手別に判別していた保育や小学校間、固定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めているか。	100%	0%	新園理を大事にしている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を放区する等、	100%	0%	新園理を大事にしてる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	連携している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	44%	56%	交流したほうがいい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	78%	22%	よめんがしている人居り。 参加されているかわかりません。
	34	日常からこどもの非言生保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	新園理を大事にしている。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っているか。	89%	11%	モニタリングをしている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	丁寧に説明している。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家庭の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングを行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	説明をしっかり行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な情報と支援を行っているか。	100%	0%	モニタリングや聞いている。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	78%	22%	兄弟同士で同じ会議を利用している。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの点検や一連的に対応しているか。	100%	0%	事業開年の改善要望を設定するメ月に、各事業所にご相談してから行政は、新光受付型ロビで相談できるように置えており、丸井を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、感染条制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	78%	22%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	お子さまの体況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指定や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も身ぎ体合的拒否行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述例・自代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド021新宮の内店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	90%	10%	個別ボタイヤ型で固定が望ましくしまっている
	2	利用児童や子どもの状態等に対して、職員の変置数は適切である。	90%	10%	上、何日の人数不足にお急めが必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日の清掃は行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や刺可を調理することが認められる環境になっている。	90%	10%	物質状態になっているための設備が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	90%	10%	目標設定をしていない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	意見交換はしている状況面にはつながらない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	90%	10%	やっていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の主観に関わる職員が内容説明の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	90%	10%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ支援期間や頻度が設定されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	LINEで共有し、いろいろな場で出し合っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わりクセや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関 係者が打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動内容を事前にLINEにとばしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動時間も時間に満ちることが多い為、時間に学制機関等々ふく情報共有出来るよう、記録やご連絡ふるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	毎期的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや期はガイやクアプ記録を参考にお日様毎に工夫の記載を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の内容しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な期間しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	90%	10%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due to 役割を担う、必要等に応じてスーパーバイズの観点での研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が当た際には障害交換を行います。研修の場合が良ければ参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	80%	20%	場合が合われば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	90%	10%	場合が合われば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把 え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提示させていただく等して共通理解の強てるように努めております。
保護者への説明等	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	80%	20%	こちらでの日当方法等を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	70%	30%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業開年の合理者行を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、前月受付型にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	90%	10%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	80%	20%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内で共有し、再発防止に向けた策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治事管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を疾ぎ身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理 →一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド022宝積寺店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	17%	83%	もう少し広ければとよいと思う スペースを使って、ウォークダウンができるような運営やセミナリとの合わせ技ができれば良い 活動が思いのほか広すぎるとも感じるので、今は上限いっぱいと思われます。
	2	利用児童ごとのきめ細やかな対応に、職員の配置数は適切である。	100%	0%	教育や療育に資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され、見通しがよい環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	67%	33%	段差が多く、バリアフリーという観点では問題が多い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団の活動に合わせた空間となっている。	83%	17%	清潔は毎日行い清潔な空間を保持を謳っているが、狭いため子供たちが限度していまい清掃手伝などには追行権がない
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	50%	50%	パーテーションを利用するなどの合理な環境にしている工夫 感覚に強いが、パーテーションを使用している。 感覚に強いが、パーテーションを使用している。 事例など検証ないため個々が利用しているよろいなくなってしまう
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	評価表に限らず、電話、情報を共有して話し合うようにしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	83%	17%	その感覚図ありています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	予後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修組織の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助アイザービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やムチさポ小様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自立援助アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	おすままの最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助アイザービス計画には、自立援助アイザービスガイドライン（「放課後型アイザービスの提供ガイドライン」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明記されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等ふまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等アイザービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必ず複数関で会行立合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることが多い為、常勤職員等々々に複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に常勤職員等々々に複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は行々のケア記録を参考に日々の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助アイザービス計画の妥当性の適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすままの状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	自立援助アイザービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解し、活動プログラムを作成している。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おすままの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・日単子定等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めているか。	83%	17%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助アイザービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	83%	17%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題が多い方際には障害交換を行います。研修の講会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム（児童養護施設等）と連携し、地域の他のこどもと活動する機会が多くある。	0%	100%	活動のあり方ではないが、同じエリアの他活動との合同レクなどを行っている
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	83%	17%	機会が参加れば参加している方たちと思います。
	34	日常からこどもの非言語表現を読み取り、こどもの意思の決定や理解について共通理解を持っているか。	100%	0%	自立等の際に自子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の約5割の程上を目る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	家族参加の機会は設けられていないが、必要に応じて個々で話し合う機会は設けている
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この初会に関しては説明ご説明させていただいております。
	37	自立援助アイザービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この初会に関しては説明ご説明させていただいております。
	38	「自立援助アイザービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助アイザービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この初会に関しては説明ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適宜応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	この感じに応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	仕事をされている方ご家庭の為になのか、なかなか難しいと感じる
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの検討を行っているか。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定できるよう声に、各事業所にご相談してやいただき、新光受付窓口にて相談できるように整えており、女声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	83%	17%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	開かれているとは思わないが、問題的でもない
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	事前的には、療育スタッフの確認をしている
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析を し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するな等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も身ぎ体合拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助アイザービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は自立記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド023貝島店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切な広スペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもが活用日ごとに、職員の変更等による混乱等がみられる。	100%	0%	前担や非常勤である職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自立運動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定など新してもらえるる話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	予後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修組織の相談による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自立援助アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自立援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助アイサービス計画には、自立援助アイサービスガイドラインの「自立援助アイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主体的に参加する目標や課題を設定され、それぞれに支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ができるよう努めて、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることが多い為、常勤職員等々よに複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、複数関で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に常勤職員等々よに複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	毎期的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや期ほ仕々のケア記録を参考にお日自標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助アイサービス計画の自標しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な期間しを行っております。
	24	自立援助アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と指導統に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助アイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的切する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	100%	0%	問題が当ち上際には障害交換を行います。研修の講会が多れば参加的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホームクラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	80%	20%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）関係会等へ積極的に参加している。	100%	0%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非支生保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の日ち方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や領域参加等を行っている。	100%	0%	こちらでの日ち方法提考 「本日の様子」として日々報告致し、ご家族でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助アイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの参考にしている。	100%	0%	各事業所での改善要望を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい内容は、前月受付間ごとで相談できるように努めており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	80%	20%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問し、再発防止に向けた方策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も体ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助アイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド024豆木店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもが活動等において、職員の変更等は適切である。	100%	0%	担当や非常勤の為、職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され、活用しやすくなっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、こども自ら活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいつも話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を活用することが認められる環境になっている。	100%	0%	スペースが足りない際にはポップアップテントや敷物などで仕切ることでスペースを確保している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面談やコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	スタッフ会議以外にも意見交換の場がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事務内容の確認、指導し合う様、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際個々の福祉を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドライン の「計画自立プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅的に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまな中で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとように しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を行い、その日行われる支援の内容や目的を個別について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に再掲することが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考にお伝の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自立援助プイサービスガイドライン の「４つの基本活動」を偏在無いよう全て支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申請管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的確する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	14%	86%	問題が多い方際には障害児支援を行います。研修の機会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム（グループホーム）等と連携して、こどもの地域生活への移行に向けた支援を行っている。	0%	100%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	0%	100%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常のこどもの示す支援を実践者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	自立等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75％以上の参加を目指し、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	100%	0%	こちらでの75％方法参考「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、さょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	43%	57%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や良い方策の立案及び一連の対応行っている。	100%	0%	事業開年の合理責任を設定するよう声に、合理事例にの対応しづらい内容は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、丸弁を図り良に以応に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HP やSNS等を活用するこよにより、活動経要や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまその状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今にも保才保合的所を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	拘束・身代管理 ―一時性を満たしている場合とし、身体性を満たした場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド025緑店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	積極性を起こしてしまった児童や、音に敏感や学習などの課題に集中できないこがいるので、音が遮断されるような防音設置があれていないなと思うときはある
	2	利用者間やこどもが仲間同士おして、職員の変置数は適切であるか。	100%	0%	どんな支援が利用されるのによって人手が欲しいなと思うときはある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども自ら活動に合わせた空間になっているか。	80%	20%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいまから話し合い を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調理することが図られる環境になっているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に盛り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	60%	40%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	60%	40%	そのような機会はありませんが、必要に応じて適宜しております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内での研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	全体研修のほかに、研修範囲の相談による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事務内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助アイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさまの様子をお伺い し、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自立援助アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	様々なまの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	80%	20%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助アイサービス計画には、自立援助アイサービスガイドラインの「計画自立アイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの本人像に必要な項目が漏れなく設定され、それぞれ支援内容が明示されているか。	80%	20%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	60%	40%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助アイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に盛り入れております。
	20	支援開始前には必要書類や必ず行なを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	60%	40%	支援開始や振ねることが多い為、突発機器見年よに複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職務間で必ずお せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	支援開始も同様に振ねることが多い為、同様に突発機器等々ふく情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は仕々のアプローチ記録を参考にお日の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助アイサービス計画の達成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすさまの状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	自立援助アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	60%	40%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	おすさまの状況をより理解している機員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・日事予定等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と発達特に努めているか。	60%	40%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助アイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切する等、	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%	問題が多い方際には障害交換を行います。研修の講会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホームクラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	40%	60%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	60%	40%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	60%	40%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助ホームアイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助アイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、さょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの公表等の適切に対応しているか。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、新光受付窓口にて相談できるように努めており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	60%	40%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	幼子さまのご状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%	20%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告の分析等、再発防止に向けた取組について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指常の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	80%	20%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も身ぎ体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助アイサービス計画に記載しているか。	80%	20%	記述時・治代管理 →一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド026江曽島店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	89%	11%	毎日、レクレーションを考えて予約進行管理を行って行なえるようにしています。 事務に広い席が欲しい。 子ども2人が座るために広過ぎる(もっと狭くの意味ではなりません。 2人の利用をカウンセリングでする。 適切
	2	利用支援やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	78%	22%	そのだと思います。 支援に余裕をもつける体制が欲しい 職員の人数を増やして欲しい 適切
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造上わかり易間になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	78%	22%	そのだと思います。 常にバリアにします。 不快感や苦痛にならないような時子などの配慮。 適切
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	常に職場コート下時間としています。 エアコンなど、スタッフの時間をしている。 適切
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を活用することが認められる環境になっている。	100%	0%	学習室とパソコン部が分かれていて使いやすいと思います。 段階は、多い。 適切
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	78%	22%	レク後の反省。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	スタッフ間の話し合い。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	日々のミーティングや、時間、休日、改善に関わりあります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	56%	44%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	89%	11%	毎月研修動画を見て、学んでいます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの業務内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成している。	100%	0%	充分だと思います。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども与支援に関わる職員が内容検討の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	89%	11%	充分だと思います。
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	充分だと思います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	78%	22%	充分だと思います。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドラインの「自立援助プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が漏れなく設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果プイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	私は、非常勤なので、そこは、わかりません。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	67%	33%	業務時間も時間に限らることが多い為、時間に常勤職員等々ふく情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	67%	33%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別プログラム作成等の際に日々の記録を参考にしております。
	23	活動内容やモニタリング等行い、自立援助プイサービスは他の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまその状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を偏在無く合わせて支援を行っているか。	78%	22%	充分だと思います。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	充分だと思います。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	管理責任者が、しっかりしているので、大丈夫です。
	27	地域の保健、医療（正当院や協力医療機関等）、福祉施設、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	67%	33%	積極の活用をしています。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の手順設等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	67%	33%	参加する児童発達支援事業と小学校低共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	78%	22%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	67%	33%	問題が当ち上際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム等の児童との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	33%	67%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	33%	67%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の約5割の以上を目る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	56%	44%	こちらでの約5方法世を「本日の様子」として日々発信強信し、ご家族でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	適切契約、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス提供を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	個別随時でいいと思います。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や元児する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかに必要な場合に必要な説明と同意を行っているか。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、前向受付窓口にて相談できるように整えており、丸井を張り出には対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログラムを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	44%	56%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	89%	11%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	89%	11%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	職場に、保護や予防体制、てんかん発作型のこどもの支え確認しているか。	89%	11%	お子さまの支援について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	89%	11%	アレルギーがあるお子の利用がない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	89%	11%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	89%	11%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事業所内で共有し、再発防止に向けた取組について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入る、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治事業所や管理者とも共有する技術を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性 ―時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド027ゆいの杜店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	89%	11%	おやつを食べる所と勉強の部屋を分けていたり、子供のクールダウンの部屋があるのでいいと思う
	2	利用者同士どもの力が相互に対して、障害の変質物は適切である。	67%	33%	いつになっても機能されず残りクラスアウの人数が足りていないと思います。 パソコン室、個別スペースなど予約が取、活用することでクラスアウ問題は広く思いている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	78%	22%	配置が必要、当世分理
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達が活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいまある活しかい取り行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	100%	0%	現行分からない パソコンの活躍でのパソコン支数が苦手なおすさんには個機応答にフロアーで一緒に喜ぶなどや快作時性に合った活び方して対応している
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	78%	22%	お留者会議を毎日行っているので 子の例に伝のけりに解は話し合って設置している
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	毎日支援者会議を行っている 子供の活動の様と立ちて作り作成、地域の様子を話し、父方の意見を聞き改善するように努めている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	毎日支援者会議を行い、意見交換時間作をとっている 「子供にあった支援等をさせたい」と管理者に意見をしたとて解決法てその子のレベルに合った取り組みを行っている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で話題を開催する機会が確保されている。	89%	11%	グローバルの研修会があり 研修で学んだ事を気を付けるようにしている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	89%	11%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	89%	11%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムチさポロ等よりお聞いし、計画案作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の主組に関わる職員が内容開発の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	毎日支援者会議を行い情報共有している 毎日 支援者会議をしているのでスタッフ皆んなでの共有をしている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	支援者会議にて共有している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	89%	11%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用してあります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な内容が盛り込まれ、それぞれ支援期間の設定がされているか。	100%	0%	支援者会議以外でも父方から日々例や様子やご意望を共有し話し合っている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	外出レクでは体験学習や工場見学、製菓業見学など色々な体験をさせている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	１対１でないと活動できない おすさんには個別で支援しています
	20	支援開始前には個別支援計画が作成されているか。	89%	11%	毎日 支援者会議をしている
	21	支援終了後には、個別支援計画に沿った支援の internal 内容や成果が記録されているか。	78%	22%	運動時間も時間に限らることが多い為、時間に早制限設けや心に情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で解説に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	トイプでおすさんや様子を文化に伝えている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の内容しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすさまや状況や必要性に応じて適切な指導し生行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	パソコン字能がいいか、音ふり折のプリント字能がいいか選択できる
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	89%	11%	管理者が中心に実施している
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	テーブプランの人や他事業所の方とも話しをしている
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	89%	11%	送迎時に 幼稚園、保育園、学校の先生とその子の話しを聞いている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	78%	22%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターの due 性を活かし、必要等に応じてスーパーバイズの総言や研修を受ける場合を設けているか。	67%	33%	問題が生じた際には障害交換を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	67%	33%	年間か地域の清み関かせの先生に来てもらいパークで色々して頂きました
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%	機会が有れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生体調者に目え合い、こどもの進度の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎の時に行っている
	35	家族の75％以上の参上を図るかから、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	67%	33%	こちらでの行なう方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	管理者が行っている
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しても説明ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しても説明ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	管理者が行っている
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	44%	56%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情が申し出た場合に元気かつ適切に対応している。	100%	0%	苦情が有った時は 当社方に管理者が電話や連絡している
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	89%	11%	外出レクの活動写真を定期的に配信 「ハプペスでおい様子を伝えている」 頂いてください欠点が！ コレかいない
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	常に声をかけて様子を見ている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	56%	44%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	89%	11%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策等訓練を行っているか。	89%	11%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支え確認しているか。	100%	0%	お子さまの支応については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	89%	11%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	89%	11%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々共有し、再発防止に向けた対策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性 ―時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド028下関店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの現状で適切である。	100%	0%	職員同士で情報共有をしながら、子どもたちに合わせた支援を行っているため安心しています。今後も情報共有を大切にしていきたいです。 事務仕事ができる 利用者がリニックとなった際に働かにクールダウンが出来る場所があると良いと思います。 スタッフが可能の環境は含れ行っている。
	2	利用定員や こどもの分類等に対して、職員の配置数は適切である。	75%	25%	職員同士で協力し、子どもたちの状態に合わせて対応していると思います。 子の特性を合わせた、職員を増やして欲しい 利用児童の特性によって常勤スタッフで足りない時は、非常勤や他店からのヘルプなどを配置してくれている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造わかれた環境になっている。また、事業所の設備方は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や個別応諾型、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	子どもたちが過ごしやすいように、物の配置や環境を工夫しているあり良いと思います。今後も子ども一人ひとりに合わせた環境づくりを大切にしたいです。 わかりやすく、整理整とている。 人数がオーバーしたになると、こどもが着けるスペースが狭いと思います。 利用児童の数や特性、スタッフ数に応じて、充実が正しくよりよいている、児童の着席にかった設備や備品の配置であるよう改善している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	清掃や整理整頓が行われており、子どもたちが快適に過ごせる環境となっていると思います。 定期や清潔やトイレなどの掃除が行き届いている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	88%	13%	必要に応じて、子どもが落ち着いて過ごせる個別のスペースを使用できる環境となっていると思います。 環境もなため、予算、時間などで個別で日々の活動が難しいている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	88%	13%	職員同士に声をかけ、業務の振り返り定期的な開催等や機会などをするよう努している 職員同士で情報共有や振り返りをしたい、業務の改善につながっている必要があると思います。今後も職員が意見をおしやすい環境づくりが大切だと思います。 より効率的でシンプルな業務の見直しになるように、意見や悩しやすいやり方など、改善が求められている。
	7	保護者等の評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	保護者の意見や要望を把握し、支援や業務の改善につなげている必要があると思います。今後も保護者の意見を大切にし、より良い支援につなげていくことが必要だと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	職員の意見を聞く機会がある、業務改善につなげている必要があると思います。 話しかいの場合が開放スタッフ間でよくなされている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	外部評価の結果を職員間で共有し、今後の業務改善につなげていくことが必要だと思います
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で活用を開催する機会が確保されている。	88%	13%	今後もさまざまな研修を受ける機会があると思います。 定期的な研修が行われて、とても良い 特に、精神関係の研修があり、大変参考になっている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事務内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己肯定感アイデンティティ対応を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自己肯定感アイデンティティサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が作成時期の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	利用児童の様子などのスタッフ間共有ができている。
	14	自己肯定感アイデンティティサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	スタッフがいつでも確認できるように配置されている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	ライン等で確認している
	16	自己肯定感アイデンティティサービスガイドライン（「放課後型アイデンティティサービスの提供ガイドライン」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提供内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅的に設定され、それぞれに具体的な支援内容が明示されているか。	88%	13%	特段課題は不十分
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	皆で話し合いを設けている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	特定スタッフが何日の活動に固定しないように努力が行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自己肯定感等アイデンティティサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	子供に合わせて内容を変えている
	20	児童発達支援ガイドラインに掲げる「発達支援の提供すべき内容」や「放課後等デイサービスガイドライン」に掲げる「放課後等デイサービスにおける発達支援の提供すべき内容」を踏まえ、児童発達支援計画に沿った適切な支援が提供されているか。	100%	0%	特別により、スタッフを配置して支援している。
	21	児童発達支援ガイドラインに掲げる「発達支援の提供すべき内容」や「放課後等デイサービスガイドライン」に掲げる「放課後等デイサービスにおける発達支援の提供すべき内容」を踏まえ、適切な支援が提供されているか。	88%	13%	タイミングを見て、声掛けや振り返りを行っている 話し合いを設けている
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	学習や活動中の支援状況を記録して保護者とお共有し、支援に役立てている。
	23	活動内容やこどもの状況等、放課後等デイサービス計画の作成上の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすまさの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	参加、皆様に調査 選び、ご好なこの決定しない声掛けを心掛けている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	13%	おすまさの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校担当者を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己肯定感アイデンティティサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者としているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの活動を活用、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	63%	38%	活動から発達センターに連絡することは、現時点ではなく、今後積極などを行っていきたいと思う
	32	自己肯定感クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	職員が余力があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	63%	38%	職員が余力があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言語表現を読み取り、こどもの意思の決定や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	LINEやご面でスタッフ間で共通理解をとっている。
	35	家族の75%以上の参加を目指から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等への参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	75%	25%	個別や研修は行っていないが、情報提供などは行っている
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この時点に関していては説明ご理解させていただいております。
	37	自己肯定感アイデンティティサービス計画を作成する際には、こどもや家族の希望の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この時点に関していては説明ご理解させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この時点に関していては説明ご理解させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこども、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児と一緒に支援する機会を設ける等の支援をしているか。	63%	38%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合意や決った場合には必要な調整に対応している。	100%	0%	予定を限り対応しているが、完全では無い
	42	定期的に通信等を発行するこども、HPやSNS等を活用することにより、活動様子や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	88%	13%	ブログが更新になり、古臭いしてはりっていない
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連絡や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	38%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの支況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	ヤシトーンにまとめている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今れを疾才保体的拒否行力かについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己肯定感アイデンティティサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド029鶴田店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動にいろんな学習の部屋があればいいなと思うが、気持ちの切り替えがしやすい
	2	利用児童やこどもが安心できる環境となっているか。	100%	0%	事前に配置についての作成がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、こども自ら活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	常に清潔を保てる環境となっている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や臨床を提供することが認められる環境となっているか。	100%	0%	最小かつ相当空間であり、スタッフの判断で使用できるように配慮されている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	常に情報共有出来るようにし、業種はもちろんグループ内外でコミュニケーションを取れるようになっている
	7	保護者向け評価表による、自己評価等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	アンケート結果や、面談やコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや、社長、幹部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全社研修のほか、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事務内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価子ディサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い。計画書を作成出来るように努めております。
	13	自己評価子ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自ら主体に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	様子ささまの最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自己評価子ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自己評価子ディサービス計画には、自己評価子ディサービスガイドラインの「総評本型子ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまな中で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	子どもたちの特性や個別設備の特性を活かしたもの、また参加を増したような小や社会性を持たプログラムも展開ある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果子サービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わりクセや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必ず職員間で会行ひ、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開前が偏ることがめる為、常勤職員等々よに情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めてあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず行なを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開前も同様に再なることが多いる、同様に常勤職員等々よに情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めてあります。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるようご要家と意見を交わて記入するよう努めてあります。また、モニタリングや個は仕々のアプローチ記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	活動対にモニタリングを行い、自己評価子ディサービス計画の妥当性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おやさまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	自己評価子ディサービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解都みや仕々支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おやさまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継説明）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己評価子ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を的切する等、	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターの活用を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	83%	17%	同数が多う人数には障害交換を行います。研修の講会が多れば参加的に参加させていただきます。
	32	自己評価子ディサービス計画の作成時には、子どもや家族の生活全体の質を高めるために、インフォーマルなサービスも含めた地域の様々な社会資源について把握しているか。	50%	50%	最新情報が乏しいため、これから把握に努めてまいります
	33	自己評価子ディサービス計画の作成に当たっては、子どもや家族の意向が適切に反映されるよう、アセスメントやモニタリングの際に、子どもや家族の意向を把握しているか。	100%	0%	毎日の送迎時や連絡帳にて、ご家庭での様子や要望を把握しております。
	34	子どもや家族の意向が変化した場合には、適宜、計画の見直しを行っているか。	100%	0%	毎月のモニタリングや、ご家庭からの要望があった際には、随時、計画の見直しを行っております。
	35	保護者向け研修を実施するなど、子どもや家族の障害の受容や、ペアレントトレーニング等、家族支援に資する取組を行っているか。	83%	17%	研修の機会を設けることで、保護者様の障害受容や、ペアレントトレーニングの知識習得に努めております。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己評価子ディサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自己評価子ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己評価子ディサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な情報と支援を行っているか。	83%	17%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	新規開間や間いため、これから把握しています。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情が申し立てた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事業開年の当権者行を設定するよう声に、当事業所にご相談してから内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	83%	17%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	新規開間や間いため今後、積極に努めます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支え確認しているか。	100%	0%	お子さまその支えについて事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	83%	17%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故等的今対処し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、治事管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も も得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価子ディサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド030西城南店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの規模で適正である。	50%	50%	個別開催する際もオープンレイアウトになっており、モニタリングしたり、様子を伺ったりしやすい環境が出来ている。 ただ、お昼寝時間、着替え入れているのはこれまでやってきた。 配慮がないため公園でクールダウンをしていること：クールダウンの距離や素振りに集中できる環境の確保 一つでも改善が出来ればと思います。 利用児童に対して、感覚が狭く感じます。
	2	利用定員や こどもの特性等に対して、職員の配置数は適切である。	88%	13%	スタッフを増える 定員について事の良し悪しではなく、現状を変えずやるのは、大変良い 事業の充実になりそうな人数を確保して欲しいです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	88%	13%	個別製作の場合 不充足点です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こどもが自立的に活かされた空間となっている。	75%	25%	スタッフの清掃協力 掃除機が壊れたので、中古で良いのでダイソンかコードが多様機能が欲しい。 やはり教室が狭く感じる部分もあります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	13%	88%	設置や個別の装置がない。 個々が最適配置やグループ内で使うて、スタッフのおともなロッカーを入れたり、児童の個性の部屋や、スタッフの事務専用部屋が、必要だと思う。 個別の装置はない状態です。 個別の装置は必要と感じます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	75%	25%	個別設定と振り返りを全員スタッフと行うような スタッフ間の理解開発、モチベーションを高める様に日々、頑張る＆様、心がけている。 他の会議でも共有、相談をしている
	7	保護者等の評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	保護者様の意見は、大切です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	定期的に思い 非常勤ですと、そういう機会はあまりないです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会を組み入れ年で計画を策定する機会が確保されている。	100%	0%	研修は ビデオ視聴を行っている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助アイザービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムチさポロ様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自立援助アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が作成時点で、こどもの最新の状況を考慮した個別が行われているか。	88%	13%	本当にありがとう モニタリング時に全職員からの充実に向けて各問合せを行いたい
	14	自立援助アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	88%	13%	レベルは低い 今だ下支援点小さなが子だか、使いこなせていない職員もいる凡その全職員が参画を図られるように工夫が必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	88%	13%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用してあります。
	16	自立援助アイザービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「総則放デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のない及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それこそ、具体的な支援内容の明記されているか。	100%	0%	親子がん共に、信頼を築しみのしている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	スタッフの協力 活動自重かで楽しい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	新鮮な企画
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等アイザービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	PCをやったり、皆で出来るトランプなどゲームをやる
	20	支援開始前には 複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	スタッフ会議や気力 段階性、スタッフ行いた意識を 非常勤にも共有して欲しいと思います
	21	支援終了後には、複数関 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	63%	38%	スタッフ会議や気力 支援すると会話から 非常勤に思い思う時間や参加はないため、朝や会議や前日の振り返りや当日の支援内容について確認している
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	ラインや記録 HDDを活用している
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助アイザービス計画の達成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	保護者様と信頼関係が良い
	24	自立援助アイザービスガイドライン の「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	おやつのチョイス、が良い
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との連絡、そのこどもの状況を よく理解した者が参画しているか。	88%	13%	スタッフ会議や気力 保護者や医療へ
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	医療機関と連携をとっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）や交換、こどもの下校時の対応等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	88%	13%	定期預かる園に学校の先生と相談する 学校の連絡帳を使い
	29	相手別に判断していた保育や小学校間、固定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めているか。	88%	13%	入出が大切なので、これから把握していく
	30	学校を卒業し、自立援助等デイサービスから 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を 相談する等 、	88%	13%	卒園後、良く会いに来る
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を 設けているか。	88%	13%	年々女、人が足りている 報告を受けたい
	32	自立援児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	88%	13%	公園で、遊具指導等対し、 近くの学園には放課後デイサービスへの理解が乏しく遅れられている
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	88%	13%	職員が余れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非定型な挙動等に早点台い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	親子さんと話しやすい
	35	家族の75%以上の参加を目指し、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の確保や情報提供等を行っているか。	88%	13%	職員が余れば把握したい
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	13%	私は、まだやっていないので、同僚は言ただします。
	37	自立援助アイザービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保行際に本日の様子をお知らせしてます。
	38	「自立援助アイザービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助アイザービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	良く話します
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	同機は良くやってます。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者と周知し、合意や ある場合には迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	参加ることは、重要にしてます。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	88%	13%	ラインはスタッフ間、親子さん以ハクセ発信 プログラムなっていまったため、連絡の発行はできればほしい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	日々しない気力をしています
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	こちらの元個に自信を持たする時、良いところを褒める
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	38%	大変ざん、仲介不動産屋とは、先日、ご協賛させて頂きました。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	大事の避難訓練 参加にまで周知されているかは分からないため、お伝えする方が良い
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期開に避難してます。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アレルギー児童、エピペン使い方学習のビデオを視聴している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	88%	13%	スタッフ交代、医院見分確認 非常時や心の配りに対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	ビデオ視聴を行っています
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか 。	88%	13%	お知らせしている
	52	ヒヤリハットや事業所内で共有し、再発防止に向けた策について検討をしているか。	100%	0%	良い方向は、共有する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	ビデオ視聴を行っている
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助アイザービス計画に記載しているか。	100%	0%	最も大切は、児童本人だけがをする危険性がある

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド031新中戸原店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの規模で適正である。	78%	22%	前提、スタッフ同士での確認作業を工夫している。 相談室やパソコン室、支援室と学習スペース各分けて活用していますが、全室で騒がしい時には全スペースが賑やかに感じる スペースがギュウ詰めになっている。個人の限界や他の児童との関係に合わせて適正オーバーを工夫し敢行している。
	2	利用定員や こどもの分類等に対して、場所の変更検討が適切である。	100%	0%	シフトを組む際に配置人数は意識をしている。 活動を急に、追加等で入ったりはもちろん難しく、時間ギリギリまでかかる可能性があります。 特に普通学校通う児童は15:15下校になっており、他の児童のケアは他方の職員で調整ができるように調整を工夫している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備方法、障害の特性に応じ、バリアフリー化や個別必要性、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	感覚刺激を軽減させやすい学習空間を用意としている。 刺激が増せばせるほど遊具の数やスペースや大きくなることもないということも、多ばすい当地であると、何かこぼした際に掃除に負担等増えることが難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっている。また、こども集団活動に合わ せた空間となっている。	100%	0%	プロアチ、整理整頓組ぶのができている。子どもたちが学習に必要なもの や自由時間に必要なものを取りやすくはしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を 調整することが認められる環境になっている。	100%	0%	個に応じた環境を提供している。 パソコン室、応接室、相談室やそれぞれの部に応じて活用しながら、学習の着や自由時間の着を整えている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	89%	11%	定期的な管理を会議している。 スタッフ同士の共有を工夫している 意外み役室 ひは割で話ができていなかったり、室ホみ時等数で業務医療の話しおいる物合抽れたことる、 月間の時間が多かれている。
	7	保護者や外部評価などより、自己評価等の取り組みを客観する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	スタッフ同士の共有を工夫している 立ちり意識し、まだ聞いていないかも、保護者の意向の把握はうまくできていないように感じる。
	8	職員の意見等を客観する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	月2回のスタッフ会議を行っている 現状改善や時間や行なう時には、意見等の話やできるように自ら声をかけてはいている。 定期的にスタッフ会議で話しおいてきている 新規室や職務の意向に日々傾けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	客観が少なめのため、内部から意見をもらい、その意見を活用し次に動こうとしている。 問題になることも記載できないので、必要を感じない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で話題を開催する機会が確保されている。	100%	0%	研修は毎月ふくよ型うの自分研修にしてのきっている。 現状のまま で良い。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	作成後は、実現を作常動にも作用するようにはながけている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価等アイセービス計画を作成している。	100%	0%	スタッフ同士の共有を工夫している まだ客観しだけでて、子どもが様子がわからないところがあるが、他のスタッフに確認してだんな見通なのか客観的に分析しどうふっちりではないが、できている自負はない。
	13	自己評価等アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が作成段階から下で、こどもの最善の方法を考慮した物が行われている。	100%	0%	スタッフ同士の共有を工夫している 現場に立っているスタッフ一人ひとりに確認はしているが、まだまだ下分なところがあるため、適当にしてきた。 しっかりと共有されてきている
	14	自己評価等アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	スタッフ間での共有している。 計画書は共有しているが、共有事項が多く認識の大変からもしれない。個々の計画書と合わせた支援は全体的に心がけて関わっているようには感じる。 しっかりと共有されている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	89%	11%	まだうまくアセスメントができていないのが実状。
	16	自己評価等アイサービス計画には、自己評価等アイサービスガイドラインの「総評自己評価等アイサービスの提供すべき本質」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもや主組に必要な内容が盛り込まれ、それこそ、具体的な支援内容の明示をしている。	100%	0%	スタッフ間で確認をし作成している。 スタッフ同士の共有を工夫している。 個別に設定できるようには心がけてはいる。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	みんなで話し合ってはおめている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	いろいろな情報を収集している。 最近末下固定化していたため、いろんな活動を取り入れられるように努いている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	89%	11%	支援は行っているが活動計画まで十分なところが見るかもしれない。
	20	支援開始前には複数関 ⼈の計画を行い、その日行われる支援の内容や活動分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	その日の活動はスタッフ間での打ち合わせをしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	89%	11%	常に気付いた際、情報を共有している。 スタッフ同士の共有を工夫している ここちょっとは話はするが、振り返りまで出来ていないことが多い。 もまったら時間を設けることはないが、振り返りは行っている。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	その日の振舞りは記録するようにはしている。 業務としてではなく、個人として記録している。
	23	活動内にモニタリングを行い、自己評価等アイサービス計画の支援しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	適切に実施できるようのやれている。
	24	自己評価等アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	いろんな活動ができるようにしている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするを育てるための支援を行っている。	100%	0%	まずどもたちの意思を聞けるようにしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	そのような対応ができるようにはめがけている。
	27	相談の候補、診断（正当性や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	学校から引き渡しの際の申し送りを工夫している 連携を取れるようにしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、運営懇談（虐待時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	送り迎えの際、情報交換をしている。 連絡の際の連絡を工夫している 必要に応じて電話連絡をすることはできているよと思う。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	78%	22%	新設する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己評価等アイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的切である等している。	89%	11%	このような機会を設けている。
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	89%	11%	問題が多い方際には障害支援を行います。研修の機会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	自己評価等クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	56%	44%	なかなか地域の方交流難しいなりてられますが積極的参加は是非交流をしていきたいと思います。 自己評価等にクリエーションなどを工夫している 今後できたらやってみたいとは思う。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	56%	44%	パートでも機会が多ければ良いと思います。 必要個々人としてのような活動を周りを観察が多ければと思います。
	34	日常からこどもの示す生や課題を 把 ⼤ 切 、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	常に小さ日の様子を伝えている。 報酬っていることや下元となることは内包しているつもりではあります。
	35	家族の75％⼆の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っている。	67%	33%	それぞれの事情もありなかなか難しいと思います。お考えた次にと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この初めに関しては説明ご説明させていただいております。
	37	自己評価等アイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	モニタリング等で意向を聞く機会設けている。
	38	「自己評価等アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己評価等アイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	意思し後に同意を確認しています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	保護者の意思を常に聞くようにしている。 できる限り行っていい。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	44%	56%	まったくりとした活動はやその計画はしていません。 まだ小さよ二次機会もしない小さ行かせません。
	41	こどもや保護者からの意⾒について、対応の経過を整理するとともに、こどもや保護者に周知し、合理や多った場合に必要な説明や通知に対応している。	100%	0%	すぐに対応している。 できる限り早めとの対応はしている。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動頻度や行事予定、感染体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	67%	33%	できる最小限なり、発信はできていない、先日のある交通のモニタリングでの様々な声の受け止めなご意識がある。 SNSやや安心る。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	十分に定着をはもっている。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	説明を丁寧に行なっている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	44%	56%	今の所参加しん事はない
非常時等の対応	46	緊急時はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	89%	11%	訓練を行なっている。 立ちに認識できていないこの、再認識しておく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	89%	11%	最新して数ヶ月で、まだ訓練等の実施までできていないのが実状、これから実施していく。
	48	開始に、保護⼥ 同伴保護、てんかん発作⽌のこどもの状況を確認している。	89%	11%	常に把握している。 個別不足のため、すぐに確認する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指⽰書に基づく対応がされている。	100%	0%	対応をしている。 食物アレルギーはみやつに関わってくるため、3previ方法は確認している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたや十分な援が行われている。	89%	11%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急⽀援の連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか 。	89%	11%	必要に応じて掲示物も作ってあります。
	52	ヒヤリハットや事故報告や共有し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	会議や共有し、振り返っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めてあります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘⽌行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価等アイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束等行った場合は法記録を行ってあります。また、計画書にも反映してあります。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド032下高岡本店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	80%	20%	児童ウイーバを訪ふなりでしまう事件が発生した為、現在、広告の置き場所を検討中
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	90%	10%	日によって異なりがある 正職員と学生スペース大学別になっているので、双方で偏りが生じないようにスタッフの配置考慮をしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	80%	20%	使って良と自分の荷物を何回に入れたら良いかが分かりやすいようロッカー管理をしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団に合わせた空間になっている。	80%	20%	使介なく衛生的環境なため、ちまに活用を提案したりしている 気温的作業がしんどいよりもうがなるので改善策を考えたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動や機能を調整することが図られる環境になっている。	90%	10%	学習用ルブースがあるので使っている児童を見ながら学習に集中出来ると思う
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	90%	10%	子どもたちへの対応について、お互いの支援での共通事項を共有することが出来ている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	どちらかと言えば、日々の保護者との中で聞ける。こちらの対応が良い点・悪い点をスタッフ間で共有し、改善に繋げています
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	90%	10%	会議での発言も行うべきが、話したくまいような問題点を環境なく話出来るような雰囲気作りをしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	80%	20%	第三者による外部評価を活用しなければ正と思います
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	会社側が積極してくれる研修は、どれも有意義であり、皆々の意識を高める良い機会となっています
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	研修の無い休常勤スタッフや非正スタッフにも共有を徹底したいと思います
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成している。	100%	0%	日々のこどもたちの行動を観察し、そこから見える活動の今成長を計画にフィードバック、3ヶ月毎に繋げています
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども担当者に関わる職員が作成時期の下で、こどもの最新の状況を考慮した個別性の下で、こどもの最新の状況を考慮した個別性が行われている。	100%	0%	毎々のこどもの為と情報共有を図る時力をしています
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	サービス計画と専門支援が繋がっていることでその内容を活用するスタッフが増えました
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	子どもの行動に対するスタッフの対応の仕方を記録することにより、多くのスタッフが支援の内容を考え支援について考える機会が増えた と思います
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドラインの「対象自立プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「預行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅して記載され、それぞれに具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	必要が有ればケース会議を開くなどして積極的に関わりを持つようにしています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	新年支生し合い、ひとりひとりを多面的に見るようにしています
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	どのプログラムにどんな目広があったかを毎月書み、次のプログラムに活かしています
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	その日の体調や気持ちを考慮しながら、無理でのレクを個別に行うようにしています
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	連絡協せ会実行い場合にはグループL内でや環境共有を行なっています
	21	支援終了後には、複数関で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	80%	20%	事務に追われている場合にはグループL内にて共有しています
	22	日々の支援に関して記録をることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	今以への記録は必須事務であるね、事前、分析され、支援に繋げています
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	定期的にようとても達成に行われていると思います
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	年1レクやGSTなど生通にて自己解決能や自己に向けた土台作りをしています
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	何は好買い初しクなどを通じて自己決定力を促しています
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	もしも参加が不可能な場合には、情報提供を行うことをしています
	27	地域の保健、医療（正当院や協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	構成に応じてケース会議をする等しています
	28	学校との情報共有（年間行事・日事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	年間行事や予定表や月々の下校表を入手し、事前の確認はお願いですが、トラブル発生時等も、学校側と小々り取り止後やむに行っています
	29	幼子応に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	100%	0%	当日はパークも良のため、当との交換や就学前情報は共有出来ています
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切である等している。	100%	0%	これに関してはまだ、ケースがありません
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点での研修を受ける機会を設けている。	100%	0%	研修も有りますが、必要な場合には、本部のスーパーバイザーからスーパーバイズやアドバイスを受けています
	32	自立援助ホームクラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	60%	40%	現時点ではそのような活動についてのアイデアはありません
	33	「自立支援」知識自得へ積極的に参加している。	80%	20%	エリア内が参加していると思いますが、自分自身は内容についての把握をしていません
	34	日常からこどもの非定生事業者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	今以やの話題年に関連者とのコミュニケーションを取るようにしています
	35	緊急の対応方の向上を図る観点から、緊急に対して緊急支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や緊急等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	80%	20%	そういった機会があれば参加しています
保護者への説明等	36	通信規則、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	90%	10%	お当人と説明をしているつもりです
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	保護者学手の全支援について理解に、こどもの将来を見据えて正しい意図交換をしています
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この考慮会に関しても説明させていただいております。
	39	緊急等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	相談があった場合には、スーパーバイズを受けたりしながら対応しています
	40	父母や歩の活動を支援することや、保護者参観を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、さょうだい同士や交流する機会を設けるなどの支援をしている。	100%	0%	パーク主催イ月間でのレク等で、さょうだい同士との交流機会はあります
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合意や決った場合には必要な一連の対応行っている。	100%	0%	よにかく早く対応することを心がけています
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動様子や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	90%	10%	レスカレや地方配内されているのであり方がないです
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	スタッフの個人情報の扱い方にから配慮が必要と感じることがあります
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連絡や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	聞力に障害のある保護者には、HUGの他に保護者の意向で連絡ノート等で対応しています
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	90%	10%	やらなければと思います
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	策定はしていますが訓練は不十分と思われます
	48	開始に、保護や対応後報、てんかん発作等のこどもの定生を確認している。	100%	0%	お子さまの立況について従事的に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	おやつコトレーヒアレルギーのある子について表示してあります
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	十分では無いと思われるので今後対応していきたいです
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	原因事例を共有し防止策については検討しています
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会議研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・当代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は自己記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド033新鶴田店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用者同士どもの分け担当に対して、職員の変更等は適切である。	83%	17%	担当の名前が当日の駐車の際等にすぐ分る仕方してくること
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	83%	17%	足を怪我した児童がいる時、段差があった
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかがる話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動を調整することが図られる環境になっている。	83%	17%	個別対応のできるスペースがない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	83%	17%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	83%	17%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	83%	17%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織的に研修する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相談による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	83%	17%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、幹事職員職を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	83%	17%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則放課後デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの主体的に参与する目標や課題を設定され、それぞれ支援内容の提供を行っている。	83%	17%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまな方法で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	83%	17%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとうにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	83%	17%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関 係者が会 を行い、その 日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	83%	17%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々から複数共有と変える、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、その日行われた支援の良い点や、気づいた点等を共有している。	83%	17%	活動開始や開催に関与することが多い為、開催に常勤職員等々から複数共有と変える、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別ケアやクアビ記録を参考にお示の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画している。	83%	17%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協 会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子ども共有していた保育や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	67%	33%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責任を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	67%	33%	問題が生じた際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把 ん だい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の約5 割の以上を目る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	67%	33%	こちらでの約5 方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し ながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこ とや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしている。また、さょうだい同士や交流する機会を設ける等の支援をしている。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や楽 しを感じた点等から適切に対応している。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこ と や、HPやSNS等を活用することにより、活動様 子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留 している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適 切 や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	83%	17%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に 訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ周知しているか。	83%	17%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束 行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性 ・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法定通り行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド034西茂呂店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守したスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	91%	9%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	91%	9%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	82%	18%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	保護者向け評価表があるのかはわからないが、保護者からのご意見ご要望があれば、管理者よりスタッフに即共有される。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	管理者とフランクに意見交換できる機会が多々あり、業務改善に繋がっていると思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	82%	18%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	アセスメントツールを年齢に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をふまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	82%	18%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	82%	18%	「必ず打ち合わせ」が出来るよう努力したい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	82%	18%	「必ず」は出来ていないので出来るよう努力します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	82%	18%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	併設する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	82%	18%	卒業生がいないため
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	82%	18%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	64%	36%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	73%	27%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	73%	27%	こちらでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	64%	36%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	82%	18%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	64%	36%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	91%	9%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド035新さくら店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	67%	33%	利用児童に対してパソコンが足りない
	2	利用者同士どもわが他児に対して、障害の変質物は適切である。	67%	33%	人数がギリギリなため、送迎に忙しく、児童対応する時間的・体力的・精神的な余裕が足りない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害や特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	67%	33%	活動に使う道具類のしまう場所が足りなくて、フロアにむくろん出てしまって雑然としているため、児童の集中力が切れたりなったり、いたずらなどの不適切な遊びに繋がっている可能性がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団活動に合わせた空間となっている。	67%	33%	感染が怖い方も、ガヤ聞いている保育が散見される。狭んなりに頑したり健康しているが、すぐに別れたらして気も目に遊い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を活用することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に盛り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	新の購入や物置き場の配置等を定期的にやっている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	モニタリングで聞いた評価を踏まえ→内容やおもちゃ、遊ぶ→を少しより充実させるために、話し合い、新たな物品購入をした。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	一部の職員と業務改善や精神的・肉体的な負担の偏りないように、業務シェアをしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	33%	67%	まだ経験がないので、これから対応する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で活用する関係する機会が確保されている。	100%	0%	毎月の研修を受けている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	定期の見なおしと新、子along などを毎日、職員が皆知している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムチさまの様子をお伺い、計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が作成期間内で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	毎日、話し合いと児童の様子を良い事も含めて話題している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	事前にて確認している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等による確認している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総量後型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に盛り入れております。
	20	支援開始前には個別支援会議を開催し、その日の目的や支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	毎日開催している
	21	支援終了後には、職員間で必ずその日の支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	33%	67%	帰りはバタバタしてしまい振り返りは出来ないまま支援終になってしまう。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや問題点やケア記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の内容しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまその状況や必要性に応じて適切な期間しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	67%	33%	参加する児童発達支援事業と小学校両方を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	33%	67%	問題が当った際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	0%	100%	機会があればぜひしていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があればぜひしていきたいと思います。
	34	日常のこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っている。	33%	67%	こちらでの日当たり方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し なが ら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこ とや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合意や違った場合には速やかに理由を説明している。	100%	0%	事業開始の合理者日を設定するよう声に、合意事例にの相談してから対応し、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこ とや、HP やSNS等を活用するこ とにより、活動様子や行事予定、活動参加制限や情報をこども や保護者に対して発信している。	33%	67%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	67%	33%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	67%	33%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内容を、再発防止に向けた対策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性 ―時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド036新下東店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	50%	50%	運動活動中のにぎりな部分と、ただ賑くともお客さんとき スタッフと話しおいやすい仕切りがあればベターと考えています。また学習室と運動部屋を上手く使って行っているなので改善を感じないようにに努力している 運動フロア、学習室の2部屋しかないので常にごちゃごちゃする。その中でも動線を考えたり、児童に乗ってもらえるよう声掛けをしている
	2	利用支援やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	50%	50%	やはスタッフが固定になってきている部分が無理されるまでは大変な時期もあった。四ヶによってはヘルプを派遣したり外部へルプサービスを利用して事故発生なく行えた と思う。 正規学習の児童が少ない1時15分以上なる事がおおい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	バリアフリーの配慮については学習部屋の段差が少ないことや絵や写真が多く利用者がつかりやすくしている環境を設定している。大人気にはある反面人は段差がある為スタッフがゆっくり丁寧に段差を意識するようスタッフ間で連携をはかる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっている。また、こども自立運に合わ せた空間となっている。	100%	0%	靴位置場を行い個が靴数がってを建しゃない体作り が行っている ホントイレも昔ちが心地よく利用できるようご丁寧に掲載をしている。 常に掲載しようとしている。手が足りくらとにかく掲載
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境にな っている。	0%	100%	感覚が過度の為視覚の配慮を設定する事が難しい為パーテーションや数下物等の立ヨマモとかくり回して安心できる場所、落ち着ける場所を設定出来るようにしている。 それでも環境がない、必要な時には4ケーテーションを利用している
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	75%	25%	職務会議や個別ごとや会議を利用して行っている。個別に評価、改善を促し成長に繋がればと行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	当面が必要な箇所は残るし改善出来るように努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	職務会議を利用するのと管理者への相談を利用しより良い環境へと努めている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内での研修を実施する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかと、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの意見内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	モニタリングや会議時のヒヤリングをスタッフへ共有しニーズに応えられるようでいる
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が作成時期点下で、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われている。	100%	0%	日々の日常会話の中で利用者の意向、相談などを常日頃行っている。決まったことなくこまれば共有を行っている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	計画書が共有されれる為目を通すようにしている。また充実度でも必要な共有がある為共通認識をもって支援に当たれるように努力している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	利用日の利用者の様子を日々記録に残して活用している
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主組に必要な項目が選択と設定され、そのこと で、具体的な支援内容の提供を行っている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	レク担当がいる為必ず月初めに会議を行い次月の活動の会議を行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	半年間の記録を残しの内容が被らないようにしているが大型なレクはタイトルが同じでも内容を変更して取り組めるようにしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関 係者が打合せを行い、その日の1日の支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	その日のスタッフ、送迎の確認、レクの内容を共有し個別対応が必要な支援対応の検討し事故、怪我が無がないよう支援を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	75%	25%	レクの反省会が不十分な時があるので支援して行きたい
	22	行われた支援に関して記録をすることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	75%	25%	個別に分析できるようご要家と意見を交わて記入するように努めております。また、モニタリングや担当者やカテゴリ記録を参考に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドライン の「５つの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	スタッフが声かけって行うのではなく児童の意思を聞きながら、自己選択、決定の出来るような声掛けをの行っている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、福祉協 会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	必要な関係機関との情報共有を行っている
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整してあります。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	25%	75%	特に行っていないのが必要な場合には連絡をとり共有集っている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	50%	50%	まだ障害福祉への移行した利用者がいないが情報提供は可能です。 今まで対象となる児童でない
	31	地域の児童発達支援センターの due 療を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	50%	50%	必要に応じて行っている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	25%	75%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を伝達者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の8割方の以上を目る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	50%	50%	こちらでの対応方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご家族と右にて連絡、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこ とや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設け各様の支援をしている。	0%	100%	特に行っていないが、必要に応じて対応して行きたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や申し入れ先のこと窓口や対応方法を説明している。	100%	0%	玄関内目を掲載しエリア前へ、対応し応答かつ丁寧に説明でいる
	42	定期的に通信等を発行するこ と や、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動結果や行事予定、感染症制限や情報をこどもや保護者に対して発信している。	75%	25%	現行の定期的に活動報告を行っているがtwitter等を活用していないがInstagramを始めたいと考えている
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の上必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	75%	25%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく具体内容について、関係等へ通知しているか 。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問わ、再発防止に向けた取 について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、治療施常の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド037錦田店PLUS (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	38%	63%	アート活動も開放しかできず活用しない、個室がなく、利用者やクールダウンや安全確保が難しいことがある。 活動によりけりいろんていたら改善しないけず引き続き。 掲載した支援を落ち着かせる空間が狭い。 現状でない
	2	利用者間やこどもや付添者において、情報の変更点が適切である。	38%	63%	体制が人足りていなく、全体把握スタッフも適応指導から出ていて体制、契約数人数的(20)以上に、スタッフが少なく安全確保が難しいことが多々見られる。 支援の内容によるが、全てないと言ってよいほどの打合わせがとくにないとます。 人員の確保、人員不足
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造上わかた環境になっている。また、事業所の設備方は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	38%	63%	物理するスペース、感点スペース、パソコン室と区別しやすいです。 アートスペースは全員入ースペースがない、認識が学ちないので分れば難立て切れるスペースが欲しい スタッフルームが狭い、子ども分離ないと様々な問題が出る。 子ども１２名くらいの定員ですが、スペースが一杯です。 子ども３名くらいの「広大な」使うからる広さがある、そうする事ができます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	63%	38%	アート活動における、水道のよさは活動の切げになっている。 子ども１２名くらいの方で、個別の空間ではなく別の場所に使うけどけなければならないので、スタッフもしられ困難場。 個性入場合が増えに伴ってきている、安全な場所と目言いつらいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	25%	75%	個別の認識がない。 制限はあるが、パソコン室のみ、パソコンになった時など落ち着ける場所がない。 掲載した支援を落ち着かせる感覚の設置、カームエリアなどして子どもとともあり知らない感じる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	88%	13%	専門職員研修が多き 定期がずりずりまで伸ばないことが多くなかなか良い合いが出来る状態にない。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	38%	63%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	スタッフ同士共有しています 上司で支援して何か合われば出ている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外で話題を開催する機会が確保されている。	100%	0%	専門職員研修があります 新型機のフォーマットがもうすし自体的なる良い
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフで事務内容の確認、指導し今行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価子ディサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、面接者さまからのご意見やムチさポの様子をお伝い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自己評価子ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の方法を考慮した物的が行われているか。	100%	0%	様子ままの最善の作論を考慮し物的の上、参与数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自己評価子ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	88%	13%	アセスメントツールを平面に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自己評価子ディサービス計画には、自己評価子ディサービスガイドラインの「総評自己評ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が記載と設定され、それこと、具体的な支援内容の提案されているか。	75%	25%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまな中で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	マニュアルの必要、スタッフの力量で変わる方は良くない
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果子ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	パートさんやすこまでの手伝が出来ず
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	支援がずりずりまでいることが多いため相談の時間と型ひの準備できないっぱいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	88%	13%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は行々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自己評価子ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすままの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自己評価子ディサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75%	25%	おすままの状況をより理解している機関が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）や交流、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	88%	13%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めているか。	50%	50%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行っております。
	30	学校を卒業し、自己支援等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等しているか。	63%	38%	利用者の中に過去該当する時がいない。
	31	地域の児童発達支援センターの due責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの観点での研修を受ける機会を設けているか。	25%	75%	問題が当った際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自己支援クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	38%	63%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただくなど努めております。
	35	家族の付加方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	63%	38%	こちらでの付加方法提供を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己支援子ディサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自己支援子ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己支援子ディサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な情報と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が申し立て場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事業開所の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから内容は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	63%	38%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅でマニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策を訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの方に応じについて必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告の分析等、再発防止に向けた取組について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、組織などとでも広入も、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施常の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保するため、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止委員会を設置するとともに、定期的な安全研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価子ディサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド038中今泉店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもが活用日に対して、職員の変置数は適切である。	100%	0%	資格や経験のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	施設に応じて、専用や対応方法を工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	換気、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調理することが図られる環境になっている。	100%	0%	事前に相談したり、確認したりしながら利用できるようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	86%	14%	全体研修のほかに、研修組織の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童指導アイザービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童指導アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童指導アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童指導アイザービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの 本質に沿った支援等ふさわしい支援が記載されているか。また、具体的な支援内容が明示されているか。	86%	14%	それぞれのお子さまに合った支援等ふさわしい支援が記載されております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	レク面について曜数スタッフが作成している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間関係に配慮した環境下で必ず行 なう を行い、その日行われる支援の内容や活動 計画について周知に、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々と、情報共有し合えるよう、記録やご連絡などコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に振り返ることが多い為、同様に常勤職員等々とも、情報共有し合えるよう、記録やご連絡などコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別と分けのケア記録を毎月に月の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童指導アイザービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な期間し を行っております。
	24	児童指導アイザービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	86%	14%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責任 に応じてスーパーバイズの総言で研修を受ける場合を想定しているか。	86%	14%	問題が当ス園には障害児施設を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	57%	43%	外出先にて関わりを持つことが多う、社会性の向上を目的として関わっている
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	86%	14%	機会が有れば参加していきたいと思います。
	34	日常のこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	71%	29%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童指導アイザービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	交流会はないが、父母との関係性などを聞取したり、様子を観察している。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの検討を行っているか。	100%	0%	事業案等の改善要望を設定するよう声に、各事業所にご相談下さい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努めており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	57%	43%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	お子さまその充当については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討を行っているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保するため、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今にも保護や緊急的医与行かについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童指導アイザービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド039国谷店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	86%	14%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	86%	14%	余裕性ぎ切りない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	71%	29%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	71%	29%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しい合行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	86%	14%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	86%	14%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、発達段階アイサービスガイドライン（「総津発達アイサービスの提供ケーマ水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容を踏まえた上で、こどもの主体的に参与・貢献や関係を築くための支援内容が明記されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必要書類や必ず行なを行い、その日行われる支援の内容や長期計画について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振りることが多い為、常勤職員等々よに情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ずミーティングを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開始も同様に振りることが多い為、同様に常勤職員等々よに情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は計々のケア記録を参考にお日の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な期間しを行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をより理解している機関が新加盟先を含めご参加ております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子応に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	100%	0%	問題が当ち上際には障害交換を行います。研修の講会が多れば参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	100%	0%	機会が当れば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	100%	0%	機会が当れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めてあります。
	35	家族の付当たの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	100%	0%	こちらでの付当方法法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの検討を行っている。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい方法は、前月受付型にて相談できるように努えており、丸作を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう や、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問し、再発防止に向けた方策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを認定共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今セを身ず保体的拒を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理 ・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド040東城南店PLUS (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に対して適切である。	50%	50%	チームの体型が良いような気がします。
	2	利用者同士どもの分離等に対して、場所の変更等は適切である。	63%	38%	スペースを確保するのに若干なども感じ分けているが良い スペースで困っている。 距離等であってもうまくその時々で子ども同士の方向が難しくなることもある。自分行き届かなくなってしまう。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	75%	25%	本棚を可動式にしてあるのはとても良いです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団の活動に合わせた空間になっている。	75%	25%	振気ができない（インフルエンザ流行等）
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	88%	13%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	63%	38%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	もっとしっかり時化した方が良いと思う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	63%	38%	どうしてもその日に休んで職員とは広くっていないことがある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	63%	38%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修組織外部開による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムクさまの様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	13%	おすさまざまの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	88%	13%	アセスメントツールを平面に広げた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドライン の「計画相当プイサービスの提供すべき水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と記述され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されているか。	75%	25%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には 複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	活動開始が偏ることがめる場、突発物品等やふに複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、複数関 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	活動開始も同様に再掲することがめる場、同様に突物備品等やふに情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるようご家族と意見を交わて記入するように努めております。また、モニタリングや個は仕々のケア記録を毎年に示の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の達成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすさまざまの状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	自立援助プイサービスガイドライン の「よりの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おすさまざまの状況をより理解している機関が新加盟先を含めご参めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・日単子定等の交換、こどもの下校時の申請管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者をしているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due点を活か、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	100%	0%	問題が当ち上際には障害支援を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	機会があればぜ参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	25%	機会があればぜ参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示支を多面的に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	自宅等の際に おすさまの様子をお伝えさせていただいたら、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の約5割の以上を占める割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	75%	25%	こちらでの約5方法世を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示し なから支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて連定、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みに反映する際に、苦情解決の仕組みについて説明をしているか。	100%	0%	事業開年の合理者行を設定するよう声に、各事業所にご相談してから行ないます。紙の受付型ではできるように整えており、文声を頂いた際には必ずご対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、活動休制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	38%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急ぶりマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止要領、教育を行の防止要領、教育を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を随時行いします。
	48	開放に、保護や予防接種、てんかん発作型のどこもの定況を確認しているか。	88%	13%	保護の情報は有性しただ子供を預かる際としても安心出来る、緊急即座でた様子の変化にも対応するために。
	49	食物アレルギーのあるどこもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	88%	13%	ご配慮を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告書を作成し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治事管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性 ―時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド041益子店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもが活動等において、職員の変更等は適切である。	100%	0%	担当や非常勤の為、職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいつも話し合い行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調理することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面談やコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、他店に関わりております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際個々の抽出を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主体的に参加し、自己肯定感を育む観点から、適切な支援内容が設定されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間関係に配慮した環境下で必ず行なう支援内容や役割分担について検討し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や関与することが多い為、常勤職員等々から複数共有と変える。記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打ち合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	13%	88%	活動開始や関与することが多い為、関係に常勤職員等々から複数共有と変える。記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	複数的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個々の計画や子ども一人一人の記録を毎月に沿った内容を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童指導アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	児童指導アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	88%	13%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	13%	88%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 思を活かし、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	13%	88%	問題が多い方際には障害支援を行います。研修の講会が多れば参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	0%	100%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	88%	13%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常のこどもの示支を保護者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を勧める、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	13%	88%	こちらでの75%方法参考「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し丸ながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支所する機会を設ける等の支援をしている。また、さょうだい同士や交流する機会を設ける等の支援をしている。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や良い方策のご提供に対応している。	100%	0%	事業開年の合理者行を設定するよう声に、合理事例にご相談してから作成し、お外受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅でマニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	88%	13%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支え確認している。	100%	0%	お子さまその状況について従事的に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	88%	13%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童指導アイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド042釜宮店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	78%	22%	大勢なことを注意が分け軽減できるように取り組んでいる 狭いように感じられる
	2	利用者同士どもの分け担当に対して、職員の配置数は適切である。	89%	11%	人数が少ないときもある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	89%	11%	中型たちが特角にならないようにに個別ブースのパソコンを配置している 机などの角が少ないこと 危険
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	更新が延持ちよく過ごせるように掃除や設備を徹底している
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動を調整することが出来られる環境になっている。	78%	22%	個別の配慮がない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	89%	11%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月末、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	89%	11%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内での研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフで事前内容の確認、協議し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の主担に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその都度の作編を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	89%	11%	スタッフ同士の連携が取れている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	89%	11%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総量規定デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	常にスタッフ同士で話し合われている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	89%	11%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を行い、その日行われる支援の内容や活動分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	89%	11%	活動開始や振りることが多い為、常勤職員等々から情報共有出来るよう、記録やご連絡によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、その日行われた支援の適 り及び行い、気付いた点等を共有しているか。	78%	22%	活動開始も同様に振りることが多い為、同様に常勤職員等々から情報共有出来るよう、記録やご連絡によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるようご家族と意見を交わて記入するよう努めております。また、モニタリングや個別と付その内容を考えに示の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の達成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を偏在無く組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよく理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	89%	11%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っている。	89%	11%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	89%	11%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等している。	89%	11%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	89%	11%	問題が生じた際には障害支援を行います。研修の機会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	44%	56%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	78%	22%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把 え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強てるように努めております。
	35	家族の付加 力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	89%	11%	こちらでの付加方法提供を「本日の様子」として日々発信致し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で充実する機会を設ける等の支援をしているか。また、さょうだい同士で交流する機会を設け る等の支援をしている。	44%	56%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速 な対応が図られている。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、前月受付間ごとで相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	78%	22%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	56%	44%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	89%	11%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	お子さまその充当について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	おやつファイル表紙に食べられない物を書いて皆が見てもわかるようにしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく具体内容について、関係等へ通知しているか 。	89%	11%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々共有し、再発防止に向けた取 について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施常の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	89%	11%	切迫性・非代替性 ・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド043新ゆいの杜店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積等で適切である。	100%	0%	工夫している点は定員一杯の日も、室内場所で、生産することなくおしゃくリエーション実、児童の安心方です。 不快回数の設計をもく取り入れて頂きない様に工夫している
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	狭い空室が利用している時は、スタッフの配置に注意している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	88%	13%	環境の複雑化、環境無害のコントロールができにくい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもふさわる話しい当行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や刺激を調整することが図られる環境になっている。	88%	13%	職員対策が不備
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	88%	13%	今後も、継続的にスタッフ会議やSSその情報共有の中で、PDCAサイクルに基づいた業務改善を意識して、話しない改善を当行っていく必要と思われる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	取り組んでいるが十分ではないか
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	取り組みは行われているが、十分ではないか
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	63%	38%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	88%	13%	全体研修のほかと、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	88%	13%	体験が必要な ⇒ 支援が個人個別に合内容の薄い。 家庭各のニーズや児童や個別課題の把握されていない点について、引き続き、支援が必要。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立課題やアイテニズム計画を作成している。	88%	13%	計画者のスキルアップが必要
	13	自立支援サービスが適切な作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の主観に関わる職員が作成時点下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	面談の中しは ⇒ 中間各者会議などの開催を設って、児童の支援について話し合う機会を設ける必要があると思われる。
	14	自立支援サービス計画が職員間に共有され、目標に沿った支援が行われているか 。	75%	25%	計画者のスキルアップが必要 計画や支援方針について、さらに理解を深めるために、情報共有を活発にする必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	75%	25%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立支援サービス計画には、自立支援サービスガイドライン の「計画支援サービスの提供マイ ネジメント」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの 本質に必要な項目が盛り込 まれた、それぞれ の支援内容の明示 されている。	75%	25%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまな中で、準備しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	88%	13%	当日の動き や内容について、打ち合わせ の時間を作ると 全体 の 理解が深まると 思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	活動プログムについては、時々、新しい内容を入れていくことも検討してもよいと思われる。
	19	こどもの 状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 支援効果 アセリービス計画を 作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご意望に応じて、個別対応や集団での関わりクセや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には 複数関 で必ず打合せを行い、その 日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	88%	13%	予定表なる「支援計画書の記載 で以来 下 さい。とした 形 もれ ていない。 話しかいもなく、目標が共有されている 計画 い願い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	75%	25%	スタッフの話し合いの進行ができていない スタッフの話もスピードが速い 分析がある程は、スタッフが書きっぱなしでやまるとよいと思う。
	22	日々の支援に関して記録をることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	計画者のスキルアップが必要 どのような支援をした子に関わっている内容が増えるとよい
	23	活動内にモニタリングを行い、自立課題やアイセービスは他の支援しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	88%	13%	計画者のスキルアップが必要
	24	自立支援サービスガイドライン の「よりの基本活動」を理解 組み合わせて 支援を行っている。	88%	13%	基本活動を 考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	88%	13%	おそさまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	88%	13%	ご意望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	88%	13%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行っております。
	30	学校を卒業し、自立指導やアイセービスから 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を 的確 に引き継いでいる。	63%	38%	事例がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を 設けている。	50%	50%	問題が当ち際には障害交換を行います。研修の機会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	自立指定児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと自由する機会がある。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの 状況を 保護者と伝え合い、こどもの 発達の 状況や課題について 共通理解を 持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を 提供させていただく等して 共通理解が出てきるように 努めております。
	35	家族の 日ロ 々の 上を図る 観点から、家族に対して 家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の 機会や情報提供等を 行っている。	50%	50%	こちらでの日ロ々支援法提案を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	スタッフのスキルアップが必要
	37	自立支援サービス計画を作成する際には、こども や家族の 意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の 意向を確認する機会を 設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してはは随時ご説明させていただいております。
	38	「自立支援サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から 自立支援サービス計画の同意を 得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してはは随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの 子育ての悩み等に対する相談に適宜に応じ、面談の 必要な 状況と 支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて 適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の 会の 活動を 支援するこ とや、保護者 同 士 の 交流 する 機会を 設ける 等の支援を 行っている。	38%	63%	ご意望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの 意見について、対応の 経過を 整理するとともに、こども や保護者と 共有し、改善や 求 った 場合に 迅速かつ 適切に 対応している。	100%	0%	事業開年の 合理者 対 を設定するよう 声に、各事業所に 対応しつかい内容は、新光受付 窓口 口で 相談できるように 努めており、文書を頂いた際には 迅速に 対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこ とや、HPやSNS等を 活用するこ とにより、活動 様 子 や 行事予定、連絡体制等の情報を こども や保護者に対して 発信している。	63%	38%	月ごとに 活動予定を 発信し、また、毎日 ブログを作成し、活動の様子を ご確認いただける 取り組みを行なっております。
	43	個人情報の 取り 扱いを 十分留 している。	100%	0%	入社時に 誓約書にて 確認し、個人情報の保護や 漏洩防止に力を 入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への 適切 や 情報伝達のための 配慮を している。	100%	0%	より円滑に お伝え お伝えるように 努めております。
	45	事業所の 行事に 地域住民を 招待する 等、地域に 開かれた 事業運営を 図っている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急 時 マニュアル、 緊急 時 対応マニュアル、 感染症 対応マニュアル 等を 策定し、職員や 家族等に 周知するとともに、発生を 想定した 訓練を 実施している。	88%	13%	必要に応じて 随時を 行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を 策定するとともに、非常 災害の 発生と 備え、定期的に 避難、救出その 他必要な 訓練を 行っている。	88%	13%	定期的な 訓練に 加え、業務継続計画（BCP）の策定を 検討いたします。
	48	開始に、保護や 予防接種、てんかん 発作 等のこどもの 状況を 確認している。	88%	13%	予防接種について 把握はしていない。アセスメントシートに 記載する 場が ないため。 一緒などに 立ち あられるこ と 確認しやすくなっていくと 思う。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の 指示書に 基づく 対応が されている。	100%	0%	ご配慮を 作成し 職員が一目で分かるような 工夫をしております。
	50	安全計画を 作成し、安全管理に 必要な 研修や訓練、その 他必要な 措置を 講じる 等、安全管理が 十分された 中で 支援が 行われている。	100%	0%	定期的に 行って おります。
	51	こどもの安全確保に 関して、散歩 等この 活動が 図られるよう、安全計画に 基づく 取組内容について、関係者へ 周知している 。	88%	13%	必要に応じて 周知を 行って おります。
	52	ヒヤリハットや事故報告の 分析 を し、再発防止に向けた 対策について 検討を している。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入る し、事例でヒヤリハットを 適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する 体制を 整えております。
	53	虐待を 防止するため、職員の 研修機会を 確保する等、適切な 対応を している。	100%	0%	虐待防止委員会を 設置するとともに、定期的な 全体研修を 行ない、虐待防止に 努めて おります。
	54	どのような 場合に やむを 得ず 身体的拘束 行うかについて、組織的に 決定し、こども や保護者に 事前に 十分に 説明し了解を 得た上で、自立指導アイセービス計画に 記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性 ・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は 法記録を行って おります。また、計画書にも 反映して おります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド044新鶴店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に対応している。	66%	66%	子どもが一人一人、自分ができるように考えて工夫して、そのことが施設でのライフすることもいる。 スペースについてですが、現在は、定員いっぱいまで利用しているほぼ毎日満員状態であり、 ベストなスペースとはいえない方、課題としてあげさせて頂きます 理解度に多様性があり、あと1度確認をとる必要 定員（1人）に対しまった人数をスタッフが配置しているため、環境整備がとても良い状態にあります。 管理面等にとどめ、特化者やすすスペースを確保している。
	2	利用定員や子ども1人当たりの面積に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	教育や療育に資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	78%	22%	広いトイレが複数や施設設計にあるため、クールダウンさせていただりしても、出入りがあるため、落ち着けない場合があります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども1人1人の活動に合わせた空間になっている。	89%	11%	清潔整頓、清掃は十分に行っているが、清潔ではあると思いますが、児童の活動に合わせた空間とは言いきれないと思います
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	67%	33%	思いやで個別の空間を用意することが難しいように思える 余裕な施設広々非常ですまずが、スケ数いたようにトイレや広しがあるため、ボジル環境とは言いがたいと思われます 個別の活動空間がないのでやや、視点配慮にやっていきたいと思いますが、しかし、活動がないやスペーンやや仕切りなどを使い上手くフェードアウトする場所を作ってもと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	78%	22%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月末、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会を組み入れ等や話題を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修動画や相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己肯定感アイデンティティ計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自己肯定感アイデンティティサービスの提供を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主観に関わる職員が作成時期点下で、こどもの最新の状況を考慮した個別計画が行われている。	100%	0%	定期的にスタッフ会議を行なっている
	14	自己肯定感アイデンティティサービスの提供が職員同に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自己肯定感アイデンティティサービスガイドラインの「対象自己肯定感アイデンティティサービスの提供すべき対象」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のない及び支援内容も踏まえながら、こどもの主観に必要な項目が選択と設定され、それこと、具体的な支援内容の特定を行っている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	89%	11%	チーム下は行えていないので、改めたいと思う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	活動に関してはとても考えていて、固定がさすないです。ですので毎回の活動内容を説明する点は大変かと思われますがスタッフは1人1人とも心と不定の内容、情報しやすい内容に置き換え活動しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご意図に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	89%	11%	毎日は行えていないので、改めたいと思う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	89%	11%	毎日は行えていないので、改めたいと思う
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるようご家族と意見を交わて記入するように努めております。また、モニタリングや個別と付その子記録を客観に示の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、自己肯定感アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自己肯定感アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	予防論や成長に合わせて、もっと努力する必要性を感じる
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している機関が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご意図に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	78%	22%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己肯定感アイデンティティサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相互する等している。	100%	0%	ご意図に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターの活用を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	89%	11%	問題が当った際には障害支援を行います。研修の講会が良ければ参加的に参加させていただきます。
	32	自己肯定感クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	89%	11%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	89%	11%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めてあります。
	35	家族の75%以上の参加を前提とし、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加ができる時間の場合や積極参加等を行っている。	67%	33%	こちらでの75%方法参考「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己肯定感アイデンティティサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自己肯定感アイデンティティサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己肯定感アイデンティティサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご保護と応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、さょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	33%	67%	ご意図に応じて、対応させていただいてあります。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や良い方策のご提供に対応している。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してもい方法は、組み受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策等訓練を行っている。	89%	11%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	89%	11%	定期的な行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて随時を行ってあります。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析を し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、治療指示や管理者とも対応する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	感染防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今にも保護や緊急的医を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己肯定感アイデンティティサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド045新西区呂店（放デイ）

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が見込量支援等のスペースとの関係で適切であるか。	73%	27%	トイレが1つしかない。 オープンな空間なので、子ども全員を見渡しやすい点は良いと思います。ただ、トイレが1つしかないため、もう1つ増設していただけると、より利用しやすいと感じます。また、ロッカールームや荷物を置くスペースも十分ではないため、もう少し広いスペースがあると良いと思います。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	人員配置は足りているが、あまり仕事をしない常勤がいる 人が足りない感じはないです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	73%	27%	室内が狭い 人数に対するトイレの数、スタッフの作業スペースとう観点は仕切りは必要かと思います。 落ち着いてできる環境も用意できる。 現状ではやや子ども環境にないている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもと適切に合わせた空間となっているか。	100%	0%	常に清潔をがけている。
	5	必要に応じて、こどもの個別の感覚や福祉を提供することが図られる配慮になっているか。	36%	64%	配慮がないため、個別対応になるものがあると思います。一応パーテーションは点在しますが、もう少しレッさやすにた仕切りが欲しいです。 パーテションなどでしきりをしている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画的に質の高い取り組みを実施しているか。	82%	18%	文書に会員サインし日毎で工夫がされている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	82%	18%	その都度サインや文書で活用している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	82%	18%	一年に2回あるかないか程度です。落ち着いて話ができるよう、しっかりと定期を組んでいただけると嬉しいです。 意見交換しやすい雰囲気がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	91%	9%	内容が現れされている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や立入内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	例えば、場当意的な処理方法の、エビペンの使用方法、浣腸の使い方など、実際の場面を想定した研修がもう少し多く出来と良いです。資格なしの方や新う職員がないものだからこそ、時間を掛つと丘内でしかいだろうので、定期的に実践的で丁寧度で出る機会があると思います。 研修の強制は特にされていない。 定期的に研修を受けて学ばせていただける環境が整っている
適切な支援の提供	11	個別に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	理解したらサインをしている。
	12	様々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	職員の意見交換が出る。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	連絡ノートの活用 個別記録を残している。 会議開には、担当者会議に出席してもらうようにしていますが、時間が合わない時には、出来上がったものを読んでもらうようにしています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画になった支援が行われているか。	91%	9%	会議日を決めている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により適切に評価しているか。	100%	0%	具体的な声かけと記録されている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のそれぞれの観点を踏まえながら、こどもの全面的な発達や適切な福祉の提供を図るために必要な支援内容が記載されているか。それに加え、具体的な支援内容が明示されているか。	91%	9%	個別をしっかりしている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	91%	9%	定期額の運動が苦手な方も、できるだけ楽方への先生は遊びたいのですが、「先生」が嫌みの記載でも良ますため、なかなか思い出にくいと思っています。以前とは違くと楽方への先生は遊びてきましたが、会社全体で「記録をGoogleに」など、特集前の印象が先生がやっていたりなど、課題・子ども支援にとって安心して先生ができるのではないかと思います。子どもたちからも、本当に楽しい場所への先生は嫌だという声があるため、現段階では個別の先生方を固定できるようにはなく思います。 専用支援を大切にしている いつ遊園をだいれられた意見やアイデアを取り入れています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	91%	9%	新しい試みを取り入れている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	91%	9%	連絡が取り組みやすい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる活動内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	64%	36%	全体での共有は十分に行えていないように感じますが、個人間では必要に応じて情報を共有し作えていると感じます。 内容を生徒で共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	64%	36%	内容を全員で共有している。 いなかったスタッフへは記録を閲覧している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	91%	9%	文化で記録し皆方の様ちないようにしていること。 都かく記録を取り、改善に努めている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の妥当性や利用し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	子供の様子を具体的に伝えている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	91%	9%	生活に役立つ内容が多い。
	25	こどもが自己選択できるような支援のエネがされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	遊び場面を選択と判断されている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの支援をよく理解した形で参画しているか。	91%	9%	定期を参考にして集められている。 行っていることもあるが少ていないところもの為り、できる限り出席したいと思っています。
	27	幼稚の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、福祉場合、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	連携を必要に応じて取り合っている。 子ども会議の会議にも引き出席をお願いしています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（必要時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	出まで伝え出ができないや校もあり、十分な連携が難しいと感じます。 学校の予定を把握して活動していて、 中には学校ではない施設に連れていくと言う学校があります。
	29	学校等に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報付与と相互理解に努めているか。	73%	27%	常にるる生徒やなに配慮している。 複雑共有しいかやすず、一定情報が深れて来が関連者幅から聞いています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等、切れ目のない支援体制の構築に努めているか。	64%	36%	おすさんや先生見通しを連携している。 情報提供しないです。関わりエミリオ一切ありません。
	31	地域の児童発達支援センターの療養を図り、必要等に応じてスーパーバイズの知識や評価等を受ける機会を設けているか。	73%	27%	必要に応じお知らせがある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	27%	73%	具体的にどのように交流するかなどを作れば良いかか、実際の事例があれば良ていただきたいです。 入って日常いのでわかりません。 年々機会が少なくできてもう支せん。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	73%	27%	必要な情報を伝えてくれている。 子ども会議なに参加して参加しています。
	34	行政やこどもの支援を保護者と分え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々細かく報告している。
	35	家族の時間の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等が参加できる幼稚や職場を開催等を行っているか。	64%	36%	必要な保護者に紹介している。 また一日入って参加して頂きそこで話す機会を作っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	新い環境見月うもしなが伝えている。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意向や尊重、こどもの最善の利益や最先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を最新する機会を設けているか。	91%	9%	家族から連絡を密にしている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を分しなやな支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	わかりやすく伝えている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	82%	18%	現行入力日本語との関係関係複雑しかしていない、返品時は特別に返れれている分で基本前は関りない 必要に応じて専門機関を紹介している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	55%	45%	よさまざまな活動で交流を深める工夫をしている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、36三の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情の受ったや得るに設置から適切に36三をしているか。	91%	9%	苦情等は事甲く日毎し対応している。
	42	定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	先生動等の様子は等落を多く活用している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	資料の置き場所が整備に決まっている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の表示や情報交換のための配慮をしているか。	91%	9%	保護者に応じて伝え方を工夫している。
	45	事業者の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	45%	55%	地域と交流を深めるために、具体的にどのような取り組みを行えばよいか、アドバイスをいただきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	91%	9%	これまで事故を起こしたことはありませんが、実際に事故が起きた際に、具体的にどのような対応をればよいかが不安があります。その為、実際の場面を想定した訓練を研修に取り入れていただきたいです。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、教生その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、緊急や別な避難、てんかん発作等のこどもの対応を確認しているか。	100%	0%	新たと個室し他のた際、保護者から連絡のない場合もある 今回数でお特に実施している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	91%	9%	毎やつの内容もチェックしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたやすを支援が行われているか。	91%	9%	各ないものは取り組かれている。
	51	こどもの安全確保に関して、事故等との連携が図られるよう、安全計画に基づく関係内容について、事故等へ周知しているか。	91%	9%	保護者にて事に説明している。
	52	ヒヤリハットや事故等が生じた時、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	91%	9%	危険には早めに対処している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	73%	27%	例えば、子ども や保護者の心虐待や体型、ネグレクトを受けているかでは知らかと思った場合、どのように対応すればよいのでしょうか。実践内のことは全て把握することが難しく、子どもの話が事実なのか判断できない場合もあります。それでも「もしかしたら虐待かもしれない」と思ったことがあります。対応方法によって、子どもがホルに思い知らせることもに繋がり、実際の事例をもとに、どのように対応・相談すればよいのか具体的にやっる事例があるとよいと思います。 研修の立ち上げをする。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や家族等に事前に十分に説明した 上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	91%	9%	記述的・点代替的・一時性を満たしている場合とし、身体性をもったら場合は記録を行っております。また、訪問者にも反映してあります。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自ら作成した自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド046栗東店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	利用者に対するスペースは丁度良いと思う
	2	利用者間でどもわが世界に対して、職員の変置転は適切である。	89%	11%	マンツーマンの接触が必要な利用者が多いと広々と遊ぶ人数を配置していると思う 多動性障害というその因各を含め、お店の小物が出ない様しいと思います しかし、子どり同士がご近所で幅員が広ないて環境の不安気味。
	3	生活空間は、どなもにわかりやすく構造化され利用しなっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団の活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	ご家庭にお行けている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や刺激を調整することが図られる環境になっている。	89%	11%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	78%	22%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、朝礼、夕礼、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	89%	11%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修の以外に、研修動画の視聴による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイデンティティ計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やムナさポ小様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイデンティサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様子さまざまの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイデンティサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイデンティサービス計画には、発達段階アイデンティガイドライン「放課後型アイデンティサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主体的に参加する様々な経験が提供されるよう計画を策定され、それぞれの支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ゆうまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間相互に good morning 等の声かけを行い、その日行われる活動の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々から積極的参加致そう。記憶や口頭による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	78%	22%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々から積極的参加致そう。記憶や口頭による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイデンティスト他の意見しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	様子さまざまの状況や必要性に応じて適切な頻度し生行っております。
	24	児童発達アイデンティガイドラインの「４つの基本活動」を偏在配分合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	様子さまざまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	89%	11%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の引き継ぎ等、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	89%	11%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を設けている。	89%	11%	問題が生じた際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	33%	67%	機会があればぜひしていきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	56%	44%	機会があればぜひしていきたいと思います。
	34	日常からこどもの安全な保護者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	89%	11%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々発信致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイデンティサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児童発達デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。	44%	56%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が申し入れ場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	78%	22%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	44%	56%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開催に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	様子さまざまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することもに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイデンティサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理 ―一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド047主生店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	パソコン室とホール内が狭く感じられているが、お入りに口にドアがないため、スタッフ不在のパソコン室に児童が勝手に入って危ガに陥れたり、窃を図ようとしたりすることが無り、児童を室外３可能性がある。ペビーデート的なものがあると良いと思う。 ちょと工夫していると思います ハコとを管理す
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	43%	57%	日によって送迎や定着状況などスタッフが１名しかいないため、実施時間内の経験スタッフが非常勤の新出が減て児童対応が十分になってしまうことがある。 人手不足のため 人手不足のため、なかなかスタッフ入れ込めず、ご家族と思う事が多いです 常勤職員が足りないので、スタッフを増やして欲しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	もう少し広い方が望ましい ロッカー数があるため、子どもが自分のロッカーの場所を確認できて、自分で荷物をその場所しいられるところが工夫できていると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団の活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	予想通り都合に合わせて机を移動させられりしと定期作りには手にしていると思う 個に合わた個のスペースがあるといいかもしれない
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や臨時を調理することが図られる環境になっている。	86%	14%	チームデランが必要な時などは相談室で対応している。 相談のない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に全職員で開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	71%	29%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意⾒等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	57%	43%	なかなか時間が取れないと思いますが必要だと思います
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	57%	43%	予算時計していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や⾃⼰研⾝を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲や相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	71%	29%	児童情報の取得がスタッフ各人に任せられているため、前後・理解⼜は個人差がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、⽀援保育アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさまの様子をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	個別⽀援アイサービス計画を作成する際には、児童発達⽀援管理責任者だけでなく、こどもの⽀援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した個別計画が作られている。	86%	14%	お子さまその都度の作成を考慮し検討の上、参考職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	個別⽀援アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った⽀援が⾏われているか 。	71%	29%	「個別⽀援計画を絶対までに作成すること」が目的になっており、作成内容をスタッフに共有する機会が設けられていない。⽀援内容の理解が各人の⽀援⽔準となっている。
	15	こどもの適正行動の状況を、標準化された⽅法を⽤いたフォーマルなアセスメントや、⽇々の⾏動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活⽤する等により把握している。	100%	0%	客観ではないので客観出⽔にもダウンロードしてもらえると有り難いです
	16	個別⽀援アイサービス計画には、⽀援保育アイサービスガイドライン「知的⽀援アイサービスの提供すべき⽔準」の「本人⽀援」「家族⽀援」「移⾏⽀援」及び「地域⽀援・地域連携」のねらい及び⽅法内容も踏まえた上で、こどもの⽀援に必要な項⽬が設けて設定され、それぞれ、具体的な⽀援内容が明⽂化されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った⽀援等さまざまな中、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで⾏っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう⼯夫している。	86%	14%	変更が必要な場合、内容を相談して改善点を取り⼊れるようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて⽀援保育アイサービスを計画を作成し、⽀援が⾏われている。	86%	14%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり⽅や⽀援⽅法等を計画書に取り⼊れております。
	20	児童間関係に配慮した活動⽂脈や集団の⼈数、⼈的配置、物的環境を適宜⾒直している。	100%	0%	活動時間が異なることが多い為、常勤職員等⼗分に情報共有に努めよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず⽇々を⾏い、その⽇⾏われた⽀援の振り返りを⾏い、気付いた点等を共有している。	71%	29%	退社時間が異なるため、皆さんメンバーで確認しべらって気になる点を話す時間ないので、時間や確認時間を予め決めておくなどしないと流されてしまう。
	22	⽇々の⽀援に関して記録することを徹底し、⽀援の検証・改善につなげている。	100%	0%	気になったお中断が・対応が必要なことが多る場合は、都度、上げまた情報アップしている。
	23	活動⽀援モニタリングを⾏い、⽀援保育アイサービス計画の⾒直しの必要性を判断し、適切な⾒直しを⾏っている。	86%	14%	上司⽒を通じて教室されていると思う
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解し活かせて⽀援を⾏っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが⾃ら選択できるような⽀援の⼯夫がされている等、⾃己決定をする⼒を育てるための⽀援を⾏っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した⽀援を⾏っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談⽀援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	86%	14%	おそさまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（⼯⾜歯や協⼒医療機関等）、福祉協⽴、保育、教育等の関係機関と連携して⽀援を⾏う体制を整えている。	71%	29%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・⾏事予定等の交換、こどもの⼼⾝状態の⼗分な把握、連絡調整（巡回時の⼗分な、トラブル発⽣時の連絡）を⾏なに⾏っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼⼦校に⼊校していた保育⼠や幼稚園、認定こども園、児童発達⽀援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	57%	43%	学校と⼗分連絡共有などは⾏なっていず、幼⼦校の園などまでは⾏なっていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移⾏する場合、それまでの⽀援内容等の情報を⼗分に引き継いでいる。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達⽀援センターの療育を活⽤、必要等に応じてスーパーバイズの観点での研修を受ける機会を設けている。	71%	29%	問題が⽣じた際には障害児相談⽀援を⾏います。研修の講⽰が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	29%	71%	学園などの児童と交流する機会は設けられていない。
	33	「⾃⽴⽀援」協議会等へ積極的に参加している。	71%	29%	機会が⽣れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの⽰⽣を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	連絡帳にて送迎時にプラスで伝える様にしています
	35	家族の⽀援⼒の向上を図る観点から、家族に対して家族⽀援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を⾏っている。	57%	43%	こちらでの⽀援方法提⽰を「あなの様⼦」として⽇々報告強化し、ご家庭での⽀援にご活⽤いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、⽀援プログラム、利⽤者負担等について丁寧な説明を⾏っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	個別⽀援アイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意⾒の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を⼊⼒する際、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの⼦育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助⾔や必要な情報と⽀援を⾏っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父⺟の会の活動を⽀援するとともに、保護者同⼠や関係者等間の連絡調整その他の⽀援を⾏っている。	29%	71%	保護者会などは開催していない。
	41	こどもや保護者からの意⾒について、対応の経過を整理するとともに、こどもや保護者に周知し、改善や新たな⽀援につなげている。	100%	0%	事業開始の段階で利⽤をご希望されるお⽅に、各事業所にご相談していただき、お⽔受付窓口にて相談できるように努めており、お⽔を頂いた際には必ずご対応しております。
	42	定期的に通信等を発⾏するとともに、HPやSNS等を活⽤するとともより、活動様⼦や⾏事予定、感染⽔制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	71%	29%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様⼦をご確認いただける取り組みを⾏なっております。
	43	個⼈情報の取り扱いに⼗分留意している。	100%	0%	⼊社時に誓約書にて確認し、個⼈情報の保護や漏洩防止に⼒を⼊れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の⾏事に地域住⺠を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	29%	71%	事業所の⾏事への参加などはできていない。
非常時等の対応	46	事故防⽌マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発⽣を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を⾏っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発⽣と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を⾏っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開設に、保護⼦弁当保護、てんかん発作⽌のどこもの⽀援を確認している。	100%	0%	基本的ますな⽅に保護者に確認の徹底を記入してもらっています
	49	食物アレルギーのあるどもについて、医師の指⽰書に基づく対応がされている。	100%	0%	⼀覧表を作成し職員が⼀⽬でわかるような⼯夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が⼗分された中で⽀援が⾏われている。	100%	0%	定期的に⾏ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、新規⽀この避難が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、職員間へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を⾏っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告の⽔準も、再発防⽌に向けた⽅策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記⼊なし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を⾏ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を⾏うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に⼗分に説明し了解を得た上で、⽀援保育アイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・⾃⼰誓⽂ ―⾝体拘束⾏ったと報告は法記録を⾏っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド048新生木店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適正である。	100%	0%	利用者数にあったスペースが確保されている。 工夫点：・・・プロフィルにあるとアマットを可視の状態にあって遊ぶ場所を変えたりしている
	2	利用者同士どもの小集団活動に対して、環境の変更等は適切である。	89%	11%	マンツーマン対応児童から数が多い位にスタッフの人数を増やせる。対応に苦労が難しくなっていまう事もある。人件費等を考えると難しいが、クラス自動開閉動線できるスタッフがもう1人居てくれると助かるなと思う事がある。 利用者等子どもたちの対応に苦労中で、必要な人数のスタッフが配置されているものです。 私の位置を変えることで新人の先輩も1人や職員が安心やプロアビ全体を見られるようなに工夫している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	予約に自分行く表の配置や子供が入ってはけない特などが置きされている 児童が見分安くように目印あるの置くとなるようこ名前を付けたり、置く場所を決めたりしている。 子どもがわかりやすく、安全に遊びを積極的かかって行。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	こども達が出入れしやすい配置を考え、利用児童によって経験等を変える事もある。 ミラクす、されいにしています。 毎日プロアやトイレ、パソコン室をアルコール等で消毒を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	私的もが置もみんでしまったり、混雑してしまったりした場合には、基やに説明できるようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	スタッフ間で日々振り返りを し、より良い支援について話し合える環境をやっている 月間定まるのアプ作定や作成している。 職員が目標設定や振り返りに参加しているものです。
	7	保護者向け評価表による、自援者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月末、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	研修資料用スタッフルームにおる。 しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの意見内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自援発達アイザービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	自援発達アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	こども達の良い点・改善点などを日々話し合い、共有しながら進めている
	14	自援発達アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	定期スタッフやアプ記録等特のお化グループを作り、家族・休祭期間など 他施とたら共有出来るようしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	個別出来ています
	16	自援発達アイザービス計画には、自援発達アイザービスガイドラインの「総援発達アイザービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が記載と設定され、そのことで、具体的な支援内容の明確化されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	平均値が20代～30代台の下、様々な意見を受け入れるようにしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自援発達アイザービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に 取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振りることが多い為、常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	89%	11%	LINEグループやクラブ記録に支援した支援の様子を記録し、共有している 利用者カードやクラブ記録を共有している。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	利用者さんへのクラブ記録を共有している。
	23	活動内にモニタリングを行い、自援発達アイザービス計画の妥当性や利便し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまや状況や必要性に応じて適切な頻度し を行っております。
	24	自援発達アイザービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	日々の支援の中で、様々事もや応であるが、何初めの意思をして自分で選択・決定出来るような定期期計を意識して支援するよう共有している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまや状況をより理解している機関が新加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	新設する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自援発達アイザービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を的切する等、っているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	67%	33%	問題が当た際には障害支援を行います。研修の講会が良れば積極的に参加させていただきます。
	32	自援発達クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	56%	44%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	自援等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を目ぬかう、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	89%	11%	こちらでの75%方法提考 「本日の様子」として日々報告強し、ご家族でのお支援にご活用いただけるよう紙のくお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自援発達アイザービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自援発達アイザービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自援発達アイザービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて連定、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの必要性が高い場合には、組織的に検討し、計画の変更を行っているか。	100%	0%	各事業所での改善要望を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、組合受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、感染条制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プロアを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	名前のついたものは必ずシュレッダーする
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々共有し、再発防止に向けた取組について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指定や管理者とも共有する技術を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も保護や身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自援発達アイザービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理 →一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド050野木店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	67%	33%	活動のスペースが狭い 活動に困ることがない。体調などこそ、スタッフが情報を共有します。 設置スペースが ゆったりとすごせるスペースがない。 活動室がない分リラクゼーション等を活用している。
	2	利用定員や こどもの分類等に対して、職員の配置数は適切である。	67%	33%	人数の追加が必要 やる時は やるとして、職員の目で利用者を見るように心掛けている。 いつもやっている。配合している 可能する職員体制としては十分だが、放課後等デイ全体に支援するスタッフが多く、人手が足りないと感じる日がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	各部門の拡張が必要 実際 一すなる（学習）→ライイングの区内が確立されているため、利用者が主に何をやるかが分かりやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	アルコールでの使い方 ごまめに利用者に手洗いを促し、アルコール除菌を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	0%	100%	個別の空間が無い 設定がないため、現在管理者用PCのスペースを使っている 個別になれる部屋はないが、必要に応じて医療の隣などを利用しております。 個別スペースがない 設定されていないリラクゼーション等を活用している。 クールダウンスペースがない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	89%	11%	まあ、そう思う 利用者のどのようなところを挙げず、何を改善するか共有します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	なかなか忙しくて機会がないもスタッフ会議の際に実施していく 保護者懇談会にて意見を聞く機会としております。 利用者様の心に寄ったことは共有している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	そう思う 意見がなるべくなることを言いやすい環境です。 職員間で気になったことは共有している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	78%	22%	そう思う 行っていると思いますが、詳しくは分かりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	研修に参加済み Y月による研修を実施しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	そう思う 個別のファイルが良う、スタッフはいつでも確認できます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プ ログラムを作成している。	100%	0%	そう思う こどもんな支援をの様々のかを確認して行っています。
	13	自立援助プログラムは適切に作成する必要とは、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が作成時点で、こどもの最新の状況を考慮した個別の計画を作成している。	100%	0%	そう思う いろいろな職員の意見を参考にして作成されています。 モニタリングの時期、個別支援計画の作成、支援の振り返り、などの日頃の取組などあらゆる面に置いて気になったことは共有しずとりたちが家庭支援をお多としてのが行っている 定期的にミーティングもしている状態、必要に応じて適宜話し合いをしている。
	14	自立援助プログラムが適切で職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	そう思う 特にどのように支援するかが明確にされている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	そう思う 確認されていると思います。
	16	自立援助ホームガイドラインの「社会的養護における自立支援の推進について」の「第５章 自立援助ホームにおける支援」において、次の内容が示されている。 ・「生活支援」「学習支援」「就労支援」「退所後の支援」「運営」 ・「入所児童の状況等に応じた支援」 ・「年長児童への支援」 ・「心理的ケアを必要とする子どもへの支援」 ・「被虐待児への支援」 ・「障害のある子どもへの支援」 ・「外国籍の子どもへの支援」	100%	0%	そう思う このケア は、このようなことを支援するようにというような内容です。
	17	自立援助プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	そう思う 全てのスタッフが協力して行っています。
	18	自立援助プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	そう思う ネットなどから情報を得て工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 自立援助等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	そう思う また個別活動が多いですが、ときには行程集で盛り上がります。
	20	支援開始前には個別支援会議を行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	そう思う 全ては決まっていない、当日いるスタッフの集まり具合や機会を作る レクリエーションでは、口々毎朝ヤ担当を決めて行っています。
	21	支援終了後には、個別間で必ず行なやを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	89%	11%	そう思う ちかなを記録でいない、スタッフ会議の際に話しているため出来るだけ支援者には多くより聞く 時間の調整はとても、確認がなければよう改善点など主ですことで多くあります。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	そう思う どのような支援を行い、子供がどう行ったかを毎日記録しています。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助ホームガイドラインの活動しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	そう思う 具体的にはかりかをもんが、行っていると思います。
	24	自立援助ホームガイドラインの「４つの基本活動」を理解し、支援を行っているか。	100%	0%	そう思う 個々の長所を考えて行っています。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	そう思う 課題を見のことさには子供に任せていたが、将来に繋がらないような場合は何度とます。
関係機関や保護者との連携	26	都道府県自立援助業務のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	89%	11%	理解している者が参加するのは当然のことだと思います。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	89%	11%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、こどもの下校時の様態把握）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	毎日連絡帳で確認してます。
	29	相手almに判断していた保育中の給食、昼寝こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と電話機に努めている。	67%	33%	相談時としか情報を得ていなかったため、来年度時１年生から給食園、保育所にも直を問いていく
	30	学校を卒業し、自立援助デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を適切である等している。	56%	44%	そう思う やれとこる障害福祉サービス事業所に行ったりでいない 現在、卒業生がいない。 現在、卒業生がいますが、担当者が引き継ぎ情報提供はしていた思います。 これまで該当する利用者はいなかったが、中後必要が生じた場合は それに応じて行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	56%	44%	設けていると思います。
	32	自立援助ホームと児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	一緒というより、子供が職場の見識を利用しています。 それ内ありません。
	33	「自立支援」関連会等へ積極的に参加しているか。	33%	67%	参加していると思います。
	34	日常からこどもの非定生保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	そう思う それぞれの様子を公開し、保護者からの連絡は行なっています。
	35	家族の約5割の以上を占める割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	44%	56%	必要に応じて保護者と情報交換をしています。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	89%	11%	利用開始時には、丁寧に説明しています。
	37	自立援助デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	そう思う 保護者からも意見を言いやすい関係を築いてます。
	38	「自立援助デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	そう思う 保護者の同意を得て、計画をさせていると思います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	そう思う 子供だけでなく保護者へも助言することが多々あります。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	44%	56%	そう思う 同じ学校などの関係で交流はあるようです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の経過を整理するとともに、こどもや保護者に周知し、改善や求った場合には迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	そう思う 事故等は、伝達と情報を共有し、対応しています。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	56%	44%	月毎にレクリエーションなどの情報を提供してます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	シュレッダーを使用 不用の目に付かないところに保管してます。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	そう思う 個々の協同を理解して対応してます。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	22%	78%	現状と今交流は、いろいろなハードルがあると思います。
	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	実施してる ミサイル訓練を行いました。 避難訓練を行っていますが、参加できていない状態がいる。マニュアルがあることは理解しているが実際に理解するかは分からない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	89%	11%	行っていると思いますが、よく分からません。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のどもの状況を確認しているか。	100%	0%	している 個人ファイルでチェックできるようになっています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができている。	89%	11%	そう思う 主人や保護者からの申告をファイルで確認できます。 定期の食事表以外でも名されていないが、特徴者等の対象を得ています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分それた中で支援が行われているか。	100%	0%	そう思う リモート研修が行われています。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか 。	100%	0%	そう思う 行なっていると思います。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析を し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	検討している 報連などとでも、情報を共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	そう思う リモート研修を受けました。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	不当の目指を保護者も理解しています。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド53鶴田店FUN（放デイ）

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	80%	20%	現状の広さがすぐもの数に対して狭いと感じます 定員１５名利用時にプログラ対策へ、となりの児童発達クロビが空きスペースとなっている方がもったいない 利用の際いたやべりを感じる時も、現室が狭いスペースレールで分離にした方が良いスペースをリスを考えているが騒ちにある広い自発スペースを活動の際だけでも使用できたらありがたい
	2	利用支援やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	活動カードを用いて児童が椅子を共有していることが気になる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	90%	10%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定など試してもいるがも広しがい行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表による、自己評価等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月末、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やみ子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	様子ままの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、発達段階アイサービスガイドラインの「総則発達アイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、そのことで、具体的な支援内容が明示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	90%	10%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援発等アイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間関係に配慮した集団形成が図られるよう、その日の状況に応じて、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動間関が偏らることが多い為、常動職員等々から積極的参加促進よう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ずその日を振り返り、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	活動関関も関係に関与することが多い為、関係に常動職員等々から積極的参加促進よう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に日々の目標を考えております。
	23	活動等にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を偏在配おり合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	90%	10%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を適切である等、	80%	20%	まだ就学に当たり悩んでいない
	31	地域の児童発達支援センターの療育を活用、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	80%	20%	問題が当たり悩には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	場合が良ければ参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	70%	30%	場合が良ければ参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子を対応えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の約5割方の向上を図る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	80%	20%	こちらでの約5方法提供を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児童発達アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達アイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で充実する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの公表等の適切に対応しているか。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にご相談してやいた際は、新光受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	90%	10%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急ぶりマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	90%	10%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	90%	10%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	90%	10%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを確認出来ております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今にも身が身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド054矢板店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適切である。	78%	22%	狭いながらも、メリハリをしっかりし、スペースを確保している。 子どもたちが気持ちよく過ごせるような場作りを行っている 現在として取り組めるだけのスペースの作りとなっている。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	67%	33%	子ども受け入れに対して職員の人数が足りていない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	44%	56%	トイレ等、トイレの字が小さくて分かりにくいので、もう少し大きくするなどの工夫をしてほしい。 子どもが安全で過ごせるように下駄箱の整理を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間になっている。	89%	11%	子どもが安全で過ごせるように下駄箱の整理を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調整することが図られる環境になっている。	33%	67%	個別や個別の部屋がないため、狭い中の工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	89%	11%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面談のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	日々のミーティングや、会議、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	78%	22%	定期では行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	89%	11%	シミュレーションカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまその際面の利益を考慮し検討の上、参管勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	78%	22%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、保育所等訪問と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童発達支援センターや他の児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	必ずしも行なわれやすい方ん及びではないが、しクの内容や様々な施設する交流の共有などは、Bぼ実施している。
	21	児童発達支援センター等と連携して、子どもや家族への最も効果的な支援を行っているか。	67%	33%	必ずしもできる訳ではありが、気になった点や共有が必要な事項などは、Bぼ共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	89%	11%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別ポイントプ記録を毎月に次の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリング等の内容と本人の意向や適性との必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	89%	11%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に配慮していた保育等や給食費、送迎こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	78%	22%	幼稚園とその他園ではありませんが、保護者が単純の連絡をしてくれる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	89%	11%	まだ該当を卒業した利用者がない
	31	地域の児童発達支援センターその療育を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	56%	44%	児童発達支援センターとの連携は特にしていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	78%	22%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	89%	11%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	67%	33%	こちらでの対応方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を分しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で充実する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	56%	44%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理的で良い方策の立案など適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所での合理的対応を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	56%	44%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	89%	11%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も身ぎ体合拒否行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述例・治代管理 ・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド55加須店PLUS (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	0%	100%	都の内装を利用や可能の定期と共に変更している 都の整理整頓、充実に努めており、パーテンの使用などの下地へ設備が少ない パソコン等も共有のでセキュリティ良い。 人数に対して、現在の学生です。
	2	利用支援や子どもの分類等において、職員の変更物は適切である。	0%	100%	パークステップなのへんア 小学へもアチームでの分類 スタッフへん1人以上を有ないなければならない時間等もあり、スタッフの増員が必要
	3	生活空間は、どなどにわかりやすく構造化され利用しなっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	50%	50%	個別認識の代替としての空間 定期設においては問題ありません。 現在に合いやすで学校の配慮などから変えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっている。	25%	75%	古もの通知 広範囲ではないので、狭い通路でも心理に当時く 定期1人の時など形をお知にてもいる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を活用することが図られる環境になっている。	0%	100%	個別認識なし パークとの関係、活用を行う パークとの関係、活用を行うが多い 個別での対応の方法は必要がない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	50%	50%	前の時間を活用して行なっているが、パークステップは十分な時間は取れていない。 毎日のプチミーティングの実施
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	25%	75%	アセスミーティングでの意見共有
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	会議や前のミーティングを通して意見交換をしている アセスミーティングでの意見共有を行う プセスミーティングをしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	25%	75%	改善が必要な場合、打ち合わせ改善に努める
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で活用を開催する機会が確保されている。	50%	50%	お客スタッフ会員で積極できている ただでの研修
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	ホワイトボードに記してある 個々に合った内容の作成
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成している。	100%	0%	家庭との会話を積極的に行なっている
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども介護に関わる職員が内容説明会下で、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われている。	75%	25%	今後、他スタッフとも話し合いが必要
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お互に話して日々話し合いができている アセミーティングにて共有
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	50%	50%	アセスメントツールを平均に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドライン（「放課後型プイサービスの提供マイヤル版」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のなない及び各項内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	75%	25%	前向きで読みみんで使い
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	会議での最終確認をしている アセミーティングにて
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	前回振りレクを考慮している アセミーティングにて
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	常に話しあいができている アセミーティングを行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	前日の朝にミーティング アセミーティングにて
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	記録ファイルがあり、毎日各自の記録をとっている 学習記録に合合や記録を行っている
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助等プイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまその状況や必要性に応じて適切な頻度し生行っております。
	24	自立援助等プイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を理解前内合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやまその状況をよく理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	担当職との共有を行っている
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	パークステップとの共有を行っている
	30	学校を卒業し、自立援助等プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者としている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観察や研修を受ける場合を想定しております。	75%	25%	問題が当ス施には障害交換を行います。研修の場合が良ければ参加的に参加させていただきます。
	32	自立援助クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	50%	50%	場合が良ければ参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	25%	75%	場合が良ければ参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言語表現を読み合い、こどもの意思の伝達や理解について共通理解を持っている。	100%	0%	前回時等に行っている
	35	家族の75%以上の参加を前提とし、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	75%	25%	こちらでの75%方法参考「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助等サービス提供を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助等プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助等プイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適宜に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	面談時等に行っている
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしている。また、さょうだい同士や交流する機会を設ける等の支援をしている。	0%	100%	現状、開催されていない
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者と周知し、合意や多った場合の見直しの際行っている。	100%	0%	事業案等の合意書の1を設定するタイ共に、各事業所にの相談しづらい内容は、新央受付窓口にて相談できるように整えており、女子を扱い易にお話者に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HP やSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	今後の課題として捉えている
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	50%	50%	地域のイベントに参加している
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支え確認している。	100%	0%	お子さまの支応については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告書を分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例書ではありませんが、会議などとでも記入なし、事例でヒヤリハットを適宜共有しております。また、放事業者や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今にも身が身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体性束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド056氏家駅東店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	80%	20%	感覚刺激過多な子や、ゆったりしたい子どもたちのスペースにも余裕があります。 様子が気掛かりな子どもたちも特性が掴みやすい、距離感等の個人性が広範
	2	利用者用のこどもが使用するに対して、専用の変更物は適切である。	80%	20%	トイレが狭いなくていい子多い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所内設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	20%	80%	個別に場うよの行けうな ようが安全性はあがるのではと思います。 安りやすい機能を増やないと入り口に行けず、階段は設置のすぐそばなので非常に危険
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わ大な空間となっている。	60%	40%	狭い、古いなどがあるため、工夫が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	20%	80%	個別の認定がない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	60%	40%	定期的な会議を開催して欲しいを行っております。
	7	保護者向け評価表による、自己評価等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	60%	40%	日々のミーティングや、月末、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	60%	40%	全体研修のほかと、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価アイヤーズ計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムスさまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自己評価アイヤーズ計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様子ままの観察の利益を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自己評価アイヤーズ計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に近りた適応行動の参考として活用しております。
	16	自己評価アイヤーズ計画には、放課後等デイサービスガイドライン「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅 されており、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	80%	20%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関 係者が参 打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や関与することが多い為、常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	80%	20%	活動開始も同様に関与することが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考にお子の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子ままの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	80%	20%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子ままの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限や協力医療機関等）、福祉関は、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行っております。
	30	学校を卒業し、自己放等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due点を活かし、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が当た際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自己放児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	20%	80%	場合が当ればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	40%	60%	場合が当ればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す表情や言葉を十分に把握し、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強化をよりに努めております。
	35	家族の約5割の以上を目を割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	40%	60%	こちらでの約5方法世を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己放等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し ながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や多い ち場合に必要な説明と理解に努めている。	100%	0%	事業開年の合理者行を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	60%	40%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策等訓練を行っている。	60%	40%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支援を確認している。	80%	20%	お子ままの支援について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	60%	40%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新規等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	60%	40%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外発生、再発防止に向けた対策について検討をしている。	80%	20%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	80%	20%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を停止や体制系を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価アイヤーズ計画に記載している。	80%	20%	記述時・治代替時 ―時性を満たしている場合と、体特性系を行った場合は記述を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド057蘇沢店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	75%	25%	余裕がなく、音が反響して響くため、使い方のエホが必要
	2	利用者同士どもの分け担当に対して、職員の変置転は適切である。	75%	25%	明らかに職務数が足りてないと感じる時がある。それならの職務数の配置が必要だと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	そどもたちの目にとる場所にルールの刊表が書かれてあるのは工夫している点 それぞれの場所を分かりやすくしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わ大な空間となっている。	75%	25%	活動内容に合わせて形を変動させ、広い場所を作ったり、毎日の構築では利用している空間を観的ながら作りなどしている 基本的には清潔で良いが、激しめの運動の際後に掃除するのは大きな負担がある日も多い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を活用することが認められる環境になっている。	75%	25%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	多面がはけたおよ有職員間でことめに話し合える
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	管理者（児発管）がミニクリングしてくれてる
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	ことめに話し合っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかと、研修範囲の相談による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイザービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムアさポ介ポを伺えるように努めております。
	13	児童発達アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様子ままの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適正行動や状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に広げた適正行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイザービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅的に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふるまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイザービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が開始することが多い為、常勤職員等々中心に複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、複数関で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開間も同様に開始することが多い為、同様に常勤職員等々中心に情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は計々のケア記録を参考にお示の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達アイザービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやすまその状況や必要性に応じて適切な間隔し を行っております。
	24	児童発達アイザービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやすまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子応に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を適切である等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターその due性を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	50%	50%	問題が当った際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	0%	100%	機会があればぜ参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	0%	100%	機会があればぜ参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生体調者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただくに等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を目ぬかう、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	25%	75%	こちらでの75%方法法等を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家族での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この場合に関しては説明ご連絡させていただいております。
	37	児童発達アイザービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この場合に関しては説明ご連絡させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この場合に関しては説明ご連絡させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談の必要な相談と支援を行っている。	100%	0%	この際ごとに丁寧度、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や良い点等のご意見として受け止めている。	100%	0%	事業案等の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの定先を確認している。	100%	0%	お子さまの方況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを認定共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することもに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイザービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性 ―時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド05B枚東店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	80%	20%	全体が見渡せるようにあればよいです
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	80%	20%	全体が見渡せるようにあればよいです
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	80%	20%	こどもにわかりやすくなるように配慮したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自立運動に合わせた空間になっている。	80%	20%	運動の空間が狭い
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	80%	20%	個別の部屋、空間がない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	80%	20%	なるべく職員が参加できるようにしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	保護者の意向を把握できるようにしたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	60%	40%	職員の意見を把握する話し合いの場をもうひとようにしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	60%	40%	費用をもう計たい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	研修を受けている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	60%	40%	プログラムの公表をして欲しい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	80%	20%	他カのこどもに対してアセスメントも適切に行っている
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	80%	20%	様子ままの観察の利益を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	60%	40%	共有していきたい
	15	こどもの適正行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	60%	40%	アセスメントツールを平均に沿った適正行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	80%	20%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざなが、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	80%	20%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を行い、その日行われる支援の内容や活動予定について周知し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や関与することが多い為、突発物品型や小心情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、その日行われた支援の良い点や、気付いた点等を共有している。	80%	20%	活動開始や関与することが多い為、突発物品型や小心情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	80%	20%	客観的に分析できるようご要家と意見を交わて記入するよう努めております。また、モニタリングや都はせやクアビ記録を参考にお日指導を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の内容しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	80%	20%	おやままの状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	80%	20%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画している。	80%	20%	おやままの状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	80%	20%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	60%	40%	参加する児童発達支援事業と小学校両方を情報交に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	60%	40%	問題が当ち上際には障害交換を行います。研修の場合が多ければ参観的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	60%	40%	場合が当ればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	60%	40%	場合が当ればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
保護者への説明等	35	家族の付加力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	80%	20%	こちらでの付加方法法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益や最先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこども や、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	41	こども や保護者からの意見について、付加の経験を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や良い点場合に応じ改善につなげていている。	100%	0%	事業開年の合理管行を設定するよう声に、合理事例にの相談してやい内容は、新光受付管口にて相談できるように整えており、丸作を図り合理には対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこども や、HPやSNS等を活用することにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	80%	20%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	60%	40%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	80%	20%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ周知しているか 。	80%	20%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内容等、再発防止に向けた取組について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事例でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド059異質西店PLUS (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用者同士どもの分け担当に対して、職員の変更等は適切である。	100%	0%	担当や非常勤である職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかから話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	20%	80%	個別的な環境定があればいいと思います
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	60%	40%	定期的な会議を開催して話しい合行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	予後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修組織の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイデータに対応を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムラさまの様子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	おすさまざまの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿じた適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、発達発達アイサービスガイドライン（「総津発達アイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容を踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に組り入れております。
	20	児童間組織による個別支援が適切に行われているか。その日行われる活動の内容や役割分担について、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	活動開間が異なることが多い為、常勤職員等々と複数体制を決めるよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に常勤職員等々とも情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に日々の目標を考えております。
	23	活動等にモニタリングを行い、児課後等デイサービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすさまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	児課後等デイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おすさまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、児課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等しているか。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの役割を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	80%	20%	問題が当ち上際には障害支援を行います。研修の場合が多ければ参加的に参加させていただきます。
	32	児課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を目ぬおから、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	0%	100%	こちらでの75%方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家族での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児課後等デイサービス計画」を示し丸ながら支援内容の説明を行い、保護者から児課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの際に活用しているか。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、丸作を図り易にお伝えさせております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	60%	40%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支え確認しているか。	100%	0%	お子さまの支応について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今セを身で身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理 →一時性を満たしている場合と、身体性を満たした場合は記述を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド060鳳巣店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	25%	75%	1スペースの中で運動やパソコン、おもちゃで遊ぶなど環境設定をしている点数と感じることがある。ひとりという方も名札表示だけではない。 運動したい子と落ち着いた話ができるスペースがあるが、集団活動の際に全員が入ることができない。
	2	利用支援やこどもの状態等に対して、職員の変更物は適切である。	50%	50%	療育上の入数に基づいて６子供の特性や職種での容量や個にの生徒は各場の充足がいるため、その日時度ともにスタッフがつくようにするとお子の子供を見ているスタッフがいなくなる。確定上通っていれば良いわけではないに加く感じている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	50%	50%	バリアフリー化がされていると言えない。最低限の相談を行っていく必要があると感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間となっている。	50%	50%	全てを一律整つためなければならない状況下、いとしている方も利用者のままではないため様々な活動が入り混じり危険な時がある。 事故が下さないため、空気清浄機の活用なども適切に行う必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調整することが図られる環境になっている。	100%	0%	歴史の分部補なく学当な対応が必要だと感じる
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	75%	25%	理解するための機会が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	機関は設けられていないのが課題。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	セリア長の話回なのにより、管理者面前の機会なども設定していけると良い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	改善に関する公目的評価の場合が必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	75%	25%	研修履歴は記録やでアップされている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	作成者が複職へ内容を周知する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己肯定感等アイデンティティ支援計画を作成している。	100%	0%	作成者が複職へ内容を周知する。
	13	自己肯定感等アイデンティティ支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自ら主体に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われている。	75%	25%	作成者が複職へ内容を周知する。
	14	自己肯定感等アイデンティティ支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	中間等で振り返れる機会があったら良いと考える。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	75%	25%	機会を設ける。
	16	自己肯定感等アイデンティティ支援には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの主観に必要な内容が盛り込まれ、それこそ、具体的な支援内容が明示されている。	75%	25%	資格的な支援内容について話し合うことは基本ない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%	行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%	固定化しないようにする。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイデンティティ支援計画を作成し、支援が行われている。	75%	25%	行っていく。
	20	支援開始前には複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	75%	25%	会議の機会を設ける。
	21	支援終了後には、職員間 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	50%	50%	打ち合わせを行う。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	75%	25%	一言ずつでも残していったら良いと思う。
	23	活動内にモニタリングを行い、自己肯定感アイデンティティ上の現在しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	事故共有はやめる。
	24	自己肯定感等アイデンティティガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	75%	25%	おそさまの状況をより理解している機関が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協議会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	75%	25%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己肯定感等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的確する等している。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	75%	25%	問題が当ち上際には障害支援を行います。研修の機会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自己肯定感クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	75%	25%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	75%	25%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付加力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	75%	25%	こちらでの付加方法提供を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己肯定感等アイデンティティ支援計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	75%	25%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかに必要な場合に必要な説明を行っている。	100%	0%	事業開始の合理者日を設定するよう声に、各事業所にて相談してから対応は、組合受付窓口にて相談できるように整えており、丸井を張り出にお伝えしております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとにより、活動概要や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	75%	25%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、職務室との連携が図られるよう、安全計画に基づく具体内容について、職務間へ通知しているか。	75%	25%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々共有し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	75%	25%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己肯定感アイデンティティ支援計画に記載しているか。	100%	0%	記述例・当代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド062阿見店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適当である。	100%	0%	各部屋においては、十分なスペースが確保されている。かつ、毎日の清掃や消毒を欠かさず行っている
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	33%	67%	応募とされる人数は確保出来ているものの定員5名に合わせた面積と設備となった為、定数の人数に対して支援職員が不足している為、利用人数を減らす若しくは職員を増やす必要を感じる 応募つらない為に、支援職員が不足している為、利用人数を減らす若しくは職員を増やす必要を感じる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	各作の壁子部を除って、どこに何があるか、何が必要か最初されている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日掃除して清潔を保っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが困められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	67%	33%	参与が折れてしまう、どこかで必ず言っていたりとなかなか難しい、個人任せになる場合が出ばにくなかが多い
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、朝礼、懇談、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を計画する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自閉症等アイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムードさポカ等々をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自閉症等アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども担当制に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまその最善の作論を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自閉症等アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿りた適応行動の参考として活用しております。
	16	自閉症等アイサービス計画には、厚労省等アイサービスガイドラインの「知的障害アイサービスの提供ケイオ支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの年齢に応じた内容が盛り込まれているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を作成し、その目的や内容等について説明し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動開始や振ねることが多い為、実動開始当日や入園前共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、個別支援計画の目的を踏まえ、その目的にかかわった支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	33%	67%	終了後は前開が少なく 出来ないため、原則1回と設めて、その場対応が ほとんど、 今の文字は時間的に難しいので、翌日以降に共有している。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや問題行動やケア記録を基に次の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、自閉症等アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な期間し を行っております。
	24	自閉症等アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自閉症等アイサービスから難関重証サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を的確する等、	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの療育を活用、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題が多い方際には障害交換を行います。研修の講会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	自閉症児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	67%	33%	こちらでの日当方法等を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自閉症等アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自閉症等アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自閉症等アイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの際には、関係者に説明し、	100%	0%	各事業所での改善要望を設定するよう声に、各事業所にて相談してやいた際は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することもに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自閉症等アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド63竹林店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	total15人に制限しています。
	2	利用児童やこどもが活用ミに対して、職員の変置転は適切である。	88%	13%	教育や資育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	75%	25%	絵で物が整然と分かりやすく工夫されている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	掃除、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動を調整することが図られる環境になっている。	88%	13%	刺激がない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	88%	13%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月末、半期、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	88%	13%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内研修を確保する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が内容説明会で、こどもの最善の方法を考慮した体制が行われている。	88%	13%	お子さまその最善の方法を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	88%	13%	アセスメントツールを平均に沿じた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえなかな、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	88%	13%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に組り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	88%	13%	週休み等は、時間がとれないことが多る。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	63%	38%	業務時間も時間に再ねることが多い為、時間に学制職員等々ふん情報共有出来るよう、記録やご連絡ふるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は計々のアセスメント記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の内容しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を偏在配おらせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時刻の適切管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	88%	13%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	88%	13%	問題が多い入園には障害支援を行います。研修の講会が多れば参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	88%	13%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	75%	25%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生体調者に伝えたい、こどもの最近の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	ライン等を活用的に活用し、情報の共有や共通理解を図っている。
	35	家族の付5たの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	こちらでの付5た方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこども、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支所する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設け各様の支援をしている。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの際に活かしている。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にの相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこども や、HPやSNS等を活用することにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	63%	38%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	88%	13%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまその状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問し、再発防止に向けた対策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治事管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド067古河店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	80%	20%	パソコン1台のスペースがせまちんとされている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	80%	20%	休憩時間が不足している時もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても心がける様に努いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	80%	20%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	60%	40%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面談やコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月末、半期、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織的に確保する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際面の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則放課後デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主体的に参与（参加）する支援となるよう配慮しているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまな中で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ほどうにしております。
	19	こどもの状況に応じて、保護者と事業所勤務時間内や送迎時に合わせて支援時等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童発達支援センターや他の児童発達支援事業所等との間で、定期的に会議を開催し、支援内容の検証（モニタリング）を行っているか。	80%	20%	定期開催が難ないことが多い為、常勤職員等々中心に情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童発達支援センターや他の児童発達支援事業所等との間で、定期的に会議を開催し、支援内容の検証（モニタリング）を行っているか。	100%	0%	定期開催が難ないことが多い為、常勤職員等々中心に情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるようご家族と意見を交わて記入するよう努めております。また、モニタリングや個々に合わせたケア記録を毎年に示の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な期間しを行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子応に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者がいるか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの役割を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	100%	0%	問題が生じた際には障害支援を行います。研修の場合が多くは参加者に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	場合が合えば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	60%	40%	場合が合えば参加していきたいと思います。
	34	日常のこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	100%	0%	こちらでの日当方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児童発達アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達アイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や良い方策のご提供に対応しているか。	100%	0%	事業開年の合理責任を設定するよう声に、合理事例にご相談してから対応は、前月受付型にて相談できるように努えており、丸作を図り合理には対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止にた入力しております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80%	20%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内容等、再発防止に向けた取組について検討を行っているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述例・当代管理 ・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド072長田店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもが活用日ごとに、職員の変更等は適切である。	100%	0%	担当や非常勤である職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかがも話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調整することが認められる環境になっている。	83%	17%	設備が無いので事業所の個別や パーテーションの活用をしている場合がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	83%	17%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさポカ等々をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	様々さまざまの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、発達段階アイサービスガイドライン（「総津発達アイサービスの提供ケーマ水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの本質に必要な項目が選択と設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまなかな、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を増進して改善点を導入ひとように しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わりクセや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を行い、その日行われる支援の内容や目的を個別について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振りることが多い為、常勤職員等々から情報共有し支えるよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、個別限で必ずの日々を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に再掲することが多い為、同様に常勤職員等々から情報共有し支えるよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	個別的に分析できるようご要家と意見を交わて記入するように努めております。また、モニタリングや都はせやクアプ記録を参考にお日指等を考えております。
	23	活動対にモニタリングを行い、児課後等デイサービス計画の提案しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おやさまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	児課後等デイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おやさまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（巡回時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83%	17%	気楽しが定時の先生でない事も多く、その日の様子が分からない。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行っております。
	30	学校を卒業し、児課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等しているか。	83%	17%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	83%	17%	問題が当ち上際には障害支援を行います。研修の場合が良れば積極的に参加させていただきます。
	32	児課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	83%	17%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	83%	17%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生保護者と伝え合い、こどもの進度の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を勧めおり、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	83%	17%	こちらでの75%方法参考「本日の様子」として日々情報発信し、ご家族での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設け各様の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかに公表から適切に対応しているか。	100%	0%	事業案等の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、前向受付窓口にて相談できるように努めており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	おやさまその状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告書を作成し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も身ぎ体合拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド074加須店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	中高校生が増えてきたが、以前よう空間の狭さを感じます。また出席が上がるにつれ荷物も増えているので、物置のようなスペースがあるとよても有り難いです。
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	加配エリア内で必ず手のかかる子どもの状況に変化等があった際、外有や緊急でオペレーションする環境が必要です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	83%	17%	トイレが狭く、トイレの数が必要な児童・生徒への対応が難しい場面がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい当を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	100%	0%	クローゼットや物置のスペースがないため、備品が十分に確保できません。もういっとスペースを設けて頂けたら、大変有り難いです。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	私自身が上手くPDCAを活用できていないため、オリジナルな形でも改善していきたく思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	83%	17%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフ下で事務内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	83%	17%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまな方へ、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとうにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を行い、その日行われる支援の内容や活動予定について周知し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振りることが多い為、突発職員等々から複雑共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ずその日を振り返り、その日行われた支援の最り扱う点や、気付いた点等を共有している。	100%	0%	打ち合わせという形ではないが、気になったこと皆職員共有をしている
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや問題行動やケア記録を客観に示の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な期間しを行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ活動プログラムを作成している。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	83%	17%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等している。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの療育を活用、必要等に応じてスーパーバイズの観察での研修を受ける機会を設けている。	50%	50%	問題が多い方際には障害交換を行います。研修の講会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	17%	83%	トラブルになる可能性があり、交流は控えています。それぞれからCOCA放デイ以下内の放デイ、児童発達支援での交流する機会は設けています。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	83%	17%	機会が有れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示支を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	個人課題として、さらに理解を深めて共有えることができるように、専門支援を積う必要があると感じています。
	35	家族の75%以上の参加を目ぬとう、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っている。	50%	50%	グローバル内で家族同士が悩し合う機会を用意して欲しいと、例護者の方から要望がありった。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し、おしなりから支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	家族に悩みやご相談を受けることは多りますが、私自身が適切にアドバイス等をお出出来ているとは言っていないため、今以上に視点を変えを持って相談技術しないと思っているのが現状です。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	17%	83%	保護者同士での交流はないため、悩み事を相談しカ保護者からアドバイスを受ける等の機会は作りたいと思っています。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や楽しを図る仕組みを設けている。	100%	0%	事業開年の改善受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してもらい対応。前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	17%	83%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅でマニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、散歩等この避難が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事業所内で共有し、再発防止に向けた取組について検討をしている。	83%	17%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、放課後児童管理者とも共有する技術を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することもに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド077新伊勢崎店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	狭いながらも、スペースをゾーニングなどで空間整備ができている。安全面は担当者が常に注視体制が整いつつあるが、安全確保のため、利用定員の減少も検討する必要がある。
	2	利用者同士がお互いを見学するなど、障害の受容理解は適切であるか。	90%	10%	子どもたちの実態などにより難易度が違っていると感じることもあるが日々のトータルかとするとOK。 個別性にあってません。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	フロアは狭小く、安全が確保するのりとなっているかで支援がしやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃や当店のアルコール消毒などを行っている 毎日の清掃もこの行、環境にも清潔な取り組みなくなく整っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっているか。	100%	0%	ご家庭に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	90%	10%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	個別や分からないことがあればいつでも相談できる環境のため
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70%	30%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	年一回の教員研修などで研修されていると思う 研修はあるが全員が平等に参加できるものではないことと日々の業務に対わり研修も下全でいない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助アイザービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさまの様子をお伺い。計画書を作成出来るように努めております。
	13	自立援助アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	90%	10%	様子ささまの最善の利益を考慮し検討の上、参与数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	90%	10%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	90%	10%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助アイザービス計画には、自立援助アイザービスガイドライン の「計画相当アイザービスの提供すべき水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主組による参与性が十分引き出すに記述され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助アイザービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご家庭に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必要書類や必行行合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	支援開始が偏ることがめる為、突発機器型等々に複数共有支援るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、福祉関係の必行行合せを行い、その行行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%	支援開始も同様に実施することが多いため、同様に突発機器等々に、情報共有共有支援るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	行われた支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は行われやアプローチ記録を参考にお示し合わせをしております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助アイザービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おやさまの状況や必要性に応じて適切な頻度し行っております。
	24	自立援助アイザービスガイドライン の「４つの基本活動」を適切組み合わせて支援を行っているか。	70%	30%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おやさまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助アイザービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相当する等、っているか。	90%	10%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	70%	30%	問題が多い方際には障害支援を行います。研修の場合が多くは家族向けに参加させていただきます。
	32	自立援助児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	月１から３参加程になったので次万機会がない
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	機会が有れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の同伴方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	70%	30%	こちらでの同伴方法提考 「本日の様子」として日々報告強し、ご家族での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助アイザービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助アイザービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助アイザービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適宜応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30%	70%	月１から３参加程になったので次万機会がない
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの必要性が認められる場合には、組織的に検討し、改善に努めているか。	100%	0%	事業開始の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、前向受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	90%	10%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90%	10%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	90%	10%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	おやさまの充当については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	90%	10%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故原因や対処法、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	10%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	90%	10%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助アイザービス計画に記載しているか。	90%	10%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド081筑西店（放デイ）

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適切である。	75%	25%	体制的であるため、本部等から小学生が活用し活動もおこなっている プレスの際にてあえ定員やテーブルのあえ定員やだけで活動はしているが、フロアが狭いためやレーションなどで仕切ることが空き出すまでしかし場面である。児童の子達と支持スペースのための登録などの合理化も必要である。 複数を集中して行えるスペースの確保が必要と思います 現行の定員内、子供達が安全マイズの中で様々な活動できる工夫をしている
	2	利用者間やこどもの対象形とおして、職員の変置転は適切である。	75%	25%	子ども達の特性や、子ども同士の相性によって様職員が重複やずに活やうまりになってしまうことも多々ございますが子ども方の安全を最も多く事気配よの職員では人員不足を感じる。職員間で協力して特別時間をずらすなどしなんとかカバーしている。 可能がなうべんないと思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造をわかれ環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	日の前がロビーであることと、1日のスケジュールをホワイトボードに記載があってわかりやすいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	75%	25%	収納がなく、片付けが難しいので収納が出るとよい。 小学生ではイスもテーブルもかいと思うから広場としてほしい
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご家庭に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	63%	38%	全点用定のスタッフや充元の計画にられず、増えても減えてもなさない、ミスをすることはカバーできるが、やる気がない都心に増えてしまい、増えてもできないと言われてしまう。 全般的面の再定今、小月全の職場をもっと広に行えれば広く思います。 なり、職員同士が元気している
	7	保護者向け評価表により、自援者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	63%	38%	定期的な会議は開いていますが、決まったスタッフの意見しか出ないこと、皆を出せない、応援がないスタッフが多くいる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	88%	13%	全社研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	一人一人に合った内容となっていると思う
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自援障害アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やムチさまの様子をお伺い、計画を作成出来るように努めております。
	13	自援障害アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども方支援に関わる職員が内容説明会下で、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われている。	88%	13%	みんなで共有できている
	14	自援障害アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	職員共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	88%	13%	アセスメントツールを平均に沿じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自援障害アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が盛り込まれ、それこそ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	もっと詳しく説明などもしていければいいと思う
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	88%	13%	スタッフの好きがしみからないかで、個別判にに はならないが サったことの ある活動が多くなってしまっている。マンネリ化をしてしまっているので、新しいことにもチャレンジできるようにしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援施等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	レクレーションなどみんなで遊見なじ合い遊めることができている
	20	支援開始前には複数間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	88%	13%	スタッフみんなで共有できている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	会社上内でゆみの職員を交かるようにしている
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるようご家族と意見を交かて記入するように努めております。また、モニタリングや問は仕その今了記録を基中にこの目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、自援障害アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自援障害アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやまその状況よう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当院や協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	88%	13%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・日単子定等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	連絡を密でしている
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を情報交に行なっております。
	30	学校を卒業し、自援障害アイサービスから難関重証サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を適切する等している。	88%	13%	まだ卒業までも利の児童がいないため、行なっていない。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	88%	13%	問題が多い上際には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自援障害児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	38%	63%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	63%	38%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を伸握を伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の8割方の何上を目る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	75%	25%	こちらでの8割方法活用を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自援障害アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し丸ながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	50%	50%	ご希望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や良い方策などの提供に対応している。	100%	0%	事業開始の合理管行を設定するよう声に、合理事例にの相談してやい内容は、新光受付管口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	契約する際に確認を行なっている。現在な一度なるなりやすくなる程度等も確認をしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	88%	13%	食事の際、食べる前も食べるなどの対応をしている。 食物除下管理し、みんなが同じようしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新規当この避難が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例度ではありませんが、感染などとても広入る。事例でヒヤリハットを適宜共有しております。また、自事業所や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	もっと研修した方がいいと思うことがある。
	54	どのような場合に今にも身ず体自然系与行かについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自援障害アイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・自行管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド076西城南店PLUS (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適正である。	75%	25%	パソコンをするスペースと体を動かすスペースを分けてスタックを配置している。 相互を出すわないけど、利点配置やゾーニングしている。 子供スペースとパソコンする活動が同じため、事前に集ますることが出来ない。
	2	利用定員や こどもの計画等に対して、職員の配置数は適切である。	50%	50%	その時によって異なる。当週ヘルプサービスなどのスポットバイトの方がいる時もあるが、当日等ではいけないので、常勤や非常勤の職員が各とりんかもといい。 各日の特性を把握した対応の仕方をしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	75%	25%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	75%	25%	下駄箱が入りロに置いてあるため、用いの気になるときがある。（放気等はしているが） 職務を覚えることに心掛けている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動を調整することが出来られる環境になっている。	75%	25%	個別環境がへやが必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	スタッフの打ち合わせが定期的にある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	保護者様からの連絡や要望は、都度しあに中有されている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	管理者に意見を出しやすく、また共有もされている。 スタッフが空間をに向かた話しやいをしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	63%	38%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	88%	13%	全体研修のほかと、研修範囲や相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	88%	13%	自己評価については話し合いをすることがある
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助アイサービス計画を作成している。	100%	0%	個別にアセスメントの立方を議論している
	13	自立援助アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども方主眼に関わる職員が作成時点下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	かしの目的を設計て話をしている。
	14	自立援助アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員に通知している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	75%	25%	アセスメントツールを平均に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が設けて設定され、それぞれに具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	現状を超え、改善点を起っている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	柔軟に対して対応を一番に思している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 自立援助アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	75%	25%	いつでもではないのは承るだけやろうとしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	75%	25%	業務時間も時間に関与することが多い為、時間に学制職員等やらん情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で解決に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	75%	25%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するよう努めております。また、モニタリングや担当者やのケア記録を毎年に点の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、自立援助サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自立援助サービスガイドライン の「よりの基本活動」を理解頂いた上で、保護者様からご了承を得ている。	88%	13%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	88%	13%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	88%	13%	おやまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、福祉担当、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）や交流、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	下校前の連絡で不明確な部分に関しては「相談に感覚先生へ連絡をし 担当者と連絡している
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	75%	25%	参加する児童発達支援事業と小学校担当者を積極的に行っております。
	30	学校を卒業し、自立援助サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	63%	38%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due思を活かし、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	63%	38%	問題が多い方面には障害交換を行います。研修の場合が多ければ参加的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	50%	50%	場合が合われば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	38%	63%	場合が合われば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言語表現を見出だし、こどもの意思の決定や理解について共通理解を持っている。	100%	0%	自立等の際に自ずとその様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提示させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を勧めおり、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加ができる時期の場合や積極参加等を行っているか。	38%	63%	こちらでの75%方法参考「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	88%	13%	イベントなどについては前置、お迎えを配布し、連絡をしている。
	37	自立援助サービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、こや初会に関していては説明ご理解させていただいております。
	38	「自立援助サービスガイド」をわしながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助サービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、こや初会に関していては説明ご理解させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適宜応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかな処分つ適切に対応している。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にて相談してやいた受付、前向受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	88%	13%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支え確認しているか。	100%	0%	お子さまの介元について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	お子つ提供がみるため、アレルギーの方面について保護者を全スタッフに配布・共有している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく具体内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入るし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、効果施策や管理者とも共有する技術を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も体オ身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・非代替性 ―時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド82東京御嶽店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適当である。	57%	43%	ワンフロアながらパーテーションを使って学習スペースと活動スペースを分けている印 ちょうど良い方が理解しやすい 広ければ広いほど良いが、活動スペースが狭くなります。ですが、そのスペースの中でどう設ことが考えて動けることができます。 ワンフロアしかない為、活動スペースと学習スペースが分けられない
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	86%	14%	室内や集団スタッフの人数が多く設定重視できるスタッフが少ないのが現状 人数が足りない時は外部へヘルプ。ここうこそ利用している お互いに声を掛け合いながら対応出来ているかどうかはいかと思います。 職員の魅力の底ですよね！
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく概念化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	個が持ち文字を大きくしたりすぐようにしている 配慮、スタッフ同士で意見交流し、改善してゆくよう実践を考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間となっている。	86%	14%	活動や余暇時間のメリハリが付けられるように環境構成を工夫している 清潔感を保つ為に、定期的に掃除を行っている。 個人個の活動や空間が広くあいのかと思う なり、清潔に力を入れています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	43%	57%	初回がないのでパーテーションで区切ってゆるやかにゾーニングできるところを作っている 個別ができればよくないため、工夫が必要。 刺激数少ない プレスターの活動がありの方、おやつの時は完全と言えるようにしている。 ワンフロアーしかない為、環境や距離は多数できていない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	86%	14%	スタッフ入りこと活動を設定していき子供達が意見を出かせることが出来るようにしている 活動スタッフの目標を作りする機会がまるとちょっと良くなるこ思います 常に話り合う、行動に移すようにしている。
	7	保護者や外部評価により、自己評価等の取り組み結果を踏まえる機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	86%	14%	保護者様の意向を把握しお客様の思いを受け入れるようにしている 内容を確認し、対応を考えていくことができる。
	8	職員の意見等を反映する機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	86%	14%	スタッフ会議や日々の振り返りを大切にしている 定期的な職員会議をひろく 話しやすい環境作りを行なの、皆にスタッフ同士で相談し合えている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を事業改善につなげている。	71%	29%	外部へもアピールを取り入れ外部からの意見を取り入れている 内容を把握し、全体に周知して活動に努めている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で活用を開催する機会が確保されている。	100%	0%	サイドから動力や研修を支援している どんな内容のものがあるのか、知らないのができる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	活動の流れをスケジュールにしてスタッフに共有している 個人児童の課題を確認し、個々な支援プログラムが作成されている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己肯定感や主体性を育む支援目標と支援内容が適切に設定されている。	100%	0%	モニタリングや新規のアセスメントを行ないスタッフの理解をかるように設定している 子どもの課題を踏まえましたその保護者からのニーズをもと適切なサービスの提供が行成されている。
	13	自己肯定感や他者を understand する力を育むために、活動プログラムが固定化しないよう工夫されている。	86%	14%	全スタッフが共通理解したよう最適の行動を考慮し当初計画のままやすくない 話しやすい環境気が良り、声に届く合えている。
	14	児童発達支援ガイドラインに掲げる「発達支援」の観点（①健康・生活、②運動・感覚、③認知・行動、④言語・コミュニケーション、⑤人間関係・社会性）が、バランスよく含まれた支援内容になっている。	86%	14%	スタッフ間で共有されていた内容を振り返りながら支援をしている スタッフ会議や日々の振り返りを大切にしている。また、スタッフ全員が理解しているかどうか確認すべきである。 子どもの認知や言語表現を発達を促すを図る
	15	児童発達支援ガイドラインに掲げる「保護者支援」の観点（①保護者との信頼関係及び子どもの育ちの共有、②保護者同士の関係づくりへの配慮、③虐待等不適切な養育の早期発見や適切な対応、④障害受容や保護者自身への支援、⑤家族への支援、⑥地域の関係機関や専門機関との連携・協働）に沿った適切な支援が行われている。	100%	0%	どんな事自の支援内容が必要か話し合いがされている。
	16	児童発達支援ガイドラインに掲げる「移行支援」の観点（①子どもや保護者に対する十分な説明と同意、②関係機関との連携、③移行後の一貫した支援）に沿った適切な支援が行われている。	100%	0%	どんな事自の支援内容が必要か話し合いがされている。
	17	子どもの状況に応じて、保護者に対して家族支援の観点からペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラムを用いた支援が行われている。	86%	14%	個々の状況に応じた支援プログラムを用いた支援が行われている。
	18	子どもや家族の意向や適性を把握するためのアセスメントツールを用いて、客観的な評価に基づいた支援が行われている。	100%	0%	個々の状況に応じた支援プログラムを用いた支援が行われている。
	19	活動プログラムの立案をチームで行っている。	86%	14%	個々の状況に応じた支援プログラムを用いた支援が行われている。
	20	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	子どもが興味を示し、自分の力で取り組める内容になっている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果やサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	必要とされる支援を理解し、作成されている。
	20	支援開始前には複数関係者が会議や打合せを行い、それぞれの専門的な支援の内容や役割分担について検討し、チームで連携して支援を行っている。	86%	14%	個別や事前を未然に防ぐために、どんな対応をしてゆくか日々話し合っている。 行き合わせをしても、そのように動かない職員もいる
	21	支援終了後には、関係機関で必ずお会を行い、それぞれが行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	86%	14%	会議などもあり、LINEで共有している。 おり合わりている。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	振り返り、記録を取るようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	日々、支援の振り返りをしている。
	24	児童発達デイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ総合的な計画を作成している。	100%	0%	一つ一つの内容を確認し、支援を行っている。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	どういう声掛けが必要か話し合い、実行している。 いろいろな経済的を提案し、自分で決めてもらっている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	情報共有し、よく理解され、参画されている。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	86%	14%	学校の先生とよく学園内など話し合うことが出る。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）や連携（学校訪問や参観授業）、運動課題（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	クラブ活動による時間変更もあるため、常に情報共有している。また、送迎やトラブルに関して学校とすぐに連携を取れるようにしている。
	29	幼子ども共有していた保育や小処理、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と復習機会に努めている。	86%	14%	家庭情報内容を確認するよう努めている。 処理面、保育園とは情報共有する機会がない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切する等している。	71%	29%	情報配慮され、共有されている。 また、それよう機会がない
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	71%	29%	情報共有方法に合えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	71%	29%	中々関わることがない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	43%	57%	参加する機会がない。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎時に、保護者様にその日の元気面や様子を伝え、共感し合えるようにしている。
	35	家族の75%以上の参加を目標とし、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っているか。	71%	29%	参加等受けている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	すぐに流れできるようにスタッフ間で理解するよう努めている。
	37	児童発達デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	電話やモニタリングなど、保護者様にお話する際に確認されている。
	38	「児童発達デイサービス計画」を分かりながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	常に説明できるようにしている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適宜応じ、面談の必要な相談と支援を行っている。	100%	0%	送迎やモニタリング、電話などで保護者様と近しい合う関係が多り、お話することが多い。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設け各様の支援をしている。	57%	43%	中々難会が多い。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や良い場合に必要な適切な説明が行われている。	100%	0%	内容を把握し、適切に対応している。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	86%	14%	活動の様子を施設発信している。 定期的に情報を発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	常に情報保護に努めている。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	保護者様の不安なお話やるよう、話しやすい雰囲気を心掛けている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	29%	71%	機会がないため、開かしてはいい。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	定期的に訓練している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的に取り組んでいる。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	ラインのノート機能ですぐに反応するように入力されている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	食事やおやつなど、色ごと書して食べるようにするなどこれする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に研修を受け、確実に出ている。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	常に話し合えている。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた取組について検討をしている。	100%	0%	事例をもとに未然に防ぐよう努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	定期的に研修を受けている。
	54	どのような場合に今から保才保育所等行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達デイサービス計画に記載している。	100%	0%	組織の定なが出るも様が、対応している。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド083西川田店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	教室の選び方の改善
	2	利用者同士どもの分け担当に対して、職員の変更物は適切である。	91%	9%	送迎でスタッフが出てしまうと受付スタッフが居なくなってしまう スタッフが不足の際はスポット入れている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても心がける様に努力を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	91%	9%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、社長、施設、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修の以外に、研修動画の視聴による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際面の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの本質に必要な項目が選択と設定され、それこそ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ほどうにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開始も同様に振ることが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考にお子の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の提案しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその due性を活か、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が当ち上際には障害交換を行います。研修の講会が良れば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	100%	0%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	100%	0%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強てるように努めております。
	35	家族の付加工の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	100%	0%	こちらでの付加工方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、さょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの必要性が高いと判断した場合には、組織的に検討している。	100%	0%	事業開年の改善項目を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、組合受付窓口にて相談できるように努えており、女声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開設に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支援を確認している。	100%	0%	お子さまその支援について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も も得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド090七井店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に対して適切である。	100%	0%	広いフロアで思い切り身体を動かすことができている。クールダウンが必要な場合を考えてパソコン専用ルや特性面にていない個室の導入もよい。
	2	利用定員や こどもの特性等に対して、職員の配置数は適切である。	76%	22%	しクリエーションと問題でする時間の難しさ 人数は足りているが人手が不足しているときに困ることがある。男性スタッフがいないので、男性のトイレの対応で男子を使いしたことがある。 重度は施設でレクレーションが作ります。重症学園と交流しながら支援様で過ごされている利用者施が多いため、問題や発症した時間と入手が取られるため、それに対応できるスタッフの人数が増えると、さらに子等な支援ができると思われる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	文字だけではなく視覚的におかりやすい掲示物等心がけている 視覚的にも分かるように活動時間をボードに書いたり、個別支援等の前的して全体に周知することができています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こどもの活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	衛生チェックシートを作成して日頃から清潔な空間を心がけている しっかりと整理整頓されており、手の届く場所へ作業等も適切行っている。子どもたちが使用する材も清潔的にも分かるように整頓されている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご家庭に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	ヒヤリハット事例や研事例、研修内容など話私しており、スタッフからも意見を聞いている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	定期的にスタッフ会議を開き、内容を共有している。 社と2回のスタッフ会議や他、会議時間等を全員に確認してもらい、協同にも意見もいただく機会をつくっている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上にた力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	個別レク表を作成し、どんな目的・目標でレクリエーションを行うかを全員に周知している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムードさポカ等々をお聞い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が内容開時カで、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	様々さまざまの観察の作論を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に内容開時ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平最に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドライン の「計画相当プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と記述され、それぞれ又支援内容の特定されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	発散し相談したり、管理者が最後に見届けたりする流れが構築されている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	子ども に新しいレクリエーションを取り入れている また固定している方にのにも提供を続き、興味関に取り入れている。
	19	こどもの状況に応じて、保対訪問と集団活動を適宜組み合わせて 自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご家庭に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には 複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	しNE等活用しながら、その日そのにおけどもたちの様子や支援点などお共有している。
	21	支援終了後には、複数関で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	今日を 活用し、その日の様子を確認しあいながら記録することができている。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	サア記録を毎日全員入力している 主にHLの生活利し記録、しNEで共有している。
	23	活動内容やこどもの状況を単調化し仕上がり、こどもの意欲の低下や固定化の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすさまの状況や必要性に応じて適切な間隔し を行っております。
	24	自立援助プイサービスガイドライン の「４つの基本活動」を踏まえ関係機関や合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おすさまの状況をより理解している機関が新加盟先を含めご参めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・日事予定等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領報）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めているか。	89%	11%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切する等、工夫が行われているか。	100%	0%	必要性があった場合に必要力している。
	31	地域の児童発達支援センターの due到を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	89%	11%	問題が ある際には障害支援を行います。研修の機会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム（グループホーム）等と連携や交流の機会を設けているか。	78%	22%	今の所は予定はありません。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	78%	22%	機会が あれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を単調化し伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただくなど努めております。
	35	家族の75％以上の参加を目指かう、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	89%	11%	こちらでの75％方法等を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご家族に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこどもや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設け各様の支援をしている。	67%	33%	保護者に活動内容を実際に見て頂いないなど思う時がある
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の経過を整理するとともに、こどもや保護者に周知し、改善や求った場合には、その内容について説明を行っているか。	100%	0%	事業開始の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、紙の受付型ではで相談できるように整えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこどや、HPやSNS等を活用することにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	78%	22%	今の所は予定はありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新規当この避難が図られるよう、安全計画に基づく具体内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保するため、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止委員会を設置するとともに、定期的な安全研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド093効来店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	83%	17%	当社に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもが活用日ごとに、職員の変更等は適切である。	83%	17%	担当や非常勤である職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自立訓練に合わせた空間になっている。	83%	17%	室内に余計多いため、お子様にも影響でないよう工夫が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修組織の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立協議子ディサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自立協議子ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自立協議に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立協議子ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に広げた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立協議子ディサービス計画には、自立協議子ディサービスガイドラインの「総則自立子ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主体的に参与し、成長や発達のために必要な項目が適切に設定され、それこそ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立協議子ディサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必ず担当者等で会行ひ、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振ねることが多い為、常勤職員等々から情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	業務開始＆時後に再ねることが多い為、時後に常勤職員等々から情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は計々のケア記録を基々に日の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立協議子ディサービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	自立協議子ディサービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立協議子ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者としている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	67%	33%	問題が当ち上際には障害支援を行います。研修の講会が良れば積極的に参加させていただきます。
	32	自立協議児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	83%	17%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	自立等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子自立を提示させていただく等して共通理解の強てるように努めております。
	35	家族の付ひ方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	83%	17%	こちらでの付ひ方法等を「本ひの様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立協議子ディサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立協議子ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立協議子ディサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、さょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	83%	17%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかな対応が図られている。	100%	0%	事業開始の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、前向受付窓口にて相談できるように努めており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策等訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故原因や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを認定共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立協議子ディサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は自立記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド094千駄堤店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積等に適切である。	70%	30%	定員のドアにに表示室をつけても、走り切り作かたち遊びが聞いてしまいような中で、行ものの工夫が必要
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	80%	20%	作業時者、別作業員を管ずして欲しい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	90%	10%	トイレ表が足りないに感じる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	70%	30%	掃除、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	90%	10%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	90%	10%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	80%	20%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	90%	10%	全社研修の以外に、研修組織の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムアさポの様子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の主担に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	90%	10%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	90%	10%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの 主体的に参加 する内容が盛り込まれているか。	90%	10%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとように しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間相互による挨拶 等の適切な 支援の内容や技術 の向上について検討し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	活動間間や関与することが多い為、常勤職員等々から積極共有と変える、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	70%	30%	活動間間も同様に関与することが多い為、同様に常勤職員等々から積極共有と変える、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個々に合わせたケア記録を参考に日々の指導を考えております。
	23	活動等にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な頻度し を行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドライン の「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	90%	10%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	90%	10%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画しているか。	90%	10%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相当する等、	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責任 を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	90%	10%	問題が当た際には障害交換を行います。研修の場合が多くは参観的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	60%	40%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言語を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の約5 割の以上を目る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	70%	30%	こちらでの約5方法参考 「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	90%	10%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設け各種の支援をしているか。	90%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情が申し た場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事業案件の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅でマニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90%	10%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に 訓練、教育 その他必要な訓練を行っているか。	90%	10%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開設に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの 状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまその状況について従事的に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告書を分析し、再発防止に向けた対策について検討を行っているか。	90%	10%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90%	10%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束 行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載しているか。	90%	10%	記述時・治代管理 ・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド98伊勢崎茂呂店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	資格や経験のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	換気、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	67%	33%	休憩場所、静かタイヤを保管してるため一部使用しなくなっていることに対しての改善が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	67%	33%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	朝礼やレクの振り返りを行い、職員の意見を聞く機会が設けられている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲の相談による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	67%	33%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際個々の福祉を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿りた適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン（「放課後等デイサービスの提供ケーマ水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容を踏まえ立なり、こどもの水準に必要な項目が選択と設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとうにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	67%	33%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間関係に配慮した環境下で必ず行なを行い、その日行われる活動の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることが多い為、学校職員等やお客様共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に学校職員等やお客様共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別ミーティングで記録を基に日々の振り返りを行っております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携強携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を児団する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を目的、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が生じた際には障害支援を行います。研修の場合が多くは参加者に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	100%	0%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	保護者からの日頃も必要に応じて支持されている。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	100%	0%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな提供つ提供に対応している。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、丸作を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまその状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか 。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討を行っている。	67%	33%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理 ―一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド099大泉店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	69%	31%	物の配置を移動して広くした 動線を変えた。子供の動きや、入室後の流れを意識した配置に変更した 利用定員に対してスペースが狭すぎる為、必然的に室内を動き回る子や遊びの中で大きな声を出してしまう子が周囲に居る中で学習に取り組まなければいけない状況になってしまい、学習に集中出来ない様子や、学習の前に遊びに向かってしまい中々学習に取り組み始められないといった様子が多数見られる。静かに休んだり、周囲して学習に取り組む場所として相談室のスペースを使用しているが、ドアを閉められず、壁の上部も吹き抜けになっているため、他児の大声等に対する対策としてはあまり効果がないように思われる。また、パソコンを配置している事で死角が生じてしまい、特にパソコンの使用をめぐるトラブルやそこから発生した他害等の事案について、職員の対応が遅れたり、トラブルの発端が不透明になってしまう問題がある。 床や壁の色などで仕切られている スタッフでよく話し合い室内の配置を工夫している。施設の大きさ的になかなか難しい点は、受け入れている子供の年齢の幅が広がるほどに手狭に感じる。 利用者15人MAXではスペースが狭いと思う。 個室を使ったりしても人数によっては多く感じます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	子供1人に対して大人の人数が多い時があると思う 土曜日、祝日の短時間勤務職員の出勤体制 非常勤職員(特に定年以上の方)の勤務について改善の必要があると感じる。常勤職員が他害の可能性がある児童が活動しているスペースの見守りをお願いしたが他児とのトラブルが起こってしまったり、特定の児童のみと積極的に関わる様子や勤務中に居眠りをする様子などがある。現状、定年以上の年齢の非常勤職員の方は連絡帳の記入は行えない、送迎の運転にも入れられないという状況に加え、児童の見守りや関わりといった点でも逆に常勤職員の負担が増えている部分がある。利用定員MAXの状態で常勤職員が送迎や連絡帳の記入なども全て行わなければいけない状況で、送迎からの帰社時間が18時を過ぎる事もあり、定時時間内に全ての業務を終わらせる事は現実的に不可能な状態である。さらに、長期休暇中等、児童が朝から1日利用する場合、毎日レクリエーションを行っているが、児童が居る状態では児童の退室後に連絡帳等の記入を行う時間も十分に取れず、勤務中にレクリエーション準備に充てる時間はないため、常勤職員が持ち帰りでレクリエーション準備をしているのが実態である。人員不足は勿論あるため、根本的に人手を増やす必要があるが、非常勤職員が入っても常勤職員の負担が軽減されていない為、非常勤職員であっても最低限「しっかり児童の見守りやトラブルへの対応ができる、活発な児童と関わる体力がある、連絡帳の記入程度の基本的なPC操作が行える、送迎の運転を任せられる程度の運転が出来る」人員を配置して欲しい。 子供にずっと着くのではなく頼まれた時や見ていて困っていそうな時に対応したりしている 自発と放デイが同建物にあるので職員の配置を都度調整している。突然異動発令があるので現場が混乱しているように感じる。職員の質も様々だと感じる。 人員配置と送迎について、工夫されている。 声をかけあいながら支援しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	81%	19%	少しずつ改善しているものの、子供向けへの情報が多かったりすることがある。また、おもちゃ倉庫の住所を決めて整理整頓を行った。 絵カードをつかう 工夫点、マットで、色分けした…改善点は玄関口、保護者が勝手に入る、開けたままにする、児童の乗車の際開けたままにしている。玄関に児童を置いたままの時もある、乗せ込み時に配慮がいると思う。児発児童の乗せ込み事、放課後ディの職員が児童を見ている事 子供が入ってはいけない場所や触ってはいけない物等を当たり前の様に立ち入ったり触ったりしている様子があり、視覚的な掲示や物理的な対策等の改善が必要であると思われる。また、発語のない児童に対しても、職員個人で絵カード等のコミュニケーション方法を用いているが、絵カードでのコミュニケーションが有効であり、一部の活動ではPECS形式で欲しいものの要求を伝える事も出来ているため、職員全員でそうしたコミュニケーションツールを使用したり、事業所内で児童が職員に要求を伝える場面などでPECS形式の意思伝達方法を取り入れて行く方が良いのではないかと思う。 視覚的にわかるようにしている 数年在籍している職員がいることで児童の特性を熟知しているため、身近でできることから日々配慮されて年々良くなっていると感じる。 学年や障害の度合などを配慮した構造環境にする改善が必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日掃除をしている 子供が来る前帰った後に掃除をしている マットレスをひくことや、色で見た目でわかりやすく空間を分けている。(勉強スペース、活動スペース、など)。元々がコンビニなので雨がたくさん降ると入り口から浸水してしまう。 日々、清潔、清掃を心掛けている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	88%	13%	活動を分けた【学年、入室時間の遅い児童に対して】 子どもが個別の部屋を使用する場合、集中して学習に取り組むスペースしか個別の空間になる場所がなく、個別の部屋として使用している間、他児が集中して学習するスペースが使用できないという状況が生じてしまうため、改善が必要と思われる。 個室がよういされている 集中したい児童のために個室が使えるようになった。その際には扉を締切にならないようにストッパーを設け、職員も近くで見守るようにしている。個室として仕切られているが、構造上部屋は静かにはならず、周りの音が響いてしまう。 個別対応できる場所の改善が必要です。 クールダウンしたり、静かに過ごすために
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	81%	19%	ミーティングをしている 毎朝常勤ですりあわせをおこない、情報の共有を行っている。LINEでは見返さないとならなく、書面をファイリングしている 個別の支援計画など、本来職員全員に共有されたり作成にあたり職員間での検討が必要な物が共有されておらず、個々の児童に対してどのような支援計画・個別目標が設定されているのか職員は分からないのが現状である。そのため、目標達成に向けた個別の取り組みや学習計画等もなく、「療育」という部分は機能していないと感じる。 定期的なミーティングをしている 改善目標設定などが必要です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	ミーティングをしている 情報の共有を行っている。別紙で紙媒体でフワィルしている 上記の個別支援計画等も含め、責任者からその他の職員にそれらの内容が共有される機会が設けられていない。 評価をし説明している 評価など情報共有している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	少しずつ改善しているものの、意図が伝わりずらいことが多いため難しいことが多い。 MTGや、毎日のヒヤリ、ニヤリ報告にて記載。改善案は短時間の職員さんが、雇用的に仕事の負荷が多いと意見があがる 意見を提案する機会があっても、その意見をもとに業務改善に繋げられている様子は見られない。 全体連絡などをして意見交換している ミーティング時に広くどの職員に対しても意見を求めてくれる。すぐできそうなことは取り入れてくれるのも早い。 仕事前に、意見交換をしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	自己研鑽、研修を元に行かされた事案を話す機会を設けている 保護者からの要望に対してどのように対応するのか、どのような業務改善が必要かを考える点に改善が必要と感じています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	実際の現場同士の工夫も聞けたらと思う。 オンライン研修は見ても意見を別職員に聞く職員がいる。自分の為質の向上の為と思ってもらいたい 月1回程度の動画研修がある 毎月、研修動画をみて、仕事に活かせるやめ、取組んでいる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%	25%	個別支援計画に基づいて個別の支援内容を話す機会がある 支援プログラムの作成に職員は一切関わっておらず、どのような目標設定を行うか等についての話し合いもないため、個々の児童に対して適切な支援プログラムが作成されているのか不明であり、また、それが共有される機会もないため作成を担当した責任者以外の職員はそれらの内容について把握していない。 評価用紙が作られている 非常勤勤務のため情報の開示が少ないところは工夫が必要だと思う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	81%	19%	子供に関する話し合いは行なっているものの、伝わってない部分も多い。 登録児童を、分けてアセスメントを行っている 自分は使ったことがないが他の職員は作っていると思う 工夫しているようだ。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	81%	19%	作成にたずさわっていない 意見交換している 放課後等デイサービス計画を作成する際に職員を交えたミーティング等もなく、保護者を交えた面談やモニタリング等は全て児童発達管理責任者が対応し、放課後等デイサービス計画を作成しているため、職員の共通理解ではなく管理責任者個人の理解に則して計画が作成されている。また、児童発達管理責任者は日頃パソコンで事務作業をしていることがほとんどで、子供と関わる機会が職員の中で一番少ないため、子どもに対する理解が職員と相違している事が多々ある。 全体に周知してもらえる機会がある 検討してると思う。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	81%	19%	子供に関する話し合いは行なっているものの、伝わってない部分も多い。 計画に沿った話はみえてこない 改善点は、個人的にやりたい事を進めないで、全員が出来るか内容を精査してから進めて欲しい…作成する時間や支援中等お何も共有されていません。計画に沿った個別の支援や取り組みも行われていません。 職員間でちゃんと周知されている 情報提供はないが行っていると思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	打ち合わせしているが、捉え方が様々な為共通した支援、関わりが出来ていないと感じる 不適切行動が目立つ場合にのみ対応を検討するのがほとんどで、日常的に子どもの適応行動に対するアセスメントは行われておらず、改善が必要。。 明確なものが無いので誰が見てもわかるものがあるといいなと思う 共有のアセスメント表の提供。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	13%	話し合い進めている そもそもどのような内容で計画を立てているのか、どのような支援方策で取り組むのか、共有されていない為、改善していけると良い。 家族や学校などと連携を取れていると思う 実施してると思う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	81%	19%	個別に行うプログラムや、年齢に配慮して検討をしている レクリエーションの内容について、大まかな案出し→その中から行うレクの選定→レク担当決めという流れで活動プログラムが決められているため、レクリエーションの立案者と担当者が別の職員である場合がほとんどで、立案者がどのような内容を想定してその案を出したのか分からず、結局担当に当てられた職員が活動名に合うレクリエーション内容を考えるという二度手間になっている。また、その活動を通して子供たちにどのような事を身につけさせたいのか、どういった目的をもってその活動をするのかまで考えてプログラムを組むのではなく、時間を消費する事がレクリエーション活動の第一目的になっているため、子どもにとってその活動を行う意味がないようなプログラムであることも多い。 レクリエーション等1人でやるのではなく色々な人がローテーションしたりして行っている チームで検討している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	13%	過去のレクカレを参照にしている 勉強→パソコン学習→マイクラや遊びと行動は固定化されてしまっているので、何か別のものがあるといいなとは思う
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	学習場所の配慮、音過敏の児童に配慮している 集団活動的なプログラムであっても、子供同士で協力する、チームで勝負をする等の活動は出来ておらず、結果的に集団に見えるが個々での活動となっている状況が多い。 自分は作成していないが他の職員は作っていると思う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	94%	6%	1人1人によって声のかけ方や関わり方をかえて支援している。 前日の事象もすり合わせている ミーティングが開催されてその日に来る子供の情報等が共有されている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	81%	19%	当日は厳しいものの、翌日等に振り返りを行なっている。 インシデント報告の記入など、決まった人が記入しており、色々な人に記入に参加して欲しい。 支援終了後、退勤時間までに打ち合わせをする時間がそもそも取れません。送迎後、連絡帳やその日に書かなければいけない書類、翌日の利用者チェックを終えるだけでも退勤時間を過ぎることがあり改善が必要。 良かったこと悪かったことを書き出している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	81%	19%	記録することを徹底は怪しいものの、対応方法や対策については話し合うようにしている。 記入しただけでは亡く、すり合わせている 記録を取る以前に、職員間で一貫した対応をするような話し合いすら行えていない為、個人判断で適切な支援方法を模索したり、実際に新しい方法での支援を試して改善したりしています。有効な支援方法について共有しても、全体としての支援に反映されたり他の職員も同様の対応に統一するなどもないのが現状です。 記録として残しておくものは明確になっていないのであれば次の支援などで動きやすいと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	81%	19%	見直しが行われているかは怪しい部分がある。 すり合わせにて行っている。 放課後等デイサービス計画については何も分かりません。 家族と面談をしたりしている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	81%	19%	個々の特性に合わせ個別療育を進めている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	94%	6%	自己決定が難しい児童には代替え案を提示する。選択肢を与えている。 行動を強制するのではなくどうしたいのかを考えて支援している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	81%	19%	子どもの状況を正しく理解してるかが怪しい部分がある。 児童発達管理責任者は、常勤職員に比べて日頃から子供との関わりが少ないが、会議等は全て児童発達管理責任者のみ参画しています。 自発管等が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	81%	19%	学校との連携は全く取れておらず、学校での児童の様子などはほとんど分からないだけ、工夫が必要。 学校や他施設職員がモニタリングに来たりしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	94%	6%	内容に関しては共有している 迎えに行った時に当日の状況等を聞いている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	88%	13%	大泉店持ち上がりの児童に関しては行なえている。 就学予定児童に対しては、児発の支援に参加し、関係性を深める取り組みを行っている こうした情報についても共有されていない為不明 適宜情報共有をしている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	該当学年が少ないため。 相談員さんに資料を渡す、これまでの事柄の記載を書面で渡す等 おそらくやっているとは思うが自分がやったことがない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	75%	25%	定期的な研修を行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	63%	38%	他店舗との合同は行うようにしている。 他事業所と共同でレクリエーションを行う機会がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	88%	13%	都度共有している こどもの状況を保護者と伝え合う事はしているが、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持てているかという部分に関しては、完全にそうであるとは言えないと思われる。保護者と職員の間でのこどもの発達状況や課題について認識が異なっている部分もある。 送った後に情報共有したり、ハグを用いて共有をしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	38%	相談員さんにも共有し、又は学校、学童、併用先とも連携を取っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	94%	6%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	69%	31%	モニタリングにて行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	81%	19%	保護者に共有して良いか了承を得てから行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88%	13%	送迎時職員からの訴えや、聞いた内容によっては、電話にて内容の確認を行っている 定期的に保護者との面談をしている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88%	13%	保護者の要望、希望を伺う。謝罪を方向性の話を行う事をしている。場合により責任者に対応をお願いするなどもある。保護者のニーズを伺う努力をしている その日のうちに対応し、その日に対応できなさそうであれば翌日には対応できている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	69%	31%	ハグ等を用いて行っている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	94%	6%	写真【戸外活動の際】の取り扱いに注意している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	88%	13%	会話時の配慮をしている 言葉だけではなくてを用いたり、外国語のカードみたいなものを取り入れている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	44%	56%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	レクリエーションにおいて、不審者訓練、Jアラート訓練、水害訓練等も行なっている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	81%	19%	レクリエーションで災害センターに行き学ぶ機会も設けている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	該当児童が少ないため、確実な情報を共有しきれているかは怪しい モニタリングの際に行っている 全体に情報共有され周知している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88%	13%	医師の指示書をもつ該当児童がいないため行なえていないものの、アレルギー持ち対象児童には別のおやつを用意することは行なっている。 全体に情報共有され周知している おやつなど、アレルギー対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	81%	19%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	88%	13%	玄関口にリストを置いている 家族にも話をして説明している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	日々の記入で、共有し改善している 書き出してファイルに保管されており従業員が見られるようになっている 情報共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	94%	6%	定期的な研修が開催されている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	88%	13%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド103新上大久保店（放デイ）

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が適正な設定型のスペースとの理解で適切である。	80%	20%	児童クールダウンの為の多目的室がない。 クールダウンのスペースを作ってあげたいとの気持ちは当施設にもあります。クールダウンのスペースをわざわざ確保するために誰かもう少し工夫が必要と感じております。現状は「取り出しやすく・見やすく。をルールがた整理整頓を行っています。 人員なら活動にふさわしい環境で常とている もっと広くと思いとあいのかなと思います。
	2	利用定員やこどもの在室等において、環境的配慮物は適切である。	80%	20%	成長や多様なスタッフが多数在しているが活動が狭いとうまりでいる事がある。 ADHDやASDの児童が多く、落ち着いて過ごせる環境を整えるよう心がけています。 ADHDやASDの児童増加により、児童の人数が増えれば、1日の中で様々なパターンが必要な空間が多く出ます。 特に、一人一人の自分だけの落ち着ける場所や集団から離れて過ごせる場所などの環境を整えるよう心がけています。 他の施設としてスクリュール「教」と「動」の特徴を踏まえ主活をして行きます。しかし、パニック時や空間での対応によっては心ともな分を与える合は現状です。 入室以は集団行動専用に集合で使える広さにしているため、通常の部屋人数には足りていない。
	3	生活空間は、どこもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、安心できる場所になっている。	100%	0%	充実が期待できる部屋の数が増えられているが、子どもたちもルールがわからやすくトイレなどの場所に迷うことも出ばあります。共用になることがないかも安全と型がりやすいと感じます。 見通しがとるようにカウンターやロッカなど置かれている。 入っておいかない場所にはドアやブラウンをおいている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる場所になっている。また、こども達の造形に合わせた空間となっている。	80%	20%	上限主が増えている、現況の立場が多くここで手をかけた空間を作成が期待があります。ですとても工夫感にて従くていの機能で表現スペースでの体験増えております。また、現在訪えたのえて現着の発表になる部分にプランやカウンなどを配置にしております。 カウンターの高さが低すぎる。 カディの自由時間では活用しやすい広さにしていますと狭そうにおもちゃ等で遊びたい子ども達もいるためボールが転んできてしまい、危ない場面の有るので改善が必要ではないかと思います。 グループ活動文化財で遊際える場所の確保を確認していません。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる場面になっている。	80%	20%	現在室をでールやランとして使うことが有ります。基本的に活力着くことができますが、すべ個のパーテの活動室ですの環境調査のでしたのスペールやこは必ずいたいため、活動には時間できますがも特定に型えとして使が着合にへい場所に移動にて対応してあります。 しかし、スペースがあまりないので、休憩などが不定的からように切りそえている。 現状にできるてスペと言われてしまう時がるなので、もっとともの年間部活れるかの点ともそのアルをしは落ち着けるのかなと思います。 条件するために特別室で制度をしいるため、現状型が使われていく事は入らないかす。個とに適ごする部屋が望ましい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	90%	10%	ちニクリング、アセスメントのために職員にスタッフにオンラインの打合を連絡で共有型にて型ごとに相談をしている。 毎回の業務の中で確認としてもできたらたらの点を1日1つ工夫をもてほしいとしています。そこで研修やで改善点を相談したい場合は定期的にロラスタッフは個にて共有を行うことで日にを良しより時間を設けています。 会社としてけっていないが、個々人の日常として改善と工夫をしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する場合を設けており、その内容を業務改善につなげている。	60%	40%	アンケートと回答いただいている保護者様が半年ほぼ全ないかたの反映が難しいことは出ます。しかし、面談の機関での日常やモニタリングで良い作業改善の合せることをなどができます。 保護者からの要望はメアで確認している。責任者とライン管理ができたりしている保護者については知らない。スタッフ打ずでそを知ら必要は出ない思う。 パートさんから保護者向け評価表は作ることはないが、グループ九編で、保護者からアを共有しているのですれらないものではないかと思います。
	8	職員の意見等を定期する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	90%	10%	個人として思じるのでは力ですが、基本的にスタッフ間で共有ながら共有ながけております。また、管理者・共有者ともに話しやすい空間作りってだとっているため外の外れはずくに話すことができると思じております。 自時不時間についての確定は出ていないが、話れと言うことは当初に組織をしている。 社員さん同士でなかと意見交換し保護等を図し合っていると思います。 何の問題はされれば、活動にはすぐ対応しない年度にし、改善につながっている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	70%	30%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の質質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	参加がしやすいように勤務調整ができる。 外部研修にていても、積極的と支出をている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	モニタリングの出る前にどんな会議がされたかを質問して会議に活用しています。 ハラや確認ができる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したとき、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	本部なスタッフで確認をしている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	月一ロスタッフ会議が行われている。 小なり話し合いが行われている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	90%	10%	スタッフとしてどんな支援をするか具体的に話した時モスタッフに周知しています。 各個別に課題を話せた日かないと伸とことはできない。共有日は基本が下さ、個人アカウントでのラインでの共有はやめるべき。コンプライアンス違反にもな情報が多々ある。
	15	こどもの適応行動の実況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメント や、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを実践する等により課題としている。	90%	10%	基本的にはパリアでの活動動作に詳細を作成している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえるなかで、こどもの支援に必要な領域や項目に設定ており、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	90%	10%	地域支援・地域連携については全てない。活動単位ではこの点組は入対に活動。この日本部分下か、本部がサポートをして大同で取り組む計つま。
	17	活動プログラムの立場をチーム上で行っている。	90%	10%	レクリューション活動等をスタッフで確認している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	同じ活動でもスタッフが工夫をしてアレンジをしている。 その日に参加するこどもに合わせながらも大してプログラムを組んでいる。
	19	こどもの世況に応じて、個別支援と集団活動を適切組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	90%	10%	集団に参加しており個別は個室対応な活動になっています。 各種や特性別にグループ分けをして活力体験が少しやすくようとしている。
	20	支援開始前には複数関係者が参加する会議を開催するなど、こどもや家族が安心して参加できるよう配慮されている。	60%	40%	前期前期性には出ましたますが製造的です。 必要に応じて打合せを行う、学校開催、レク担当とサポート担当が日々決まっているので空間的はっきりしている。
	21	支援終了後には、関係者や必要に応じて本人への振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	70%	30%	必ずはしていない、お互いに気が付いたことについて確認はしている。 パート小学校は必ずではないが、ほぼ皆で送り帰るしながら本日にあった内容を共有しながら、次に繋げている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	90%	10%	LINEのグループでなんでも送り合います。 かつ記録をして毎回と支援 PDCAをしている。 毎日記録を残りながら支援に繋げている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	スタッフ間ではない、管理者会議やは行っているのだと思う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	見つまがあれば手を差し伸べる。
	25	こどもが自己調節できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	遊びや自発性などを観察に自分を出る練習を取り入れている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者が保育や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	現場のスタッフから状況な情報を得ている。 担当者がねこちている。
	27	地域の保健、医療（主治医や医内療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	地域評価型こども部会に参加しています。 今年度もなって医療型等から心理地や学校との連携を強められるように動いてくださっており、連携して支援できる環境が増えていると思じています。 各地はできていると思う。
	28	学生との積極共有（体験計画・行事予定等の交換、こどもの予想外の観察情報、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	担当者会議を開くようにまでのご相談に応じています。 保育士やケアマネ等の関係とチャットしている。
	29	医学部に利用している放課後や全施設、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	80%	20%	同じく新上大久保店のパークを利用していない限り共有事項が言ってくることはありません。保護者の方からお話が行き届ぎの全てとなっております。 新し送りができているように思う。
	30	学生を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	90%	10%	お休などのおしていますがそこまでの引継ぎはしたに引継ぎいません。 卒業後の引継ぎは、保護者様の了承を得ての、特徴や問題や配慮をお伝えしてお伝えできたらと思います。 新し送りはできていることなと思う。
	31	地域の児童発達支援センターの運携を図り、必要性に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている。	70%	30%	来店台などに参加して話を聞き、他々なことを相談させていただいています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の世のこどもと活動する機会が有る。	30%	70%	私な限りでは不足はないように思う。 本に原因、利用人数が少ない時には利用していらない。
	33	「自立支援 協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	参加報告を聞いたことはないが、管理者がしているとは思う。
	34	日頃からこどもの社況を保護者と伝え合い、こどもの発達の社況や課題について共通理解を得ている。	100%	0%	連絡では会議ごとっても日有をが少げております。保護者によっては日頃の方がいい場合もありますので、柔軟に共有方法はとるなどが大切にしております。 ねぇとうのお悪いかいただて頂感。 できる限り個長と共有している
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）やご家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている。	50%	50%	モニタリングで行うことがあると思う。
保護者への説明等	36	虐待相談、支援プログラム、利用者負担等について事業説明を行っている。	100%	0%	面談などで行っていると思うが、個々の詳細な確定がないため不足していると思う。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思や尊重、こどもの意義の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	モニタリングで行っていると思う。
	38	「苦情解決デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から苦情解決デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	面談やモニタリングで行っている。 管理者で行っていると思う。
	39	家族等からの子育てや悩み等に対する場面に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	責任者で仁ニタリングで行っている。保護者様から面着相談がある場合ある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機時を設ける等の支援をしている。	30%	70%	その様な活動はない、活動をいつ行うのかで従来時間の分面も走れるのではないか。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の仕組みを整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	管理者責任者が活動に対応している。 対応している。
	42	定期的に運営等を実行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、運営等苦情の情報をこどもや家族者に対して発信している。	80%	20%	月１で活動スケジュールを提出している。定期的にはないが、イレギュラー当行事については出先化を作成して承認をしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	90%	10%	個人ラインを使ってスタッフ間や児童や家族の情報交換を行っており、ビジネスラインをスタッフにおいてがうなどする為子供を変えるべき。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	保護や活動合様子を細密してパクで発信をしている。保護者様が自宅的で、区域機関からの必要な情報の変更が即時できない。 いろんな障害に対応するよう、工夫しつつ、より良い環境に向かってアイディアを出し合っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	30%	70%	事業者単独では困難です。本部や企画や運営を行う必要があります。
非常時等の対応	46	緊急的なマニュアル、緊急時対応マニュアル、対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に説明するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	新園研修やレクリューション活動に取り入れている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、研出その他必要な訓練を行っている。	90%	10%	レクリューション活動に取り入れている。 一般に回復行っている。
	48	事前に、指導や予防体制、すんから発生等のこどもの対応を確認している。	100%	0%	定期の際に指定をしている。てんかんに関しては、事業所に医療従事経験のあるスタッフがいないので、医師からの助の書の提供を必須にして頂いし、児童の健康状態によって急診に関けて良いかの判断基準にある。情報共有を使が入れ条件に加えてた職務時で共有している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	管理者が確認で確認している。スタッフは書類を確認することができる。
	50	防災計画を作成し、防災意識と必要な研修や訓練、その他必要な物質を講じる等、防災管理が十分されたや十次変の行われている。	100%	0%	研修で行っている。
	51	こどもの防災援助に関して、家族等との連携が図られるよう、緊急計画に基づく取組の内容について、家族等へ周知している。	100%	0%	周知等に行っていると思うが、連絡系などを用意的が必要。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	月１の会議で報告、あれば都度報告。
	53	事件を防止するための、職員や訪問者全を確保する等、適切な対応をしている。	90%	10%	新園研修を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に説明し、こども や保護者に事前に十分に説明して得を受けた上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	ご家庭とカで話合える関係を信頼はかりです。支援のあかりなや行為や表現を認識することで信頼と安定で思った上で理解が可能になる。特別はべつでほかにことを認識してもらう必要がある。 現場者の現を使っている思う。

○ごの「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド105新古河店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	67%	33%	5/5の訪問を行っている
	2	利用児童や子どもの状態等に応じて、職員の変置数は適切である。	56%	44%	資格や経験のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	67%	33%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかがも話し合い を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に盛り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	89%	11%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	日々のミーティングや、月末、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	78%	22%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	78%	22%	全体研修のほか、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事務内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い し、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドラインの「自立援助プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅 されており、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に盛り入れております。
	20	支援開始前には必要書類や必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	89%	11%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	78%	22%	活動開始も同様に振り返ることが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	個別ファイルにメで記入を行っている
	23	活動内容やこどもの状況を保護者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎時の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強化をよりに努めております。
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おそさまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉担当、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	89%	11%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	78%	22%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	89%	11%	年の研修会へも参加している
	32	自立援助プクラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	33%	67%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生体調者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強化をよりに努めております。
	35	家族の75%以上の参加を目指かう、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	89%	11%	こちらでの75%方法提案を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、さょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	22%	78%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかな対応ができない場合には、その理由や今後の対応策を説明している。	100%	0%	事業開始の告知受付を設定するよう声に、告知事例にて相談してから対応は、前向受付型にて相談できるように努めており、丸井を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HP やSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	44%	56%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ周知しているか 。	89%	11%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も多く体合的医与行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述例・例代管理 ―― 一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド106いわき平店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	89%	11%	当院に適切な広スペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもが活用日ごとに、職員の変更等は適切である。	100%	0%	担当や非常勤である職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され、見通しがよくなっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	89%	11%	児童数に対して、部屋が狭すぎず、遊具等のレクチャをするのに狭いため、部屋の使い方を工夫する必要がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、こども自ら活動に合わせた空間となっている。	89%	11%	換気、清掃を行っております。環境設定に関してもいまから話し合い等行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境となっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月次、半期、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	78%	22%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やムナさまの様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自ら主体に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際提の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	89%	11%	アセスメントツールを平均に近い上適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則放等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	89%	11%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援会議を開催し、その日の過ごし方や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々全員に情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、個別支援会議を開催し、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々全員に情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別ケアやクアビ記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	78%	22%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	67%	33%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	78%	22%	問題が当ス院には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	22%	78%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	22%	78%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	89%	11%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を勧める、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	44%	56%	こちらでの75%方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し、なぜ、どうやって支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な情報と支援を行っている。	89%	11%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	22%	78%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかに改善策を講じている。	89%	11%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	78%	22%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	22%	78%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	89%	11%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	89%	11%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた取組について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理 ―一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド107南ケ谷新田店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	25%	75%	狭いと感じる 運動もしたい児童が多いので、テーブルを置んで机に座せていますが狭いようには思います。 特に雨りしたい児童が多く、次くに活動のりとの中で出る、ドッチボールのりしーなど、ビーチボールを使って代もしている活動ともケガが少ないように声掛けをしている。
	2	利用定員やこどもの計画figに対して、職員の配置数は適切である。	0%	100%	パートさんでもいるが、当店有効のことも有り、児童の支援に配慮が必要。 声掛に対して個別の人数は少ないと感じることもあり、エネルギーなので。 職員数には余裕ができるため、事務作業をする時間が少なく、時間の使い方に工夫が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備figは、障害や特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達figは、環境上の配慮が適切になされている。	50%	50%	トラブルよう個で始入でしまう児童の、落ちてしまう児童などいて言ないと感じております。 支援の関係、実際にケガをしている印象がいるため、空間の記載が出る必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団の活動に合わせた空間になっている。	75%	25%	清掃は毎日してのりますが、幼児さんに児童ちいるためスペースの狭さが出てしまいます。 記載されてよんるなら、消込空間の活用には、難がん記載もるのでよ、よいと思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や臨時を調理することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	25%	75%	職員会議の時間を有効に使っています。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を職場する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修組織の相関による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	50%	50%	専門支援が望れてしまっているので、満足を前提にで作成しております
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立支援figアセスメントが適切に作成されている。	100%	0%	客観的なニーズを聞くことを大切にし、また、職員からも児童の様子を聞き合せながら、ひとりひとりにあった計画書を作成しています。
	13	自立支援figサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員との連絡調整が行われている。また、こどもの意思の汗論を考慮した検討が行われている。	100%	0%	定期型となり、モニタリングで保護者から聞いた情報を共有し、計画作成を前向をしています。これからも、活動みをるえて支援出来るよう、他の職員とのコミュニケーションを大切にしています。
	14	自立支援サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	職員会議やミま前時間を使って共有していますす。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	75%	25%	アセスメントツールを平最に近じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立支援サービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び具体内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、そのことで、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	75%	25%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で会行立を行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	50%	50%	活動開間が限られることが多い為、実動職員を中心に複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めてあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	50%	50%	下当たり、できなかったり、事務作業や清掃、翌日の準備で話す時間が作れないはあるとも、時間の使い方の工夫が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	75%	25%	客観的に分析できるようご事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は仕その ア記録を基中に次の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、自立開始等アイサービスは他の支援しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまその状況や必要性に応じて適切な期間し生行っております。
	24	自立開始等アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	50%	50%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	75%	25%	会議への出席は多忙ない。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	在学している学校と、出学ていない学校があります
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	25%	75%	事業園や幼稚園との連携はない。
	30	学校を卒業し、自立開始等アイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	25%	75%	そのような位置はまだ ないいので、時間があるといい。
	31	地域の児童発達支援センターの due責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	25%	75%	問題が出た際には障害児保育を行います。研修の講会が良れば積極的に参加させていただきます。
	32	自立開始クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと自然する機会がある。	25%	75%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）関連会等へ積極的に参加している。	25%	75%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示支を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	出来ている家庭、お来ていない家庭が多るため、出来るような収集は必要。
	35	家族の日ひろの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	25%	75%	こちらでの日ひろ方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立開始等アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	面談時と判断された場合には日をへくお知えするようにしております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や良い方策のご提供とご理解に対応している。	100%	0%	事業案等の意見要望を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	90%	90%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連絡や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	75%	25%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策等訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支況を確認している。	100%	0%	お子さまの支況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	75%	25%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	75%	25%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故原因や対処法、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを認定共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	研修が行われていても、職務の特性がある分で、訓練だけでは難しいと思う。
	54	どのような場合に今も を保護者同各々が力について、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価やアセスメント計画に反映している。	100%	0%	記述的・自代管理・一時性を満たしている場合とし、保持用支用いた場合は比記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド108浦和中尾店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	78%	22%	静動の部屋に分かれている。 順番待ちの利用方法を設けている点は良い。改善が必要な点は当日キャンセルで空いた枠が出た時、スペアの利用を求め月内で極端に減らないようにするべきである。 運動用のスペースとして別室を用意していることで室内遊びと運動遊びの利用者で住み分けが出来る点。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	公休日のシフトで上手くいっている。ただし、突発の欠席の場合も他店舗からのヘルプによりまかなっているので、問題ない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	入室入口が平坦になっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	点検票を用いているので、問題ない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	特定の部屋が用意されている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	89%	11%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングで、共有、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	78%	22%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月短い動画で共有されている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	職員間で共有が常時可能
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	会議の他、常時共有可能
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	会議の他常に話し合いが可能
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	89%	11%	アセスメントツールを年齢に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をふまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	曖昧なことはそのままにしないようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	休みの人への情報の共有も行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	職員間の情報の共有には配慮している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	89%	11%	併設する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	89%	11%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	78%	22%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	56%	44%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	78%	22%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎の際には保護者様とお話しするようにしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	こちらでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	きょうだい同士で交流する機会はあります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	56%	44%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド109大田原店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	90%	10%	おもちゃなどの保管方法に工夫しています。 プレイルームと活動活動において広くはないかなと思うが、狭さを感じられない子供にとっては狭そうと感じる。 小さいながら毎月、色々なご工夫頂き学てるようしている
	2	利用児童やこどもが心地よく過ごせる環境になっている。	100%	0%	自由時間をプレイルームや系統別に子供達が触らぼるよう。スタッフの配置を考えて安全に過ごせるようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	見分新て造っしているかや、イラストで扉でもわかる工夫をしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	棚類は毎日分担をしながら行い、掃除道具は子供達の手に触れないところに置くなどしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	90%	10%	個別の設置が多い 子供たちと個別での関わりを子に、スタッフと個室で行うなどしている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	問題が生じ次にその都度スタッフや考え、共有している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	利用のしやすさ 利用のしやすさについて毎年、アンケートを実施しており、その内容を業務改善につなげている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	毎月スタッフ間で話をして共有している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を確保する機会が確保されている。	100%	0%	研修後に感想を述べている リモート・アルバイトには訪問時間が不足してるのと、立場によっては研修に参加できない事がある
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	事務のしやすさ 事務のしやすさについて毎年、アンケートを実施しており、その内容を業務改善につなげている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い。計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども担当者に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際個々の福祉を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画など、LINEで共有したものにはリアクションして見たことも共有している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等による確認している。	100%	0%	アセスメントツールを半劇に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	土曜日のレク中日常のレクで新しい遊びを取り入れたり、施設もよりますがカプリントを用意している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	専門職の人に聞きながら、必要な支援をしている
	20	支援開始前には個別支援計画を行い、その日行われる支援の内容や活動分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	80%	20%	毎回、毎日ではないので、徹底していきたい
	21	支援終了後には、個別療育での termを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%	毎回ではないので、徹底したい
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	何かあった際はLINEで共有している
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の提案しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	全体もLINEで共有してくださっている
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おそさまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要なずとは関係機関で連携り、会議を行なっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	90%	10%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相当する等、	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due性を活かし、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける場合を想定しているか。	80%	20%	問題が生じた際には障害支援を行います。研修の場合が多くは参観的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	90%	10%	放課後や長期実施との合同レクを行っている。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	80%	20%	機会が当れば参加している方かと思います。
	34	日常からこどもの非定型な発達者に気大台い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	ハアの点は特に当えている
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	80%	20%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児童発達アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達アイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎の際に今日の様子を一緒に当えている
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	70%	30%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理的配慮に努めているか。	100%	0%	事業開始の合理的配慮を設定するよう声に、合理事例にご相談してから対応に、新たな受付窓口にて相談できるように努めており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともに、活動結果や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	70%	30%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	70%	30%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90%	10%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	お子さまの方に対しては事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて掲示を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた取組について検討をしているか。	100%	0%	LINEで報告している 毎朝のLINEにて共有している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することもに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今セを身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド110放課後デイ店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適正である。	100%	0%	ご利用者のお子さん達が安心で快適に活動できるように空間を広くしている ボール遊びをしている部屋等、声が大きくなりがちな活動がある為、声かけするなどしてより静かに遊んで頂いていた。
	2	利用定員や子ども1人1人が安全に、集団の変質物は適切である。	100%	0%	活動が変更する際にて、声かけをひろうようにしていた。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	利用に適した広さのある部屋や施設、感覚に深刻と施設を備う並びた心地がやすい。雑な展の仕くの使い場所にうっ設けているが、管理方法としてベストとうう場所がある 生活空間は、障害の特性に深されている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	更進が注ぶと一度つけるなく様々て遊れる場所に活用りの良いソファ的なものがあると良い。 現時の室内人で声を作りやすて、気を配っている 定期が増った後、清掃をした後消毒を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	100%	0%	その子ごとった、環境をご次されている 利用中の感覚が色った色、利用にする感覚がある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	92%	8%	定期設定などが同一的で遅ち一応紙な者の活れないため、工夫は必要。 様子を右言いに共有している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	83%	17%	常に職員が気がついたことは、共有して改善している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	会議や職員間での話しないにて意見伝達をしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	92%	8%	予後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会を組み入れ年や頃得る職場する機会が確保されている。	92%	8%	過去の全社研修へのアクセスもしやすくする。開発者では全社研修のプレゼン資料の一部として適宜されている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し年行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価やアイヤーズ計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭者さまからのご意見やムスさまの多様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自己評価やアイヤービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主観に関わる職員が作成期間内で、こどもの最善の方法を考慮した体制が行われている。	100%	0%	様子まざまの観察の作論を考慮し体制作上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自己評価やアイヤービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	92%	8%	情報は共有されているが、それを初題にされていない職員がおり、職員内での情報の共有にも期間を要することがある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	92%	8%	アセスメントツールを平面に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自己評価やアイヤービス計画には、自己評価やアイヤービスガイドラインの「総評自己やアイヤービスの提供すべき水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまな中で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	日々内容が被らないような月間スケジュールを組んでいる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果やサービス計画を作成し、支援が行われている。	92%	8%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	83%	17%	打ち合わせというよりは、時間のある時に職員間で意識の擦すを共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	75%	25%	時間に合えスタッフがいるので可能だではないと考える。 支援の振り返りよりも当日あったことについて記録に入力できる方法の方がありがたい。改善の必要。 「打合せというよりは、時間のある時に職員間で意識の擦すを共有している。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するよう努めております。また、モニタリングや個は月々のケア記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	活動内容にモニタリングを行い、自己評価やアイヤービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自己評価やアイヤービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議で、そのこどもの状況を正く理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している機関が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己評価やアイヤービスから期限満了サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的切する等、	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	83%	17%	問題が生った際には障害支援を行います。研修の講会が良れば積極的に参加させていただきます。
	32	自己評価やアイヤービス計画の作成時、保護者や関係機関と共通の目標や支援内容について共通理解を持っているか。	83%	17%	機会が有れば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	83%	17%	機会が有れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の約5割の以上を目る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や領域参加等を行っているか。	92%	8%	こちらでの約5方法活用を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家族でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	運営規定の文書で提示されていないため、早急に改善していく。
	37	自己評価やアイヤービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しても口頭時ご説明させていただいております。
	38	「自己評価やアイヤービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己評価やアイヤービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しても口頭時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支所する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設け各様の支援をしている。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が寄った場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事業開年の自己評価や保護者様へ説明を行い、苦情解決の体制について周知しております。苦情受付窓口にて相談できるように努めており、文書を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	92%	8%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保するな等、適切な対応をしているか。	92%	8%	感染防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今も多く体合的医与行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価やアイヤービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド111富士松岡店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	レクリエーションの充実が必要。
	2	利用児童やこどもが活用日に対して、職員の変置数は適切である。	100%	0%	予定してると思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい事を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、他店に関わりております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修の以外に、研修動画の視聴による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が内容説明の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際個々の福祉を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主体的に参加 する目的や課題を設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間相互に good morning 等の声かけを行い、その日行われる活動の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々から積極的参加致そう。記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々から積極的参加致そう。記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	毎朝のに分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個々の計画やケア記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が新加盟先を含めご参加ております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子応に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者 している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	67%	33%	問題が多い方際には障害支援を行います。研修の講会が多れば参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	83%	17%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	100%	0%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生体調者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を目ぬかう、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っている。	33%	67%	こちらでの75%方法清考も「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を分しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で充実する機会を設けるなどの支援をしている。また、さょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理的 ゃった場合には、その理由を説明を行っている。	100%	0%	事業開年の合理的配慮を設定するよう声に、合理事例にの相談してやいた合は、前向受付型にて相談できるように努えており、お声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HP やSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	33%	67%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止にた入力しております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド112佐野店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適正である。	44%	56%	レクの工夫、季節感を取り入れた製作やイベントを企画している 利用する支援が1日を見据えると狭いと感じることがある ホールが狭い 個別の療育室が多め、大きい部屋とは別に活動の部屋があること。 人数が増えため、狭く感じる。
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	44%	56%	職員の休憩時間が取れない時もある 他の子供たちに迷惑をかけるお子様 個別でマンツーマンの支援の際入ったら、他の児童への支援が手薄になってしまう ただ、加算で人数が取れるので、全部に集団の支援が行き渡っていない 利用児童の活発、好ディれん教とおしてスタッフを配置している。 個別に対応する際、集団になってしまう。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく概念化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	78%	22%	本棚が本当わやすく、カード表示している 各々の特性や、表示の位置 大きく見やすい字で授業名や活動が書いてあったり、絵で表してわかりやすくしている。 椅子の高さが高い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団活動に合わせた空間になっている。	89%	11%	児童が安全に移動出来る動線を確保するとともに、必要に応じて活発に遊べる遊べるスペースを確保している きれい トイレに男児用が欲しい 毎日清掃を行なっている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を調整することが認められる環境になっている。	89%	11%	必ず職員の目視の元で活用 感覚敏学ない、クールダウンする場所がない 静の生まとの子供の場所して取り組める
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	業務改善は行う、職員間で共有し、意見を出し合いながら取り組んでいる。改善が有る場合は対応に関われるよう努力送りをしている 定期的に職員会議を行なってる
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	78%	22%	業務共有を行っている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	皆でも相談出来る環境を構築しコミュニケーションをはかっている 全員が会議に参加し、良い台う場を設け、業務につなげている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	78%	22%	振り返りをし次に関げている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	しっかりした研修内容が充実している 定期的に研修が多る。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	個別に応じて、当社組織が取り組んでいる 個が1つ共有的に書かれている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己肯定感アイサービス計画を作成している。	100%	0%	子供型が取り組みやすいように分化組織でのペース型でいる それぞれに合った目標書を作成してくてなっている。
	13	自己肯定感アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども生活に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	89%	11%	客観共有、職員会議を行なっている
	14	自己肯定感アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	客観共有は日々行なっている 計画の評価やプラスシステムしてくださっている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	89%	11%	アセスメントツールを年齢に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自己肯定感アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅的に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	89%	11%	それぞれのお子さまに合った支援等させるべく、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	89%	11%	話し合いを設みなが広活動を行う子供が偏らないように考えている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	89%	11%	毎月作成している 新しい作成や様々なよう考えている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アセサービス計画を作成し、支援が行われている。	89%	11%	個体で行うものと、個室で行うもの欠分けている。
	20	支援開始前には複数職員で会ぼ打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	89%	11%	毎日はできていないため、工夫が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ずお仕を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	89%	11%	終了後の共有は毎日できていないため、改善が必要。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	89%	11%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に正の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	行ってくださっている
	24	自己肯定感アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を運営組織内合わせて支援を行っている。	100%	0%	行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸ばすための支援を行っている。	100%	0%	自分で選ぶ場を設けている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの支援主よく理解した者が参画している。	100%	0%	参加してくださっている
	27	地域の体調、医療（正当院や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	67%	33%	ご家族に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時的や緊認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	予定な場合は学校や保護者に連絡を取ってくださっている。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	78%	22%	参加する児童発達支援事業と小学城共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己肯定感アイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	56%	44%	まだ障害福祉サービス事業所に移行する児童がいないため
	31	地域の児童発達支援センターの due to 役割、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	56%	44%	研修が合った際には積極交換を行います。研修の重点が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自己肯定感クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	33%	67%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	89%	11%	送迎等の際に おそさまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を開示させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の集会や情報提供等を行っている。	78%	22%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	89%	11%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己肯定感アイサービス計画を作成する際には、こども や保護者の意向の確認、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を総括する機会を設けている。	89%	11%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	89%	11%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	89%	11%	ご家族に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援を行っている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける場合も設ける等の支援をしている。	33%	67%	ご家族に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や家族からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や家族とに周知し、合理や良い方向性に応じ改善や適切に対応している。	89%	11%	当事業所の合理的配りを設定するよう共に、当事業所にの相談しづらい内容は、第三者受付窓口にて相談できるように整えており、お声を聞い易いに応じ対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともに、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や家族者に対して発信している。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログラムを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性上に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連絡や情報伝達のための配慮をしている。	89%	11%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	入院歴ある入り始今している状態でも状況によっては預からなければならないこともあり、マニュアルなかでのお預かりの判断をの必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作型のこども の状況を確認している。	100%	0%	保護する児童の対策や取り扱いを行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	67%	33%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたや十分な預り行われている。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	78%	22%	必要に応じて個別作成を行ってあります。
	52	ヒヤリハットや事故報告書を作成し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	89%	11%	事例書ではありませんが、感染などとても広入も心、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指示や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	研修に参加している
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明した下で本人同意の上で、自己肯定感アイサービス計画に記載している。	89%	11%	記述的・身代替性・一時性を満たしている場合とし、身体的支持のため自己計画作成を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド113せんげん台店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	71%	29%	もう少し広い遊び場が欲しいかと記載がない。 広いスペースを使って運動できる形にまだ出来ていない。 毎日のレクリエーション工夫されていると感じる イベントの際行なっている
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の変置転は適切である。	71%	29%	特に職員で困ってない、ということである程度ができている。 利用時間が一定ではないため、職員全体が把握できるのは難しい点。一方で、室外からは窓から子供同士が遊ぶので、ケンカやトラブルがどうしても多く発生してしまいます。その時に、職員同士、意見が割れてしまうのも、子供達の前では、控えないといけないと思う。 丁寧な姿を行うためには時間がないと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	広いスペースがあり方が見渡せる点と、壁向て遊ぶ事で、トラブルなく遊ぶせるのは良いなガストル使いて、良いと思いました エアコン数が不足
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わ せた空間となっている。	86%	14%	全体的に古い、この間は、照せりする作りのものを増ち、また、土間周りの清掃もり合思いていない。 もりと、新しい内装なりて、環境を保てる、管理接はとても大事。特に、おもちゃや、器具遊具を共有するので、社じる冬期の定めり目は、仲調整等に気をつけていただい、学校が始まり、遊れてないか？とか、手の汚い方が増えます。少し心配。
	5	必要に応じて、こどもが個別の絵型や場所を選択することが認められる環境になっている。	100%	0%	そんなんって自己ろう時、又全自作ですっと向んでいる子なども、違う次部屋で、クールダウンしてあげると言う多く神経が切ってて、いいと思う。その際は、先生も一緒によって、話しを聞いたり、休方だよ！と言ってて行き様に、話し方の文章、声っと環境で、活躍にみまく遊せる工夫ので良いました
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	71%	29%	計画が十分なことが多り、非常の必要。 分かりやすくできると思う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	71%	29%	新園さんな保護年に得り言うようにしてあると思う
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	71%	29%	静れ流しの会議になんの意味が含るのか？意見を言える場所にして欲しい。 もの上意見は言いやすいと思う。 職員が集まって話合う場合の一日の職員会議しかないので、毎日特例等でも話しがいの場が出るといいなと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	71%	29%	外から見て、良い評価は、これからの仕事に対する良い姿勢になると思いました
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会を組み入れ年や切替を開催する機会が確保されている。	86%	14%	全下的に参加はあるが、もっとニク学びとして得る研修がない。 事務研修してます
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	プログラムに沿ってできてると思います
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成している。	100%	0%	それぞれ、話しかたに注意るなげけです
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主観に関わる職員が内容開発カ下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	86%	14%	私も含めてまう引人はなかたていない。そのためは会議が必要。 いさいろな特性が多ると全ので私も事が立た
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、目標に沿った支援が行われているか。	100%	0%	常大て連き、指導も連切で、難きサポです
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	71%	29%	よく観察して、遊びながら、様しです
	16	自立援助プイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主観に必要な項目が網羅と記定され、それこと、具体的な支援内容の明記されている。	86%	14%	みんなで、子供達のためにねなる場、連携していきたい
	17	活動プログラムは立案をチームで行っているか。	57%	43%	各々が様々にはじめて連手に把握している。 そのうど、新しい事をやる際点は、今後もしていきたい 計画をひて活用には、しっかりや関係を取り、活動の事を話ひて考えられています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	71%	29%	活動前に職員ミやっている、これでは活動も何も無い。 固定ない様にします
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	難解しながら、工夫します
	20	支援開始前には職員間で会打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	29%	71%	全く相談の場がない。 朝えて言うなかう、当かです
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	43%	57%	朝ちょ使わされに話し合いが必要 朝や送り会、とても忙しい 時間が取れていません。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	記録はつねにつけるようにしています 活動の様子を写真に記録し、職員全員に共有しています。
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	定期的におこなうようにしている
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	71%	29%	基本的な事を守るにやるようにしてます
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	好きな事をやるようにしてます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	86%	14%	理解してると思う
	27	地域の幼稚、園都（正当院や協力医療機関等特）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	71%	29%	連携して、情報交換するようにしてます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	71%	29%	引き渡しの時に、大体を聞いてます
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	なるべく、幼少期から、関してあげてる先生にアドバイスを聞いた
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を適切する等している。	86%	14%	はい、してると思う
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点での研修を受ける機会を設けている。	71%	29%	情報交換は大事なので、積極的に聞くようにします
	32	自立援助ホーム クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	57%	43%	全くと言っていほどない。 遊びを通して、良い関係ができるようにしていきたい
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	43%	57%	参えりけてません
	34	日頃のうこどもの状況を家庭者と伝え合い、こどもの発達の支方や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	自立援助の際に お子さまの様子をお伝え させていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付ひたの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っている。	71%	29%	お話の場合はもうけてます
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この初めに関しては証拠で説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意向の確認、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	しろいい思う事を優先的にする
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	同意を得て、活動しています
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	話しを聞いてあげる事で、気持ちが軽くなる
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	難し方をん様でいます
	41	こども や保護者からの意見について、日ひの活動を整理するとともに、こども や保護者と周知し、自己や多った場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	おこなわれてます
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するによより、活動様子や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	86%	14%	情報は大事なので、思にみる
	43	個人情報の取扱いを十分留意している。	100%	0%	コンプライアンスが今の時代、気をつけないといけない
	44	障害のあるこども や保護者への意思の表透や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	まず知る事が大事
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	43%	57%	出かけてます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	86%	14%	訓練はまめにしてる
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	行ってます
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	毎日ことが大事
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	や、１番台見をつけなくちゃいけない点
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	安全管理してます
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	一緒に学ぶようにしてます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた策について検討をしている。	100%	0%	毎朝話ましてます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	子をつけて、みるようにしてます
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載している。	100%	0%	身体機あとを見をつけて都るようにしてる

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド114都本殿の街店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が適正な面積等のスペースの確保で適切である。	80%	20%	机椅子、パソコン、記録スペースと分け活動に合わせて柔軟的使い分けもしています 声が大きい時にていらの下、広く確保すべく認識のいった思います。 狭間スペース、遊びのスペースと分けている 利用定員下ラブしないといらない広告うの、それは共は特に苦行事はない。
	2	利用児童ごどもの特性等に対して、職員の配置数は適切である。	80%	20%	配置の位置前に特にしているのでフリーでどもも動ける スタッフも もるべく配置できるようにしています。 障害の程度によって数字では人数が足りていても、障害の人数は足りていません。また、重度のお子さんを受け入れることによって、レクの設定が難しいです。 個別、背向に入っても、入浴中離充されるため充分なして動ける。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	80%	20%	どもらの認定一で重要する段階ものカラフトボードを使い分離化しているため、子供たも入室するとカラフトボードで確認する習慣ができています。 段差トラーブルの発生が無く様々、個々人にいるができるセル。 配慮にセロテープ などを貼っている 子どもに合せて、物の配置変更やスタンプ類で近しさいを実施しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、こども自ら活動に合わせた空間となっている。	80%	20%	温度スペースを作ったことで休っとりと過ごすことができるようになりました。(放課後前れて帰ってきた時に母子から 電子レと 充電器いたため設置しました) 毎日、清掃をしております。 しろに合わせて、テーブルや空間な物を片付けるスペースのあるので助かる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	100%	0%	活動環境が記録題、また個別面も要所できるようにしています 発想にはしていますが、人が足りません。 ハード面は、ほぼ整っていると言える。個別に対応できるようスペースがとれれば、あと一問題あれば良いのと感じることはある。 レク設定とパソコンの設置やの環境があるので、クールダウンなども個別することができます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	1.2ヶ月での点取りけでなく問題で聞でありています 月に一回、部屋を替えを行っている 定期的に会議を開き、児童の立有をしている。
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	評価票はありますが、ケモニケーションの時や様々からのご相談等を相時でも受けできるようにしています スタッフで共有をし、改善するためにおこでするが良いかと思っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々問題が起きる際には、すぐに対策を考え反映できるようにしています 会議の際に実施している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	80%	20%	会議の際に合わせて実施している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	定期的に全体で研修に参加している。資格などの様々のスキルアップのための研修等に参加できる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	いつでも見られるように個別ファイルと連絡ボードのから最新のものが入れてある。
	12	様々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価等アイデンティティ計画を作成している。	100%	0%	必ず、聞き取りを実施し、本人に合わせた計画書を話をし合計している。
	13	自己評価等アイデンティティ計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	原則に関わっている スタッフから聞き取りを行っている。
	14	自己評価等アイデンティティ計画や職員同に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	必要に応じてケース会議や個別の作成を行っています 会議の際に、全体共有することなく、1対1でケースを会議して個別の支援事項を挙げている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	LINEのグループで児童の情報を共有しています 専門スタッフが常駐している。
	16	自己評価等アイデンティティ計画には、放課後等デイサービスガイドライン（「放課後等デイサービスの提供すべき本質」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提供項目）を踏まえた上で、こどもや保護者に必要な項目が設けて設定され、それぞれの支援内容が明示されている。	100%	0%	本人に合わせて適宜変更している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	80%	20%	レク案の作成時、記録だけでなくスタッフの意見を取り入れています レク担当を曜日ごと等で利用児童ごとに合わせた案を出し合っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	80%	20%	人数や環境、お子さんの様子などから、できるものが限られているので、固定で入れているレクもあります。 新設備らしい内容を主で、利用者数に合わせて取り入れている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自己評価等アイデンティティ計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	レクの内容により、小集団や集団での活動に適宜変更しています 利用児童に合わせて対応している。
	20	支援開始前には複数関係者で会行日合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	スタッフの配置やどもも様み合わせを一緒に考えている。
	21	支援終了後には、福祉関係者との会行合せを行い、その行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	60%	40%	活動前には簡単な打ち合わせをしているが活動後にはない。今後行いたい 送迎時に児童の引き渡している。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	児童の共有をしAビワークに反映、今後の対応をどうするか話し合っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	子どもの状況に合わせて、修正をしている。
	24	自己評価等アイデンティティガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ合わせて支援を行っている。	100%	0%	子どもに合わせて対応している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	入所の利用児童によって様々い時もあるが、支援する際に心がけている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの支援主よく理解した者が参画している。	100%	0%	スタッフからの聞き取りをし、充実皆が参加している。
	27	地域の体制、課題（正当性や協力意識醸成等）、情報協は、探検、相談等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	60%	40%	もっと協力したりたいと思う。具体機関や専門機関と思いて、踏み切ぎ出を協るべきだと思います。 できているところもあるが、基本的に実施できていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	保護者の協力もあり、実施できている。
	29	相手方に判断しやすい伝達や分析概要、記述こども風、児童発達支援事業所等との間で情報共有と整合理解に努めている。	40%	60%	新知者会議が多った際にしかできていないのが現状です 情報はちゃん共有されるべきだと思います。
	30	学校を中単し、放課後等デイサービスから解除連絡サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を適切する等している。	60%	40%	現時から辺が乱いためまだ移行対象者ていません 学校を卒業した児童がまだいない。
	31	地域の児童発達支援センターの通所を前行、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	40%	60%	年1行う研修には参加しています。 子どもを支援に際して、スタッフが心理士等に協力を得たい、その上で行動分析などを行って支援に努めたい。 研修が来た際には、出来る限り受講している。
	32	自己評価等クラブや児童間との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	20%	80%	他との交流はなりなかかたて出なず、検討できるとおい
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	0%	100%	参加できていない。
	34	日常のうこどもの状況を家庭者と伝え合い、こどもの発達の支方や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	日々、児童の様子等の情報の共有をしている。詳しやすい機構関係をるのがいる 会話の際やモニタリングの際に共有をしている。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や情報提供等を行っている。	0%	100%	実施できていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	60%	40%	ご契約の際に説明しています 自己評価に対して、理解に対応しているものが多名為、一様としていただきたい。 自己評価等や必要と判断を都々で受けているため有効
	37	自己評価等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	下さるようにの行けています。
	38	「自己評価等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己評価等アイデンティティ計画の同意を得ている。	100%	0%	モニタリングの際に説明の際は、本園はハガで確認していただいています 同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	保護者から相談が多った場合、職員間で情子等の共有、確認をし、複数一たなり複数な対応で確認、相談等に応じている。 スタッフ間で話しやい、保護者と取り合って対応している。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	0%	100%	保護者会等は開催していない、個別に対応している
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情や申し入れ等のに迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	苦情が多った際は、職員間で内容を共有し、対応している
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよとより、活動頻度や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	80%	20%	通信やSNSでの発信はスタッフの負担になりません。インスタやブログ等は本部が作成いただけないのでないでしょうか。 必要、ブログで定期的更子記事にお下ろえしている。一事に同一内容を発信していない レクカレンダーで発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	外に出ない 個人情報が漏れないよう に、十分気を つけている。
	44	障害のあるこども や保護者への適切の連絡や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	絵カードなどを活用している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	0%	100%	個人情報保護の観点から、そのようなことは行なっていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	アレルギーの有る児童について、対策者の小出えられた対応の仕方を全職員で共有している 定期的に実施している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、指揮をの的必要な訓練を行っている。	80%	20%	レクリエーションで訓練訓練をおこない、避難の仕方、場所の確認をしている 定期的に実施している。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	定期的で立有し、対応にあたっている 保護者から共有していただいている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	80%	20%	保護者とも連携をとりながら対応にあたっている 保護者から共有されている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたや十分な実行行われている。	80%	20%	配置のカーテンなどにおしてください。給が行われていて危ないです。 定期的に全体で研修している。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	60%	40%	保護者への周知が確実ではないところがある 通知している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた策について検討をしている。	100%	0%	定期的で日当して対応にあたっている 報告共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	研修に参加している スタッフ間で良い点える関係性を気づいている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、自己評価等アイデンティティ計画に記載している。	100%	0%	現時支援計画書にて記載しています 現時支援計画に記入を保護者にて多く得ている 行動面に支援し、特徴点も説明している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド115筑西店PLUS (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	部屋の広さ自体あり子供たちが伸伸できているところ 定員の数と支援者(お手伝い)の数が合えば思います。
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	子供たちだけの空間がないようにおどりひとつは職員がつくようにしている。 ほとんど、おどりへ参加と言うない現状である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	子供たちに注意して欲しいことをにはけられがなりで注意書きを書きシールで貼り付けている。 ホワイトボードや扇子等で使て、見てわかる工夫がされている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団の活動に合わ せた空間となっている。	66%	13%	エアコンを頻回で使く、暑くなりやすい、服装後やなんとか良いでいる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	66%	13%	保護者評価は されていないかもしれないですが、一緒従業員は 非公開性ではないので、非公開のされた証拠い
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、特定、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	88%	13%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組み入れ等や研修を保障する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修組織や相関による知識向上にに力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	いＰＤＣＡとおげて思いている範囲で確認させていのだいております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童指導アイザービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やみ子さまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童指導アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、参考意機関を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童指導アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に1回との適応行動の参考として活用しております。
	16	児童指導アイザービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方向性等も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等ふまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	88%	13%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	活動が必要な場合、内容を相談して設定を支援み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童開始後には 1 箇月間で必ず行 なを行い、その 日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振ねることが多い為、常勤職員等々から、情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず 日々を行い、その 日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	88%	13%	活動開始を開催と振ねることが多い為、開催と常勤職員等々から、情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	88%	13%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は 日々のケア記録を参考に 日々の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の内容しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な期間を指定しております。
	24	児童指導アイザービスガイドラインの「５つの基本活動」を適度組み合わせて支援を行っている。	88%	13%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己主定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体験、訪問（正当性や協力意識醸成等）、講演協会、探検、校術等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継説明）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	88%	13%	積極的な上感には積極交換を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	63%	38%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	88%	13%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの安全を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を閲覧させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っている。	88%	13%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童指導アイザービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご家族に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、危険や著しい場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業所内の苦情窓口を設定するとともに、各事業所にの相談しづらい内容は、本社受付窓口にて相談できるように整えており、お声を聞い入れに迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様子をご確認いただける内容を組み作成しております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性とにた入力しております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入々に、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、児童指導アイザービス計画に記載している。	100%	0%	記述例・自代警告 ・一時性を満たしている場合とし、身体的束を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド116西郷店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に対して適当である。	83%	17%	空きスペースとして使う予定の元舗装とかたらし、フロアの段差が激しい、活動の内容も危険がないように行うことを考慮すると限られてしまう。 物置スペースの使い方が、制限、事務用品、レクレーション予定う大きな遊具が置き物やちゃんと決められている。ここよう使いやすい収納が必要と思われる事は、窓が使い方や事空けろ元気がいたり、開けて外にはようとする仕草をする元気がいたりの先作用、そもそうちこと を思うために次回に生かできることがの事。
	2	利用定員やこどもの特性等に対して、職員の配置数は適切である。	83%	17%	スタッフ同士が切れ合っている事は環境もいい、しかし、自分優すなり元気多くく、スタッフ数がもっといると思うことも少なくある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	67%	33%	空間が複数になっていて記が先自由な元気働ける空きな。 また、おスペに対で環境が多る、特が場ると、用が等ると、用やすく告ない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、こども自ら活動に合わ せた空間となっている。	83%	17%	1番しも記載した通りフロア面積が狭い、学習している元気と自由活動を行う元気働の区別の立く、その環境によって区立ってしまう元気もいる。 特に、トイレ、洗面台、非常上の環境機各かけり、1体は、活動エリアしかっているとよう、アレルギーの元気とけた学用のテーブルを元気置くかし難しながらもみんなと一緒に食事を楽しむよう空間を作っている。とこるの環境らしいと思う、記章すべきところはトイレかりつしかない、また洗面台、トイレが別注はしむしているものそこの作業ビエリなり少ない元気置には広くたいない、更にしてほしく思われる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や刺激を調整することが認められる環境になっている。	100%	0%	ほとんど個別の部屋は使わないが、空が物理や開放を起こしてしまった元気置とけしては、クールダウンのために スタッフと一緒にその場で過ごすこともある、そのような部屋があるのはとても良いと思った。個室に対しては、他活動にはないところもあるが、他活動と共用となるとも思、どちらに重っていると思うた。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	83%	17%	元気のを管理様に対して月先毎行あるりできていないで、モニタリングの時などスタッフ元員に支有するの元気のあると思う、なりなのそのような文章を読んでいったたらいと思う声もあるため、その日、その日その定量で先をつけるとなりを元気働り入室する日に共有したいと思う。
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	83%	17%	当初スタッフは、ハグの温福も足であり、その都度連絡があると有自由、それに対する対応法や対応もできていると思う、保護者の回収、個別当該計画書などは上記と同様。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	100%	0%	スタッフミーティングを行い、管理者からの連絡事項のほか、スタッフの気づいたことなどを共有し合う時間がある。またカウンセリングの後などなど、その都度からをスタッフと記し合ったりできているよう思うが、スタッフそれぞれがでりやすい仕組にしていったかと思うと、そこは難問である。意見が言えるスタッフばかりでは ない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を事業改善につなげている。	83%	17%	スタッフミーティングの時、管理者なら、管理者会議であったことなどを共有してもらっている。それの対応や対策をするミーティングでみんなで話し合っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	各を乗り合わせて研修会場に向かったりして、声を掛け合って研修に行けている。また2.3ヶ月の研修は、大変助かる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	83%	17%	公開記載されていの活動ではの分けていたが、今までまとりやらなかったようなので、公表し情報を共有していきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プロセスが適切作成されている。	100%	0%	できるだけ保護者と対話で行っている。知識各種施からも、情報をもらい、元員の特性を把握したとて、保護者の希望を聞きすり合わせ、支援計画を作っている。保証期間や元員の作成、また比化会的支援の連絡も相隣している。
	13	自立援助プロセスが適切作成する際には、元員発達支援管理責任者だけでなく、こども生支援に関わる職員が作成時点で、こどもの最適の方向を考慮した作成が行われている。	100%	0%	まず、知識各種施の合ら、その位置の特性やその点が成長した方、どの点が問題なのかなど情報をもらうことらから始まる。そして多様者から他元員多学校での様子も聞き、元員が最適を出てる材料にしている。
	14	自立援助プロセスが適切職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	大きな変更があったときとは他とに限ってを伝え以外にでも共有しているが、モニタリングがあるとの立内容を全部共有できているなと思うとできていないので、今後はいつでもその時様が見られるようと工夫していく必要がある。話し合った内容は、ファイルに閉じて見るが、複数名にわたるプロセスも見ってその内容を理解するは時間が掛かっているため、今はただ内にできるの一時にしっかことである。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	専門的な室内の元員によう細かく元員を見れるようになっていると思う、ただ、専門的な国の資料を含む職員室観察員になるので、他の児童指導員にも共有する必要があるし、室観点室前に限らず、室調を振く巻てるよう、スタッフ間で元員について話も機会を多く持てるようにしたい。
	16	自立援助プロセスや自立援助ホームガイドライン（「総合支援プロセスの3つの要素やマネル支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のなかい及び各個内容も踏まえた上で、こどもの全般に必要な項目が網羅と設定され、そもこと、具体的な支援内容の明文化されている。	100%	0%	本人支援、家族支援、移行支援については、個別支援計画書にも表示してある。地域支援や地域連携については、事業所の参加者会議の際、事業所それの開も共有されている
	17	活動プログラムの立案をチーム で行っている。	83%	17%	チームはチームだが、ほぼ独断で決めがち。当のスタッフの意見が含まれてしまう。違ないことがあいよう に感じる。活動の施設については、全員が集えて意見できるような学園専用ラモ化のがたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	定期的に新たなプログラムを加えてみたり、長期利用者には園側にアンケートを取り内容が固定化 ・ 1カ月前から前日までの元員の様子、また保護者からの連絡等も行っている。 他事業所でその行ったり活動などを情報を得る人が取りえていている。またやってみて、あまりうまくいかなかったものは、次回に向かって自分で反省し次に生かしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援時等アセサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	特性や発達に合わせ、幅広い、レクレーション活動になっている。
	20	支援開始前には複数型で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	レクリエーション、前当や活動時に気をつけること、など職員間で話し合っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	83%	17%	各々う意見をだしや神的ない ケース記録で共有できる 忘れ箇所をやさかやすく打っているわけではないが、それぞれの意見やその日の元員の様子、また保護者からの連絡等も打っている。元員に話せる時間がある事は良いことだと思う。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	その日のミクリエーションに参加していた元員の様子や学園内部、学習環境、また自由記載でどんなことに興味を持っているのか、他のどんな元員と関わり合を持っているか、参加はどのようなっているかなど気づいたことを、次のられた用紙に書くようになっている
	23	定期的にモニタリングを行い、自立援助サイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	元員の発達や元員に合わせて、見直しを行っている。
	24	自立援助サイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を運営組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	公共の場でのマナーやルールをスタッフと一緒に学びながら買い物をしたり、公園でのクラブとを体動かし、調理したり、工場見学や、野菜、植物、体験会など幅広く経験ができるよう工夫している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	100%	0%	全て決められたことをするだけでなく、好きなものを選ぶ場合も作り、自分で考えて、自分で選び行動する喜びも味わえるよう、スタッフも一緒に喜びながら接している。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの支先生よく理解した者が参画している。	100%	0%	他のスタッフからも、情報を集めて会議に参加している
	27	地域の体調、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	家庭毎のモニタリングの際、医療機関や使い慣なその都度確認している。
	28	学校との情報共有（年間行事・日事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	年間決ち合わることに学校で配布される下校時刻の確認をが行っている。また、急な変更は、保護者からの連絡だけでなく、他活動のため情報も参考にしている
	29	相手別に判断していた保育室や会報園、図定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	83%	17%	相手別に言っていた保育室での情報が主となってしまうため、例用性や幼稚園からも情報をもらってもいいと思うが、元材空が生り行っている西当からは、情報がもらえている
	30	学校を卒業し、自立援助等サイサービスから期間満了サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的切する等している。	83%	17%	元員の今日他や特性や支援情報や保護者の意向など、支援事業所を通し連絡している。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	83%	17%	地域の支援事業所との連携は取れていると思うが、スーパーバイズの観点は欲しい。
	32	自立援助児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	67%	33%	他活動との合同レクリエーションを行っている
	33	（自立支援）就職自等へ無理的に参加している。	83%	17%	全中自由が記録していない項目である。 （現在も連絡のみの活動参加に参加している。
	34	日常からこどもの非支生保護者と信大台い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎時に子供の様子を伝えたり、家庭での様子を聞いている。
	35	家族の75%以上の参加を目標に、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	83%	17%	保護施等サイサービスだけではなく、支援事業所や市や、連絡が付くようになっていると思われる。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	83%	17%	管理者がしている思われる。
	37	自立援助サイサービス開始を作成する際には、こども や保護者の意向の確認、こどもの最適の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を総括する機会を設けている。	100%	0%	自立者自園やモニタリングや、申請者の意見を聞き、元員からも、それとなく話を聞いたりしている。
	38	「自立援助サイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助サイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	毎年最書を回なが、一つ一つを説目等や内容について話し合っている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適宜応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	どんな悩みがあるのか把握し、それに対して自分時のと話す機会を設けている
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や元児する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい児と や元児する機会を設ける等の支援をしている。	50%	50%	保護者同士も同じ立、こちらから特段設けを事はしていない。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や多った場合に必要かつ適切に対応している。	100%	0%	意見があった場合、スタッフも情報共有し、その対応をしている。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとによより、活動様要や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	83%	17%	定期的に訳ので、活動の様子を発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	個人情報は、ファイルに閉じて書類の中にしまっている。
	44	障害のあるこども や保護者への差別の解消や情報保護のための配慮をしている。	100%	0%	わかりやすい言葉や漢字に解説に対応している
	45	事業内の苦情に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	50%	50%	複数の事例に行く事はあるが、こちらから出国はしていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	83%	17%	職員間で周知していても、家族にまでは共有できていないと思われるが、口頭の伝達などで、特に甘口行っているほうが確認していない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の自己振り訓練を行っている。	83%	17%	元員の立訓練は行っている
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支先を確認している。	100%	0%	契約時に確認している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	複製など預かる薬型がある場合は、医師の指示書とともに預り時用登録などを与えている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その方必要な態度を講じる等、安全管理が十分それた中で支援が行われている。	83%	17%	1日や2.3日れる上確認がある。安全対策についてや研修をもっと開かしても良いと思う。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	100%	0%	個別支援計画書にも明記しながら、児童の安全を第一と考えた対応が重先されることを出現もしてもらっている。
	52	ヒヤリハットや事故発生時の対応に、再発防止に向けた取組について検討をしている。	100%	0%	各保護でのヒヤリハットなど、スタッフ全員でも認識とこと、記録ではどのように対応するかを話し合っている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	研修会議録を回す、話し合っている
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助サイサービス計画に記載している。	100%	0%	本当の元材に用り涼いながらも、他人や身体が危険とみなした時は、やむを得ず、身体的拘束も行う事は、個別支援計画書に明記している。

○こ の「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド118ひたちなか店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	67%	33%	パソコンやロッカーなどの配置を変えて通ろしやすくしている 狭く感じる時が有る
	2	利用児童やこどもが活用日に対して、職員の変置数は適切である。	67%	33%	子供の支援によっては職員配置が少ないと感じる日もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	掃除、清掃を行っております。環境設定に関してもふさわしい形で行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調整することが認められる環境になっている。	67%	33%	個別環境を行っていないため、個別の認識がない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	保護者向け評価表での保護者の意向は確認していない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による客観評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	第三者による外部評価を行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲や相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	67%	33%	アセスメントが適切にされていないと感じる時がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主組に関わる職員が内容理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様子ままの最善の利益を考慮し検討の上、参考意職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有してあります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、目標に沿った支援が行われているか。	67%	33%	個別支援計画が適切ではないと考えられる場合には、計画に記載されているものとは別の方法での支援をしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	67%	33%	日々の行動観察が行われていないため、支援が必要
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン（「総量規制デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのために、具体的な支援内容が明示されている。	67%	33%	地域支援・地域連携の項目については記載していくに必要がある
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した支援プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して設定を支援み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	67%	33%	集団活動が中心に行われている。
	20	支援開始前には複数関で会行立合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることが多い為、学校職員各々さんに情報共有出来るよう、記録やご様によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に学校職員各々さんに情報共有出来るよう、記録やご様によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は月々のケア記録を参考に日々の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	67%	33%	計画が妥当と思えないし今場合もあるため、十分に気量の様子が観察が必要。
	24	児童福祉デイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を運営組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己主定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おそままの状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体調、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	67%	33%	医療機関、保育施設との連携はしていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整してあります。
	29	相手方に判断していた保育や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と相互理解に努めている。	67%	33%	児童発達支援事業所との領域共有は行っているが、保育所との領域共有は行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切する等している。	33%	67%	放課後等デイサービスその障害福祉サービス事業所等へ移行した利用者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターの通所を前提に、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける場合を想定している。	67%	33%	学校が休土祭には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	67%	33%	場合が合われば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	33%	67%	場合が合われば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を閲覧させていただく等して共通理解が行できるように努めております。
	35	家族の1/3以上の参加を図るなど、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	33%	67%	家族参に対する研修は行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意向の確認、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	67%	33%	個別支援計画を示しながらの文章内容の説明は行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	家族者からの相談の際が多れば、感度出ている。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	33%	67%	家族者全てきょうだいとの交流の機会は設けていない。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情や申し入れ先以外に外部にも窓口を設けている。	100%	0%	事業所内の苦情窓口を設定するとともに、各事業所にの相談してもい内容は、事前受付窓口にて相談できるように整えており、丸作を扱い易いに応じ対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性上に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	67%	33%	必要に応じて随時行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができている。	67%	33%	医師の指示書はは成く、保護者独からの確認をや心に行っている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたや十分な預が行われている。	67%	33%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	67%	33%	必要に応じて随時行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入々に、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治事態常や緊急度とも共有する技術を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修も行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	33%	67%	記述的・身代替性・一時性を満たしている場合とし、身体的支えは記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド119新潟青山店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	71%	29%	遊びや学びやすいように、仕切り等で工夫しているが、人数によっては狭い気がします 理解のない、急な割り当て案件がない、人数に対してフロアが狭い、発達支援の個別やおもちゃの収納場所が少ない。
	2	利用定員や こどもの特性等に対して、職員の配置数は適切である。	71%	29%	トラブルが多いと判断すると、対応している ちっとスタッフの人数に余裕が有れば、全体的に余裕をもてると感じる こどもの人数に対して職員の人数が少ないことがある為、ひとり対応時で職務数を検討する必要があると思います。 スタッフの数が少なくて思い通りな提供ができない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリーalong物理的環境等、環境上の配慮が適切になされている。	86%	14%	障害の特性に応じた設備をしている。トラブルが起きそうな時や、トラブルが起きた時は、マンツーマンで対応している 暴らの空間で、保証保険相手や他ことで不時騒音問題に関連の入りにより様々な職務が必要で色とたくさつかる危険がある。バリアフリーの観点から段にが広いと良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉を提供することが認められる環境になっている。	86%	14%	ご家庭に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に盛り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	86%	14%	定期開催ができている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	100%	0%	いつでも話すことができる
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を事業改善につなげている。	86%	14%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織的に研修を実施する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修の以外に、研修範囲の相談による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やみ子さまの様子をお聞いし、計画を作成致るようと努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主組に関わる職員との共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した情報が行われている。	100%	0%	お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、参考意職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に沿りた適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのみ子さまに合った支援ちょえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムとなるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	活動が必要な場合、内容を相談して設定を行ないようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご家庭に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に盛り入れております。
	20	児童開始日以前最長90 日以内 に子どもや保護者に対する支援の内容や目標が個別に決定されているか。	100%	0%	活動開始が困難なことが多い為、家族構造等やみに情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に再掲することが多い為、同様に常無職員等やみに情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考にこの目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすさまや状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を適度組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己主定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おすさまや状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体験、訪問（正当性や協力意識醸成等）、講演協会、探検、校術等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	71%	29%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの活用を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けているか。	86%	14%	今後積極をはかっていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	今後交流できる場会をもっていく
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	57%	43%	今後参加していく
	34	日常からこどもの安全を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を閲活させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	86%	14%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な情報と支援を行っているか。	100%	0%	ご家族に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	29%	71%	ご家族に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、危険や著しい場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事業所内の苦情窓口を設定するとともに、各事業所にの相談しづらい内容は、本社受付窓口にて相談できるように整えており、お声を聞い入れに迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動頻度や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	71%	29%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性上にた入力しております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	43%	57%	今後地域との交流の場を設けていく
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時作っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	避難訓練を定期的にしている
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	おやつ等や食事にアレルギーをおこす食物の書類を書いたカードを入れている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時作っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた取組について検討をしているか。	86%	14%	事例置ではありませんが、感覚などとも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する技術も整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・身代替用 ・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○○○「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド120荒川沖店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が事業所全体の規模や設備等に対して適切であるか。	56%	44%	放のほう遊ぶでゲームやグループ作の部屋が欲しい 学生の立ち寄りや集いである スタッフはすでかに工夫をしているがそれでも限界がある 定期で参い、子どもが多く集うリラックスペースが欲しい
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の変置転は適切であるか。	67%	33%	職員条件も良いかを確かして頂きたい。 事務職は確保できている 人員配置基準を守っている 子どもの特性を理解しようと努め、対応するスタッフを好ける などに工夫をしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	トイレの数、現在1つで時気面もない、子ども等も着かせる静かな環境ができない。 座場跡が、現在している 活用的にスペースが狭い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども自ら活動に合わせた空間になっているか。	89%	11%	現在の環境の中で積極的その配慮が行えています。 清掃や設備を確認している ウチい様々能コップを設置した。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調整することが図られる環境になっているか。	89%	11%	工夫して設定されているが自然に広った感覚が多りません。 応援等など利用している
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員が児童が広出来や話し合ったり保護等の時間が短い。職員数が足りない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	保護者によく説明する時間がない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、保護、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	89%	11%	予後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	もう少し放課後のスタッフの対応の充力、レクリエーションの質の向上を目的とした講習があっても良いかと思いました。
適切な支援の提供	11	通常に支援プログラムが作成、公表されているか。	89%	11%	支援プログラムの内容がわかりません
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員との共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した作成が行われているか。	78%	22%	その時間の確保が課題や意識も好が出る
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	78%	22%	毎朝共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	89%	11%	アセスメントツールを半期に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドラインの「対象自立プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれに具体的な支援内容が明記されているか。	89%	11%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89%	11%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	活動が必要な場合、内容を相談して設定を引き出さないようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関 与者が 会 打 合 せを行い、その 日 打 合 わ せ られる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々と ご情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その 日 打 合 わ せ られた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	89%	11%	活動開始も同様に 振り返ることが多い為、同様に常勤職員等々と ご情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	89%	11%	振動的に分析できるように 事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は 日々のケア記録を参考に 日々の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おやまさまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を適度組み合わせて支援を行っているか。	89%	11%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするを育てるための支援を行っているか。	89%	11%	手巻の具載入の時、子供に食べたいものを選ばせている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	89%	11%	おやまさまの状況をより理解している機員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体調、医療（正当限や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	89%	11%	基本保護者からの連絡であるが、緊急の下校時刻変更等は学校から ご連絡ならうことがある 行事予定等が渡されていない場合がある
	29	幼学校に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めているか。	56%	44%	新設する児童発達支援事業と小学校低学年を情報交に行っております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的確する等、っているか。	89%	11%	まだ卒業し九子はいないのでいたらそのようにする事務は有ります。
	31	地域の児童発達支援センターの通所を前 行 、必要等に応じてスーパーバイズの観察での研修を受ける機会を設けているか。	67%	33%	現数が多った際には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助型クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと自由する機会があるか。	44%	56%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	56%	44%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時に保護者とよく話をしますが出来ればきちんと時間を取って お話をしたい。
	35	家族の日 当 力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時 期 や開催内容等の開催非常等を行っているか。	78%	22%	こちらでの日当方法等を「本日の様子」として日々報告強化し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	89%	11%	年始な説 当 はしているが、十分ではないだろう
	37	自立援助プイサービス開始を作成するに 当 たっては、こどもや家族の意 当 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しても口頭様ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しても口頭様ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な情報と支援を行っているか。	100%	0%	ご家族に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこどもや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児と 子 支援する機会を設け各 様 の支援をしているか。	22%	78%	定期で先別している子どについてはその関わりを支援している ご希望があり開催をおもえるように検討をしている
	41	こども や保護者からの意 当 について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理的 配 慮の 提 供が行っているか。	100%	0%	事業所内の合理的 配 慮を設定するに 当 、合意事項に 合 理的 配 慮 提 供が行われるように努めており、丸作を用いた 個 別 対 応 表 を作成しております。
	42	定期的に通信等を発行するこ と や、HP やSNS等を活用するこ とにより、活動様 子 や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様 子 をご確認いただける 内 容を 組 み 有 成を行っております。
	43	個人情報の取り 扱 いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係 先 以外に 入 外下 有 ります。
	44	障害のあるこども や保護者との適 切 者の連絡や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の 行 事に地域住 民 等を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故 発 生マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	89%	11%	必要に応じて随時 作 一 成 を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常 災 害の発生と職 員 、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を 行 っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事故に、保護や予防保健、てんかん発作 等 のこどもの状況を確認しているか。	89%	11%	保護が必要な児童は現在の利用されていない
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指 示 書に基づく対応が行われているか。	89%	11%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、事故等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係 等 へ連絡しているか。	89%	11%	必要に応じて随時 作 一 成 を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故 等 報告 件 数を、再発防止に向けた 方 策について検討をしているか。	100%	0%	事例 等 ではありませんが、感覚などとも記入をし、事業所でヒヤリハットを 適 宜 共 有しております。また、治事業所や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するな 等 、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を 行 い、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘 束 行 為 について、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明した 上 で同意を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載しているか。	89%	11%	なるべく 自 事的な記 入 をしている

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド121新荒川沖店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの面積や適切であるか。	75%	25%	職員が子供たちの対応が常さんと支援ないと思いました。 職員の配置が適切であるか。 職員の成り内容によって、適切な配置が出来ていますて、子どもたちがトラブルにならないような工夫しています。 自由な思い切り動かせるようなスペースが欲しいと思います。 コロナウイルス コロナウイルスの為感染や、スペースであれば広めに思います （職員の配置が適切であるか、（事業所内外含む）運営の改善や従事つた） スタッフの配置
	2	利用定員や子どもの支援等において、職員の配置数は適切であるか。	69%	17%	職員がゲームより子供たちの特有などを収集してるなと思いました 職員がゲームより子供たちの スタッフのモラリメント
	3	生活空間は、こどもにとわかりやすく構造化された環境となっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切に行われているか。	92%	6%	不適切なが等に見えてしまう 思い通りの入れ行が出来ずとてもうるに感じさ、設備大切やにして安全な遊びに配慮している。 相談の際、設備などの表記。 不適当な活動スペースおよび設備ある点が大きい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども数の定員に合わせた空間となっているか。	100%	0%	生活や芝基が使う様子を職場環境を清潔している 清潔面一も考えて配っています。 清掃は、毎日実施している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の設備や備等を使用することが認められる環境になっているか。	75%	25%	相談室や廊下などでクールダウンや、自ら気が落ち着けない個室があると良い小 最低限備等されていますが、声や雰囲気は思いです。 セカンドを個別ケースを設備するお場合がない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員や参画しているか。	92%	8%	オーダーメイドなどで問題解決、振り返り実施 職員の意見を聞いて、改善に努めています。 自己の意見は言えるではいです。 事例開発時のミーティングや相談のレク振り返りを行ない、共有前スタッフにも共有している点が良い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	8%	全スタッフに情報共有が定向にくい
	8	職員や意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職務間とや相互が支援できるような雰囲気がいいです ミーティングの議題提供と実現されていて支援につながっています。 毎朝、ミーティングにて個別作有りど実施している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	より乃号の意味合が図ってくれる 第三者評価は行われていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	92%	8%	社内研修はより充実
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	92%	8%	良く出来ている 作成の課題と認識
	12	様々なこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまから心の二面性やお子さまざまの様子をお伺い、計画を作成出来るように取れております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職務が法律関係の下で、こどもや家族の不安等を考慮した体制が行われているか。	100%	0%	話せん好子供たちの為に努力していると思いず 担当と個人計画に行われています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職務共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメント、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを統用する等により確認しているか。	92%	8%	ミーティングで作成される
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・体制構築」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもや家族に必要な項目が漏れに設定され、モレなく、効果的な支援内容が設定されているか。	92%	8%	なかなかスタッフの職務量が一致しない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	経験の浅いスタッフにはリアノ指導も難している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	職務が子供たちの為に頑張っていると思います
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望におじて、個別対応や集団での関わりカや全般カを保護者に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる活動の内容や役割分担について確認し、チームで適確して支援を行っているか。	100%	0%	活動開始で関与することが多い為、学習職員をやらと情報共有出来るよう、記録やご連絡による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	おやはに実施 担当者外で実施していることがありです。
	22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケアと記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の妥当性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性とおじて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を適務組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を準備したエレクリエーションを設定してあります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするカを育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所やサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をよう理解している職務が参加出来るように努めております。
	27	特徴の保健、医療（主治医や急方医療機関等）、福祉機関、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に出じて関係機関も個別に実施している
	28	学校との情報共有（学期計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（公式時刻の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡連携してあります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	92%	8%	共有話題の為情報交換機会あり
	30	学校を中退し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を適切に引き継いでいるか。	83%	17%	ご要望におじて、対応させていただいております。
	31	特徴の児童発達支援センターとの連携を図り、必要性におじてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	69%	17%	問題がある方際には積極交換を行います。研修の機会が有れば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の各のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	機会が有れば参加していきたいと思います。
	33	（自己支援）保護者等へ積極的に参加している。	75%	25%	参加しいると思いますが、何が出るのかを把握できていかで。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の喜びや課題について共通理解を持っているか。	92%	8%	送迎等の際に自己さま小等子を台伝えさせていただいり、電子記載を提示させていただく等して共通理解が図てるように努めております。
	35	家族や対応方の不安と年回を感ぶから、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	こちらでの対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう様々お伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス指針を作成する際には、こどもや保護者の意向の確認や権利擁護の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス指針」を分しなの支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やが必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望におじて面談、ご相談に応じております。
	40	父母会の役の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向けで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望におじて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや家族に周知し、苦情が出た場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定するとMに、各事業所にご相談しづらいの際は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を聞いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報やこどもや家庭者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただけるやり組みを行なっております。
	43	個人情報の取扱いに十分配慮している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止ご力を入れております。
	44	障害のあるこども や家庭をとの理由の誤通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所での事に地域会員を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	58%	42%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、色点を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアルの全てはないかと思ってです
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、訓台その他必要な訓練を行っているか。	92%	8%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事故と、誤薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前と確認してあります。
	49	感染アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でかるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な距離を講じる等、安全管理が十分とされた中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、津波等への避難方法のみならず、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	必要に出じて周知を行って あります。
	52	ヒヤリハットを業務用内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、感編などとでも記入有し、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所や関連者とも共有する会合も有ります。
	53	個別を初止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや家族に事前に十分に説明して解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	知的別・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合に決定後を行っております。また、計画書にも説明しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド122新宿曙店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの関係で適切である。	50%	50%	スペースを作ることができていない マンルームだ狭い マンルームの為、プールやランが必要な活動となかなか行うに行けない、パーテーションをたくて対応しているが、なかなか難しいと思える事が多い。
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	83%	17%	職員人数が足りないため、エキが必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	67%	33%	スペースがワンフロアであるためパーテーションを利用している マンルームに応じて並べている トイレがワンルームない為、介護やスタッフによっては不便を感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自立運動に合わせた空間になっている。	83%	17%	清掃を下請に行っていますが複雑のう、隅のところに穴の空いています マンルームなので落ち着けるが空間が広い
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や臨時を調理することが認められる環境になっている。	33%	67%	ワンフロアしかなく個別はあるが、パーテーションを用いて確保的に個別環境を作っている 個別の活動はない 静養室がない 活動内容がワンルームの為決まる範囲がない。活動期間での終点をつけられていない、パーテーションのみの仕切り。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	83%	17%	コミュニケーションをとって情報共有しています 自己ニスしてやり組んでいる
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	83%	17%	モニタリングで聞いたことを共有しています
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	月１回の会議を行っている 常に話す機会が有ります
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内での研修を実施する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修の参加か、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やみ子さまの様子をお伺い、計画案を作成致しております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主組に関わる職員が内容検討の下で、こどもの最善の利益を考慮した情報が行われている。	100%	0%	職員で子供の情報共有をおこなっている 支援内容の共有は、午前中に行なっている。また気になったことは当日や翌日に行っている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎朝共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	67%	33%	アセスメントツールを半期に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び内容を踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれに具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	それぞれのみ子さまに合った支援等ふまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	スタッフで立代で行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	新しい事なども取り入れる意識でつくっている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	活動を行うための目標が全職で周知できるようには個別が多り、できることとできないことがある 活動によって参加の仕方を変えている。 活動によって個別の仕方を変えている。
	20	支援開始前には複数関係者が会議を行い、その日の一日の支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	83%	17%	個別時間や家族内容の違いにより、時間合ずはできていない その日の活動内容を共有している 個別内容の共有は必ずではない。
	21	支援終了後には、毎回間で必ず自分を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	50%	50%	個別時間や家族内容の違いにより、時間合ずはできていない 個別によって振り返り内容の違いにより、 必ず時間が取れる為、全員は取れないのでグループLINEで共有している。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の内容しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おやまさまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を踏まえ活動内容をバランスよく設定し、支援を行っているか。	83%	17%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸ばすための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おやまさまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体制、慣習（正当性や協力意識職関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	学校関係者との関係性は良認知で情報の共有が できるように実施している。
	28	学校との情報共有（年間行事・日単子定等の交換、こどもの下校時の体制管理）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	その日の学校での様こうた、送迎の連絡連絡など情報共有をしてる
	29	幼子ぶに利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	なかなか就学前の制限と連携を図ることは難しい 保護者からの情報でだけっている事が多いので、保育園部からの情報付他が必要
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的確する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの通所を前提に、必要等に応じてスーパーバイズの観察で研修を受ける場合を想定しているか。	50%	50%	お要に当られることを主に思っていないので、その状況を行う全とていないだけるのかが分からない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	相方の学童が近くにない為かかわる機会がない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	33%	67%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言語や表現を捉え、こどもの意思の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時に子供の情報共有をおこなっている
	35	家族の75％以上を超える割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や環境提供等を行っているか。	33%	67%	家族会が必要としている状況にまだなっていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や保護者の意向の確認、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を総括する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご家族に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	最近の学校では、学園の父母の会やPTAもなくなりつつあるため、保護者が今必要とおこしていない流れである為、保護者会等などは開催などしていない。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経験を整理するとともに、こども や保護者に周知し、危険や事った場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事業開所の合理的配慮を設定するよ共に、合理事所にご相談してから対応、緊急受付窓口にて相談できるように努えており、丸作を扱い危険には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動頻度や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	83%	17%	通信等などは発信していない、活動内容はレクカレンダーを配布している。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連絡や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	事業所事での活動が多く、負担をかけてしまうので現実的活動で行かう事は難しい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新規等この連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	83%	17%	必要に応じて随時作成しております。
	52	ヒヤリハットや事故報告の分析も、再発防止に向けた取組について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入々に、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治事態等の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得ているか。また、身体的拘束を行った場合は記録を行っているか。	100%	0%	記述例・身代替例・一時性を満たしている場合とし、身体的拘束を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○○○「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド124熊谷店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適正である。	57%	43%	クールダウン中学部のための確保がもっと欲しい 子どもの人数や活動を考える上、面積数が5ヶ所しかしい。 狭い人が入り込んでいて苦しい
	2	利用者間やこどもが危険等に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	放課や昼育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	71%	29%	車椅子使用の子どもいますが、トイレが狭くトイレに連れてけてこどもできずオムツが使えない。 職員の環境ってて工夫していると思うが、施設や機器上問題が多数
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	86%	14%	利用が多すぎるため、工夫が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	100%	0%	感覚をうまく活用しながら、活動を行なっているが、1日の中で感覚によって、感覚が足りない時がある。 小学生はとの子たちや福祉を使ったりすることが多く取り入れるため、環境もかなり感覚も良いと思う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会を組み込んで計画を策定する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修組織の相談による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プライビス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やみ子さまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自立援助プライビス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が内容理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、参考意職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助プライビス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に1回との適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プライビス計画には、自立援助プライビスガイドラインの「就労支援プライビスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のない及び各項内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明記されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムとなるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	活動が必要な場合、内容を相談して設定を見直みるようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プライビス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご意図に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始日には個別支援計画の内容を引い、その日行われる支援の内容や目標や技術について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振ることが多い為、常勤職員等々と情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず1日を引い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に振ることが多い為、同様に常勤職員等々とも情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検討・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるようご家族と意見を交わて記入するように努めております。また、モニタリングの際は1ヶ月のケア記録を参考にお子様の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、自立援助サイビスお他の客観しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な期間し を行っております。
	24	自立援助サイビスガイドラインの「4つの基本活動」を運営組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己主定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体験、訪問（正当性や協力意識醸成等）、講演協会、探検、校術等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プライビスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	100%	0%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	100%	0%	同館の為った際には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム クラブや児童との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	86%	14%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	100%	0%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を閲覧させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の75％以上の参加から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらでの75％方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この手続に関しても証拠させていただいております。
	37	自立援助プライビス計画を作成する際には、こども や保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この手続に関しても証拠させていただいております。
	38	「自立援助プライビス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プライビス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この手続に関しても証拠させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談の必要な状況と支援を行っている。	100%	0%	この度に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、さょうだい児と子交流する機会を設ける等の支援をしている。	86%	14%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、危険や著しい場合には迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業案内の各種書行を設定するとともに、各事業所にの相談してもいただき、また受付窓口について相談できるように整えており、お声を聞い入れに迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性とに力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	71%	29%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもや の支援を確認しているか。	100%	0%	お子さまの支援について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	52	ヒヤリハットや事故防止や対処し、再発防止に向けた取組について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入々に、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施常や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、自立援助プライビス計画に記載しているか。	100%	0%	記述的・身代替性・一時性を満たしている場合と、自他的支を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○ここの「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド125新加須店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が適正な面積が確保されているか。	89%	11%	開放したとどもをクールダウンさせる為のスペースがない　設計図はあるが予算が限られていて　こどもを入れることは出来ない スペースそとに使えるような整備環境をお伝えしていく。 求職が終わった子供が施設の認識で訪ねたと、学習時に気が散らないようにしている 運転適当やあちち使き物の設置場所にある
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	89%	11%	落ちやいるあの各部やも口にふれることをなど　はばえ入りがついてないといけないことをしかい会話は入り口をつない 人数などう関やの小屋とで配置人数を考えて対応。 パソコン多やきちの小屋内に自己様よっこと気をつけている ほやの人員数の工夫の必要性
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリーalong物理的環境、環境上の配慮が適切になされているか。	89%	11%	絵本や音のでるものなどが置えている部屋で視聴が行われている 色々などを使えるほしている。 ニーエルテープ等での視線理解している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、こども自立運動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	設置　トイレの清潔は毎日行なっている　しかし　イスやテーブルはこどもの身長に合わせた物となっていない　イスから落ちてケガしたことがある 清潔感や　トイレなどの小さい　ベンチなどプログラムを使えるようにする。 定期やトイレなど小さいと清潔感で高台清掃とは別にする機能するようにわけている。 毎日の清掃を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉を理解することが図られる環境になっているか。	78%	22%	個別ごとコメントを表現して下さい 個別になれる感覚をーつ用意している。 子供次の配慮をしている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	78%	22%	職員同士でどもたちの話を共有するようにしている。 会議で作成している。 ミィーティングを実施している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげているか。	78%	22%	評価表を見たことがない。 意見をかく印象子供を主導
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげているか。	100%	0%	職員の意見を把握する機会が無い状況ではない。しかしそこから業務改善にむなかなかつながらない　業務改善は管理者や関連組織をとってどんどん進めて欲しい 子供や利用部子どもたちが多い会議などどもたちについて気になることを多った時には すぐに話ができる。 会議を行い感組が出ている 意見をかくの行われている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	78%	22%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で活用を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	個別研修や処方行われていまい　はばむる場所やの関連みたいなものだけで　具体化がなく戦略の会に立ちいってやできる 毎月勉強や開催している。 職場への支援、ミィーティング
適切な支援の提供	11	遊びに支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	個別支援計画は作られている　職員間で共有の実施が難しく、工夫が必要 子供の特性に合わせた内容を検討と各子を表わすようなプログラムを作成を行なっている。 ミィーティングでしっかりとみるようになっている 遊前の打ち合わせ
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立支援個別プログラムを作成しているか。	100%	0%	これ時間やこどもが様子は空ている　学習者との関係ができている　実際的な作成行われていない 家族環境と新しい少しずつどもの理解を深める不協の課題と家庭協力ニーズをすぐ合わせて計画をはさでている。 ミーティングの実施
	13	自立協議会サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した会議が行われているか。	89%	11%	支援会議だけでなく特にこういう作生活にしていきたいなどの会議をしている。 子供の変わった様子や改善等をリンクの体現し、小さな上手なスタッフも伝達できるようにしている 個別開催されるミーティング
	14	自立協議会サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	78%	22%	共有されることは出ないため、 完璧どうに　ことを目指していきたい共有した共有しない含まい含う。 みんなに情報としてなっていると子供に見てきわけではいが下記りしまう可能性がある。どうしたら理解して支援が行われるか検討が必要です。
	15	こどもの遊び行動や社交性、模倣をされたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含めインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	実施検査　各遊場合は定着せず行なった場合　結果を見せてもらってはいる 子どもたちのことについて職員同士よく話をしている。
	16	自立協議会サービス計画には、自立協議会サービスガイドライン の「計画自立サービスの提供すべき水準」の「本人支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び各項内容も踏まえた上で、こどもの全般にわたる視点が設定されており、それぞれ、具体的な支援内容が明記されているか。	89%	11%	実施支援　移行支援の支援もかなっていないのではっと思えるような支援計画を行っている 支援内容は記入しているが新たな取り組みやいるや検討が必要。 ここの支援に対するがうれるかをは必要
	17	活動プログラムは固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	楽しい活動、子どもたちが期待で取り組める活動、得々の課題にあわせた活動など職員会合で話しあいながら活動プログラムを作成している。 月1回、それぞれで振り返りしている 遊び支援をしている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	89%	11%	個別のアイデアを取り入れながら、よりよりしいクリエーションができるように工夫している必要にと思います。 子供の様子や　ミィーティングの中で　子供の様子や気付や個に行うことをみなでアイデアにしない様と多様的行事や内容ということにしたから違う事しようと話しながら決めている。 ミィーティングなどいろいろやすいかやのうやえるため、行ったのて終えしてもらっている 個別のミーティングをしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アセサービス計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	自立協同行みを時には個々での取り組みをしている。 しうのグループ行なうこと行している 個別でうミィーティングでえしている
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	今日どういうことをやるやのどんな事に気をつけなければいけないのかなど確認をしている。 理解を得している しう等における指示をしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	78%	22%	物足りないが生じなった事実かっち事など指す難にしている。 個別の記録確認とともに子供の様子など、ライン作成している 行な日の子をしている
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	89%	11%	毎日書いているが書く人ぞ一定となってしまっている。 毎日の支援の行動、表現に再生確ける事も必ず行っている
	23	定期的にモニタリングを行い、自立協議サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	本当さとと行なっている　適切な設定しかどうかは現状 子供の行える事との関係に基かっている。 最定期確されるミーティングを実施している
	24	自立協議サービスガイドライン の「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	89%	11%	各々な個別を活して成長を促すと共に、他の下本人のペースで主体ることを増やしていけ る事に支援を行なっている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	自由時間に行をして遊ぶかについては　ごども自身で決めている。又共しまで話るのは証明できある いやイと言っていまいのだけで様子時間しかないのでかなど少しって関わりを持つ様にしている 行間違に等で言って行動している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を正く理解した者が参画しているか。	100%	0%	よく理解している人が行くことで事業所内が大変になってしまうが職員間で連携をとり対応できる体にしている。
	27	地域の体制、課題（正当性や協力意識職関等）、情報協協、探検、相談等の関係課題と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	子どもの課題に合わせてき機関と連携を必要とするんとはしっかり行おうとしている。 話し合いの場、必ずスケジュールも共有されている 個別連絡を取る事もかけている
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校ごとに下校時間連絡を確認して関連とがない様に行なっている。 連絡から情報を受けている
	29	幼子記に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	78%	22%	グローバルキッズパークとは共有している お別から新子子ども等園交換は初にやっているが幼稚園や幼稚園とはあまりしていない。しかし前から様子を聞く機にしている。
	30	学校を卒業し、自立協議サービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を関係する者している。	78%	22%	紀伊関係しんこどもがそれ様行く事業所え情報等もしらぬ人と思う ここ連絡をすることもいない。 学校等との情報が取れている
	31	地域の児童発達支援センターの通所を前提、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける場合を想定しているか。	67%	33%	このような助言や研修はお出に行なって欲しい 今のところない 今後の課題である
	32	自立協議児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと自立する機会があるか。	33%	67%	同じ会会の地域協との交流はあるが頻度時も施設との交流はない。 今後の課題である
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	89%	11%	協議には出るんご参加していない。 担当者の積極的な参加を行っている
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	89%	11%	利用開始と関わている また行成長ができてるし伝えないが送迎の中で共通の意識が持てる様に指導している。 保護者との個別面談が出来
	35	家族の75%以上の参加を前提とし、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の集会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	家族の事は出ることない 送迎、保護者との関係を行っている
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	89%	11%	資料、説明を行なっている
	37	自立協議サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	89%	11%	保護者との関性引連絡を行っている
	38	「自立協議サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立協議サービス計画の同意を得ているか。	89%	11%	モニタリングや会話を通して話をする事にしている。 連絡、保護者との連携をしている
	39	家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な校長と支援を行っているか。	89%	11%	定期的にと相談を行い不自由を聞くなどしながら思いやりでは対応の自分自身の定義指導にわからない等で 子供の様子や　ミィーティングの中で 会話や不確実などと、保護者から質問をよく受けられている様子を見ます。 保護者との信頼を思いている
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	保護者の声に耳を傾ける
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情や寄った場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	さらに周知していく必要はあると思う 広報に対応している。 ポップ等で注意喚起している
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	89%	11%	ホームページにおいて、更新されている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	データの管理がしっかりとしてある
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連絡や情報伝達のための配慮をしているか。	89%	11%	女や子等と止まない様とトラブルが生じた際には見聞を広義して対応を徹にしている。 ミィーティングの中でもやもやしのあるケースやあり、意思のおないう子に寄り添い関係性の多様化ができるようにしている 保護者とそのたるのを行っている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	89%	11%	会社と海底の訓練はしている 月に1回しっかりしている。 ポップ等の掲示を行っている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	89%	11%	しっかりなっている 1回訓練など実施している
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	家族のあるこどもたちなど家の種類などを確認できる様にしている。 保護者からの空気のある
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	アレルギーのこ対して薬を手引先などりわけがいけないことを見えるでしている。 アレルギーの応食やお菓子をもの子様に別にするなど対応している 学習者からの活用してもらっている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な態勢を講じる等、安全管理が十分それた中で支援が行われているか。	89%	11%	避難訓練を行うや下着すの確認をしている。
	51	こどもの安全確保に関して、新規等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	78%	22%	お友達とどうやって少し色となったなど仕組などとうも相談さんに当えている 保護者との連絡を図っている。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた策について検討をしているか。	89%	11%	事故の有有はある　ヒヤリの経験で共有すれば事故は減ると思う どんな事やあったかなど記録的と確認している。 個別開催をミィーティングで共有している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修だけではなく対応している職員間とで確認している。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意した上で、自立協議子ビサービス計画に記載しているか。	89%	11%	先生つけて取り組んでいる。 保護者と連絡が取っている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド126南宇都宮店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適切である。	13%	88%	面積が狭い 室内のスペースが狭すぎる為、活動場合活動がすくいると自閉な様子が見られる。 子供15人入るとこでも狭く、子供たちもストレスになっています。利用回数は、各事業所の立ぶに応じた方が良い、それか個別開の広さを決めて、廊下などへ、個別の面積も取り得るから見直すべき。 オール与学ぶにも関わらず、固定も多い。
	2	利用空間やこどもの付加等において、障害の変更物は適切である。	75%	25%	食台の生手をうろうとの店舗も出づけ方が良い、立性しかいない店舗に、食台生が乗れてしまった時のリスクが高すぎるので、別性専用はどの店舗にもご入は上は配置するべき。 立場が多く力やる支援が多いが、スタッフが少ない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	25%	75%	店舗によって差が生じすぎる。狭い上と人数も多いと配慮しきれない。 文下入場り方法ない口で開くとたがいいと思います。 外の部下上がってきていた、トイレなどが使用できすぎてやがいる。また、スタッフが使用する各機器や電子レンジやウォーターサーバーなども児童の手の届くところに取り、危険。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども各自の活動に合わせた空間になっている。	63%	38%	上記同様、活動に必要なスペースが狭すぎる 新い活動による活動スペースや椅子やスペースがないなどの、指示。 常時は毎日行っているが、個別のイアカウや食などが物理が空いており当も狭やコロなどが入ってくる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	50%	50%	活動がうつかわからう！つはっず！、もスペースは狭い感覚型しかないので、クールダウンに入りやすくものと活を聞いたりするのに適していない。 現状は必要に応じて利用することの出来るが、期間や事前学習を通じはずくもの情報等を通じ、クールダウンをしないとても敏感の常時出すやなりなクールダウンの難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	88%	13%	振り返りはなかなかの引えていないため、改善が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	50%	50%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	意図からスタッフの意見を言えるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	63%	38%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組み入れ等で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの事子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員の作成時期が下で、こどもの最新の状況を考慮した作成が行われている。	100%	0%	定期的会議を必ず行っている
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎朝共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に1回との適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドラインの「対象支援プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が漏れて設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ちるまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムとなるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	常に実施の方々が忙くさん工夫してると思う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご意図に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	88%	13%	活動予定表を作成し、スタッフ間で話し合っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	88%	13%	活動時間も時様に再始することが多い為、時様に常勤職員をやるん情報共有出来るよう、記様でに課によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	88%	13%	毎朝的に分析できるようご家族と意見を交わて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考にお子の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おすさまや状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を運営組織の合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	88%	13%	おすさまや状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体験、訪問（正当性や協力意識醸成等）、情報協協、採用、相談等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	63%	38%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の様認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整してあります。
	29	幼子応に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	25%	75%	学校する児童発達支援事業と小学城共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的切する等している。	63%	38%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの総言や研修を受ける機会を設けている。	38%	63%	学校が合った際には積極交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと自由する機会がある。	25%	75%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）関係会等へ積極的に参加している。	25%	75%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を閲覧させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の75％以上の参加を目指し、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	38%	63%	こちらでの75%方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	88%	13%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こども や保護者の意向の確認、こどもの最適の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を総括する機会を設けている。	88%	13%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	88%	13%	面談はさしたことがないため、改善が必要
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設け各様の支援をしている。	13%	88%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、自由や安心し な場合に必要から適切に対応している。	88%	13%	定期保護者に送迎をタイミングにくとが多いと思う、今後、別に集なども心がけていきたい。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	25%	75%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性上に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	13%	88%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	88%	13%	必要に応じて随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもや状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	75%	25%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	88%	13%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	75%	25%	必要に応じて随時作成しております。
	52	ヒヤリハットや事故等的今件発生、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、感覚などとも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治事業所や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	88%	13%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修も行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述的・身代替性 ―時性を満たしている場合と、身体的束を行った場合は自己評価を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド130甲斐店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適切である。	80%	20%	定員が日下地で１日の出入時がわかりやすくしてる 利用人数が多く、定員数が足りないと感じることがある マンスペメントが充分ちきまで多少スペ１０ｍｓ
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	0%	100%	職員不足を感じることが多い、同じ方向と向かい 支援内容が充分で、時間を割かない部分が多い 児童の人数に対して思うよ、放課後の人数が少ないが多くの人数が多く、大変なことがあり、特に幼児の利用が多う、小学生でも支援の必要な子供が多る会場切の支援を１０人とかに試みしてほしいと思う。 様々職員の人数が少ない時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なってあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自立運動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行ってあります。環境設定に関してもいかめる話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	100%	0%	ただ、感覚グッズの点確認にしかないため、メソッドの子は個別がないため、絵標のやマットを置てたりして全切る必要があるためのバーテーションなどがあれば良いかでは？
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	80%	20%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	毎朝の合は月区定ねったその場で話ができますが、非常勤には伝わっていない時がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	80%	20%	予後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	80%	20%	全体研修のほかと、研修組織の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スケジュールで事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プログラムが作成されている。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成をおよう に努めてあります。
	13	自立援助プログラムが作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員との共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、参考意機関を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有してあります。
	14	自立援助プログラムが適切な職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行ってあります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に沿ひた適応行動の参考として活用してあります。
	16	自立援助ガイドラインの「対象像型ガイドライン」や「就労支援ガイドライン」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び各領域等も踏まえながら、こどもの年齢に応じた支援内容が設定されているか。その上で、具体的な支援内容が明文化されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ゐふまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%	活動が必要な場合、内容を相談して設定を定着みふむようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等アセスメント計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援会議（担当者会議）等を開催し、自立援助プログラムの内容や目標及び役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	80%	20%	LINEでお知内容が確認ます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	80%	20%	活動時間も時様に再ねることが多い為、時様に常勤職員をやるん情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	毎朝的に分析できるようご要素と最長を分けて記入するよう努めてあります。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考にお子の目標を考えてあります。
	23	定期的にモニタリングを行い、自立援助サービスお他の支援しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な指導しを行ってあります。
	24	自立援助ガイドラインの「よりの基本活動」を運営組み合わせて支援を行っている。	80%	20%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己主定を尊重した支援を行ってあります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を正く理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体験、訪問（正当性や協力意識醸成等）、情報協協、探検、校術等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整してあります。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なってあります。
	30	学校を卒業し、自立援助サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を関係する機関とする等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	100%	0%	研修が合った際には積極交換を行います。研修の講会が良ければ保護者に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム クラブや児童との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	40%	60%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）関係自等へ積極的に参加している。	80%	20%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非支生保護者と伝え合い、こどもの進度の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただくなど等して共通理解が行えるように努めてあります。
	35	家族の75％以上の参加かう、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	こちらでの75％方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	80%	20%	ご契約の際に説明させていただき、また、この年始めに changeしては説明ご説明させていただいております。
	37	自立援助サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この年始めに changeしては説明ご説明させていただいております。
	38	「自立援助ガイドライン」に、もがしながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助サービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この年始めに changeしては説明ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談の必要な応じを支援を行っている。	100%	0%	この点に応じて適切、この相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や次対する機会を設けを等の支援をしている。また、さょうだい同士や交流する機会を設ける等の支援をしている。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、自己や一人も場合に応じ方つ適切に対応している。	80%	20%	事業案内の点検時行を設定するよう共に、各事業年に の相談しづらい内容は、事前受付窓口にて相談できるように整えており、お声を聞い易い面には点点に対応してあります。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HP やSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様子をご確認いただける行組みを行ってあります。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性とに力を入れてあります。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時作ってあります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いれます。
	48	事前に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもや の支えを確認している。	80%	20%	お子さまの一次について従事的に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	80%	20%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時作ってあります。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	80%	20%	事例置ではありませんが、感覚などとも記入も心、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えてあります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めてあります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかついて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助サービス計画に記載している。	80%	20%	記述時・自代替用 →一時性を満たしている場合と、身体的束を行った場合は自己評価を行ってあります。また、計画書にも反映してあります。

○こ の「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド131新潟空港運り店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が適正な面積が確保されているか。	67%	33%	パーテーションなどで適正面積を記切っているが、1人いるとスペースがかなり狭く感じる。 もう少し余裕が欲しい。広さも決して十分狭いと言う 必要に応じてパーテーションを設置して、十分なスペースの確保に努めている点 定員ちょうどまで利用できるようにと思います。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17%	83%	職員に欠勤が出た場合、やむやかなお子ども預かった際は、職員数が少ないと感じる場合がある 事務いつ来ぬ時も増やしているが、人数が増えれば面倒の回数にも比例が増え、職員だけでかたづけではいけないため、1人1人どれほどまいと感じる。また日によって子どもたちの気分も変わるので個別対応ができる体制が難しい。 個別対応が必要な児童が多いと、人手が足りないこともあるため、2人以上個別についてもう少し職員数であると良いと考える。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	構が限られど、子どもに分かりやすく伝えることまではできていず、建物の中でも十分できない。エアコンの色まで分くないなどある。 必要以上にボードに置きないようにしたり、支援の準備や今日のスケジュール支日かりやすようと掲示している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、こども自立運動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	安先清潔確保などを徹底しているが、現在開けて空気の入れ換えができていない 活動の切り替え時には、私も支援スペースで活動にいり、自分でのている場子を発見したら成やかな雰囲気をするようにしている。 個物の強性でまっているが切いと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっているか。	67%	33%	更とる感覚がない、パーテーションなどで区切っている程度がある。 仲間ができたない時、1人で落ち着きたい時など、必要に応じて個別や間隔に入れるようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	出来ている職員とそうでない職員がいると思うため工夫が必要 定期的に行われるミーティングにて、「どうしたらこういうのがよかった」や「こうしてみよう」など、よりよく業務を行えるように考えを共有して改善しようと努めている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的なミーティングや、皆でも自由に気にあったことと、さらに良くするためや提案などを実施できる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ミーティング等などで個別間で共有してよりよい療育に努めている点。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プライベートが支援計画を作成しているか。	100%	0%	様々な活動の場面をよく見たり、職員間で情報共有したりして、子どもの支援やニーズ把握に努めている点。
	13	自立援助プライベートが支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども担当者に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した作成が行われているか。	100%	0%	ミーティングや個別面談など、適宜共有を行なっている。
	14	自立援助プライベートが支援計画は職員間に共有され、目標に沿った支援が行われているか。	100%	0%	いつでも支援の支援計画は見る ことができ、更新時には、ミーティングなどで自立援助職員共有を行っている点。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを半期に1回ごと適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プライベートが支援には、自立援助プライベートガイドライン（「就労支援プライベートの提供すべき水準」の「本人支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のない及び各項内容も踏まえながら、こどもの本質に必要な内容が盛り込まれ、それぞれ支援内容の明文化されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月、直当を決めて その日その日の活動の準備をしていて、活動の新しい内容も出ないに確認しあって決めている点。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	繰り返し行う事の方法にと思うので、ある程度の固定は必要だと感じる。 なくいる点能でも、ルールが違反を変えたり、チームを決にしたりして、飽きでワクワクする活動になるように工夫している点。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等アセスメント計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に新たり入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	複数の新礼例にその日の活動と関りの方法動の詳細の共有、なるびにその日の目当ては量についても確認している点。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	その日手には下含ないことをあいが、気になる点はすぐに共有し、今後どうしていくかを全員で検討している。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	学習支援においては、"何ができた"、"どんな問題に苦戦していたか、などを記録し、学習サポートの改善につなげている点
	23	定期的にモニタリングを行い、自立援助プライベートが目的の達成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おやまさの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自立援助プライベートガイドラインの「4つの基本活動」を運営組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするを育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの支援主よく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おやまさの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体操、放課（正当授与協力者課題関係）、隣家協会、探検、船舶等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学城共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プライベートから期間満了サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切まる情報を提供する等、	67%	33%	まだ新も学級していないのでや可 やむでいるような事例がありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けているか。	83%	17%	学期が始った際には時様交換を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助プライベートクラブや児童との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	交流はほぼないが、有児放設との交流はある
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生保護者と伝え合い、こどもの進度の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	hugまで、その日あったことや子どもの様子をしっかりと伝えるようがけている。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っているか。	67%	33%	こちらでの日当方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プライベートが支援を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プライベートガイドライン」を参考にしながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プライベートが支援の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご家族にむけて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかな理由に対応しているか。	100%	0%	事業所内の苦情窓口を設定するとともに、各事業所にの相談してから対応は、最全受付窓口にて相談できるように整えており、丸作を図り入口にお伝えに対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともに、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	83%	17%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取扱いについて十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性とに力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入々に、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治事態度や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修も行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明して得る体制とた、自立援助プライベートが支援に記載しているか。	100%	0%	記述時・身代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド133厚木及川店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	75%	25%	利用時間をの組織化が作られた時にスペースへの組織を工夫しています。 活動の不自由の入り情になると、他の支援の妨べるスペースが狭くなる、は来るだけ情報にならないように努ることで広くだけ安心して過ごせる様子とオープンスペースをおかげてくれているからか。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	75%	25%	今日に以上で子を預けて良い利用者が定員数を満たしている状況です。 現在、利用者の人数が増えていると、様々な特性のお子さんに対応しないといけない状況で決定のスタッフの休みの際例で一時的に一人で対応、多い時は1人出くる指示が出ないなど、専門の職員用に特別支援教えるように増やしていかないといけない中で難しい状況です。 場合い進め変更といよっては、トイレの助もお願が有る場合は職員は不足の時も有ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	88%	13%	個別などは済んで事に行っています。 バリアフリーはなく、間口広くて狭くない出子様も利用しているため、今後が心配です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども毎の活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	安心を常に清潔をするために月一のエアコン清掃はフィルター面・プロペラを保定掃除しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調理することが認められる環境になっている。	88%	13%	個別の支援のさとを組み合環境を使い環境調整を行なっています。 不快が可きっとさずニルデクシカセる調整がなく、個別と対応しなければならない際に基本者々の子供がいる前や、個別する調整を置りたり、環境整がいる個別に呼んで対応するしかなるず、スペースが足りてない状況で、利用者の子供者やスタッフが思う通りな構造で対応しがいやすールデクンが難しい状況であるため、専門の調整を当ばていただきたいです。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	毎月の会議では一人一人のニーズに合わせる為と職員全員で意見を出し合う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	職員会議や一人一人意見を出しています。 現在一部のスタッフにしか出すぎる人の意かを置すを共有されない場合が多り対応に困る機能が多ります。予決の学校や去後での様子や与の引き仕方を常時気軽に行えるようなスタッフ同士の関係性や連携を強調頂くなって欲しいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	現在、時間が合えることに組織を見る形となりますが、組織だけでは良いつながりが薄く、特別支援学校の先生や専門支援の方から実際と組織をいただきたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	アセスメントシートや個別支援計画書をしっかりと作って共有しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己肯定等サービス計画を作成している。	100%	0%	お互い苦手意識がある、勉強の得意不得意をみて その利用者への適切な支援を行っています。
	13	自己肯定等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員との共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	一つ一つの共有することはすぐと全職員に伝えるようこがけています。
	14	自己肯定等サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	88%	13%	支援の目標を定期的に見て、会議でも議題にしてお互い意見を出し合っています。 一部の職員の共有がしっかりとなりますが、一部の中日ないスタッフにしか情報の引き渡しない事がここ半年間増えていったため、残りのスタッフに情報が行き渡らない事がここ半年間増えていったため、残りのスタッフに情報が行き渡らない部分が増えてきています。そのため、いつでも情報共有が気軽にできる人間関係や環境をしっかりと欲しいです。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に1回ごと適応行動の参考として活用しております。
	16	自己肯定等サービス計画には、自己肯定等ガイドラインの「対応各型ガイドサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のない及び各項内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が記載と設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	88%	13%	職員同士共有して個別指りや協議的なども行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	一つ一つのレクリエーションのルールを定えていきより充実した活動プログラムを作っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自己肯定等サービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	苦手や難しいと思った利用者に は別の活動プログラムを用意して頑っています。
	20	支援開始前には複数関 係者が打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	88%	13%	予定よりうなことはしていますん。突然集まりが定めったり、一部の仲良い スタッフにしか情報記録されていない時があるため、できれば毎朝スタッフ全体で今日の利用者のBIお互とうするか話し合って統一させていける機会が欲しいです。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	75%	25%	個別個別ではありますが、話題の個別よ、会議で行うの は難しい状況です。
	22	行われた支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は行その ケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、各課題等アイサービスお他の客観しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おすまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自己肯定等アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を運営部お合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするを育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの支援をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おすまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体験、訪問（正当性や協力意識醸成等）、情報協 は、探検、校舎等の関係施設と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要事項は、気づいた時もしくは5分前に連絡するようがけています。
	29	幼子応に対応していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と指支理解に努めている。	100%	0%	学校する児童発達支援事業との学期共有を積極的に行っております。
	30	学校を卒業し、自己肯等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を関係する者している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの通所を前提、必要等に応じてスーパーバイズの観察で研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	学期の為と思には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自己肯定等クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	75%	25%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	100%	0%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に おすまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を開示させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の8割方の向上を図る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や環境提供等を行っているか。	88%	13%	こちらでの8割方法提考 「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう初めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この初会に関しては理解ご説明させていただいております。
	37	自己肯定等サービス提供を作成する際には、こども や保護者の意向の確認、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を総括する機会を設けている。	88%	13%	最終みや作成み期間は一切なくなるため初回に工夫が必要です
	38	「自己肯定等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己肯定等ディサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この初会に関しては理解ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	この度ごろにて感想、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこ とや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士や交流する機会を設ける場合も含む支援をしている。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかな提供が困難な場合には、その理由と今後の対応方針について説明している。	100%	0%	各事業所の会議時行を設定するど共に、各事業所にの相談してから行なは、最会受付窓口にて相談できるように整えており、お声を聞い入れに必ず応じております。
	42	定期的に通信等を発行するこ とや、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性上にた入力しております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	利用時に起こったことや気になったことはすぐにお伝えするようにしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に 訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた策について検討をしている。	100%	0%	ヒヤリハット対応にっとうした場合すぐに緊急性に着あし保護者に報告しています。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	感染防止委員会を設置することなど、定期的な安全研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明して得る体制とった、自己肯定等サービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・身代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも記載しております。

○○○「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド135園ノ井店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	60%	40%	教アイミ共用が一緒になる時に相関がとても狭く感じます。また、それぞれ入庁していることが逆になってしまうこともあるので、カーテンが欲しいです。
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	40%	60%	放課後を使用し入院など入園が出ていなくなる会話相手が必要 非常の人数です。少しハードルを下げますと、していますが私にはやはり非常に欲しいです。ドライバーの非常時対応も欲しいかとします。また午後に放デイのお迎えが重なると事業所に1人しか残らないこともあるので、少し大変です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	掃除、清掃を行っております。環境設定に関してもいかがな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	80%	20%	保育士間・指導・子どもの状態等により環境を使うと経験数が足りないか
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	80%	20%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、自己評価等の意向を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	80%	20%	全職会議・モニタリングをした後にその情報共有が少ないので、自分ができているとお互いにしたら良いのか分からない時があります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を事業改善につなげている。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組み入れ等で研修を開催する機会が確保されている。	80%	20%	全体研修の以外と、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	80%	20%	モニタリングや支援会議の情報共有が少なく、改善が必要
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価やアイ・ビス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やみ子さまの多様さをお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自己評価やアイ・ビス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員との共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様子さまざまの最善の利益を考慮し検討の上、参考意職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有してもおります。
	14	自己評価やアイ・ビス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	80%	20%	アセスメントツールを半期に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自己評価やアイ・ビス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提供内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのみ子さまに合った支援ちさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	80%	20%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムとなるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	80%	20%	最近は作具の活かることが多いため、全員で考える工夫が必要
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご意図に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始日には複数関で必ず打合せを行い、その日の行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	80%	20%	活動開間が異なることが多い為、常勤職員等々全く情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	80%	20%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に常勤職員等々全く情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検討・改善につなげている。	80%	20%	毎期的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は月々のケア記録を参考に日々の指導を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の内容と、この適性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	定期的に行っているが毎期共有が悪いです。
	24	児童福祉デイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を適度組み合わせて支援を行っている。	80%	20%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	80%	20%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おそさまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体験、訪問（正当性や協力意識醸成等）、情報協協、探検、校術等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継説明）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	80%	20%	必要に沿って適宜連携しております。
	29	相手方に判断していた保育等や給食園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	60%	40%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	80%	20%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	20%	80%	参加の為とお伝え研究交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	20%	80%	機会があればが欲しいとさたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	40%	60%	機会があればが欲しいとさたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に おそさまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を開示させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を目指し、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の機会や情報提供等を行っている。	40%	60%	こちらでの行なう方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己評価やアイ・ビス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談の必要な状況と支援を行っている。	100%	0%	ご家族に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	80%	20%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、危機や著しい場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業案内の会議時に今設定すると共に、各事業所にの相談しづらい内容は、事前受付窓口にて相談できるように整えており、丸作を扱い入口には広告に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	40%	60%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日プログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性とにた入力しております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	60%	40%	必要に沿って随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に避難、訓練その他必要な訓練を行っている。	60%	40%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもや の支援を確認している。	100%	0%	様子さまのご状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたや下な援が行われている。	80%	20%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	80%	20%	必要に沿って随時作成しております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、自己評価やアイ・ビス計画に記載している。	80%	20%	記述時・身代替時・一時性を満たしている場合と、身体的支えたり上位記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○○○「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド136古河旭町店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	おもちゃのスペースがない トイレや活動所の数が不足。
	2	利用児童やこどもの状態等に応じて、職員の変置転は適切である。	75%	25%	1年2年が多く、活動がまわらないため大人の比率 職員数に余裕があると、色々多くに対応できる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	楽にデータを貼るなどの工夫を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	ごみめに掃除消毒を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	75%	25%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	日々のミーティングや、外部、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組み入れ等や研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修組織や相関による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い、計画案を作成致るようと努めております。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が内容理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	88%	13%	スタッフ間の協力、共有されるようにしたい。
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	共有が千十分なのは、児童発達支援管理等者の力不足。今後考えていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	88%	13%	アセスメントツールを年齢に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドラインの「対象自立プイサービスの提供すべき水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれに具体的な支援内容が明示されている。	88%	13%	一人ひとりに合った計画を立てているつもりだが、不十分かも。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	88%	13%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムとなるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	75%	25%	活動が必要な場合、内容を相談して設定を見直みるようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われている。	88%	13%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	75%	25%	担当の時には、事前に職員に連絡して、対応姿勢で支援に当たってもらっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	75%	25%	活動時間も時間に再始することが多い為、時間に学制職員等々ふく情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	75%	25%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考にお伝の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまさの状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を運営組み合わせて支援を行っている。	88%	13%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするを育てるための支援を行っている。	88%	13%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやまさの状況をよく理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体操、防療（正当授与協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	一部実施している
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	75%	25%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的切する等している。	88%	13%	まだ、卒業はない。
	31	地域の児童発達支援センターの巡回支援や、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	88%	13%	問題が有った際には時様交換を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」関連会等へ積極的に参加している。	63%	38%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を閲覧させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を割当合う、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っている。	75%	25%	こちらでの75%方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意向の確認、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	88%	13%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速いた場合に必要かつ適切に対応している。	100%	0%	事業所内の苦情窓口を設定するとともに、各事業所にの相談しづらい内容は、本社受付窓口にて相談できるように整えており、お声を聞い入れには必要に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	50%	50%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける内容を組み作成しております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	88%	13%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもや状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	52	ヒヤリハットや事故報告の分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	88%	13%	事例数ではありませんが、感染などとても広入々に、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治事業所や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・身代替用・一時性を満たしている場合と、身体的束を行った場合は自己評価を行っております。また、計画書にも反映しております。

○○○「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド139岡本店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当社に適切な広スペースを確保しています。
	2	利用者間でこどもが分け隔てなどして、職員の変置転は適切である。	100%	0%	教育や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	換気、清掃を行っております。環境設定に関してもいかから話し合い を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご家庭に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	90%	10%	アンケート結果や、面談やコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、朝礼、夕礼、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	90%	10%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修の参加や、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	通知に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイザービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やみ子さまの様子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主組に関わる職員の作成期間の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、参考意機関を含む全ての関連に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に1回とた適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイザービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容を踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されている。	100%	0%	それぞれのみ子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	活動が必要な場合、内容を相談して設定を定着み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご家庭に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童開始日以後最長で必ず7日目を引い、その日行われる支援の内容や活動分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始が困ねることが多い為、常動職員等々と情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず7日目を引い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に再なることが多い為、同様に常動職員等々と情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考にお日様毎に示の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な期間も当たっております。
	24	児童発達アイザービスガイドラインの「よりの基本活動」を適度組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体験、訪問（正当性や協力意識醸成等）、講義協会、探検、校術等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	90%	10%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相互する等している。	100%	0%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける場合を想定している。	90%	10%	学校が休た際には障害交換を行います。研修の場合が多くは夏期的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	90%	10%	場合がありは参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	80%	20%	場合があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非支生保護者と仕えたい、こどもの進度の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を閲覧させていただく等して共通理解が行えるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や環境調整等を行っているか。	80%	20%	こちらでの75%方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイザービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意向の確認、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を総括する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	90%	10%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご家族に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80%	20%	現在把握入園や園お外かかあるやらいった対面の会はこのご時世で開催しづらい が、リモートやス人数希望制などなら支援可能なように思ほる。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情や申し入れの元成から適切に対応している。	100%	0%	事業所内の苦情窓口を設定するとともに、各事業所にご相談いただいた際は、最全受付窓口にて相談できるように努めており、文書を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこ と、HPやSNS等を活用することにより、活動結果や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	70%	30%	SNSの活用を考えてみたい。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連通や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	70%	30%	子どもの安全が保障される、また地域住民の方々が安心して受け入れてくれるような条件であれば地域交流にも積極してみたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、感染などとても広入々に、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、児童発達アイザービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述的・身代替的・一時性を満たしている場合と、身体的束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド140上越店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	70%	30%	定員数ギリギリいっぱいの場合や、活動によって児童発達の支援室を使い、教室を存分に動かしたり、小集団で落ち着けるようにしている。 人数によってスペースが狭く感じるときがあり、パーテーションや間仕切りでいる時には半ミセを利用し、人数を分散させることによって活動しやすいようにしている。 パソコンの画面を見る作業にている。テーブル席ですると良く思える。
	2	利用児童やこどもの付添者に対して、障害の受容certainの場がある。	50%	50%	特に室内より通所時下校を優先課題。、子供たいとのコミュニケーションを取ることで、保護者の信頼に繋がっていると感じます。 支援員だけで考えれば問題ないが、職員の能力の差やどのようなインチェーターを配置するかなどうするか、職場内でのいじ等でことは多い。 個別対応が必要なケースも、職員だけで対応できていない。 利用される方の特性に合わせた人員配置のための必要性と感じる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	靴がすべようこと入口から廊下までの工夫も用紙にしている。 玄関ドアと保育室から出入ってきたら、室内ドアノブ、カウイトボードが可化・装飾している温度である。感覚等の必要だと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	玄関ドアと保育室から出入ってきたら、室内ドアノブ、カウイトボードが可化・装飾している温度である。感覚等の必要だと思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	30%	70%	パーテーションや私の空間もご入している。 基本的に入口又はお絵の場所はない、子どもが落ち着くことができる方法を提供している（マットを上してくるまる、パーテーションを立て等）。 活動内容によっては、集団活動が苦手な子どもが参加しやすいように、参加の仕方を工夫している。 公共施設や学校活動、交通機関と子ども以外配置利用をご様々なので配慮の検討はあると思い
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	90%	10%	職員会議等で「どうすればいいこう！」と話はあるが、職員全体がPDCAサイクルとして認知しているかはわからない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	職員会議やスキマ時間を使って意見収集している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	70%	30%	予後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会を協力等や研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲や相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	前知識に当ってプログラムを作成している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	管理者が期間着会議にお来してくださるため、定期的に子ども様子や情報、保護者の要望が入るため、よりニーズに応じた計画が作成されていると思う。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども担当制に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様子ままの最善の利益を考慮し検討の上、参考意職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有してあります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	客観的に内容を見るようにしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもの主観に必要な項目が選択と設定され、そのこと、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ろさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	活動が必要な場合、内容を相談して設定を追加ふむようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に新り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることがめる為、常勤職員等やふに職場共有出来るよう、記録やご連によるコミュニケーション等で確認に努めてあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	60%	40%	送迎の際や、電話連絡にて報告出来る様に努めております。 次の日に引き継事項の有り次第行っている。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	ICT(システム)を利用して紙せい記録を記入することができる。
	23	活動前にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な頻度し生行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を偏差値なく合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を伸てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を正く理解した者が参画している。	100%	0%	おそままの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の体調、医療（正当性や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時向の調整間等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	お声に応じて連絡調整してあります。
	29	相手方に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	90%	10%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切する等している。	90%	10%	参加者がいないため、行っていない。
	31	地域の児童発達支援センターの通所を前り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	80%	20%	参観が有った際には積極交換を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	40%	60%	地域の公園や商会参加放課一外北館会を行っている。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	80%	20%	機会が有れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非支生保護者と仕え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	連絡帳や送迎時に送園時の様子を伝えている。
	35	家族の付加方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の機会や積極参加等を行っているか。	60%	40%	こちらでの付加方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や保護者の意向の確認、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を総括する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な情報と支援を行っている。	100%	0%	ご家族に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設け各様の支援をしている。	30%	70%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や家族からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、危機や多い生場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業所内の苦情窓口を設定するとともに、各事業所にの相談してもい内容は、書面受付窓口にて相談できるように整えており、丸作を用いた個には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	70%	30%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける内容を組み作りしております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や関係性とに力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時作り一ておりま す。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、保護や予防体制、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの方に対しては事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時作り一ておりま す。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、感覚などとも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかついて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・身代替用・一時性を満たしている場合と、身体的束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド141 銀店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用者同士どもが分け担当に対して、職員の変更等は適切である。	100%	0%	担当や非常に資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいつまでも正しい形で行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動を調整することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、検証、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修の参加と、研修動画や相談による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合う仕組み、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまその都度の作成を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、発達段階アイサービスガイドライン（「総量発展アイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間関係に配慮した環境下で必ず行なわれ ているか、その日行われる活動の内容や役割分担について検討し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動開始や関与することが多い為、常勤職員等々から複数共有と変える。記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打ち合わせ を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に関与することが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有と変える。記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別と分けのケア記録を毎月に日の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の提案しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまその状況をよく理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子ども共有していた保育や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責任を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	100%	0%	問題が多い方際には障害交換を行います。研修の講会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言語を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を勧めおり、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	100%	0%	こちらでの75%方法参考「本日の様子」として日々報告致し、ご家族での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児童発達アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達アイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、さょうだい同士や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな提案につながる取り組みを行っているか。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう共に、各事業所にて相談してやい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとにより、活動頻度や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	お子さまその充当については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか 。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告書を作成し、再発防止に向けた対策について検討を行っているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を保護や身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド14之小新店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	0%	100%	結構スペースがせいっぱいと感じる。 活動をどうセエスしています。予測通り大きき、人数に対して広さが足りません。 狭いため、 もっと広い施設があると、深いと思います。 マンスの活動や設備の充実、設備で活躍が制限されてオズムの支援が難しい場合がある。移転が可能なら移転も必要だと思います。
	2	利用児童やこどもの付き添者に対して、職員の変置数は適切である。	33%	67%	支援を手厚くするには人を増やさないとだと思う もうすこし職員がほしい思い。 職員の入れ替わりの激しく、人材育成ができていない、人手が足りていない、人材育成
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切なされている。	50%	50%	トイレの数や配置数が足りないので、イベントによってはプライバシーを守れない。 こどもたちからすでに構造化されていると思う。しかし、設備等では、トイレの配置などの改善を望める、現況だとスペースがない。 ホワイトボードを活用した予定の掲示など、子どもたちの理解しもうた支援などよかされている。トイレの配置数が少ない、有効利用のできるマが可能することを考えると不便が目である。 トイレが狭くていっぱいない、お場もていっぱいる、現況のマまだていると感じるなく、配置などはマプライバシーができない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団活動に合わせた空間となっている。	83%	17%	清掃を頻繁に行っていて、 定内の広さを活用しんとうう、活動を行っている。もうすし広ければ活動の幅が増える。 清掃が行き届いていると思える。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や臨時を提供することが図られる環境になっている。	33%	67%	感覚がないため、使い方のエ夫が必要 刺激アンボール、作ってしまって重複えたくてもカスペがある環境のため、工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	83%	17%	定期的な会議を開催して欲しい点を行っております。
	7	保護者向け評価表による、自己評価等の取り組み状況を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、特定、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を職場する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修組織の相関による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	遊びに支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し年行い、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイザービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムアさポの様子をお伺い、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様子ままの観察の利益を考慮し検討の上、参管職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平載に沿じた適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	83%	17%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	83%	17%	活動プログラムが固定化されつつあるので、新しい活動も考えていく必要があ。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わりでの様々な方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で会行立を行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることが多い為、常勤職員等々と複数共有と出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に常勤職員等々とも情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は仕々のケア記録を毎年に示の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おすままの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おすままの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の調整開等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者としている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を目的、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が当ち上際には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	100%	0%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を単連絡を取り合い、こどもの進度の共有や課題について共通理解を持っている。	83%	17%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を割当合う、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	83%	17%	こちらでの行う方法等を「本日の様子」として日々発信致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し丸ながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設け各様の支援をしている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理的 ゃった場合に必要な調整に対応している。	100%	0%	事業開年の合理的配慮を設定するよう声に、合理事例にご相談してやい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、丸作を張り掛には対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	83%	17%	お子さまの状況について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができている。	83%	17%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等に、再発防止に向けた取組について検討をしている。	83%	17%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事例でヒヤリハットを認定共有しております。また、治療管理や管理者とも対応する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	83%	17%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	83%	17%	記述的・治代管理 ―時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド143平松本町店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適正である。	50%	50%	工夫している点：面積プロアと学習フロアを分けている。 バリアフリーな形が良い　壁の動く先が狭い為にどこだか良く
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	50%	50%	職員はもう一人でも多ければ良き良くなるし、元気が出た時もだべーが出できる。出欠も話すことができる。 ほんとうで、個別対応が必要な支援に対して職員の人数が少ない気がする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	マロプがフラットになっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	個別活動時の声掛けをしたり、空間的に活発化したりしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	75%	25%	いつでも使えるフリールーム設置はあるが、同学校や放課後児童クラブの開放日等に利用している児童たちが使えなくなる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	75%	25%	個別や毎年4に参日の様々な子や日の支援についてユーディングをしている。
	7	保護者向け評価表による、自己評価等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のユーディングや、月末、事故、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で活用する関係する機会が確保されている。	75%	25%	申請採用の人への説明が、もれなく行われるような工夫が必要
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事務内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価子ディサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、面接者さまからのご意見やムチさまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自己評価子ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自ら主体に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	様子ままの最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自己評価子ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に広げた適応行動の参考として活用しております。
	16	自己評価子ディサービス計画には、自己評価子ディサービスガイドライン（「総評価子ディサービスの提供ケースの支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容を踏まえた上で、こどもの年齢に応じ障害の特性や個別支援の内容が示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自己評価等子ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に組り入れております。
	20	支援開始前には必ず関係者で会行ひを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や関与することが多い為、常勤職員等々から情報共有し合えるよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、その日行われた支援の良い点や、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も時様に関与することが多い為、時様に常勤職員等々から情報共有し合えるよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別と付その子記録を参考に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自己評価子ディサービス計画の達成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おやすまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	自己評価子ディサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おやすまその状況をより理解している機関が新加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	病院との連携はさらない。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己評価子ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	問題が当ち上際には障害支援を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自己評価子ディサービス計画の作成時には、保護者や、その他の関係機関（医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、学校、幼稚園、保育所、児童発達支援センター、放課後等デイサービス事業所、児童相談所、発達障害者支援センター、医療的ケア児等コーディネーター、地域の相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、ハローワーク、医療機関、保健所、地域の障害者団体、ボランティア団体、家族会、ピアサポート等）の参画を得ているか。	100%	0%	参加が良ければ参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	25%	75%	参加が良ければ参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の日当たりの時上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	75%	25%	こちらでの日当方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己評価子ディサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	75%	25%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自己評価子ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己評価子ディサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や良い方策の決定など適切に対応しているか。	100%	0%	事業開始の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、前向受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等や情報をこども や保護者に対して発信しているか。	50%	50%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の上見直し改善を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防体操、てんかん発作型のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	75%	25%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告書を作成し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価子ディサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述的・治代管理 ―一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド144新西川田店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17%	83%	個室の部屋があるといいです。 部屋が狭い　個室が無い ブラインドをいじる児童が多く、手などの怪我が心配　ガラスにかこまれているため、蹴飛ばしたり、なぐったりで出来たキズがのびて危険を感じている　夏の暑さ対策で、窓に模造紙をはり、外にサンシェードをつけた 狭い方と思うので、拡張出来れば良いと思う。 個別対応できる個室が必要だと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利用する児童により、目や手が足りないと感じる事もありますが、都度気をつけてみなけるばいけない子や注意すべき事など共有をしている スタッフの人員に余力がないので増員出来ればと思う。 個別対応が必要なこどもの利用が重なった日には、職員の配置が増やせるとよいと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	33%	67%	玄関がバリアーフリーになっていない 窓ガラスが多いため危険。子どもの手の届く範囲は壁にして欲しい。 個室がないため、パニックになったり、落ち着かず周りへの危険がある場合には、事務室や収納部屋で落ち着くのをまつ　個室があると良いなと思っています 絵、図により表示している。 療育室の2面がガラス張りで、ひび割れが日毎に伸びていくことに恐怖心を抱いている。こどもが体当たりしていくことで怪我の恐れも感じている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	50%	50%	ガラス張りで危ない　ブラインドに手を入れて、手を切ってしまう心配等あります 害虫が入ってくるので、隙間テープなどを貼って対応している。 トイレ利用後の汚れ等は常に意識して、常に清潔をこころがけている 人数が15人になった場合は、運動する時は手狭に感じる。 やってはいけないこと(ブラインドに手や顔を埋める、くつ箱や机の上に乗りトランポリンのようにジャンプするなど)が多い環境下で活動に集中できないことがある点。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0%	100%	個室が無いため事務室を使っている。 個室がないため、収納部屋や事務室を必要性がある場合には個室代わりに使用する 事務所を代替としている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	店舗としての実施がほぼないため、工夫が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	常にスタッフ間で共有をしている 評価表を確認したことがない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	スタッフ会議、または、お話ができる時間にスタッフの意見ーだしあったり、改善にむけての話し合いを進めている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83%	17%	LINE等を使用して参加しやすくしている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	アセスメントツールを年齢に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をふまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	事前に決めて支援している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	緊急と思われないものは定例な会議にて共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	併設する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	33%	67%	まだ学校を卒業している者がいない まだ卒業生が居ません 実績がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	50%	50%	店舗としてはそのような機会を設けていることは無いため、検討が必要。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	こちらでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	17%	83%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド145加須店FUN (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	学習室を使っているなりに個別の区分やゾーニング分けで使っている 学習室が狭くなっている
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	現状やりやすさで適正としていると思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども自ら活動に合わせた空間になっているか。	83%	17%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかがな話しかい を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	こまめにミーティングをおこなっている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	予後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されているか。	83%	17%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムチさまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	常に情報を共有している
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドラインの「自立援助プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえたなか、こどもの 本質に必要な項目が盛り込まれ、それぞれ 具体的な支援内容が明示されているか。	83%	17%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまなかな、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 自立援助プイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には 必ず担当者等 による児童の 情報や 収集が行われ、それぞれの 児童の 適切な 支援内容について検討し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	支援開始が偏らなることが多い為、常勤職員等々から積極的参加をよる。記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合せを行い、それぞれの 関わり 及び 支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援開始も同様に参加することが多い為、同様に常勤職員等々から積極的参加をよる。記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別と分けやフセ記録を参考にお伝達等を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、自立援助プイサービス計画の 達成しの 必要性を判断し、適切な 見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	自立援助プイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を 複数組み合わせて 支援を行っているか。	83%	17%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を 相談する等しているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due責任 に応じて スーパーバイズの 助言 や研修を受ける機会を 設けているか。	83%	17%	同施が合った際には 障害支援を行います。研修の 講会が多くは 参加者に 参加させていただきます。
	32	自立援助 児童クラブや 児童館との交流や、地域の 他のこどもと 活動する機会があるか。	83%	17%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」 協議会等へ 積極的に 参加しているか。	83%	17%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの 示す 行動等 を 捉え、こどもの 発達の 状況や 課題について 共通理解を 持っているか。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を 提供させていただく等して 共通理解が 持てるように 努めております。
	35	家族の 8割方 の 同上 を 図る 取り組み を、家族に対して 家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や 家族等の 参加できる 時間の 場合や 情報提供等 を 行っているか。	83%	17%	こちらでの 8割方 方法等を 「本日の様子」 として 日々 情報発信し、ご家庭での 支援に ご活用いただけるよう 努めて お伝えしていきたいと 思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に 説明させていただき、また、ご不明点に 関しては 随時ご 説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス 提供を作成する際には、こどもや 家族の 希望や 意向、こどもの 最善の 利益や 最先考慮の 観点を 踏まえて、こどもや 家族の 意向を 確認する 機会を 設けているか。	100%	0%	ご契約の際に 説明させていただき、また、ご不明点に 関しては 随時ご 説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら 支援内容の 説明を行い、保護者から 自立援助プイサービス計画の 同意を 得ているか。	100%	0%	ご契約の際に 説明させていただき、また、ご不明点に 関しては 随時ご 説明させていただいております。
	39	家族等からの 子育ての悩み等に対する 相談に 適切に 応じ、 面談 の 必要な 助言と 支援を 行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて 適宜、ご相談に 応じております。
	40	父母の 会の 活動を 支援するこども、保護者 会等を 開催する等により、保護者同士で 交流する 機会を 設ける等の 支援をしているか。また、きょうだい児に 対して 交流する 機会を 設ける等の 支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの 意見について、 対応の 結果を 整理するとともに、こども や 保護者に 周知し、 改善や 新たな 取り組みに 活かす 際には 対応しているか。	100%	0%	事業開始の 合理者打ち設定するよう 声に、合理事例に ご相談して 作り合は、 新先受付窓口で 相談できるように 努めており、 文書を 渡したり 口頭にお 話しさせて おります。
	42	定期的に 通信等を 発行するこども や、HPやSNS等を 活用するとともより、活動結果や 行事予定、 連絡体制等の 情報を こども や 保護者に 対して 発信しているか。	83%	17%	月ごとに 活動予定を 発信し、また、毎日 ブログを 作成し、活動の 様子を ご確認いただける 取り組みを 行なっております。
	43	個人情報の 取り扱いを 十分留意しているか。	100%	0%	入社時に 誓約書で 確認し、個人情報の 保護や 資料 関連 および 入力 しております。
	44	障害のあるこども や保護者との 意思の 連絡や 情報伝達のための 配慮をしているか。	100%	0%	より円滑に お伝え お伝えるように 努めております。
	45	事業所の 行事に 地域住民を 招待する 等、地域に 開かれた 事業運営を 図っているか。	83%	17%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に 周知するとともに、発生を 想定した訓練を 実施しているか。	100%	0%	必要に応じて 周知を 行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を 策定するとともに、非常災害の 発生と 備え、定期的に 避難、救出その 他必要な訓練を 行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に 加え、業務継続計画（BCP）の策定を 検討いたします。
	48	開始に、保護や 予防接種、てんかん 発作 等のこどもの 状況を 確認しているか。	100%	0%	お子さまの 状況について 事前に 確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の 指示書に 基づく 対応が されているか。	100%	0%	一覧表を 作成し 職員が一目で 分かるような 工夫を もしております。
	50	安全計画を 作成し、安全管理に 必要な 研修や 訓練、その 他必要な 措置を 講じる 等、安全管理が 十分された 中で 支援が 行われているか。	100%	0%	定期的に 行って おります。
	51	こどもの 安全確保に 関して、新教育との 連携が 図られるよう、安全計画に 基づく 取組内容について、関係者へ 周知しているか。	83%	17%	必要に応じて 周知を 行って おります。
	52	ヒヤリハットや 事故報告や 分析 等、再発防止に向けた 取組について 検討を しているか。	100%	0%	事例置 ではありませんが、 些細なことでも 記入 もし、事例で ヒヤリハットを 適宜共有 しております。また、 治療施設や 管理者とも 共有する 体制を 整えております。
	53	虐待を 防止するため、職員の 研修機会を 確保する等、適切な 対応を しているか。	100%	0%	虐待防止 委員会を 設置するとともに、定期的な 全体研修を 行ない、虐待防止に 努めて おります。
	54	どのような 場合に やむを 得ず 身体 的拘束 行うかについて、組織的に 決定し、こども や保護者に 事前に 十分に 説明し了解を 得た上で、自立援助プイサービス計画に 記載しているか。	100%	0%	記述時・ 治代 管理 ・一時性 を 満たしている 場合と、 身体拘束 ゆったと 場合は 法記録 を行って おります。また、 計画書にも 反映して おります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド146姶城店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適当である。	100%	0%	工夫しているポイントパソコンと活動する場所が仕切られており、特に静かに活動出来るスペースがあるところ。 不満たなければならない事に対して、スペース確保が必要であった場合には、何を優先するなどしている。
	2	利用者間やこどもの対処方法について、職員の変更等は適切である。	100%	0%	予約の取り方ページ、ここに対して職員が入室頂いたり、当代交代で予定を見るようにしながらでいる。 特にトラブルなど問題が起こりやすい支援がいる場所とは、必ずすぐに止められるスタッフでいる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	特性できるだけ必要スペースに置かないようにしている。 基本ワンフロアで段差もなく、窓の開閉なども注入ユーラな環境。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	特性使った場所はキレイにしている おやつ時食は常にテーブルを清潔したり、子供たちにも手洗い指導している。活動で粉などが汚れてしまった場合には、すぐに去れいにしたりしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	99%	11%	壁の色を青くしてクールダウン出来る部屋にしている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	話しやすい環境が作れている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、特定、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自ら主体に関わる職員が作成段階から参画している。	100%	0%	お子さまその際書の作成を考慮し検討の上、参与教職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿りた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主体的に参与できる内容が盛り込まれているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を取り入れるようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、保育所等と集団活動を通常級や合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必要書類や必行行合せを行い、その日行われる支援の内容や活動計画について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始が偏ることが多い為、常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も時様に異なることが多い為、時様に常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個々計画やケア記録を毎年に示の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の達成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を偏在都合合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題が多い入園には障害交換を行います。研修の講会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	89%	11%	機会がありば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を伸達者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付5万の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っているか。	89%	11%	私自身が、実際ペアレントトレーニング入門講座に参加しております。社事に活かせるように学んでおります。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	89%	11%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	78%	22%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな試みへの取り組みに活用しているか。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅でマニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	お子さまの主況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	全職員が分かるように、記載されています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新事業との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを確認頂き行っております。また、治事業所や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も身ぎ体合拒否行力かについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・当代管理 ・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド14B水戸平須店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	78%	22%	ワールドサランが狭すぎない 「ワンフロアで大きなスペースの者的に4人となっていません感覚」かと言って、形名様ですスペースもない。 【工夫している点】 特より個々で楽しい気持ちになる。広々としたスペースで活動しやすい。【改善が必要な点】 運動の関係で狭くしている様が多い。スタッフ子供様人かぶつけたを目撃しています。また、あ小規模の上部のがよく思っているため声が聞きやすく全子供をケアも配慮いたり、気持ちや良かった児童やスタッフがトイレに入る時との作業をご使いです。また、パソコンなりんの文字面にも関わらずぼけおらなく、活動の中マニュアルにいますが不可能ですかやすにおります。
	2	利用定員や こどもの分散等 に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	【工夫している点】 標準個性と子の増と、保育と、児童指導員のバランスよくいます。【改善が必要な点】 バランスよくいるはずなのに各々の仕事は全員一緒で定型のほとんどだいです。全部を持ちたちもっと門得に福福が進むのではないかなと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	78%	22%	声が聞いてしまうため、何らかのご工夫が必要 各部も言ったことの理由ありますが、窓が実学なり子供用机を写る直を付たい児童のクールダウン場望が一緒使もあるといいです。どの部屋も上は狭いているので声が届いてしまいますし、「人が満載して声年思ったでしまうとはかの児童も的なれてしまった印象がスムーズだけたらいいなの作る。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日の事務は大かヨヤヤっています。また、スタッフの中に元気利用さんの方もいらっしゃるやエアコンの掃除や外の日が届かない場所もしっかり清潔にしていただいています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	56%	44%	声から逃げる場所が無い 特別つきるスクールルームのような保育の際いため、クールダウンできる場所の確保が難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	56%	44%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	78%	22%	ないです。基本的に月初月頃で保護者から伝えたものもスタッフが気付かってない場合があります。スタッフ自の保護者の意味をしっかりと把握しないと今後の支援に繋がらないと思うので保護したいです
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	それぞれ意見が言えるような安心感や言い出える環境作りが多くっていいかのなと思います
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかと、研修組織の相関による知識向上にと力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	89%	11%	でしいと共有されずに、組織した職員のみが支援を行う状況となってるり、改善が必要
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムクさまの様子をお聞い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	自立援助アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主観に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われている。	89%	11%	様々さまざまの観察の作論を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自立援助アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿りた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助アイサービス計画には、自立援助アイサービスガイドライン の「計画相当アイサービスの提供すべき水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもの主観に必要な項目が網羅と記述され、それぞれ又期間や頻度が設定されている。	89%	11%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	89%	11%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を取り入れるようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	78%	22%	個別活動の機会を多く確保することが難しい。
	20	支援開始前には個別支援会議を開催し、その日の目的や支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始が偏ることがまい為、実動職員を中心に複数共有と変えよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ずその日を振り返り、その日行われた支援の良い点や、気付いた点等を共有している。	78%	22%	活動開始も時様に実施することが多い為、時様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個々の計画や日々の記録を毎月に次の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリング等の、自立援助アイサービス計画の妥当性の必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	89%	11%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な指導し等行っております。
	24	自立援助アイサービスガイドライン の「４つの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	89%	11%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	78%	22%	おそさまの状況をより理解している機関が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当院や協力医療機関等等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	78%	22%	どこなる連携が下さわば、なお良いと考えている。
	28	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、こどもの下校時の申請管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子ども共有していた保育や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	56%	44%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助アイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的確する等している。	44%	56%	まだその機会はないため、知識と準備が必要。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	78%	22%	積極が加入型には情報交換を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助ホーム等の児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	11%	89%	今は交流の機会がないため、今町対と連携して機会を作っていきたい。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	44%	56%	機会が参れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75％以上の参加を目指から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等への参加できる時間の機会や情報提供等を行っている。	56%	44%	家族参向けはできていないため、提案が必要。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助アイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適宜応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	89%	11%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会や活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、さょうだい同士や交流する機会を設け各様の支援をしている。	11%	89%	父母の会や保護者会を、保護者から企画で求めれていないという意見もある。 「保護者懇談会のようなことをやってもいいと思っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こどもや保護者に周知し、改善や新たな取り組みの際ひとの際ひとに対応している。	100%	0%	事業案件の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご対応してやい内容は、前月受付型ごとで相談できるように努めており、文件を張り掛には対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染条制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	78%	22%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止にた入力しております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	22%	78%	まだ地域連携できていないため、検討していく必要がある
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	89%	11%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	89%	11%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	89%	11%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故原因や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、他組などとでも広入をし、事例でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助アイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド149さくら店PLUS (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもが活用日ごとに、職員の変更等は適切である。	100%	0%	担当や非常勤の為利用を配慮して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいつもお話しいただいております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが図られる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やお支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修の参加と、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさまの様子をお伺い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、幹事数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に活じた適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総量発展アイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やお支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童間組織化や組織間での連打合せを行い、その日行われる活動の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることが多い為、常勤職員等やムに情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開間も同様に異なることが多い為、同様に常勤職員等やムに情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は仕々のケア記録を毎月に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者としている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 置を目的、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が当ち上際には障害支援を行います。研修の場合が多ければ参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	100%	0%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	100%	0%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の日当たりの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	100%	0%	こちらでの日当方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの必要性について検討している。	100%	0%	事業開年の改善項目を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、女声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族間に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支え確認している。	100%	0%	お子さまその支えについて従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理 ・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド150小名浜店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	運動などのレクリエーションは、隣の児発の部屋を使って行なっています。
	2	利用児童ごとの作成物などが整理されて、掲示の変更等は適切である。	100%	0%	マンツーマンで行かなければならないが同じ年齢、職員数が足りないと感じるときもある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	視覚からも分かりやすいように言葉掛けだけではなく、イラストや表示なども使い分けやすくしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	個別課題と制限をしたり、感覚遮断機を使いきれいを保っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	100%	0%	気持ちの切り替えが難しい児童には静養室を使い、気持ちの切り替えがしやすいようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	88%	13%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面談のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	88%	13%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際個々の抽象を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び内容が明らかとなるよう、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それこそ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	毎月スタッフ会議に案を書っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必要書類や必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振り返ることが多い為、常勤職員等々から情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開始も同様に声掛けることが多い為、同様に常勤職員等々から情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個々の計画やケア記録を毎年に示の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限や協力医療機関等）、福祉担当、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	学校の先生などと情報共有し、充実をサポートしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相当する等している。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの療養を担う、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける場合を想定している。	88%	13%	問題が当ス園には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	63%	38%	機会があればぜひしていきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	75%	25%	機会があればぜひしていきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強化をよりに努めております。
	35	家族の75％以上の参加を勧める、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	63%	38%	こちらでの75％方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	適宜対応しています
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で充実する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設け各様の支援をしている。	90%	90%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や多いと場合の正当性から適切に対応している。	100%	0%	事業案等の合理責任を設定するよう声に、合理案例にの相談しづらい内容は、新光受付窓口にて相談できるように整えており、丸井を深い面には対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	63%	38%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	感染症や下立現にスタッフが0ヶ月毎のマニュアルについて検討が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策等訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、職員等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて掲示物を作っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告書を作成し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	感染防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今も多く保育所等を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述例・自代管理・一時預を満たしている場合とし、保持等満たした場合は記載を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド151今市店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	75%	25%	マンツプローニカないです。どうしても個性が見てない子供さの距離をとることの難しさがある
	2	利用児童やこどもが活動等において、職員の変更等は適切である。	75%	25%	担当や非常士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい当を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉を提供することが認められる環境になっている。	75%	25%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	75%	25%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	75%	25%	アセスメントや支援の内容は行われている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事務内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画書を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際面の利益を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	75%	25%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方向性の内も踏まえた上で、こどもの主体的に参加する時間や課題を設定され、それぞれ支援内容の明記されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまな中で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	75%	25%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で会行立合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることがめる為、常勤職員等々と複数共有出来るよう、記録やご連による口ニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	その日になる事は為るが行われている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや問は仕々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の提供上の必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な頻度し生行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよう理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	25%	75%	まだ対象支援がない 行動ができない
	31	地域の児童発達支援センターの due置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	25%	75%	問題が当った際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	100%	0%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を勧める、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	75%	25%	こちらでの75%方法参考「本日の様子」として日々情報発信し、ご家族での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	75%	25%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの際には、速やかに周知している。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい方法は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	25%	75%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	75%	25%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	お子さまその充当については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討を行っている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指定や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%	感染防止委員会を設置することもに、定期的な会体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今セを保才保会的医与行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	記述例・当代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド153つくば学園南店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	78%	22%	社内でも相談できたが、社外静かな所で話す際の場所ではない アニックディオンやパンを設置して、リフレクトできやすくしていた。 定員15名ほぼ予約を埋めております。並んで座ります。並んで座る子供すら場面が多い。 定員15名ほぼ予約を埋めております。スペースとしては狭いです。 ただ、広さがあって設備などはそろえることができる。
	2	利用定員や こどもの特性等に対して、場所の変更等は適切である。	56%	44%	キラーム、混雑スケジュールはしています 当日の調整は、混雑などについても連絡は事なく不満の無い様キャスケジュールしていただいております。 でも丁寧説明できない場合は欠下でついた際に 定員人数だけでなく、定室に適した面積をとることを心がける 皆が子どもが1人ひとりなりよう入園配慮を徹底している。 不特人数に対して物理的に確保できていることが多い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	バリアフリーはできている。 レ本はなんの説明カウントボードに応じることとって可能な面積付けている。 色々な種類の色を活動や遊びとすることに応じることである
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団や活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	トイレなどもきちんと清掃できている。 遊び面は遊具としても丸々ついています。 毎日、時間ごとに点検する、清掃職をして機器な状態を保っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	100%	0%	必要に応じて遊具空間を更えます。 利用人数が集中時は、スペースが足りないと感じる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	78%	22%	目標と振り返りをしています。 職種と非常勤で共有事項の差がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	毎年、行なっています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	89%	11%	定期的さきは、随時実に打ち合わせをしている 毎年、行なっています。 ご意見や提案できるようにしてほしい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	評や、違う部署の方が来られて管理者の方とお話をしている風景をよく見ます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	講習は受けています。 すに1度、組織を見て定着とかもなどまた必要な知識を新しく学ぶ機会があります。 時代の移動といった形で、大変でもありいる状態。
適切な支援の提供	11	遊びに支援プログラムが作成、公表されている。	89%	11%	個別支援計画の作成が課題となっている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助プイサービス計画を作成している。	89%	11%	専門的支援において どこを伸ばしたかどこが不 分かが好そるようしている。
	13	自立援助プイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の主担に関わる職員が内容説明会下で、こどもの最適の方法を考慮した個別的下で、こどもの最適の方法を考慮した個別的支援が難しい。	67%	33%	個別の働きを設ける必要がある シフト回でるるため非常勤との連携、共通理解のための時間確保が難しい。
	14	自立援助プイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	67%	33%	職員共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	78%	22%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自立援助プイサービス計画には、自立援助プイサービスガイドライン の「総合支援プイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されている。	78%	22%	時程変遷連絡については非 不十分なため、工夫が必要
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	89%	11%	上内に沿って作 参加はどのよううしてもしたら良い か話し合いや内容を参考にしながら取り組んでいる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	89%	11%	スケモムとて、毛担にて作成している 定室内で行社会やカラクリエーションを実施。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 自立援助等プイサービス計画を作成し、支援が行われている。	89%	11%	個別活動については、その都度前当者を決めてその定着に関わっている。
	20	支援開始前には複数関 ①必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	実施しています。 児童が本人前に今のカラクリエーションの概要や意味や受け渡しなどの要素等を確認している 毎日今日の活動内容については口頭での申告。
	21	支援終了後には、複数間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	78%	22%	前口は同じ職務 今日起きた出来事などどのように対処したか、またはすべきだったかを振り返っている
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	ぜしくて記録するための共同職務保が難しい。
	23	活動内容やこどもの様子等について、自立援助プイサービス計画の達成状況の評価を行っており、適切な見直しを行っている。	100%	0%	毎日でしまうことをもめったがこれている モニタリングはしています。
	24	自立援助プイサービスガイドライン の「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	89%	11%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	自由時間の遊び道具やレクの遊び設定をおるようにする場合がある。 こちらが活動を提案するのではなく、児童が何をやりたいかの気持ちに 出すようにしている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	89%	11%	おそまるの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	67%	33%	連携先は、現時点では学校関係くらい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	89%	11%	学校であった出来事など放課の際に先生と確認している
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	89%	11%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立援助プイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相当する等している。	56%	44%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその療育を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	67%	33%	問題が生った際には障害支援を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	自立援助クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	56%	44%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	56%	44%	事業所としてではなく、個人的に研修に参加している。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	把握出来しています。 会話の際に表現を引き出している
保護者への説明等	35	家族の約5 7の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	44%	56%	こちらでの行なう方法等を「本日の様子」として日々報告強告し、ご家庭でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	78%	22%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立援助プイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向の尊重、こどもの最適の行動の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	89%	11%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立援助プイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助プイサービス計画の同意を得ている。	89%	11%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	89%	11%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこども や、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	44%	56%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や多い場合には必要かつ適切に対応している。	89%	11%	メッセージを通じて保護者が気軽なくお迎事を報告できるようにしている
	42	定期的に通信等を発行すること や、HPやSNS等を活用することにより、活動様子や行事予定、感染条制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	78%	22%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	留意しています。 家庭の取り決めの写真の掲載を積極を避ける
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	常に様子や話を聞いています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	78%	22%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	89%	11%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	78%	22%	実施はしているが定期的ではない。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	実施元有さ入っています。 個別している場合初期が行っている
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	食物アレルギーの作成はさ行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	89%	11%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新規等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	78%	22%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた取について検討をしている。	100%	0%	上内にて適合るものも共有 事例ごと毎月情報共有されています。 ご意つ行内
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	研修を受けました。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助プイサービス計画に記載している。	100%	0%	研修を受けました。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド154加須騎西店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもが活用日ごとに、職員の変更等による混乱を防ぐ工夫がされている。	100%	0%	担当や非常勤の多い職員を配置して、人員確保を図っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自立訓練に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定など難しくなるかも知しれませんが行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	月２回の職員会議を開催している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、他店、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	0%	14%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画案を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自立部に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその際個々の福祉を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿じた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容が踏まえられており、こどもの本質に必要な項目が選択と記述され、それこそ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で会行日会を行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開前が偏らることが多い為、常勤職員等々よに複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	活動開始も同様に偏らることが多い為、同様に常勤職員等々よに情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は仕々のケア記録を毎年に示の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を偏在無く組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまその状況をよく理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の連絡調整）、運絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	放送ミスが多いため、注意が必要
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	86%	14%	参加する児童発達支援事業と小学校両方を情報交に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	86%	14%	問題が多い方際には障害支援を行います。研修の機会が多ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	86%	14%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	86%	14%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を目ざし、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っている。	100%	0%	こちらでの75%方法提考 「本日の様子」として日々情報発信し、ご家族での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や難しい場合には代替や提案を行っている。	86%	14%	事業案等の合理的な配慮を設定するよう声に、合理案例にの相談しづらい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、女声を聞いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	86%	14%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	86%	14%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、防身時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまその状況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを認定共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	感染防止委員会を設置するとともに、定期的な安全研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今も多様や緊急的事を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・非代替性 ―特性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は注記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド155南与野店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	利用者により当面は余裕のある時には録音を入もう1度前対応できているので対応
	2	利用者間やこどもの対態等に対して、職員の変置数は適切である。	88%	13%	人数に対して、十分なスペースが広くされている。 小学校は支援が足りないと感じる場面もあるが、スタッフ1人1人の対応を工夫や連携することで、子どもたちが安心して過ごすことができている。 1日に活動するにつれて広さが足りなくなってくるが、プログラムや活動の工夫次第で対応できる。 スタッフ1人1人が子どもたちの特徴をよくつかみ、プログラムや活動の工夫次第で対応できる。 職員の人数は最低限確保されている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	88%	13%	運動スペース、学習スペース、活動スペースに分けて活動している。自由動の切り換えが、やすい 不要な事務用品もっていないが、ほしいものはあるだが、空間を変えることやできない空間は「これが欲しい」と口頭で言うことが不可能。個別的に分かりやすくする必要があると思う こどもたちの多くが、とりやすい環境が作られていると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自立運に合わせた空間になっている。	50%	50%	掲示をやるのによる清潔さにかなりの差がでている 現在の活動スペースは、広さは十分にあるが、多くてもまうことはないと思うが空間を感じる 広めの活動テーブルが必要であると、配置が必要だと思う。 もう少し各所の清掃にも力を入れたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	88%	13%	児童とスタッフ二人きりになるのは避けるが、各々のスペースにて、ドアを開けるなどの対策をとれる工夫が良い 現在も小切り替えや学習タイムの時間など入れるようになった。 メインで使っている活動室のほかに、完了席も個別で準備されている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	63%	38%	個別支援計画にもって支援をするのかは行ないながらスタッフがパソコンを開いて支援計画を読んでいれば良いが、支援して読んでいない方はどのように支援していくのかがわかっていない為ロや確認する時間があると良いと思う スタッフミーティングなどをより、問題や改善が足りないと感じているため、工夫が必要 改善点は主に月例でされていると思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	モニタリング表をご支援後の保護者の方にお渡ししているので保護者が何をもとめているのかなどお声を拾えた対応ができる 保護者の意向は支援に生かせるようにしている。 評価表の意向は支援に生かせている。
	8	職員と意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	お忙しそうだったので、職員の方からお声がけをしていただいた。とても良かったです。 職員に不足した能力や知識があれば、その都度研修を受けることができる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	第三者評価のみに研修を求めましたいと考えるかについては、よくも良かったです。 職員の意見は、聞きたいことは言えているように感じる
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で活用する関連する機会が確保されている。	100%	0%	各研修のために研修を求めましたいと考えるかについては、よくも良かったです。 職員に不足した能力や知識があれば、その都度研修を受けることができる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	個別プログラムの作成者自分がわかるためのパラメディックによんだプログラムが行えている様う 支援プログラムの作成は、適切に行われている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己肯定感アイデンティティ形成に関する支援を作成している。	100%	0%	学校などで上方大人たちへ保護者、学習に力を入れたい保護者には学習をメニューズにあった支援を個別できるようにの行ている 保護者のニーズと、職員が支援内容で関ったことを聞き出すできての支援につなげている。
	13	自己肯定感アイデンティティ形成を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主な関心に関わる保護者の作成時点での適切解決下で、こどもの最適の手段を考慮した個別の作成時点下で、こどもの最適の手段を考慮した個別の作成をしている。	100%	0%	児童型だけでなく個別のスタッフの引き出解の様子をヤマインなどを通して共有できている モニタリングの際には保護者だけではなく、「最後はいるスタッフも最も重要な人物点を伝えられるようにしている。 職員はみな、こどもにとって行動にはる最小に力が行きるようにに指示である。
	14	自己肯定感アイデンティティ形成が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	モニタリング後にスタッフ間でどのような支援に取り組むかなど共有し方が行われと思う。 計画立案し、日々の支援の参考にしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	88%	13%	日々の支援に安全面などフォーマル、インフォーマルは使い分けている こどもの適応行動への評価は、共通認識として職員全員が持っておけるように共有している。
	16	自己肯定感アイデンティティ形成には、放課後等デイサービスガイドライン「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提供内容も踏まえた上で、こどもや主な関心に応じた適切な支援を行っているか。また、具体的な支援内容の例示をしているか。	75%	25%	地域支援、地域連携協議はできていないため、改善が必要 地域支援・地域連携のみについては、できていると思う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	毎月作成前は会議やかりますが作り終えた時点でスタッフ全員の了承をとるような体制である しろなどの活動プログラムは職員毎で個別して作成している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎月作成者がかわるためプログラムは固定化していない 特にここが様で良さそうかよう、工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果やサービス計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	個別活動はなかなかできていない こどもたちと楽しむプログラーがあるので、活動内容に変化を加えている。
	20	支援開始前には個別支援計画が作成されているか。その日の活動内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	38%	63%	活動変更などの確認はできるが管理者が不在しかし人事などが決め個別のスタッフに伝えなの活動が把握できていない なんとなく活動は確認していてもスタッフとして聞くことなど出ていないやからなくない傾向である。 それほど1つ1つ記載については、さらに行きして具体支援や準備しんはうがよい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	スタッフの都合時間も合わせてくれたり大変の意見で変えてはなかなかできていない 定期的な打ち合わせについてはできていない状況が多いためそれが出来ていることはあるように感じる。 現場作成されているが、打ち合わせという形ではないので、支援やフィードバックをする必要があればさらにより。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	88%	13%	保護者連絡のサービス以外に記録を取ることは決まりないため、工夫が必要
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の作成にの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	モニタリングは適切行えている 定期的にモニタリングを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	各立支援、体験活動、各特的に考慮できる活動はおこなえているが地域活況などは出来ていない ５つの基本活動については、すべて不足なく組み合わさっている。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	88%	13%	スタッフがおしつけるのではなく予定の選択を取てるようにしている 自己決定ができるように、スタッフが「こうしたら？」などの声かけをしているようにしている。 スタッフによる支援を考え直すことができている。常えさせる事ではない場合が多くある。 こどもに判断を求める、自律や当面は分りにくいかなるいようにしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	13%	児童発達支援管理責任者指導保育経験豊富な方が行おうとしている 個別の支援計画を実施している。
	27	幼稚の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	幼稚の職員との連携については大きく回復していない。
	28	学校との情報共有（年間行事・計事予定等の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	88%	13%	子ども状態などで時々あるが学校に問い合わせなど確認している 下校時間や引き渡しなどを決めるが、学校に連絡している。
	29	相手方に判断していた保育等や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と指定理解に努めているか。	75%	25%	不明な点が多れば管理事者や確認者が行なっていると思う 幼園の支援計画、相事業所同士から引き継いだ情報を参考にしている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談支援する等している。	50%	50%	新施設の為対応難解がない まだ当所行かない。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	38%	63%	組織を使った研修はあるものの立スーパーバイザーが来ての研修などは経験がない 地域の児童発達支援センターとの連携については不明。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	児童館との交流はしたことがない。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	38%	63%	なりの忙近で対応しきれないことが多く、参加はしたいができない状況にある。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	会話内にお伝えするようながけている 利用者から求めることもあるため、そこにあった情報を伝えられているように感じる。 会話時、保護者と情報をし一日の前で送りという形でお伝えしている。
	35	家族の75%以上の参加を前提とし、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等への参加できる時間の場合や情報提供等を行っているか。	50%	50%	家族参加方で行っているかもしれませんが、わかりません。 家族が活動に参加することはありった。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	13%	管理者の方で説明していると思う
	37	自己肯定感アイデンティティ形成を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最適の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ケースなどを通して話をできていると思う 自己肯定感アイデンティティ形成を作成する際には、職員間での共有しやすい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	定期保護プリスケジュールで参考えている 同意をきちんとをもらっている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適宜応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談面談を行なっている ご面談をなり悩みは、幅広く受け付けている。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の経過を整理するとともに、こどもや保護者に周知し、合理や良い場合に必要な一連的に対応しているか。	100%	0%	すぐに対応できるようながけている 家族が良った場合は迅速に対応している。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	38%	63%	毎月末頃に次から調査が発送されている お知で連絡の便宜はされていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	88%	13%	個人情報には十分配慮しているつもりである 当所や写真などや職務のスマートフォンに残っているので、個人情報の扱いについては検討した方ができない。
	44	障害のあるこども や保護者との意思の連絡や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	支援時にもなべくやの配子を定えるようながけている ご家庭にはすぐの声かけや必要になっている 配慮はなされている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	事業所の行事に地域住民を招待することはない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	年に2回は必ず消防署と連携して行っている 訓練は年1回行われている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	63%	38%	年に2回行っている 訓練は年1回行われている。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	開始できているなり アセスメントと重なりているため、すぐ記述できた こどもの重要の情報については、職務が明確できている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	75%	25%	アレルギーに関してはスタッフ間で共有しタヤビネット側にも開示している アレルギーはきちんと対応されている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	終了や時折ある感想などに対応している 安全な環境での支援をく続けている。
	51	こどもの安全確保に関して、新規等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	感染面の学会図は参加し、自着、ダスクの消毒などできている。 ご家族にも伝えている。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた策について検討をしているか。	100%	0%	月２回のオーディングで共有を行っている 事故やトラブル等、報告・対策されている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	スタッフの不適切な行動などあれば管理者に報告できる環境にある 虐待防止の概念では、しっかり対応されている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した下で同意を得た上で、自閉症等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	事例にて回答を行っている 身体拘束の説明はない。事前と相談がされている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド156新ひたちなか店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	88%	13%	がしてもたく使えるようご説明、レイアウトを調整している。 「ご人利用なども例は、パソコン接なども利用して、ご回転して活動をして行う
	2	利用児童やこどもが活動室に対して、職員の変置数は適切である。	75%	25%	多職種などの空気と思ずを当生来してもっていますが、療育多様A利区の方の場支給時に必ず、安全確保と問題が生じる恐れがず、療育内容が浮体もしているところがある。 さん職員数が多い時もあれば少ない	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	事務所の配置が真になっており、オープンカウンターのような造りですぁって欲しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わ大な空間となっている。	88%	13%	清掃、改善している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を活用することが認められる環境になっている。	88%	13%	個別の多無なで、感覚が少ないと思われる。 利用者やスタッフがオ必要があると思い	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	50%	50%	毎日のミーティング等で十個表現を作っていただいている。 計画だけ立てばだり、お客さんないことをとりますが 個別の支い機能ができたらの支援内容を振り返る際に、何を目的とするかを考えられていないケースもあると気がする。又、活動を前をして日すス以外がずどもの行動に繋げ良もないケースも見られる時がある。 「日の変更を選択ツールで使い易い為う、パートには、なじみない	
	7	保護者向け評価表よる、自援者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	75%	25%	新規基準いやすいように、管理者から手順ける情報的に行っている。 Aug年以外など子供い為 意見を共有し活ずんなり保護者をおもうして者う良いサービスに注有るようにしている思う。 御意への対応は行、回数的に少ないかも、この内容 利用者ちへの伝達にていしても、ご化表のいる時間等にしていて、パートには伝わらないため、何らやの工夫が必要	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	63%	38%	日々のミーティングや、叶形、検討、改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で活用を開催する機会が確保されている。	88%	13%	全体研修のほかと、研修範囲の相関による知識向上にと力を入れております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	88%	13%	パートによる支援プログラムを計画、実行する研修の意味が難しい	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自援障害アイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭者さまからのご意見やムチさポの様子をお聞い、計画を作成出来るように努めております。	
	13	自援障害アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども担当者に関わる職員が内容説明会で、こどもの最善の方法を考慮した物材が行われている。	75%	25%	おすままの最善の作論を考慮し物材の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14	自援障害アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	63%	38%	個別支援計画を見ている職員を見たことない、型理者から職員を求められたことともないため、改善が必要	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	88%	13%	アセスメントツールを平面に沿じた適応行動の参考として活用しております。	
	16	自援障害アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン（「放課後等デイサービスの提供すべき本質」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの本質に必要な項目が選択と設定され、そのこと、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等をまえながら、検討しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	75%	25%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	75%	25%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を取り入れるようにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。	
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	63%	38%	個別の中で行っているが、必ずではないケースもある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	50%	50%	新規者の個別時刻対応でも行ける形でしているが定着する時間対応をすることが難しいため、検討が必要 終了後はパズけしていて聞り返す文言ない。	
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	88%	13%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するよう努めております。また、モニタリングや個は日々のケア記録を毎年に次の目標を考えております。	
	23	活動内にモニタリングを行い、自援障害アイサービス計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おすままの状況や必要性に応じて適切な期間し生行っております。	
	24	自援障害アイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	88%	13%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おすままの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。	
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。	
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校担当者と情報交換に行なっております。	
	30	学校を卒業し、自援障害アイサービスから難関重証サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を他団体に提供している。	88%	13%	難応、対象児がいないが、相談対応行う。 また自援障害アイサービスを卒業して難関重証サービス事業等型の移行をするという実績・検会がまだない。	
	31	地域の児童発達支援センターの自援主担が、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける機会を設けている。	88%	13%	問題が当った際には障害型強を行います。研修の講会が良れば積極的に参加させていただきます。	
	32	自援生児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	50%	50%	機会があれば参加していきたいと思います。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	50%	50%	実施があれば参加する。	
	34	日常からこどもの非言生保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	88%	13%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。	
	35	家族の約5割の以上を目る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	63%	38%	こちらでの約5方法世を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。	
	37	自援障害アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	トラブルを起こしていただくことが できるように、日々のコミュニケーションを大切にしている。	
	40	父母の会の活動を支援するこ とや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	38%	63%	保護者会はないため、検討していく	
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や求った場合には迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業開年の自援者打を設定するよ声に、各事業所にの相談しつかい内容は、新光受付窓口にて相談できるように整えており、女声を張り上げには対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行するこ と や、HPやSNS等を活用することにより、活動様子や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	75%	25%	ラインを利用している。	
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	保護個人目的事務所のロッカー に保内、個人ガルのの書類でいるなったものは、平台にシュレッダーにカけている。	
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	50%	50%	事業所行事に参作型はしていないが、地域の行事等に積極的な参加者の楽しおし等をしている。	
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	88%	13%	マニュアルはスタッフ付け水準しているところに設置している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討に入ります。	
	48	開始に、保護や同伴保護、てんかん発作型のどもの状況を確認している。	100%	0%	保護型が多めば、保護者に同確認している。	
	49	食物アレルギーのあるどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行ってあります。	
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	88%	13%	必要に応じて掲示作成を行っております。	
	52	ヒヤリハットや事故原因や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	88%	13%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、治事態常や管理者とも共有する体制を整えております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	88%	13%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。	
	54	どのような場合に今も を得て身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自援障害アイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。	

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド157新栃木店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	67%	33%	利用者にクールダウンが必要な際に落ち着けるスペースがないため、エホが必要
	2	利用者同士どもわが世界において、職員の変置転は適切である。	100%	0%	前例や非育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	67%	33%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムナさまの様子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様々さまざまの観察の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に広げた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ支援内容の明記されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を導入ひとようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を行い、その日行われる支援の内容や活動予定について周知し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や関与することが多い為、常勤職員等々から複数共有と変える よう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ずその日を振り返り、その日行われた支援の適 り及び今日い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に関与することが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有と変える よう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるようご事実と意見を分けて記入するよう努めております。また、モニタリングや個々計々のケア記録を毎月に月の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の提案しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやさまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を偏在無く組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやさまその状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその療育を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	67%	33%	問題が多い方際には障害支援を行います。研修の場合が多ければ参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	33%	67%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生体調者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付加方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	67%	33%	こちらでの付加方法提供を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家族でのご支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな提案つ適切に対応しているか。	100%	0%	事業開年の改善責任を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい方法は、新光受付窓口にて相談できるように努めており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの充当を確認しているか。	100%	0%	おやさまその充当については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外発し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保するな等、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述的・治代管理 ―時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド158環町店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に対して適切である。	100%	0%	運動ができるスペースを設けている （遊具などの保護具をおけているなど室の面積いかで改善が必要とおもわれる。
	2	利用者同士どもの分け担当に対して、職員の配置数は適切である。	92%	8%	パークの職員も両方対応できている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	現をする場所を明確を分けている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	92%	8%	清掃を徹底している トイトや個別介助室の清掃が増れているため、改善を行う必要がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調理することが認められる環境になっている。	100%	0%	現をする範囲なものが問題にもっている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	92%	8%	職務会議を必要に応じて行っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	83%	17%	アンケート結果や、面接やコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	92%	8%	職務会議などでそれぞれの意見を出やすくしている 非常勤なら実態への意見交換は多く行われていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	83%	17%	初回大変事業所や園、学校などと情報共有 このAIにオープンした方、これから行われるものと思われる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で活用する関係する機会が確保されている。	100%	0%	毎月研修が行われている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	92%	8%	毎月レクレーションカレンダーなどを作成配布 写真活用当社広告のやらない枠の為で、印書の必要
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	モニタリングや電話連絡、送迎時に振子を持つ
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども主観に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	92%	8%	1 日の振り返りなどを終了後に行う 当社方主や経営者がもうちょい欲しい。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	92%	8%	毎日の振り返りやその変化方法を確認している 詳細は理解できていないので、一人ひとりについてまだもっと理解できるように共有していきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	92%	8%	評価ツールを活用している
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	モニタリングや当他関係連携を設っている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	92%	8%	レクレーションカレンダーの作成時に職員間で共有している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	事前に足した行事を入れる
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	本人の広義感合い中変化に応じて対応している
	20	支援開始前には複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	92%	8%	時間を設けてより充実させていく
	21	支援終了後には、職員間 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	92%	8%	時間の管理が必要である
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	個人ファイルの作成を行っている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	前職者との連絡ツールとて情報の共有を図っている 上記の異同のほかんど変動職点やりよりうと言われることである。定期職員間では行われていると思うが、自社も含む非定期職員までの周知は難しい状況である。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「 4 つの基本活動」を偏在配慮なく合わせて支援を行っている。	92%	8%	好きな活動を入れるようにする
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	自発的な選択ができるような機会を設定している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	初めて会議の場を設けて実施することが難しい場合もある
	27	地域の保健、医療（正当性や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	92%	8%	定期的ではないが協力医院関連連携に参加している
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の引継説明）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	92%	8%	小大お伝こう得る事を前提として関連を確認する
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	92%	8%	電話や連絡帳に確認している 上記全てお話者として共通で、管理者が電話、ＳＮＳ、面談、送迎時のあらゆる手段を利用して連絡に行われている人活う。
	30	学校を卒業し、児童発達アイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	67%	33%	対に送迎なので情報間での共有を図っている
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	75%	25%	研修などによりスーパーバイズを受けている
	32	児童発達支援クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	58%	42%	今後イベントに参加させていただこうと思う 新的方では、これらのことを行うのは難しいと思う。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	50%	50%	情報の共有ができていない 体力的手は、全く理解できていないが、原理者は参加している。
	34	日常のこどもの示支生や家族を と伝え合い、こどもの最善の利益や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	電話、連絡ツール、モニタリングなどで共有している
	35	家族の付加 の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っている。	67%	33%	必要とおもわれる保護者様に お伝えしている 自己理解し、セラピスで充分とエビデ実践するのは難しい状況にと思う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	新規時や連絡ツールや利用ごとにお伝えしている
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家庭の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	連絡ツールや検討为なくしている
	38	「医師等がアイサービス計画、もしくながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	連絡ツールやお電話などで確認している
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	電話やモニタリングなどの機会を設ける
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	50%	50%	集会を設けていないため参加者同士 この中で気軽すきていると思うが、父母の会の主催は難しいと思う。機械が足りないと思う。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新 な場合には迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	新型や要望として取り入れてている
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HP やSNS等を活用するとにより、活動概要や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	83%	17%	レクレーションカレンダーなど配布 いつを利用して了解い対応している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	83%	17%	個人ファイルを使用し、保管している 個人のスマホやタブレットも登録いただけるものも、注意が必要。 重要書類（個人情報記載の）や顔写真等の中で行なっている。
	44	障害のあるこども や保護者への差別や虐待等を防ぐための配慮をしている。	100%	0%	差別表現を扱るツールとしての連絡手段をアプリ等で図っている
	45	事業所の苦情に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	67%	33%	集会を設けていない 今の段階として難しいが設置は必要。
非常時等の対応	46	緊急時はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	92%	8%	定期的に実施している 非常勤職員は、基礎研修を受けた の で訓練とは参加が難しいため、工夫が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	92%	8%	定期的に実施している。
	48	開始に、保護 や対象機、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	書類等を預かりたりている
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	100%	0%	必要に応じて薬を保管管理している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分それた中で支援が行われている。	100%	0%	訓練や研修を定期的に行っている
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ周知している。	92%	8%	必要に応じて前もって 準備者様に連絡し 指示いただいている 前職者よさ引き内ついても と思うが、全て個人としては行えていない。
	52	ヒヤリハットや事故報告の分析も、再発防止に向けた取 について検討をしている。	92%	8%	ノート作成して活用している 個人として記入するようにが行っているが、全職員間での共有や防止への検討が行えていないと思う。行えるの時間を設けるため合同開催が全職員間で考えたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	研修やチェックシートで確認している チェックリストを活用して防止や確認を 図めている。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	92%	8%	身体拘束に至るは状況や段階など企業全体に周知し共有している

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド161千久田宮古 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が見込み量妥当のスペースの環境で適切である。	89%	11%	ゾーニングを行う行うで環境を広く使いたり、利用人数によって活動において活動をしたりして、活動のスペースを有効に利用している 「引き」に引いてスクールを定めている。体育室での活動をみることで、定員の不足や効果の向上が出来ている環境を行うことである可能。 利用児童で2人を超えてくることがイントールが不適になり、定期しお遊びなどは落ち着きがなくなることがあり、サプルームに隣れるテーブルを用意し、場面や利用児童の特性に応じ活動を選ぶ動に分けることで対応してきた。トイレに関して、1つしかないため共有で困っている。これから2月ゆうちょいたが増えし、対策を図りスタッフ応援で対応していく。
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、環境の変更物は適切である。	89%	11%	新規様の入退も専門的指導機会入退も充実している。バランスの良い環境。 利用様者や配慮事項スタッフ全体で課題できていなが、当分半分くての人数のなるとき合うべき方、安定した有資格者が増えれば対応ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	89%	11%	ロッカーや下駄箱に毎日利用児童の名前を張り、混乱が生じるようにされきれている。 手洗い等のプライベートが確保されるような設備が備え、子ども1人1人を対応されるような設置ケーを、何度の空間ができて遊を開けてしまう場面が確認されている。現場ないに児童の名前等を置くしかないため、児童の現が出に配心の注意が必要。物です。 また、門扉などの設備やトラを備う前うスペースの確保などで開で全ないカラフルう 引くよるよ気になる記録や特に必要がしています。今なって生ようようとって本の集やすべきとに資源が付けられるようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わ大な使用になっている。	100%	0%	基本は適定ですが、設備合をあげるかできればこの人数に対して、同手洗行っといることが好ましてきる文は子供と大人 でつつは必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっている。	100%	0%	基本は適定ですが、前書合をあげるかできればの配慮定が設備、相談室、事務室、休憩の保護機能のため、皆ち着きない児童や多動の悪いための静機室の役割を果たせる環境をつ ないる支援で利用することが可能になっている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表よる、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	100%	0%	5月2今電話、対面などでお話を聞く機会が設けられている。また、会話時にも声かけしている。
	8	職員や教保等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげている。	100%	0%	非常に居心地の良いアットホームな環境しの思い環境だと感じています。管理者さんの人柄が環境をいります。 意見からミーティングや日常的な会話で相談やアイディアを出し合って、話行錯誤しながら支援できる環境である。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を事業改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で話得る関係する機会が確保されている。	100%	0%	定期的に子どもとの関わり方に関する外部講習を講義形されています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムードが多少得ずをお伺い。計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が作成期間内で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	毎日のミーティングで子供の情報を共有している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画を共有する時間を確保している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿じた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの主組に必要な項目が選択と設定され、それぞれに具体的な支援内容が明示されているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等ふまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎日のミーティングで当日の活動プログラムについて話し合っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎月のプログラム計画を月初や重ならないように作成している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動開始や振りることが多い為、常勤職員等々と複数体制支援ある。記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めてあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	当日のミーティングの子供日の支援について情報共有している
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めてあります。また、モニタリングや個は月々のケア記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	活動方法にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	おすまさの状況や必要性に応じて適切な指導し等行ってあります。
	24	放課後等デイサービスガイドライン の「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	おすまさの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校担当者と情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相当する努力しているか。	89%	11%	卒業生は多くいないが、情報連携ができる体制がある
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	44%	56%	児童発達支援センターとの連携は全くない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	児童クラブと小学校で利用している利用者が複数人いる。他のかどもと交流する機会はないが、学園者からの要望があれば検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	44%	56%	協議会への参加の機会が全てない
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めてあります。
	35	家族の1/3以上の向上を図る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っているか。	33%	67%	保護者からの要望があれば、実施を検討していく
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この場合に関しては説明ご理解させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この場合に関しては説明ご理解させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この場合に関しては説明ご理解させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご保護と共にて連携、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	父母の会はないが、保護者からの要望があれば、検討していく
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情が寄った場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してもらい方法は、新光受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、感染症対策や情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	89%	11%	今日はこで行事などの連絡をしたり、必要に応じて写真を送付しお子さんの状況が分かるようにしている。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	まだその機会を設けていないため、今後検討が必要
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	89%	11%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策を訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析を し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・当代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド162宇都宮みどり野店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適正である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の変置数は適切である。	43%	57%	メインフロアには入れたり、子供全員が１そのセットのほぼ安心に行んます。パソコンの時間や、働んでしまう子どもが増えると、それにスタッフが取られてしまうため、人数はもうすし余裕が欲しいなと思う場面が多々ある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	86%	14%	事務用にスることこの環境になってしまった子どもがいて、事務用のパソコンを触ってしまうことがあるため、設備が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わ せた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい当を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調理することが認められる環境になっている。	100%	0%	なっではいるが、時間帯や状況によっては使えないこともあるため、工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しい当を行っております。
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	71%	29%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、外部、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	71%	29%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	86%	14%	スケジュールカレンダー作成の活用、スケジュールで事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が内容説明会 で、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまその最善の方法を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	100%	0%	アセスメントツールを平均に近りた適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイサービス計画には、発達段階アイサービスガイドラインの「総則発達アイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な内容が盛り込まれているか。また、具体的な支援内容の提供を行っているか。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を取り入りんようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 放課後等アイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には 複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	86%	14%	活動開始や振りることが多い為、常勤職員等々と複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、複数関 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	活動開始も時様に関与することが多い為、時様に常勤職員等々とも情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	毎日は行っていないため、改善が必要
	23	活動内容やこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	57%	43%	職員が良ければ参加していきたいと思います。
	24	児童発達アイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を踏まえ活動内容を設定し、活動を行っているか。	57%	43%	職員が良ければ参加していきたいと思います。
	25	児童発達アイサービスガイドラインの「５領域のねらい」を総合的に指導しているか。	100%	0%	送迎などで保護者様とお会いしたときに１日の天気や出来事を思い出せるようにしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	新型コロナ感染症対策として、参加人数を制限しております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	個別支援計画書に基づき、保護者同士や交流を深められるような機会が多ければ良き集団となれる
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の調整開等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて面談調整しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と理解に努めているか。	86%	14%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する者 がいるか。	86%	14%	まだそのような子供がいない
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題が多い人間には障害交換を行います。研修の講会が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	57%	43%	職員が良ければ参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	57%	43%	職員が良ければ参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの示す変化や課題を把え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎などで保護者様とお会いしたときに１日の天気や出来事を思い出せるようにしています。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や情報提供等を行っているか。	71%	29%	個人的に、保護者同士や交流を深められるような機会が多ければ良き集団となれる
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	71%	29%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の意向の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設け各種の支援をしているか。	57%	43%	当院と同様、自分自身もきょうだい児であるこよから、利用してる子供方ばかりでなくその保護者、きょうだいの交流、意見交換も大切なことだと考える。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情や申し入 場合には迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事業案件の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してやい方法は、紙の受付窓口にて相談できるように努めており、文書を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染症制限や情報をこどもや保護者に対して発信している。	86%	14%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	71%	29%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%	家族には周知していないため、周知していく必要がある
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開設に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支援を確認しているか。	100%	0%	お子さまその状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	アレルギー色々の利用児童の為ヤつは、保護者の作ぜしたものを提供しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか 。	100%	0%	必要に応じて個々作っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた取組について検討を行っているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止委員会を設置することもに、定期的な会体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今も多く体合的医を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述的・由代管理 →現性を満たしている場合と、身体性支援を行った場合は比記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド163新浦山本戸店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が適正な運営等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	狭い通路同士にジョイントマットが敷いてあるエリアがあること 行列にならず順序を含めてスタッフが区切ることやスタッフの位置やスタッフの配慮を工夫している。 混乱の防止等に合わせて、例、マットと場所を分けている マニュアルなどで取り決めやすい。
	2	利用児童やこどもが他児に対して、場所の変更物は適切である。	100%	0%	教育や療育に資格のある教員等を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく概念とされた環境になっている。また、事業所の設備等は、障害や特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	29%	71%	建物自体が入口と段差があるためバリアフリーNGは難しい トイレも情報が乏しく印刷の必要な位置が今後求め場合と特化し印化しくくさが出ている 立地の特性がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	特にさまある分で、建物しクには出かない
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を活用することが認められる環境になっている。	86%	14%	個人に応じてパーテーションが立ちなどしている パーテーションを準備して、必要に応じて個別に感覚のような空間を作ることができる パーテーションを設置している。 パーテーションの利用
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	よく話し合いをしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	1月期間ですまだ保護者の評価表がないため、これから行っていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、特定、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	57%	43%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかと、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	遊びに支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムラさまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が作成時期の下で、こどもの最善の方法を考慮した物が打ではいている。	100%	0%	お子さまその最善の作成を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に作成時期ができる様、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	71%	29%	アセスメントツールを平均に近しと適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則放等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び具体的取り組み方などが、こどもの年齢に応じ偏りなく示されているか。また、それぞれの支援内容の関連付けが示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	支援が必要な場合、内容を増進して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必ず職員間で会打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	86%	14%	活動開始や振りることが多い為、突発職員等やムに複数共有出来るよう、記録やご連による口コミケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	必ずではないが気付いたことは話をしている
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な期間し生行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	毎回固定化がないので、買い時や製品など活動にいれていく。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども の状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	下校時間表の共有をしてもらっている。
	29	相手校に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	57%	43%	必要に応じて情報共有を行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	71%	29%	また、学校を卒業した子がいないため、今後そうしていく
	31	地域の児童発達支援センターの due 置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言での研修を受ける機会を設けている。	43%	57%	有識研修を受ける機会がないので、職会があったら機都的に参加を行う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	14%	86%	平等、交流の機会を設ける必要がある。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	43%	57%	機会が当れば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を伸握をし伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解の強てまように努めております。
	35	家族の日当たの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っているか。	43%	57%	こちらでの日当方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	86%	14%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な情報と支援を行っているか。	100%	0%	ご保護と応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14%	86%	保護者同士の交流がないのでお悩に応じて交流会の開設を行う。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども や保護者に周知し、苦情が申し立て場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するメ共に、各事業所にご相談してから代理は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等や情報をこども や保護者に対して発信している。	43%	57%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	14%	86%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支え確認しているか。	100%	0%	お子さまの支応について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	86%	14%	保護者からの情報しかないので、必要に応じて医師からの指示書の提示をしてもらう必要がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたや十分な対応が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか。	86%	14%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事例でヒヤリハットを確認共有しております。また、治療施常の管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も を保護や身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・治代管理 ―時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド164太田店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に対して適切である。	100%	0%	レイアウト変更などにも適宜パートさんなどさまを確保している
	2	利用者同士どもたちが安心して、集団の変質物は適切である。	86%	14%	教育や資育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され、活用しなっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切なされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかがな話しあいを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	71%	29%	クールダウンできる部屋がない。 クールダウンに使うにも事務所機能はなく、工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	86%	14%	非常勤の方の意見をもっと聞いとげられるような体制を築きたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	86%	14%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月末、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	71%	29%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内研修を開催する機会が確保されている。	86%	14%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上にも力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	本職種にて閲覧もしくは作成するシステムをも？
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントについては共有項目の機会がある
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども担当制に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	事務所下の話し合いにて意見交換をおこなう機会がある
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	71%	29%	職員共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	86%	14%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それこそ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71%	29%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	86%	14%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には体験利用や必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や活動計画について確認し、チームで連携して支援を行っている。	86%	14%	活動開始が偏ることがめる為、常勤職員等々様に情報共有出来るよう、記録やご連絡によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	活動開始も同様に再掲することがめる為、同様に常勤職員等々様に情報共有出来るよう、記録やご連絡によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に日々の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	86%	14%	必要に応じて連携強化しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めているか。	86%	14%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその直営を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける場合を想定しているか。	86%	14%	問題が多い方際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	71%	29%	場合が良ければ参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	57%	43%	場合が良ければ参加していきたいと思います。
	34	日常のこどもの示す支援を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	86%	14%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の時間方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っているか。	86%	14%	こちらでの時間方法提供を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	86%	14%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるための支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	71%	29%	新型者会は開けていないため、今後検討が必要
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みの際に参加できるように努めているか。	100%	0%	事業案等の改善要望を設定するよう声に、各事業所にて相談してやいた際は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文書を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	86%	14%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	86%	14%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々外問し、再発防止に向けた対策について検討を行っているか。	86%	14%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保するため、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド165新浦安店 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に対して適切である。	100%	0%	パソコン室、学習室、運動場とそれぞれを光分に活かした活動ができる
	2	利用者同士どもの分け担当に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	事故が起きやすい部屋や活動に着目が多る部屋に職員の配置を増やしている 事故時の方々が置いて動くなられていない場合があるかという予防で、設置することがあると思います。
	3	生活空間は、どどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	文が子文を書いたり、どどもが距離するとまは声掛けをしたりしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、どども自立活動に合わ ずた空間になっている。	100%	0%	毎日の掃除、ウェットティッシュなどすぐ取り出せる場所に置いている
	5	必要に応じて、どどもが個別の感覚や場所を調理することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	86%	14%	ミーティング、レクや活力や会議の主要内容の情報がなかなりことがあるため、改善が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	ミーティングがないのであまり意見箱のは主有ないため、改善が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほかと、研修動画や相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	アルバイトにも周知していけるような工夫が必要
	12	個々のどどもに対してアセスメントを適切に行い、どどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、どどもの主担に関わる職員が共通理解の下で、どどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまその最善の利益を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	どどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達デイサービス計画には、発達段階ごとのサービスガイドラインの「総則発達デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、どどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	どどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方やや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童発達支援ガイドラインに基づき、５領域の視点をバランスよく考慮した適切な支援を提供しているか。	86%	14%	活動時間が異なることがあり為、参観機会等々様々に情報共有出来るよう、記録やご連絡などコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童発達支援ガイドラインに基づき、５領域の視点をバランスよく考慮した適切な支援を提供しているか。	71%	29%	活動時間も同様に異なることがあり為、同様に参観機会等々様々に情報共有出来るよう、記録やご連絡などコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別ミーティングで記録を参考にお子様の目標を考えております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、児童発達デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	児童発達デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を偏在無く組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	どどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのどどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、どどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相当する者している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの役割を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が生じた際には障害支援を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のどどもと活動する機会がある。	71%	29%	機会があればぜひしていきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	86%	14%	機会があればぜひしていきたいと思います。
	34	日常からどどもの状況を保護者と伝え合い、どどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の75％以上の参加を目ざおり、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	86%	14%	こちらでの75％方法等を「本日の様子」として日々発信強化し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達デイサービス計画を作成する際には、どどもや家族の意思の尊重、どどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、どどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っている。また、さょうだい同士や交流する機会を設ける等の支援をしている。	71%	29%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	どどもや保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、どどもや保護者に周知し、合意や多った場合には、その理由を説明する際に説明を行っている。	100%	0%	事業案等の合意書の1を設定するよう声に、合意案例にの相談しづらい内容は、前向受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともに、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をどどもや保護者に対して発信している。	86%	14%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるどども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	71%	29%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	86%	14%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	86%	14%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開設に、保護や予防接種、てんかん発作等のどどもの充当を確認している。	86%	14%	お子さまの方法について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるどどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	どどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告内々共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	事例を付箋に書き、カライトボードに貼り つけることで情報共有が出来ている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、どどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自閉症等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性 ・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド166都山静西店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	トクカレはお昼ないと思う。それでもうに個別でのカレンダーがあったらどうだろう。 along is also good. 利用児童数は適切であると思います。 パーテーションなどを活用している
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	50%	50%	資格や経験のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	絵カード、スケジュールを活用している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいまも話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動を調整することが図られる環境になっている。	75%	25%	感覚を適宜活用している スペースを広くもちたい為の工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	63%	38%	PDCAサイクルが全く取り入れられていないと思える為、改善が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	個のむむずかであるため、改善が必要
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	個のむむずかであるため、改善は必要 スタッフミーティングなどを実施しているが、その回数が少ない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で話題を開催する機会が確保されている。	88%	13%	もっと機会があってもいいと思う
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の為、スタッフで事前内容の確認、協議し毎日ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価子ディービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムクさまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	自己評価子ディービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども担当制に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	88%	13%	お子さまその都度の作編を考慮し検討の上、参管数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自己評価子ディービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	75%	25%	アセスメントツールを平面に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	自己評価子ディービス計画には、自己評価子ディービスガイドライン の「総評自己ディービスの標準モデル水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方向性等が盛み込まれているが、こどもの本質に必要な項目が漏れて記載され、そのこと が、具体的な支援内容の特定できていない。	88%	13%	それぞれのお子さまに合った支援等はさまざまなやな、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	個別支援しやすい環境先がある
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	固定化された スタッフ以外にも個別支援を出来る環境作りが必要
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自己評価子ディービス計画を作成し、支援が行われている。	88%	13%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を作り、その 日の 目的 や 内容 や 役割 分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	63%	38%	活動開始が偏ることがめる為、常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず 自己 や 日々の 振り返りを行い、その 日の 行われた支援の 内容 や 結果 について、気付いた点等を共有している。	75%	25%	業務開始＆終業に際なることが多い為、終業に常勤職員等々から複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	75%	25%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別ミーティングで記録を参考にお伝え出来る様にしております。
	23	活動内容やモニタリングを行い、児童発達支援センターの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	児童発達支援ガイドラインの「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っている。	88%	13%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	88%	13%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己評価子ディービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの 資源を活用し、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	50%	50%	問題が ある 方面には 障害支援を行います。研修の 講会が 良ければ 積極的に 参加させていただきます。
	32	自己評価子ども クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	13%	88%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	63%	38%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの 示す 変化や 課題 を 把 え 合い、こどもの 発達の 状況や 課題について 共通理解を 持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子を お伝えさせていただいたり、電子記録を 提示させていただく等して 共通理解が 持てるように 努めております。
	35	家族の 約5 割 の 以上 を 目 め 合わり、家族に対して 家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	63%	38%	こちらでの 約5 割 方法 法律を 「本日の様子」として 日々 情報 発信し、ご家庭での 支援に ご活用いただけるよう 努めて お伝えしていきたいと 思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に 説明させていただき、また、ご不明点に 関しては 随時ご 説明させていただいております。
	37	自己評価子ディービス計画を作成する際には、こども や 家族 の 意思 の 尊重、こどもの 最善の 利益の 優先 考慮 の 観点 を 踏まえて、こども や 家族 の 意向 を 確認する 機会を 設けている。	100%	0%	ご契約の際に 説明させていただき、また、ご不明点に 関しては 随時ご 説明させていただいております。
	38	「自己評価子ディービス計画」を示し なが ら 支援 内容 の 説明 を 行い、保護者から 自己評価子ディービス計画 の 同意 を 得ている。	100%	0%	ご契約の際に 説明させていただき、また、ご不明点に 関しては 随時ご 説明させていただいております。
	39	家族 等 から の 子育て の 悩み 等 に 対する 相談 に 適切 に 応じ、 面談 や 必要 な 助言 と 支援 を 行っている。	100%	0%	ご希望に応じて 適宜、ご相談に 応じております。
	40	父母 の 会 の 活動 を 支援 する こと や、保護者 会 等 を 開催 する 等 により、保護者 同士 や 関係 する 団体 と の 連絡 や 調整 、 その 他 の 支援 を している。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や 保護者 から の 苦情 について、 苦情 の 内容 を 整理 する とともに、 こども や 保護者 に 周知し、 苦情 や 申し 入れ 先 に 対応 している。	100%	0%	事業開始 の 苦情 受付 を 設定 する と 共に、 各 事業 所 に て 相談 して もら 内容 は、 紙 の 受付 管理 に て 相談 できる よう に 整え ており、 文 や 写真 い た 際 に は 迅速 に 対応 しております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HP やSNS等を活用することにより、活動結果や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して 発信している。	63%	38%	月ごとに 活動予定を 発信し、また、毎日 ブログを 作成し、活動の様子を ご確認いただける 取り組みを 行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に 誓約書にて 確認し、個人情報の保護や 漏洩防止に 力を 入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切 な 連絡や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑に お伝え お伝えるように 努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	88%	13%	必要に応じて 随時 を 行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に 訓練、教育 その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に 加え、業務継続計画（BCP）の策定を 検討いたします。
	48	開始に、保護や 予防接種、てんかん発作 等のこどもの 状況を確認している。	88%	13%	お子さまの 状況について 従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	88%	13%	一覧表を 作成し 職員が一目で分かるような 工夫を もしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	88%	13%	定期的に 行って おります。
	51	こどもの安全確保に関して、新事業 の 避難 の 図られるよう、安全計画に基づく 取組内容について、関係者へ 周知 している。	75%	25%	必要に応じて 随時 を 行って おります。
	52	ヒヤリハットや事業所内で 共有 化し、再発防止に向けた 策について検討をしている。	75%	25%	事例置 ではありませんが、 些細なことでも 記入 もし、事業所で ヒヤリハットを 認定 共有 しております。また、 治療 施策 や 管理者とも 共有する 体制を 整えております。
	53	虐待を 防止 するため、職員の 研修 機会を 確保する等、適切な 対応をしている。	75%	25%	虐待防止 委員会を 設置 するとともに、定期的な 全体研修を 行 い、虐待防止に 努めて おります。
	54	どのような場合に やむを得ず 身体 的 拘束 を 行うかについて、組織的に 決定し、こども や保護者に 事前に十分に 説明し了解を 得た上で、自己評価子ディービス計画に 記載 している。	88%	13%	記述例 - 自代管理 - 一時性 を 満たしている場合と、 身体 拘束 を 行った 場合は 法記録 を 行って おります。また、 計画書にも 反映 しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド167前橋青葉店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	88%	13%	学習室とプレールームを分けて環境設定できるため学年毎の発達を支援する事ができている。 「入れ利用者が一名増加職員体制も合わせると フロアごとの比較的集団発達を支援する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	職員同士、声を掛け合って対応できる職員数で配置されている様う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	個別に対応した説明も用意したり、視覚的はしやすいように整理したりできている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	余の望ましやすいところや個を図に応をつけて清掃を行い、清掃を努えている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や臨時を調理することが困められる環境になっている。	100%	0%	子供の状態に合わせて職員が配慮に、対応するようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	振り返りの会を行い、反びついた点や改善点は共通理解できるような場をきるようにしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	会話例やアセスメントの機会に保護者の意見を受ける。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	定期の会議について意見を出し合える場を設けた り、何気ない日常の中でも思い を伝え合いながら業務改善に努めている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	88%	13%	他の事業所の職員とも交流をしながら自他の目に気がついたり、アドバイスを参考にしたりしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を計画する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	資料研究をしたり、発達支援の研修組織を用て学んだことを伝え合い、更に振り下げていける機会を作っている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	児童によって必要な支援をみんなで意見を出し合い、まとめたものを回覧してもう一度、共通理解を深められるよう工夫している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己肯定感アイサービス計画を作成している。	100%	0%	観察を重ねつつ、何が今1番必要かということを職員間でも話し合い、適切な計画が作成されている。
	13	自己肯定感アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員との共通理解が下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	色々な角度から子供の姿を捉え、児童に関わる職員の意見にも耳を傾けて、共に考えられた計画が作成されていると思う。
	14	自己肯定感アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	いつでも閲覧できる場所と環境が造り、大切なことはすべて記入られた記録で確認し合えているので、みんなで同じ方向を向いて支援できていると思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメント や、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	子供の行動傾向を共に記録し記録に活用をしている。
	16	自己肯定感アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「総則基盤デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや保護に必要な項目が盛り込まれ、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれの項目に沿って支援を利用しました 。ふさわしいものが協定できていると思う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	事前や子供たちに体験させたいことなど事先出し合い、立案する場を作っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	多くの楽しい体験を通して、子供の色々な一面を引き出していきたいと考えている点で、物質も活用しながら工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援提供等アセサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	個性を大切にしながらも協調との関わりの中でも成長できる場面を手っていけるよう、バランスを考えながら作成し、支援している。
	20	支援開始前には 複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	日々、子供の成長に変化があるので、昨日を振まえて今日はという場合柔軟ができるよう毎日、共有する場を大切にしている。
	21	支援終了後には、複数関 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	エピソードを交えながら子供の様子を振り返り、支援が適切であった、他にできることが見つかったという話し合いをするよう努めている。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	集づきを職員間で共有できるよう、振り返れるようマわ必ず、とるようにしている。
	23	活動内容やモニタリングを行い、自己肯定感アイサービス計画の作成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	職員の思い込みだけではなく、今の各子の姿や姿を客観的に見つめ、指導せるようにしている。
	24	自己肯定感アイサービスガイドライン の「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	活動に偏りが出ないよう配慮している。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	職員の主体つけではなく、子供自身の思いも聞きながら、意見を提案し一緒に考え、振例の仁は子供自身が決めるようしていっている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を正く理解した者が参画している。	100%	0%	他の職員からも子供の姿や意味いたり客観に入って捉えや支援でき、支援した上で参画できている。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	88%	13%	レクリエーションを計画すると、そういう場に船れられる機会を設けるようにしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）や連携、こどもの下校時の対応等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	放課や放当会議の時に情報を共有したり様子を伝えたりしている。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	88%	13%	安になる点が生き時は尋ねるようにしている。
	30	学校を卒業し、自己肯定感アイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切する等している。	88%	13%	今後、そういったケースの生じ方と時は問応していきたいと考えている。
	31	地域の児童発達支援センターの due to 的な役割を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や助言を受ける場合を想定している。	88%	13%	受けてを大切にし、確認できる環境を整えたいと考えている。
	32	自己肯定感クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	63%	38%	レクリエーションで交流できる場を検討して関わりを持つ場合を作っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	63%	38%	場合が良ければ参加したいと思っている。
	34	日常のこどもの示す生や課題を と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	自己時や お迎いで きる機会に良いはの役割としているとを互いに伝え合えるよう努めている。
	35	家族の 8割 の以上を目る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や領域提供等を行っているか。	75%	25%	家族、保護者も含めての支援はとても大切なと思うので情報を得て学んでいる。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ゆっくりやすい言葉で大切な事を出さし、質問に答えるようしている。
	37	自己肯定感アイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	意向を十分理解し、受け止めて いけるよう努めている。
	38	「自己肯定感アイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己肯定感アイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	可能な して理解を得られるように、ゆっくりやすい言葉で丁寧に説明している。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	不安が少しでも解消されるよう、例現を行うの含含うようにしている。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	90%	50%	場合が良ければ行ってわない。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や多った場合には、その理由や説明を行っている。	100%	0%	説明した上で、保護者が同に対して声に答えているかしっかり点を聞くようにしている。また対応も迅速にされるよう努めている。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	活動に期待が持てるようお知らせを発行している。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	書類の管理に配慮し、情報もお渡なこと のこその感覚、把握するようにしている。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	字が小さい方 目前に配慮している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	63%	38%	機会が あれば行ってわない。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	的確に行動できるようマニュアルに今月知できる場を作り、訓練を行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に 訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	策定した上で訓練や振り返りを行い、備えている。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さんの状況を共有し、対応した上で関わるよう徹底している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	おやつや食事を摂る時のお子さんの配置に配慮し、十分、注意をはらっている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	利用児童が持てるようなれ合われ、話し合いも行なっている。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく具体内容について、関係等へ周知している か 。	100%	0%	文書でお知らせしてあり、説明、内容についても伝達してある。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析も、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	危険を予知に、そういう場面についても話し合い、対応についても職員間で考えるようにしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待について学ぶ場を大切にし、不適切な対応が起こらないよう声を掛け合っている。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己肯定感アイサービス計画に記載している か。	100%	0%	的確な言葉で表記してある。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド168南船橋店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当院に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童や子どもの状態等に対して、職員の変置数は適切である。	75%	25%	児発放デイ共同にして全スタッフが全体を見れるようにしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団の活動に合わせた空間になっている。	88%	13%	事務作業を増やしており、職員の配置転換等も状況により柔軟な変更に対応できている。 椅子が高く安全に使いづらくなった点は今後の課題
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	100%	0%	療養空間の部屋が別れている。 個別療育の部屋では必要ないよって遊べるお絵描きができる様に整理して絵材が置いてある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	50%	50%	計画設定や実施はしているが、その後の振り返り や改善がありますていないから改善は必要
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	88%	13%	日々のミーティングや、共有、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	63%	38%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフ全員参加で内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達デイサービス計画を作成しているか。	88%	13%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムードの把握などを行い、計画書を作成出来るように努めております。
	13	児童発達デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主担に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	13%	様々さまざまの観察の利益を考慮し検討の上、参管勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	75%	25%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握しているか。	75%	25%	アセスメントツールを平均に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が選択と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されているか。	75%	25%	それぞれのお子さまに合った支援等さまざまな中で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	基盤スタッフで考えて実践し、その後の改善などを話し合って修正まで常時でいるから出来ていると思う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を増進して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には必ず職員間で会 行う会を行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	63%	38%	支援開始前が偏ることがめる為、常勤職員等中心に情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めてあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ずミ ーティングを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	振り返りが様子に欠いてしまうことが多々あるからの共有は必要
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するよう努めてあります。また、モニタリングや個別ポイントやケア記録を毎年度に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達デイサービス計画の妥当性の お適性を判断し、適切な見直しを行っているか。	88%	13%	おすさまその状況や必要性に応じて適切な見直しを行ってあります。
	24	児童発達デイサービスガイドライン の「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	75%	25%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	88%	13%	名札や写真を用いて選びたい名ちゃを選択したりしているが、まだ不十分さがある
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	88%	13%	おすさまその状況をより理解している機関が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っているか。	88%	13%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼学校に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めているか。	75%	25%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等しているか。	63%	38%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターその療育を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定しているか。	63%	38%	問題が多い入園には障害支援を行います。研修の場合が多くは参加者に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常のこどもの示支を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	88%	13%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めてあります。
	35	家族の付加力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や領域提供等を行っているか。	38%	63%	こちらでの付加方法提供を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けているか。	88%	13%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児童発達デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	個別に保護者からのご相談・問い合わせに、電話等で時間を取って対応している。
	40	父母の会の活動を支援するこ とや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や速やかに見直しを行っているか。	100%	0%	事業開始の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから対応は、紙の受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこ とや、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	90%	90%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策等訓練を行っているか。	63%	38%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のこどもの支援を確認しているか。	88%	13%	おすさまその支援について事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	88%	13%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知しているか 。	63%	38%	必要に応じて随時を行ってあります。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	63%	38%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めてあります。
	54	どのような場合に今セを身で身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達デイサービス計画に記載しているか。	88%	13%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド169榴山店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適正である。	71%	29%	定期ならなべく広く使えるように、定期的に療育個人をしている テーブル仲間子の配置を変えたなど。月並的にしております。 ひとカーが見すぎていたい思います。
	2	利用者同士どもの小分類指示に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	自己作かとなるスタッフがいる為、あと１人自由に動けるスタッフがいたら安心して必要条件を作成できる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	71%	29%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自ら活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもいかめる話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉や福祉を提供することが認められる環境になっている。	86%	14%	新型がもう一つ欲しかったが、経理の折い合と工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的な会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表による、自己評価等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月末、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全社研修のほか、研修組織の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフでの事例内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価アイオーエス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やムラさまの参考をお伺い し、計画を作成出来るように努めております。
	13	自己評価アイオーエス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様々さまざまの観察の利益を考慮し検討の上、参考取職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	自己評価アイオーエス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に応じた適応行動の参考として活用しております。
	16	自己評価アイオーエス計画には、自己評価アイオーエスガイドライン（「総合支援アイオーエスの提供マイオ支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方法内容を踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざまながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイオーエス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に組り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を作り、その日行われる支援の内容や目標を個別に説明し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や関与することが多い為、常勤職員等々から複数共有と変える よう、記録やご連絡によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、個別療育での振り返りを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開始も同様に関与することが多い為、同様に常勤職員等々から複数共有と変える よう、記録やご連絡によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	毎期的に分析できるようご家族と意見を交わて記入するように努めております。また、モニタリングの際は月々のアプローチ記録を参考にお伝の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、自己評価アイオーエスの提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやさまその状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	自己評価アイオーエスガイドラインの「よりの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやさまその状況をよく理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	幼子ども共有していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、自己評価アイオーエスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を的確する等している。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	100%	0%	問題が多い方際には障害支援を行います。研修の場合が多ければ参加的に参加させていただきます。
	32	自己評価アイオーエスガイドラインの「保護者への説明等」を理解組み合わせて、保護者に対して、運営方針や支援内容等の説明や、保護者との情報共有を図りながら、信頼関係の構築に努めている。	71%	29%	機会が多ければ参加していきたいと思います。
	33	定期的に、保護者会等へ積極的に参加している。	100%	0%	機会が多ければ参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を伝達連絡し伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が出てきるように努めております。
	35	家族の75%以上の参加を目指し、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	100%	0%	こちらでの75%方法参考 「本日の様子」として日々報告致し、ご家族でのお支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自己評価アイオーエス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自己評価アイオーエス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己評価アイオーエス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこども、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	71%	29%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や良い方策の立案を行う際の工夫を行っているか。	100%	0%	事業開年の合理者行を設定するよう声に、各事業所にて相談しづらい内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、女声を扱い易にお伝達に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよや、HPやSNS等を活用することにより、活動様子や行事予定、連絡事制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育を行の防止策等訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故等再発や共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療指導や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保するため、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止委員会を設置することもに、定期的な安全研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合に今も多様や緊急的事を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価アイオーエス計画に記載しているか。	100%	0%	記述時・当代管理・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド170本庄店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に適当である。	100%	0%	運動部屋、学習部屋、個別部屋など、用途に合わせて使用できるスペースが多り、子ども達が安全に活動できるよう工夫されている。 定期されており広めかセミ前後を行っている
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	88%	13%	職員間で役割分担を行い、レク作成や職員配置を都度し加めする等、子どもへ入りとうの様子を把握できるよう努めている。半面、職員の人数が多く安心してしまうので、安全確認が疎かになる点がある。 定期に 話り打ち合わせ、より職員同士が意見とる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	88%	13%	学習・運動各々が一おもちゃを守備、目的に応じて空間を使い分けている。また、静の配置や集中などについても、こども達が気持よく作業できるよう工夫している。 定期に合わせた「日の流れが視覚で認知されたものになっており、時刻にしても良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	88%	13%	日々の清掃や衛生管理等を行い、環境を整えている。 おもちゃや作り本場所活動を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を活用することが認められる環境になっている。	100%	0%	個別部屋があり、体調や自己ペースで子どもの状態や気持ちに応じて、静かな場所で過ごすことが出来る。また、集団では参加に案内しにくい子ども の個別学習として使える等、環境が整っている。 不得意な集中できない子達への配慮を行っている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	日々の支援や活動について、職員間で子ども個別課題や課題を共有し、振り返りや提案をはじ自ら時間を設けている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	管理者より、保護者とのモニタリングでの時期内容や意望などお感覚、しみやすく様々に聞き方を含め、把握できるようにして頂いている。 各サビ一個別にファイルの管理を行っている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや職員間の意識共有などを通じて、気づいた事や意見を共有できるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	88%	13%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	月一部分研修や、外部研修など、必要な知識や技術を学ぶ機会がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで事前内容の確認、指導し を行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立課題やアイサービス計画を作成している。	100%	0%	管理者（児童発達支援管理責任者）により、保護者と定期的にモニタリングを行い、保護者の意望を踏まえて子ども の課題を分析、計画を立てていただいている。
	13	自立支援サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主担に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	定期型以外の緊急からも、子ども一人ひとりの成長の様子や課題について、意見や情報を共有していただいている。
	14	自立支援サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援の方向性を職員間で共有し、日々の支援に反映できるよう話り返へている。半面、より支援の必要な子ども に対応を厚く支援の充実が必要。子供に一人ひとりの子どもの療育ができていないため改善が必要。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを平均に沿りた適応行動の参考として活用しております。
	16	自立支援サービス計画には、自立支援サービスガイドライン の「総合支援サービスの提供すべき水準」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な内容が盛り込まれており、それぞれ支援内容の特定を行っている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をさまざなかな、準計しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	レクなどの活動については、職員の意を取り入れながら作成いただいている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	運動、製作、集団ゲーム、季節の行事、外出など、様々な活動を取り入れている。半面、よりデどもの支援、療育につながるような活動になるよう、職員の意識や技術が必要と思う。そのための研修などがあるとありがたいです。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援提供等アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には個別支援計画を行い、その日行われる支援の内容や目標や技術について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	開始前に、昨日のデどもの様々の様子やレクの振り返りを行い、本日お預かりするこども達個別支援内容を共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	終了後ではなく、翌日の開始前に時間を取り、共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	徹底されており、子どもと関わりながら支援を行っているとあり、支援の検証、改善までは、時間が取れていない。
	23	活動内にモニタリングを行い、自己評価やアイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまさの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	自己評価やアイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を理解頂いた上で、クリエーションを設定しております。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	安全第一で、できる範囲で子ども自身が選択できる場面を設けている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやまさの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	88%	13%	参加する児童発達支援事業と小学校両方を情報交換に行なっております。
	30	学校を卒業し、自立独等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等している。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	31	地域の児童発達支援センターの due置を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けている。	88%	13%	問題が ある 上限には障害支援を行います。研修の募集が多くは参加者に参加させていただきます。
	32	自立支援クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	75%	25%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	75%	25%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際に おやまさの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めてあります。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や環境提供等を行っている。	88%	13%	こちらでの付添方法等を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	自立支援サービス計画を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「自立支援サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立支援サービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいてあります。
	41	こどもや保護者からの意見について、対応の経緯を整理するとともに、こどもや保護者に周知し、改善や新たな取り組みに反映させている。	100%	0%	事業開始の意義受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してから内容は、新光受付窓口にて相談できるように努えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動結果や行事予定、感染条制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	88%	13%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に 訓練、教育その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作型のどもの状況を確認しているか。	100%	0%	おやまさの状況について必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急時との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故原因や分析し、再発防止に向けた策について検討をしているか。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、治療施策や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自己評価やアイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性 ・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド171新潟大野町 (放デイ)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの面積に対して適切である。	100%	0%	利用者の人数が多い時はグループを分け、余裕のあるスペースで活動をするようにしている。 狭くは無いが、ピックリというと圧迫。利用人数に合わせてテーブルを移す、物品も増えてくると場所が狭くなる懸念。また、利用児の特性に合わせて適好できるスペースがもう一つあると嬉しい。
	2	利用定員や こどもの特性等に対して、職員の配置数は適切である。	25%	75%	利用者の特性によって必要性での対応が望ましい場面があり、職員の配分等をもとより注いとも支援ができると言う 判断もプラすなどの対策が出ているが少ない、と感じ、認定になるケやがないと感じる対応ている。現場や面接体験がでたら対応検討必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され た環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	配慮もちろんあるが、問題児を広た際のリスクバリーや調整が都度必ず行たている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっている。また、こども自ら活動に合わ せた空間となっている。	100%	0%	清掃の時間以外にも、適宜清掃を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や順序を 調整することが図られる環境になっている。	100%	0%	いつでも認証を使用できるよう、認定の期間を整えている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	個別で話し合いをしている 各々の課題がも、業務の改善定とおけて発生よく聞かれている。業務改善を月例に行う為が最低限は月間確定に感じている。個人的には、風通しを良くしている事がとても良いと感じる。もっと目標設定を拡大へ入々で全部なし内省していくよより、活用も期待となりそう。
	7	保護者や外部評価により、自己評価等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	業務を明有すると、保護者との連携は密にとっていると感じる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	個別で話し合いをしている 各々な課題は出ているが、職員それぞれで情報交に意見や提案が周りはっていると言う、業務への改正利は低いへんな印象。やるとはやるし、やらない人はやらないだろうなと言うような感じ。いい意味で一般スタッフを量の意義、ただ、自定期の スタッフを加ていたら良いと意見の明が出ていている事ができる為、特別に時間を設けるの変がないのかなと感じている。人員不足もあり、おそらんのパフォーマンスが増えも無、自律促定不良へ特にこどのような意識の起このがいてでも良いも。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	75%	25%	個別で話し合いをしている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や 仕入内容や話題を関連する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上にと力を入れております。
適切な支援の提供	11	遊びに支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	内容や頻度を見れればもっとできそうな事はある、ただ、個別性の高いプログラムで実施していると感じる、今後の課題は、それを保護者へ広えれていない事、もっと、自分たちで型り組んでいる物をアピールして、保護者を組織的にしていきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自己評価やアイデアに対応を作成している。	100%	0%	同上、ニーズを明確にしながら、適宜客観的共有を機能的に図っている、課題評は、時期計下書いた内容でもあるが、どこまで内になっている、対策者に向けて、客観性の内容や個別目標く行っている事を出さされていない、その為、エーティンのようになっていまう。もっとやっている事を個別性高め保護者へ広えて行き経験的に重いて頂えるように追めていくことでより良い事前になると考える、個人としては成長時に、で全る限り保護者へ今日の事を明確に伝えていく事で通ばして行けたいと考えている。
	13	自己評価やアイデアに対応を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主観に関わる職員が作成時や作成時終了below、こどもの最適の方法を考慮した体制が行われている。	100%	0%	必ず各役が集り、みんなで意見を出し合う場が設定されている。
	14	自己評価やアイデアに対応や職員同に共有され、目標に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	必ず各役が集り、みんなで意見を出し合う場が設定されている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	必ず各役が集り、みんなで意見を出し合う場が設定されている。
	16	自己評価やアイデアに対応には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき本質」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び各項内容を踏まえた上で、こどもの本質に必要な内容が盛り込まれ、それこそ、具体的な支援内容が明文化されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援等はまだなかな、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう協定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には 複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開間が異なることがある為、常勤職員等々全に複数共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、複数関 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動開間も同様に異なることがある為、同様に常勤職員等々全に情報共有出来るよう、記録やご連による コミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個は計々のアプ記録を基々に次の目標を考えております。
	23	活動内容にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の作成しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な間隔し を行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドライン の「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している機員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、福祉協議会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	75%	25%	やや課題、各々が協定しているが薄が多る、もっとチーム的に発言出入や情報共有をしていかなければ、子供が混乱しそう。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申請管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	相手別に判断していた保育や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で領域共有と理解に努めている。	75%	25%	もっと頻回かつ簡単にやっていきたい、環境、設備が少なく、思想の思い得になっている為、子どもの心に対応を促進するにも大切かつになりながら。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を的確する等している。	100%	0%	もっと頻回かつ簡単にやっていきたい、環境、設備が少なく、思想の思い得になっている為、子どもの心に対応を促進するにも大切かつになりながら。
	31	地域の児童発達支援センターの療育を通り、必要等に応じてスーパーバイズの観察での研修を受ける場合を想定している。	25%	75%	同態が当た際には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	100%	0%	場合が良ければ参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	25%	75%	場合が良ければ参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生体調者に伝えたい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただくなど等して工連携関が出てきるように努めております。
	35	家族の75%以上の向上を図る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や情報提供等を行っている。	50%	50%	こちらでの75%方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この場合に関しては説明ご連絡させていただいております。
	37	自己評価やアイデアに対応を作成する際には、こどもや家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この場合に関しては説明ご連絡させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、この場合に関しては説明ご連絡させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ネガティブな保護者は自身の子供に対しても、かなりネガティブな印象を持って話すことが多い、もっと全体的に、できているところに目を向けて頂えるような支援ら必要だと考える。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や良い方策の見直しを図っている。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよ声に、各事業所にて相談してやい方法は、前向受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染条制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止にた入力しております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、防身対応マニュアル、自宅マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について従事者に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新規等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知しているか 。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析を し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、治療管理や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	感染防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、感染防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・治代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド172守谷店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	中高校生が増えてきたが、以前よう空間の狭さを感じます。また形態が上がるにつれ荷物も増えているので、物置のような大ベースがあるとよても有り難いです。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	80%	20%	加配エリア内で必ず手こもの状況に変化等があった際、外有や緊急やすでいている環境ひと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども自立活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定など適切にしているかまた話しい合を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や運動を調整することが図られる環境になっている。	100%	0%	クローゼットや物置のスペースがないため、備品が十分に確保できません。もういっとスペースを設けて頂けたら、大変有り難いです。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	私自身が上手くPDCAを活用できていないため、オリジナルな形でも改善したいと思います。 毎朝ミーティングやセミラリング時に子ども作業報告を共有している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、月末、半期、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほか、研修範囲や相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の際、スタッフで事務内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺い、計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主観に関わる職員が内容説明の下で、こどもの意思の determination を考慮した検討が行われている。	80%	20%	作成時に他の職員の声を聞けるようにしたい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	大きな内容論は出ているが生活計画は見ていないため、計画を見るようにしていきたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを半期に沿った適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや家族に必要な項目が網羅と設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	下校ている点ひとない日があるため、工夫が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	その日ではなく翌日に行っている
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と感覚を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個別と分けのケア記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の提案しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまさまの状況や必要性に応じて適切な指導し を行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おやまさまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の申し送り等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	80%	20%	必要に応じて連絡調整しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	80%	20%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を相談する等している。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due diligence 的な役割を担う、必要等に応じてスーパーバイズの観点で研修を受ける場合を想定している。	60%	40%	問題が生じた際には障害支援を行います。研修の講会が多くは参加的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	20%	80%	トラブルとなる可能性があり、交流は控えています。それぞれからECHO大阪ボエリア内のみデイ、児童発達支援での交流する機会は設けています。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	40%	60%	機会が合れば参加したい
	34	日常のこどもの示す支援像を共有しながら、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	個人課題として、さらに理解を深めてお伝えすることができるように、専門性識を養う必要があると感じています。 会話時などに行っている
	35	家族の約5割方の向上を図る割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間の場合や積極参加等を行っている。	40%	60%	こちらでの約5方法提考 「本日の様子」として日々報告強し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向、こどもの客観的な視点や専門的な視点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	家庭に悩みやご相談を受けることは多りますが、当自身が適切にアドバイス等をお伝え出来ているとは言っていないため、今以上に視点を変えた等して前向話しいと思っているのが現状です。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい児に対して交流する機会を設ける等の支援をしている。	40%	60%	家族都合もつの交流はないため、悩み事を相談した保護者からアドバイスを受ける等の機会は作りたいと思っています。 「行動相談」について
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みに反映している。	100%	0%	事業開年の改善受付を設定するよう声に、各事業所にご相談してもらい方法は、前向受付窓口にて相談できるように整えており、丸作を頂いた際には対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HP やSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急時マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	80%	20%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	60%	40%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの状況について必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを認定材料としております。また、加事業所や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することもに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	記述時・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド174新都山静西店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	スペースを有効活用している オーディションの利用、他の支援などの機会などや環境調整をしている。現在もなくしたら、移動量が増しい。 他スペースで療育的考えをうに現場をスムーズになるよう年間様している。
	2	利用定員や こどもの分散等に対して、職員の配置数は適切である。	71%	29%	足りないとまはヘルプを 初ひなどしている。 オリオリの配置でも必要な支援ができるよう、しかなどの活動を工夫している。 定員時や場合が必要でと思うこともある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	86%	14%	そうなるように環境調整を心がけている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども一人ひとりの活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	こまめな掃除や清掃を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を調整することが図られる環境になっている。	71%	29%	刺激がないのでパーティションで仕切ったり、テントの活用を行っている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	86%	14%	定期的な管理者主導や短期会をしている。 今後PDCAサイクルの3ヶ月間等を含めて話し合い・評価の場を定期的に設けていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	保護者様からのご意見があれば職員会議 や内 、対策を行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	常にミーティングをして話をしやすい環境をきっている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	86%	14%	これからの予定。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で話題を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全員に支障がないようにに行っている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	ミーティングをして職員全体の意見を反映している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイサービス計画を作成している。	100%	0%	常に職場をし、アセスメント力の向上をはかっている。
	13	児童発達アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや主組に関わる職員が作成期間内で、こどもの最適の方法を考慮した体制が行われている。	100%	0%	ミーティングを行っている。
	14	児童発達アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	常に情報を共有している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	事式を用い、生かした点を常に書き込めるようにしている。
	16	児童発達アイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもや主組に必要な項目が適切に設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	ガイドラインを常に読み返し、確認している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	86%	14%	支援に支障がないようにミーティングしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	86%	14%	スタッフ全員で内容を検討している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	86%	14%	常に観察し、適切な支援を行っている。
	20	支援開始前には複数関 で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	時間が取れない時もあり、
	21	支援終了後には、職員間 で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	時間外になってしまう時もあり、
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	余裕度社に偏ってしまっているの生徒が必要。
	23	活動内にモニタリングを行い、児童発達アイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	状況によって、半めのモニタリングをおこなってきている。
	24	児童発達アイサービスガイドライン の「よりの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	ガイドラインを常に読み返し、確認しながら支援をおこなっている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするを育てるための支援を行っている。	100%	0%	支援を統括し、自己決定を大切にしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	100%	0%	おそさまの状況をよく理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当限で協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申継管理）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子応に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターその連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	71%	29%	問題が当た際には障害支援を行います。研修の講会が良れば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	57%	43%	まで連携が取れてはいないため、改善が必要。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	57%	43%	今後参加していく。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	面談等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提示させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付添方の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の場合や積極参加等を行っている。	71%	29%	こちらでの付添方法提案を「本日の様子」として日々報告致し、ご家庭でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイサービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最適の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示し ながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で充実する機会を設けるなどの支援をしている。また、さょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	57%	43%	今後ペアレントトレーニングも含めて設定していきたい。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や新たな取り組みに活かしている。	100%	0%	事業開始の合理者行を設定するよう声に、合理事例にご相談してから対応は、新光受付型ごとで相談できるように整えており、丸作を深い面には対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとともより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	100%	0%	blogの活用を行っている
	43	個人情報の取扱いを十分留意している。	100%	0%	徹底は徹底している。
	44	障害のあるこども や保護者への差別の解消や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	71%	29%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	86%	14%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの方に応じについて必要性に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析等し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを認定共有しております。また、放課後児や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイサービス計画に記載している。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド176伊勢崎宮前店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	50%	50%	児童が来る日などやフリーになる子タイなので、児童の人数を減らしたり、事業所のスタッフが入ったりなどしている。 テーブルグリオまたの小型椅子を一部購入をご計い。 １人になれるスペースが欲しいと必要 設定の数、スペースの確保の必要
	2	利用支援や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	50%	50%	職員を増が常に欠員でいる為、ひとよって10職員が足を感じます。 新人職員への教育時間やキャリア必要。 活動時間等の見直機構、記録作業機構が必要
	3	生活空間は、どなたにわかりやすく構造上わかた環境になっている。また、事業所の設備等は、障害や特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	83%	17%	色ないものを購入したりまたり環境に置いたりなどの工夫は主事ている思います。 段差で分かるようにしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	83%	17%	他の方利用によって清潔な環境が整っていると思います。 日特を実現して頂けると幸い、都分あると良い フリースペースが欲しい
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や福祉を提供することが図られる環境になっている。	67%	33%	都度が（空間）かなく、お事務の活動時などは使用できない状態です。 個別の感覚が一つの小で、利用したい時ができなってしまう事がある。もう一部屋あるとも良い 相談室を増やしい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	67%	33%	中間や子どもがいない時間などに会議をしたりしています。 情報共有会議時間等を作っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	83%	17%	管理者が実施しています。 定期的な会議会議の開催をおこなっている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	67%	33%	職員が自主的に発言しなければ行けないので、月に一回はどそのような時間があればいいと思います。 忙しやすい環境作りを心こなっている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	33%	67%	外に一回外部評価を集計できればと思います。 本社専用評価などうもっているのです、そもそもわかりません。 外部の視点をつくる
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	83%	17%	確保されていると思います。 本社などの研修だけでなく、内部への研修も増やした方がいいと思う 定期的に開催されている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	新入るなしている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、自立援助アイサービス計画を作成している。	100%	0%	家族歴を中心にした面接を開催している
	13	自立援助アイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの主観に関わる職員が内容開発の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	応募会議の定期的な開催をしている
	14	自立援助アイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	新規利用開始の面談をおこなっている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	必要性に実施している
	16	自立援助アイサービス計画には、自立援助アイサービスガイドラインの「自立援助アイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が網羅的に設定され、それぞれに具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	新規しの時期の増加が必要
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	83%	17%	全面協力施設間をおこなっている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	職員間の刺激の多いはあるため、工夫が必要
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて自立援助アイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	問題点の共有をおこなっている
	20	支援開始前には個別支援計画を行い、その日行われる支援の内容や目標や技術について確認し、チームで連携して支援を行っている。	50%	50%	立派なり立ちをやあるため、工夫が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	83%	17%	毎日の振り返りを行なっている
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	83%	17%	日々記録を残し、蓄積している
	23	活動内にモニタリングを行い、自立援助アイサービス計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	83%	17%	月数等に住をしまう事が多い
	24	自立援助アイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を理解組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	非言語面を意識している
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	次かつけない、押しつけない
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を正く理解した者が参画している。	100%	0%	積極豊富な参加行く
	27	地域の保健、医療（正当院や協力医療機関等）、福祉施設、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	83%	17%	連携するまでに至っていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の領域）を適切に行っている。	83%	17%	情報共有を行なっている
	29	幼子記に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と電支援等に努めている。	83%	17%	連絡してあたい
	30	学校を卒業し、自立援助アイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を適切する等している。	67%	33%	出先たばかりなので学校卒業する子供がまだいない まだ事業をやいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの観点での研修を受ける機会を設けている。	67%	33%	聞いて行きたい
	32	自立援助ホーム（子育て支援）との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	67%	33%	月刊誌とは行えている
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	参加希望はあるので、行動してあたい
	34	日常からこどもの非言語表現を読み取り、こどもの意思の尊重や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	定期会議等も必ずしている
	35	家族の3分の2以上を超える割合から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時間や機会や情報提供等を行っている。	67%	33%	まだ数名者がいない
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	67%	33%	自宅活動な状態としている
	37	自立援助アイサービス計画を作成する際には、こどもや家族の希望や意向の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	83%	17%	親への、子どもの権利の伝達を行う必要がある
	38	「自立援助ホームサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自立援助アイサービス計画の同意を得ている。	83%	17%	口頭説明を心がけている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	83%	17%	相談を受けていてもその情報や当初の目標が示されていることが多い それはに下も行なっている
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい向上で交流する機会を設ける等の支援をしている。	50%	50%	家族参文会会などは開催されていない 聞いてみたい
	41	こども や保護者からの相談について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者と周知し、合意や決った場合には必要な適切に対応している。	100%	0%	心がけている
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するこよにより、活動様子や行事予定、連絡事制等や情報をこども や保護者に対して発信している。	83%	17%	定期では行っていない
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	厳密している
	44	障害のあるこども や保護者への差別の解消や権利擁護のための配慮をしている。	100%	0%	決めつけないようにしている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	50%	50%	定期では行っていないため、検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	新入るなしている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	新入への伝達の仕方を工夫していく必要がある
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	利用ソフトへの打ち込みによる見える化が必要
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	医師指示リーダーとして伝達している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	83%	17%	外部講師との必要がある
	51	こどもの安全確保に関して、職務等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、職務等へ通知しているか。	83%	17%	新入るなしている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	各自内部指導の会議等行っている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	83%	17%	日々伝達講習を行なっている
	54	どのような場合に今から身ぐ体自由拒を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自立援助アイサービス計画に記載している。	100%	0%	制限しもことはない

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所自身で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド177新中今泉店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	2階フロアの使い方を考える必要がある 2階の利用について、先延ばしにならている。
	2	利用者間でこどもの特性等に対して、場所の変更等は適切である。	40%	60%	人数変更を取り込む施設で正しくない。当日や現場対応のみを用いる非常勤の入室ない。また、サッカて2階があるから使用しないが、スタッフ配置に無理があるため非使用できない 多数をとりるスタッフでやっている。 非常勤スタッフでもいるため、当日やイレギュラである。 スタッフが現場不足→一時的にその場を離れる時は、離れて欠元ありと声かけをしてから離れている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造わかれた環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切なされている。	80%	20%	絶対地として使えるわけヤッ非常業が多い。また、2階があるの危険が多く非常できていない問題を改善出来る未来像が浮かばない。 個の設備で問題なし、ひとりやすく分かるようた工夫している 配分場を整理をしている。 不足やみもちなど、スペース大きがでている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども場合活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日清掃当番を決め、残りまかで清掃を行っている 場所国で掃除道具のスタッフを決めているため、今日は誰が掃除するのかわかりやすい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を調理することが認められる環境になっている。	80%	20%	感覚でクーリングタイムを作りたい児童が増えて、フロアのスタッフ配置の関係で対応できないことがある。 おもちゃ環境などをクールダウンの環境として使える環境にある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	40%	60%	上下の内容をまとめ広に振り返りを行うなど、より良い支援にしていくのにはどうすればよいかを話し合い改善しようと努めている
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	80%	20%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングや、共有、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スタッフで事前内容の確認、指導し合行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお聞いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	定期型ケアミーティング会に関しておきたいことを他の職員にも伝えている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	80%	20%	アセスメントツールを平均に沿うた適応行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則本型デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び主な提内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それこと、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	支援が必要な場合、内容を相談して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	活動開始や振りることが多い為、常勤職員等中心に複数共有出来るよう、記録や口頭による丁ニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	80%	20%	当日の午前中に行なっていることもある。
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるような事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや個々計々のケア記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	活動内にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の提供しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おやまその状況や必要性に応じて適切な指導し当たっております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	80%	20%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	80%	20%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	80%	20%	参画が全て出欠取れていない部分があるので、相談支援事業所と協携を図っていきたい
	27	地域の保健、医療（正当医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）の交換、こどもの下校時の申し送り、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	29	幼子記に判断していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	60%	40%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 責を担う、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける場合を想定している。	40%	60%	問題が当ち上際には障害交換を行います。研修の講会が多くは定職員のに参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中のこどもと活動する機会がある。	40%	60%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	40%	60%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の付ひろの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる特徴の機会や情報提供等を行っている。	40%	60%	こちらでの付ひろ方法等を「本日の様子」として日々発信致し、ご家庭でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しても説明ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こども や家族の希望や意向の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しても説明ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しても説明ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援を行っている。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの意見について、対応の経過を整理するとともに、こども や保護者に周知し、合理や良い方策のご提供に対応している。	100%	0%	事業開年の合理管行を設定するよう声に、合理事例にご相談してから対応し、お声を頂いた際には必ず対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよや、HPやSNS等を活用することにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	40%	60%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いを十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者との適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いれます。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの支え確認している。	100%	0%	お子さまの支応については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故報告や分析し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、加事業所や管理者とも共有する体制を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も身ぎ体合拒否行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	拒絶時・自代管理 →一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド178市名坂店 (放デイ)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	71%	29%	ちうりん待ち部分をもうちょっとスペースが大きければいいなと思う 天井が高く、圧迫感を感じない事業所のため、利用人数に対して狭さを感じない、ガラス貼りのため、安全面を考える必要があると感じる。
	2	利用定員や子どもの特性等に対して、場所の変更等は適切である。	71%	29%	個別対応と職員が1人入ると現場が見やらくなったり、活動の支配の仕方に活用が難しくなりがちかと 子どもルームの使い方をこうすることがないようにスタッフ間で共有が必要かもしれない。 子どもも変わってくることもないだろうからその時々の子ども同士の関係を考慮等の必要さと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所内設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	14%	86%	同じ会社と運営を共有するの会話間が多く、同じでいる部分高さが足りないため、ボール遊びができない、狭の会社の方から当事業所の主観が入る点。 場の設備と子ども1人1人の特性や発達に合った、特に難しさを抱える際に、とてもよく、 理解がつかないので、子どもたちが落ち着くための空間が難しい、パーテーション1つ付けるなどして空間を分けたりが良いと感じる。 作成する際に空間のため、窓や壁等ガラス代用で難しいかと感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集団活動に合わせた空間となっている。	71%	29%	広々とした環境だったので、安全や戸棚等への配慮の観点から、ボールなどの遊具を使った遊びを制限せざるを得ない点 それに先がついたらことわれに環境もしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を選択することが認められる環境になっている。	43%	57%	個別の認識やクールダウンできるような認識がもう1区画あればいいなと思った 感覚機能や応じ一人で子どもがクールダウンするための認定スペース、安全配慮の観点から利用することが難しいか 利用児を把握して配慮を利用できるが、スタッフの不足やの認識の活動に集中しているので今更ない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	改善策に対してできる範囲、できない範囲の役割が共有されている点
	7	保護者向け評価表による、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	86%	14%	アンケート結果や、面接やコミュニケーションから保護者さまのお声を回収し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	71%	29%	職員間士で話し合える範囲内が狭められていると感じる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	14%	86%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や組織内外の研修を実施する機会が確保されている。	71%	29%	全体研修のほか、研修範囲の相関による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	スケジュールカレンダー作成の活用、スケジュールで事前内容の確認、指導し年行い、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達アイザービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、家庭様さまからのご意見やムラさまの様子をお伺い、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達アイザービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども自主組に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の方法を考慮した検討が行われている。	100%	0%	様々さまざまの観察の作論を考慮し検討の上、参考数職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達アイザービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	86%	14%	アセスメントツールを平均に沿りた適応行動の参考として活用しております。
	16	児童発達アイザービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が記載と設定され、それぞれ、具体的な支援内容が明示されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援ふさえなかな、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	57%	43%	下十分だと感じる為、改善が必要
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	改善が必要な場合、内容を相違して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援効果アイザービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご意図に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には複数関で会ぼ打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	譲手に判断して支援する方がいるから、チームであまり連携はしていない。
	21	支援終了後には、複数関で必ずお打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	86%	14%	いつの間にか振り返りの時間が失われているため、改善が必要
	22	日々の支援に関して記録することを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングや担当者やのケア記録を毎年に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達アイザービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	おすさまや状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	児童発達アイザービスガイドラインの「よりの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている。	71%	29%	ガイドラインの基図立左が難明なのには改善が必要
	25	こどもが自己肯定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	86%	14%	様々なレクリエーションを通して、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	86%	14%	おすさまや状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（正当院や協力医療機関等）、福祉協会、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	71%	29%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の連絡調整）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	29	相手方に判明していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	57%	43%	参加する児童発達支援事業と小学校所有を積極的に行っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を相談する等している。	57%	43%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターの due 置を目的、必要等に応じてスーパーバイズの観点での研修を受ける機会を設けている。	29%	71%	同館が当た際には障害交換を行います。研修の場合が良ければ積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	14%	86%	機会があればが参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	0%	100%	機会があればが参加していきたいと思います。
	34	日常からこどもの非言生保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	86%	14%	連絡が取りにくい保護者へのやりとりと検討が必要
	35	家族の約5万の何上を図る動かから、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる時等の機会や情報提供等を行っている。	43%	57%	こちらでの約5万法提供を「本日の様子」として日々報告強し、ご家庭でのう支援にご活用いただけるよう努めてお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	児童発達アイザービス計画を作成する際には、こども や家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「児童発達アイザービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達アイザービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談やの必要な助言と支援を行っている。	86%	14%	家族全の相談をうかがう機会が少ないよは現行の必要
	40	父母の会の活動を支援するこよう、保護者会等を開催する等により、保護者同士や支援する機会を設けるなどの支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設け各様の支援をしている。	14%	86%	ご意図に応じて、対応させていただいております。
	41	こども や保護者からの苦情について、対応の経緯を整理するとともに、こども や保護者に周知し、改善や良い点を含めた迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	事業開年の苦情受付を設定するよう声に、各事業所にて相談してやい内容は、前向受付窓口にて相談できるように整えており、文声を頂いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するこよう、HPやSNS等を活用するとにより、活動様子や行事予定、感染体制等の情報をこども や保護者に対して発信している。	57%	43%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	44	障害のあるこども や保護者への適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	14%	86%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	緊急計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生と備え、定期的に訓練、教育その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	開始に、保護や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの方法について従事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	86%	14%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、新教育との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係等へ通知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットや事故原因や対処法、再発防止に向けた方策について検討をしている。	100%	0%	事例置ではありませんが、些細なことでも記入なし、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、放課後児や管理者とも対応する技術を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することなど、定期的な会体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合に今も当者が身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達アイザービス計画に記載している。	100%	0%	記述例・当代管理・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合は法記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サカフル宇都宮店

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用支援が無理未着室等のスペースとの関係で適切である。	88%	13%	限られたスペース大やや中、６台好々で工夫している
	2	利用定員やこどもが好感等に対して、職員の配置数が適切である。	88%	13%	児童数に合わせ、スタッフが必ず四名配される人数になっている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の特生伝面等は、障害の特生に応じ、バリアフリーセや情報伝達等、障害上の配慮が適切なされている。	100%	0%	段差をなくすなど工夫のない設備マップがあること 児童の活性、特そすを活用セや活用の把握しやすくなっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集の活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日の清掃、整理整頓、福生数では当確を見ない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の活動や場所を使用することが定められる環境になっている。	100%	0%	無駄な物を置かないように工夫している
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と取り組み）に、広く職員が参画している。	100%	0%	職場以外と話で通りを定期的にしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する場合を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	保護者からの意見や要望が多かった時は管理者から説明を受けている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	スタッフ会議などで共有し、常に改善対策をとっている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	88%	13%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質のUPし向上のために、研修を実施する機会や法人内等の研修を開催する場合が確保されている。	100%	0%	研修は参加している。
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムの作成、公表をしている。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで事業内容の協議、相談しを行ない、公表してあります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、総課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	個々の支援については様子などを共有している。
	13	総課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の支援に関わる職員が共通視点で、こどもや家庭の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	それぞれの個性と良さを生かした支援を行っている。
	14	総課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動や状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを年間に応じた個の行動の参考として活用しております。
	16	総課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	100%	0%	それぞれの点やさまざまに合った支援をさまえながら、検討してあります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないようにされている。	100%	0%	マンネリ化を防ぎ児童が意欲的に参加できるよう試し行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、実施が行われている。	100%	0%	ご家庭に応じて、個別的な内容及びその際の１カ月や年間内容等を計画書に取り入れております。
	20	定期的前後には課題発生が予日分生や内へ、それに応じられる支援の内容や安全分合について確認し、チームで適切して支援を行っている。	100%	0%	個々特有で成長が見通しをもとり　活動介入期間当などが有している
	21	活動終了後には、職員間での打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	週前終期も同様に共有をすることが多い為、時偏に実施職員をやむに時期共有出来るよう、記録や口頭による ことニュケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケアと記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	総課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を意図的組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮したとでトクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫が行われている他、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が学校訪問をするように努めております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、福祉福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	88%	13%	ご家庭において、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の計画、こどもの下校時刻や経路等）、連絡調整（必要時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	75%	25%	就学前は関係はほど利用がない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	88%	13%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要時に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける場合を記録している。	88%	13%	問題が多った際に お関係図書を打います。訪問の場合がされば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中のこどもと交流する機会があるか。	88%	13%	機会が多々お手伝いさいただいと思います。
	33	「自己支援」相談員等へ積極的に参加している。	75%	25%	機会が多々お手伝いさいただいと思います。
	34	日常でのことがの対応を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎時の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子加頭を意思させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や講演等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている。	88%	13%	こちらでの対応方法等を「子育ての様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援につ活かいただけるよう健ドくお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担金について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関していては随時ご説明させていただいております。
	37	総課後等デイサービス提供を体系する際には、こどもや家庭全の意向の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関していては随時ご説明させていただいております。
	38	「総課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、家庭から合意を得て総課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関していては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	公共や会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい向上や交流する機会を設ける等の支援をしている。	38%	63%	ご希望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が あった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定するとあに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように努めており、お声を聞いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に適切事を実行するとともや、HPやSNS等を活用するとことにより、活動概要や行事予定、運営体制等の情報をこどもや家族者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただけるやり取りを行なっております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の厳重な施設点と方七入れております。
	44	障害のあることもや保護者しの意思の適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	よりや伝にお伝えお声をよう努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	88%	13%	必要に応じて随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	88%	13%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	訓練など、緊急や予防避難、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの２次元については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるよう工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な設備を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との関係が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	トやリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例集ではありませんが、危険なことや気付き等し、事業所でヒヤリハットを適宜日共しております。また、他事業所や関係者とも共有する体制を整えております。
	53	避難を想定するため、職員の非常時全を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	通常防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、通常初止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや家族に事前に十分に説明した上で同意を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載をしている。	100%	0%	原則禁・非代替性・一時性を満たしている場合に、身体的拘束を行った場合には記録を行っております。また、主任者にも説明しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所を対象とした自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サカフル小山店

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用支援が無理非量型等のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	スタジオにゴールを変えたスペース、ゲームセやカスペースと設定している。モニタリングをする際などに使っている指定があるが、皆で使われているてパーテーションで隠してもだけなので他のスタッフの指し示で何度会ったり聞こえないので、完全な個室が望ましい
	2	利用支援やこどもが好感等に対して、職員の配置数が適切である。	100%	0%	施設区域の位置がいくらスタッフ間で共有して対応の幅子をことめに至っている。キャンセル待ち方面のついても連絡を取っていく必要があるため、改善が必要
	3	支援室間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の特性に応じ、バリアフリーセや事業形態等、障害上の配慮が適切にされている。	100%	0%	必要に応じて関連ポプュロー有行なってあります。
	4	支援室間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集の活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行ってあります。環境設定に関してもさまからほしい合い方って有ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の活動や場所を使用することが定められる環境になっている。	100%	0%	ご希望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れてあります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合い行なってあります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングで、共有、検討、改善に努めてあります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質のUPし向上のために、研修を実施する機会や休入内容や研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修報告や相談による勉強会に出ご合入れてあります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで事業内容の確認、相談しを行ない、公表してあります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出るように努めてあります。
	13	個別支援プログラムに基づき支援が適切に実施されているか定期的に検証している。	100%	0%	お子さまの意向や行動を客観的に観察し検証の上、計画書の見直しを行っております。
	14	個別支援プログラムの作成内容は、子どもや保護者に分かりやすい表現を使用するなど、工夫した支援計画を作成している。	100%	0%	個別計画を行い、計画に沿った支援を行ってあります。
	15	児童発達支援ガイドラインに基づいた発達支援の提供ができている。	100%	0%	毎日の様子を記録し、計画に沿った支援ができているか、振り返りを行っております。
	16	こどもの適応行動や状況を、標準化された尺度を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握している。	100%	0%	アセスメントツールを年齢に応じた適切な時の参考として活用しております。
	17	児童発達支援ガイドラインの「発達支援」では、次の5領域に関連する項目が適切に設定されているか。 ①健康及び生活に関する領域（食事、排泄、衣服の着脱、睡眠、清潔など基本的な生活習慣の形成と、健康な心身の発達のために必要な環境の整備や適切な援助・関わりなど） ②運動及び感覚に関する領域（姿勢と運動・移動能力の向上、感覚の活用など） ③認知及び行動に関する領域（認知の発達、思考の発達、記憶の活用、見通しを持った行動など） ④言語及びコミュニケーションに関する領域（言語の発達、コミュニケーション能力の向上など） ⑤人間関係及び社会性に関する領域（他者との関わりの発達、集団への参加と仲間関係の形成、社会性の発達など）	100%	0%	それぞれの点やさまざまに合った支援をさまざまなど、検討してあります。
	18	児童発達支援ガイドラインの「５つの基本活動」を適切に組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮したとてトクリエーションを設定してあります。
	19	児童発達支援ガイドラインに示された「発達支援の提供上の留意事項」に従って、こどもの発達や状況に応じた支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行ってあります。
	20	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	様々な参加方法や、内容を変更して参加者を組み込むようにしております。
	21	児童発達支援センターや地域の保育所等との交流や、障がいのある子どもと定期的に触れ合う機会があるか。	100%	0%	地域社会や交流センターなどと参加し、地域に参加できるように努めてあります。
	22	平常時及び緊急時等における支援について、保護者との連絡体制が整備されている。	100%	0%	連絡帳や電話にて連絡をとることが多い為、時様に保護機能をやらに情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めてあります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援管理責任者が定期的に保護者と面談を行っている。	100%	0%	連絡帳や電話にて連絡をとることが多い為、時様に保護機能をやらに情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めてあります。
	24	障害児相談支援事業所や特別支援学校、幼稚園、保育所等との間で、支援内容等の情報共有（必要に応じて個別の支援計画の共有）や合同カンファレンスの開催などにより、関係機関との連携を図っている。	100%	0%	積極的に参加できるように事業と連携を行って記入するように努めてあります。また、モニタリングの際はひろやクアビ記録を参考に次の目標を考えてあります。
	25	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援管理責任者が定期的に保護者と面談を行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて連絡を直接し行ってあります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加している。	100%	0%	基本活動を考慮したとてトクリエーションを設定してあります。
	27	幼稚園、保育（主治医や協力医療機関等）、関係福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	89%	11%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行ってあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の共有、こどもの下校時間や経路等）、連絡調整（点検時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	様々な参加方法や、内容を変更して参加者を組み込むようにしております。
関係機関や保護者との連携	29	幼児期に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	89%	11%	様々な参加方法や、内容を変更して参加者を組み込むようにしております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	89%	11%	様々な参加方法や、内容を変更して参加者を組み込むようにしております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や提供を受ける場合を記録できている。	89%	11%	様々な参加方法や、内容を変更して参加者を組み込むようにしております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中のこどもと交流する機会があるか。	89%	11%	様々な参加方法や、内容を変更して参加者を組み込むようにしております。
	33	（自己支援）相談員等へ積極的に参加している。	89%	11%	様々な参加方法や、内容を変更して参加者を組み込むようにしております。
	34	日常でのこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	送迎時の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を意図させていただく等して共通理解が持てるように努めてあります。
	35	肥満の可能性の高い子を把握後より、肥満に対して肥満支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や肥満等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている。	89%	11%	こちらでの対応方法等を「子育ての様子」として日々情報連絡し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう健やこお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	療育相談、支援プログラム、利用者負担金について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関していつでは説明させていただいております。
	37	個別支援プログラムの内容や支援目標、支援スケジュール、役割分担等について、保護者に対して丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関していつでは説明させていただいております。
	38	「個別支援プログラム」の作成に当たっては、保護者の意向を踏まえ、こどもや家族の望ましい暮らしや課題について、保護者と共通理解した上で作成している。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関していつでは説明させていただいております。
	39	保護者からの子育ての悩みや相談に対する相談と適切に応じ、援助や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じてあります。
	40	父母や家の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児と子交流する機会を設ける等の支援をしているか。	89%	11%	ご希望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が寄った場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定するとあに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるようと努めており、お声を集い社員に共注意に対応しております。
	42	定期的に面談等を実行するとともに、HPやSNS等を活用するとことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや家族者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただけるように努めております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止と万全入れております。
	44	障害のあることや外観上の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	よりや利用にお伝えさ参るように努めてあります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	89%	11%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や関係機関に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時作成しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	緊時と、緊急や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの２次元については事前に確認してあります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な設備を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との関係が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行ってあります。
	52	トやリハットを事業所内の天井し、利用児および利人方等について周知をしている。	100%	0%	事例集ではありませんが、危険なことや気が入りし、事業所でヒヤリハットを適宜日共しております。また、他事業所や関係者とも共有する体制を整えております。
	53	避難を想定するため、職員の非常時安全を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めてあります。
	54	どのような場合に中止を得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや家族者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載をしている。	100%	0%	行き性・非代替性・一例性を満たしている場合など、身体的拘束を行った場合には記録を行ってあります。また、主語者にも説明してあります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所を対象とした自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サカフル古河店

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用支援の無線⁄有線等の入ベースとの関係で適切である。	100%	0%	当年に新平したスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもが好奇心に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	教育や医院で資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の特性に応じ、バリアフリーなや事業形態等、障害上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて関連ドフォロー有行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども集の活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもその他ない方行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の活動や場所を使用することが認められる環境になっている。	100%	0%	ご希望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を決議に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合い行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を把握し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングで、共有、検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るため、研修を実施する機会や職員が研修を機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修報告や積極による勉強会に出ご力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで事業内容の協議、相談しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援サービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまさま様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	個別支援サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども の支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの意見や視点を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまの意向や行動を客観と検証出来、情報共有しております。
	14	個別支援サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動や状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により把握している。	25%	80%	アセスメントツールを年齢に応じた個別行動の参考として活用しております。
	16	個別支援サービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容が踏まえられるなど、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	100%	0%	それぞれの点やさまざまに合った支援をふさえながら、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で考案し、充実した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないようにしている。	100%	0%	段差や必要な場合、内容を変更して安全かを組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、実施が行われている。	100%	0%	ご希望に応じて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	児童発達支援ガイドラインに基づき、それぞれの子どもの発達の状態や課題等について、チームで適切に共有を行っている。	100%	0%	送迎時間が異なることが多い為、学園職員を中心に情報共有を出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	児童終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	送迎時間も同様に職員全員とることが多い為、同様に学園職員を中心に情報共有出来るよう、記録やご連絡よるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケアと記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を検討し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	個別支援等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を意図的・合わせて支援を行っている。	0%	100%	情報共有からしっかり行えていない。 情報共有が不足していると思うので改善したい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫が行われている。また、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が学校会議等より参加しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、福祉福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	ご希望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の台帳、こどもの下校時間や経路等）、連絡調整（必要時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡連携しております。
	29	幼学校に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	保育する児童発達支援事業所等との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	0%	100%	新しい事業所のたむその年齢お子さんいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている。	100%	0%	問題が多った際にお相場応募を行います。訪問の機会があれば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中のこどもと交流する機会がある。	100%	0%	機会が多ければ参加していきたいと思います。
	33	「自己支援」相談援助・調整的に参加している。	0%	100%	機会が多ければ参加していきたいと思います。
	34	日常でのことでの非対生や関連をと出た小、こどもの発達の状況や課題について充成理解を持っている。	100%	0%	成績等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子知識を意思させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や講義等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている。	0%	100%	こちらでの対生方法等を「ミニ対応等」として行う情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう健ちくお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担金について丁寧な説明を行っている。	20%	80%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご予約出に際していては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス提供を決定する際には、こども や家庭の意向の尊重、こども の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こども や家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご予約出に際していては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を子どもや家族等の協力を得、家庭または小学校等関係機関と連携・共有している。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご予約出に際していては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、援助や必要な助言と支援を行っている。	80%	20%	ご希望に応じて連絡、ご相談に応じております。
	40	公共や会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	0%	100%	ご希望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が あった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定するとと、各事業所にご相談しやすい内容は、総合受付窓口にて相談できるようと努めており、お声を聞いた際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信等を発行するとともや、HPやSNS等を活用するとともよう、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報などこどもや家族者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただけるような工夫をしております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の厳重な施設点と方を入れております。
	44	障害のあることもや保護者しの意思の適切や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	よりや詳にお伝えさ参えるように努めております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事例当なマニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や関係機関に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて随時を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的な訓練に加え、業務継続計画（BCP）の策定を検討いたします。
	48	緊時と、緊急や予知避難、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまの２次元については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるような工夫をしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な設備を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との関係が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	トやリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	事例集ではありませんが、危険なことや気付き等し、事業所でヒヤリハットを適宜日共しております。また、他事業所や関係者とも共有する体制を整えております。
	53	避難を訓練するため、職員の非常時全を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	通常防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、通常初止に努めております。
	54	どのような場合に やむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや家族に事前に十分に説明した上で同意を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載をしている。	100%	0%	行為性・非代替性・一時性を満たしている場合に、身体的拘束を行った場合に記録を行っております。また、３回選にも説明しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所を対でいる自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ザスパキッズ

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの同時で適切である。	50%	50%	活動場所・スペース狭点が狭い、窓や隠らないルールダウンスペース不足い ルールダウンスペースがあると良い。 利用人数より広くスペース名確保し、安全に活動できる環境を整えている。
	2	利用者数やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	利用人数に対してスタッフが平均4.5程度いられるよう勤務調整している 利用人数より広くスペース名確保し、安全に活動できる環境を整えている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境となっている。また、事業所内設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	67%	33%	区けた用で活動内容同が分かるように支援入口口からわかりやすいボードが見えるようにしている こどもが少かりやすく安心して過ごせるよう、環境面に配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっている。	83%	17%	活動後に清掃等を離組んでいる ね.ラかんない使用の使いい。 清掃や整理整頓を行い、活動に合わせて安全に過ごせる空間を整えている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっている。	33%	67%	個別の部屋がーつしかない。 必要に応じて、落ち着いて過ごせる個所を確保できるようにしている。 児童がクールダウンなど必要な際部がない為、清掃面積が有るにてクール.ダウンをするる考えい状況
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と見で改行）に、広く職員が参画している。	100%	0%	問題現状把ま5.問に思い思いをする機会を設けている 職員間で意見を言い合いながら、日々の業務の質で良さや改善に取り組んでいる。 サービス提供時間帯に職員間とで情報の共有を行っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	家庭等を通認調査取り、チーム内で作成・検討している 声掛をかの意見や家庭状態を把握し、必要に応じて支援や業務の改善に活かしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	フィードバックの機会等を設け、迅速に努めている 職員同士で意見を出し合う機会が有り、業務の見直しや改善につながっている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	現在、第三者による外部評価は実施していないため、今後必要に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を充実する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	研修などを通して、職員が学ま機会が図られている。
適切な支援の提供	11	個別に支援プログラムが作成、計画されているか。	100%	0%	個別支援計画に基づき、各スケジュールに日々の活動内容を検討している 支援内容や目的を整備した支援プログラムを作成し、公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したとき、各課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	こどもの様子や保護者の意向を確認し、ニーズや課題を踏まえて計画を作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもや家族に関わる職員が共通認識の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	活動のメニュー等を決める機会に参画している 支援に関わる職員間で意識を共有し、意見を言い合いながら支援内容を検討している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画内容を職員間で共有し、目標や支援内容を意識しながら支援を行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを定期する等により把握しているか。	100%	0%	日々の活動や関わりの中でこどもの発ず を観察し、状態や変化の把握に努めている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及びその重要性を踏まえながら、こどもの全般に必要な視点が網羅的に記述され、それらに 具体的な支援内容が記述されているか。	100%	0%	本人支援を中心に、家族や関係機関との連携なども踏まえて必要な支援内容を記述している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	各専門家の視点から活動内容を決めている 職員間で意見を言い合いながら、活動内容を検討している。
	18	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	100%	0%	日々の活動内容の記録を作成し、そこから活動内容が固定化しないようにしている こども様子や課題に合わせて、さまざまな活動を取り入れるよう工夫している。
	19	こどもの欠次に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	利用頻度の状況を確認共有している こどもや活動内容に応じて、個別での関わりと集団での活動を取り入れている。
	20	支援開始前には複数間で必ず打合せを行い、それぞれが行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで議論して支援を行っている。	100%	0%	支援前に職員間で活動内容や役割を確認し、議論して支援を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援後にこども様子や気付いた点を職員間で共有し、次の支援に活かしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々のこどもの様子や支援内容を記録し、その後の支援に活かしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、こどもの変況や変化を確認し、なぜらか問の設置し を行ってい る。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	こどもの状況に合わせて、さまざまな活動を組み合わせながら支援を行っている。
	25	こどもの自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするなど育てるための支援を行っているか。	100%	0%	こども自身が選んだり意思を伝え入りできる機会を設け、自己決定につなげるよう支援している。
関係機関や保護者との連携	26	障害者総合支援法等の公的サービス利用者や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管もしくは管理者、専門職員が参加している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、福祉福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う（ネットワークを構築している）か。	83%	17%	学校や福祉関係と定期的に連絡をとっている 必要に応じて関係機関と情報共有を行い、連携しながら支援できる体制を整えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校と下校時刻や送迎時の対応など、必要な情報共有や連絡調整を行っている。
	29	教学校に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と指定理解に努めているか。	83%	17%	保育する児童発達支援事業と の情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を中場い、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を継続する等しているか。	100%	0%	移行が必要な場合には、関係機関と必要な支援内容や情報を共有できるようにしている。 必要に応じて関係機関と情報共有を行い、連携しながら支援できる体制を整えている。
	31	地域の児童発達支援センターの活動を踏り、必要性に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	問題があった際には情報収集を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の世のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	17%	83%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況や家庭環境と伝え合い、こども や関係の状況や課題について共通理解を得ているか。	100%	0%	日頃から保護者とこどもの様子を伝え合い、活動や課題について共有している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	必要に応じて保護者へ支援に関する情報提供や助言を行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、水受プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時等に必ず行なっている 利用開始時などに必要な内容について説明を行い、理解していただけるよう努めている。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	こどもや保護者の意向を確認し、それぞれの希望や状況を踏まえて計画を作成している。
	38	「放課後等デイサービス計画」をわかりながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画内容や支援方針について保護者へ説明し、確認・同意を得ている。
	39	家族等から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、援助や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者からの相談に応じ、必要に応じて援助や助言を行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や当該サを設ける場合を除く。）の支援をしているか。また、きょうだい児さらに支援する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご家庭に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや家族全に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	相談や苦情に対応できる体制を整え、必要に応じて迅速に対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPや印刷物を活用することにより、活動概要や行事予定、活動や新等や領域などこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	事業所のインスタグラムが有り、そこから様様教室を行なっている SNS等を活用し、日々の活動や必要な情報を手軽使へ発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の管理や取り扱いに十分注意している。
	44	障害のあることもや保護者との意思の調達や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	こどもの特性や状況に合わせて、ICTカやコミュニケーション方法を工夫している。
	45	事業所の行事と地域住民や団体する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事業所は、マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルを整備し、職員間で共有するとともに必要な訓練を実施している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、同法その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定し、災害時に備えて定期的に訓練訓練等を実施している。
	48	事前に、緊急や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に必ず確認している 利用前に緊急や発作など、支援に必要なこどもの健康状態について確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食物アレルギーについて事前に確認し、必要に応じて適切に対応している。
	50	非定計画を作成し、非定常時に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、非定常時マネ ジメントを行っているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、緊急等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、頻度等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを職員間で共有し、頂設や対応について確認し再発防止に努めている。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	感染防止と関する訓練を実施し、職員間で適切な対応について確認している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に必ず行い、モニタリング時等にも行なっている

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。